モバイル調査システム
でかちょう

出簡調

-取扱説明書-

株式会社マプコン

目次

1. 操作マニュアルについて 3
2. システムの起動・調査前の設定 4
2.1. システム全体について 5
3. 調査前の設定 7
3.1. 調査員の設定 7
3.2. GPS 設定 8
3.2.1. 現在地の取得 9
3.2.2. 現在地を自動更新する 10
3.2.3. GPS ログを保存する 11
4. 基本操作 12
4.1. 地図表示領域拡大 12
4.2. 地図表示領域縮小 12
4.3. 地図表示領域移動 12
4.4. 地図表示領域回転 13
5. 現地調査 14
5.1. 調査対象物の新規作成・選択・移動 14
5.1.1. 調査対象物の新規作成 14
5.1.2. 調査対象物の選択 15
5.1.3. 調査対象物の移動 17
5.2. 調査結果の登録 19
5.2.1. 単一選択の調査項目 19
5.2.2. 複数選択の調査項目 20
5.2.3. 辞書引き選択の調査項目 20
5.2.4. 文字入力の調査項目 21
5.2.5. 数値入力の調査項目 22
5.2.6. 色選択の調査項目 23
5.2.7. 日付時刻入力の調査項目 24
5.3. 現地写真の登録 27
5.3.1. 写真撮影 27
5.3.2. 撮影した写真を確認する 31
5.3.3. 撮影方向作図 34
5.4. 音声機能 37
5.4.1. 音声録音 37
5.4.2. 録音音声の確認 39
5.5. 地図画面の画像取得 40
5.5.1. 地図画面の保存 40
5.5.2. 地図画面の確認 41
5.6. 手書きメモ 42
5.6.1. 手書き入力 42
5.6.2. 手書きメモの確認 43
5.7. 外部ファイルの関連付け 44
5.7.1. 外部ファイルを登録する 44
5.7.2. 外部ファイルを閲覧する 46
5.7.3. 外部ファイルを削除する 46
5.8. 情報シート 47
5.8.1. 情報シートを貼り付ける 47
5.9. 登録 49
5.10. 終了 51
6. 便利な機能 52
6.1. メモ作図 52

6.1.1. 【ポイント追加】ボタン 52
6.1.2. 【ライン追加】ボタン 55
6.1.3. 【ポリゴン追加】ボタン 58
6.1.4. 【サークル追加】ボタン 61
6.1.5. 【図形移動】ボタン 64
6.1.6. 【図形情報修正】ボタン 66
6.1.7. 【UNDO】ボタン 69
6.1.8. 【REDO】ボタン 70
6.1.9. 【図形削除】ボタン 71
6.1.10. 【全図形削除】ボタン 73
6.1.11. 【閉じる】ボタン 75
6.1.12. 【確定終了】ボタン 76
6.2. 地図画面メニュー 77
6.2.1. システムメニュー 78
6.2.2. 調査対象物メニュー 84
6.2.3. GPS メニュー 87
6.2.4. メモ作図メニュー 91
6.2.5. 表示メニュー 105
6.2.6. 解析メニュー 116
6.2.7. 外部地図メニュー 134
6.2.8. 印刷メニュー 140
6.2.9. 付箋メニュー 141
6.2.10. フリー作図 150
6.2.11. リレーション 153
6.2.12. 2 つの地図を連動表示 156
6.3. 属性画面メニュー 158
6.3.1. 属性メニュー 158
6.3.2. インポートメニュー 171
6.3.3. エクスポートメニュー 175
7. システム要件 180
改訂履歴 181

1. 操作マニュアルについて

- ダイアログボックスは、[]記号で表示します。
  例:[GPS 設定]ダイアログボックス

- メニューは、[]記号で表示します。
  例:[調査員設定]メニュー

- ボタンは、【】記号で表示します。
  例:【現在地】ボタン

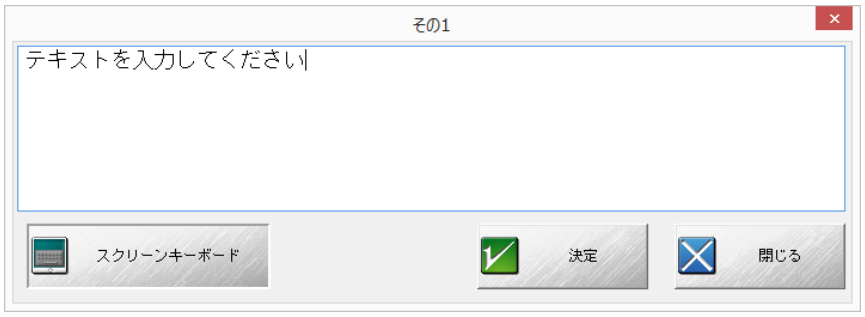
- ファイル名は下線で表示します。
  例:ini ファイル(d-sokko.ini)

- コマンド中の△は、半角スペースです。
  例:SakuzuEdit△2

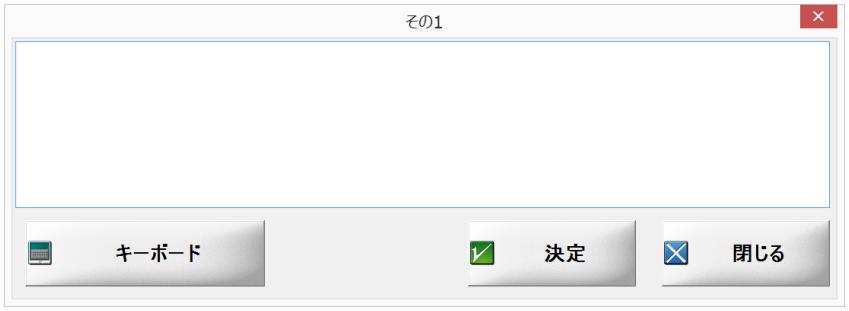
※メニュー名、ボタン名はカスタマイズ可能なため、マニュアルと実際のメニュー名、ボタン名は異なる場合があります。

※アプリケーション画面がビルドバージョンにより、異なる場合があります。動作には支障はありませんので、最新バージョンの画面を参照してください。

※『出簡調』のビルドバージョンにより、ダイアログボックス内の表記が異なる場合があります。
例:[その1]ダイアログボックス
「スクリーンキーボード」 → 「キーボード」
旧バージョン

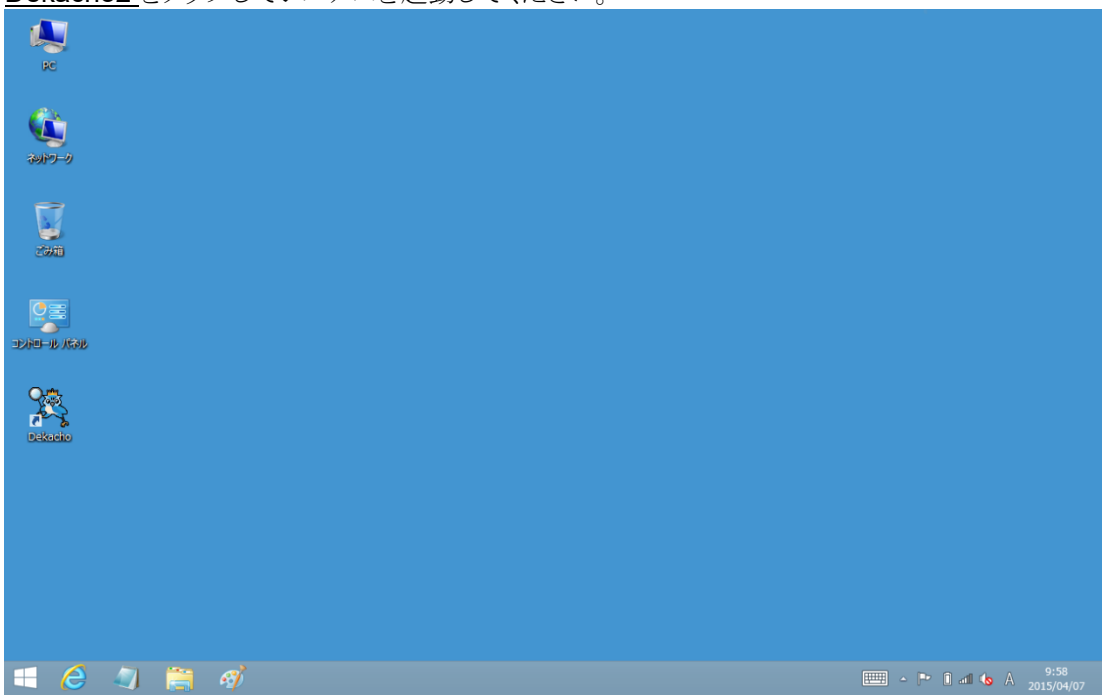


最新バージョン



2. システムの起動・調査前の設定

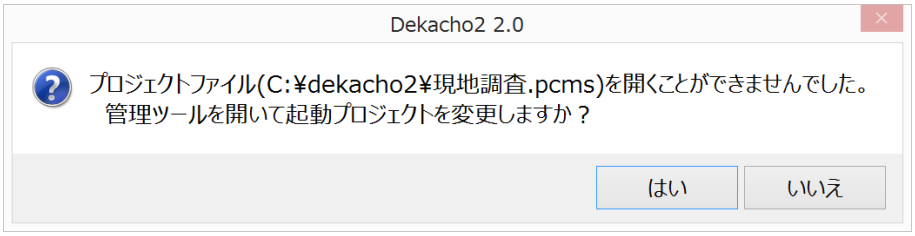
『出簡調』をインストールすると、デスクトップにショートカットが作成されます。
Dekacho2 をタップしてシステムを起動してください。



システムアイコンイメージ

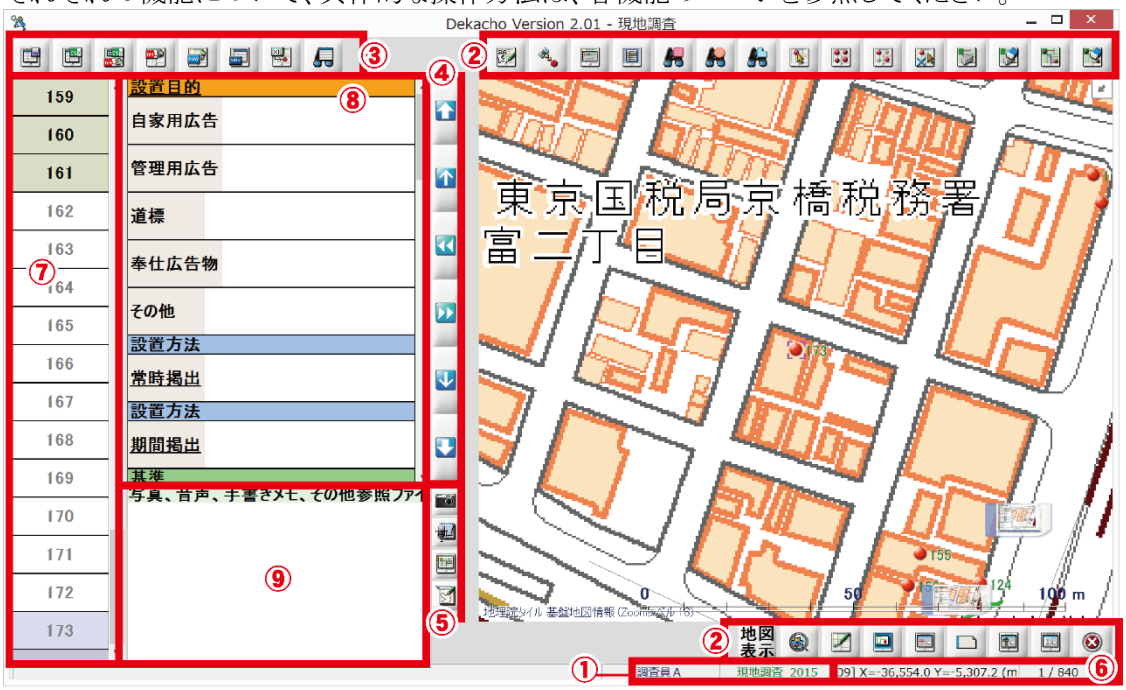
調査データにパスワードロックがかかっている場合は、起動時に[**パスワードの入力**]ダイアログボックスが表示されます。パスワードを入力してください。

パスワードを 3 回間違えると、『**出簡調**』は終了します。



2.1. システム全体について

システム画面は以下の通りになっています。
それぞれの機能について、具体的な操作方法は、各機能のページを参照してください。



① 調査員・作業レイヤー設定

クリックして調査員設定 :【調査員設定】ボタン

調査を行う調査員を選択・設定します。

Survey :【対象レイヤー変更】ボタン

調査を行うレイヤーを選択・設定します。

② 地図操作メニュー

地図操作に使用するツールバーが表示されます。

③ 調査項目メニュー

調査項目に使用するツールバーが表示されます。

④ 調査項目移動メニュー

:【1 ページ移動上へ】【1 ページ移動下へ】各ボタン

調査項目の表示をページ単位で移動します。

:【1 行移動上へ】【1 行移動下へ】各ボタン

調査項目の表示を 1 行ずつ移動します。

:【属性リスト拡大】【属性リスト縮小】各ボタン

⑧属性リストボックスの表示領域を拡大(表示)または、縮小(非表示)します。

⑤ 写真撮影・音声録音・地図コピー・手書きメモメニュー

:【写真を撮る】ボタン
写真の撮影・動画の撮影を行います。
保存された画像・動画は⑨写真と音声、参照ファイルウィンドウに表示されます。

:【ボイスメモ】ボタン
音声の録音・再生を行います。
保存された音声ファイルは⑨写真と音声、参照ファイルウィンドウに表示されます。

:【地図画面コピー】ボタン
現在表示されている地図を画像ファイルとして、保存します。
保存された画像は⑨写真と音声、参照ファイルウィンドウに表示されます。

:【手書きメモ】ボタン
現在選択されたポイントに対し、手書きでメモを書き込みます。デフォルトで、Journal.exe を起動します。Journal.exe で手書き入力、コピーしたものを保存し、保存された画像は⑨写真と音声、参照ファイルウィンドウに表示されます。

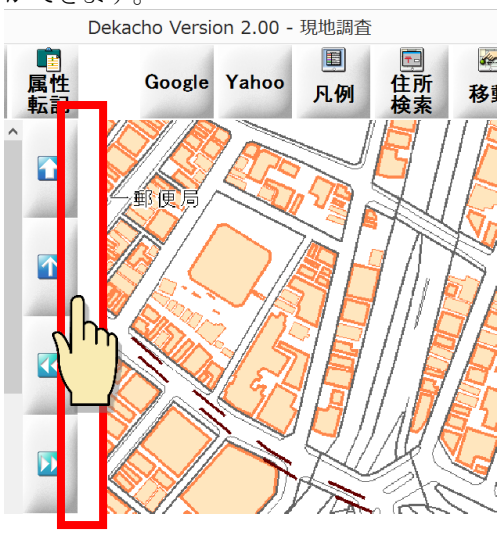
⑥ ステータスバー
タップした地点の座標値と縮尺が表示されます。

⑦ UID（Unique ID）リストボックス
調査項目の UID のリストが表示されます。
UID は、調査対象物のポイントを追加すると、自動で付番されます。

⑧ 属性リストボックス
調査項目の属性がリスト形式で表示されます。

⑨ 写真と音声、参照ファイルウィンドウ
撮影した写真及び動画、録音した音声ファイルを表示します。このファイルは、該当調査対象物ポイントの UID フォルダー内に登録されたファイルを表示しています。

メニューアイコンが見きれている場合などは、境界部分をスワイプして、表示枠の変更を行うことができます。



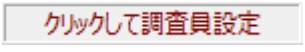
境界部分を右へ移動

3. 調査前の設定

調査を開始する前に、調査員や GPS の受信設定を行います。

3.1. 調査員の設定

調査員の設定を行います。

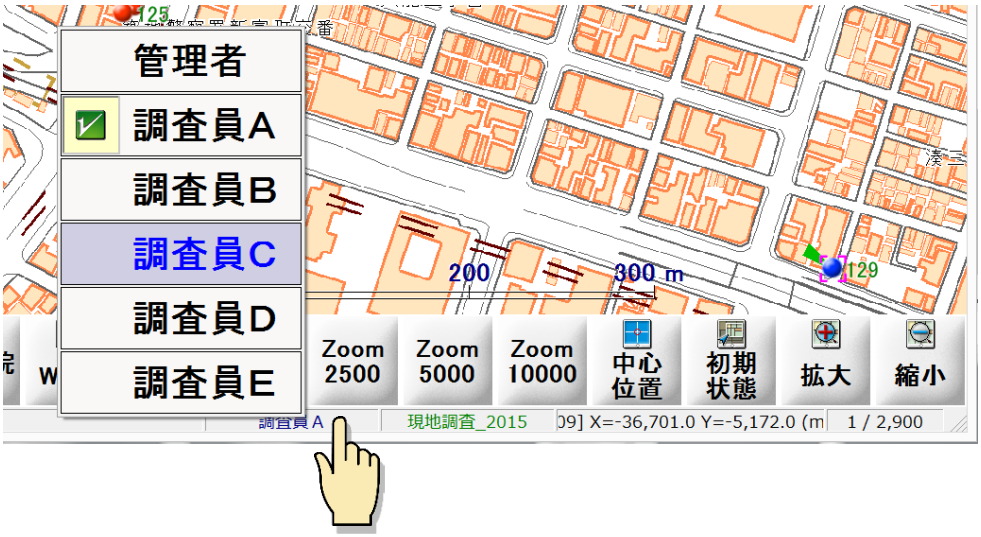


【調査員設定】ボタンをタップすると、[**調査員選択**]メニューが表示されます。

該当する調査員を、タップしてください。
[**調査員選択**]メニューが閉じられ、調査員が指定されます。

ここで指定した調査員は、それぞれの調査対象物のポイントに現地調査を担当した調査員として記録されます。

途中で調査員が変更になった場合は、【調査員設定】ボタンをタップしてください。
表示される[**調査員選択**]メニューで変更することができます。



下図は、これから調査をする際、調査員は「**調査員** A」として現地調査を行うことを表しています。

3.2. GPS 設定

GPS は管理機能の設定に従い、システム起動時に自動的に「動作状態」になっています。
現在位置の地図を表示するには、GPS メニューで現在位置に移動や一定間隔での自動追従を選択します。

管理機能の設定については別紙を参照してください。

GPS 位置情報の取得状態で、ボタン表示が変化します。

GPS の検索状態（起動時のみ表示）

GPS 位置情報が取得できている状態

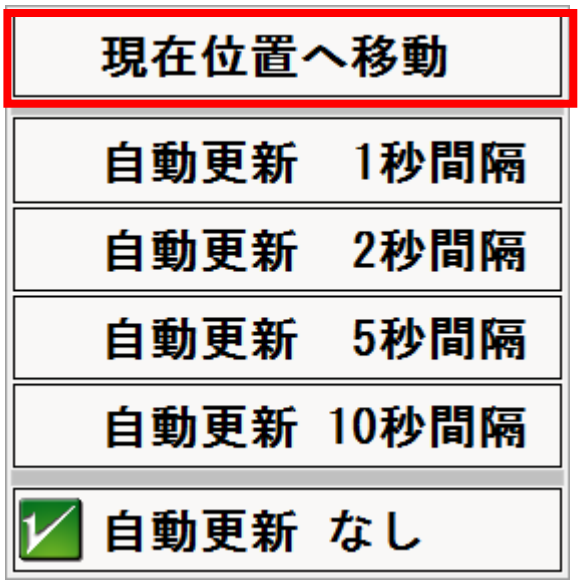
GPS 位置情報が取得できていない状態

取得できていない場合は、システムの設定及び調査端末の GPS 機能等が ON になっていることを確認してください。

3.2.1. 現在地の取得

【GPS】ボタンをタップしてください。

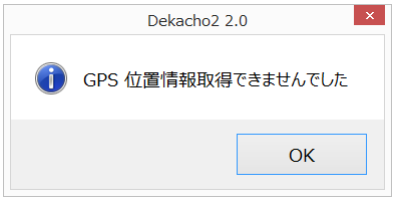
【GPS】ボタンをタップすると、GPS 情報取得メニューが表示されます。
[**現在位置へ移動**]メニューをタップすると、取得した GPS 情報を元に地図表示領域の中心を現在地に移動します。



このメニューで、[**自動更新 〇秒間隔**]を設定している場合は、常に現在位置が中心に表示されます。
起動時は、[**自動更新なし**]に設定されています。

GPS 位置情報が取得できていない状態

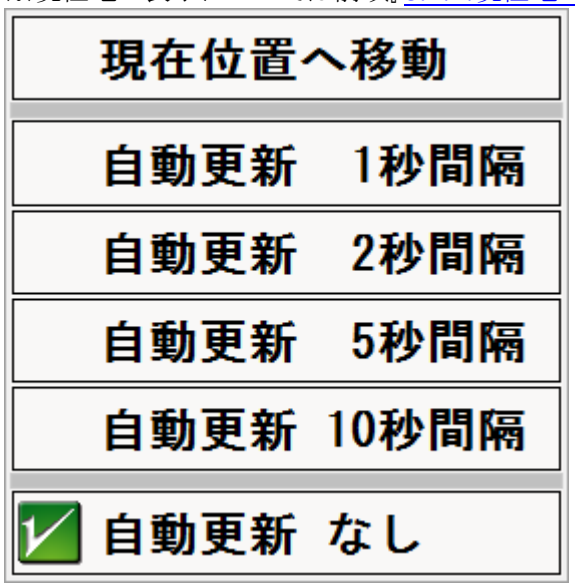
の場合は、メッセージボックスが表示されます。
GPS の設定及び受信状態を確認してください。



※GPS 非搭載端末や、GPS を使用しない設定にしている端末の場合はこの機能は使えません。

3.2.2. 現在地を自動更新する

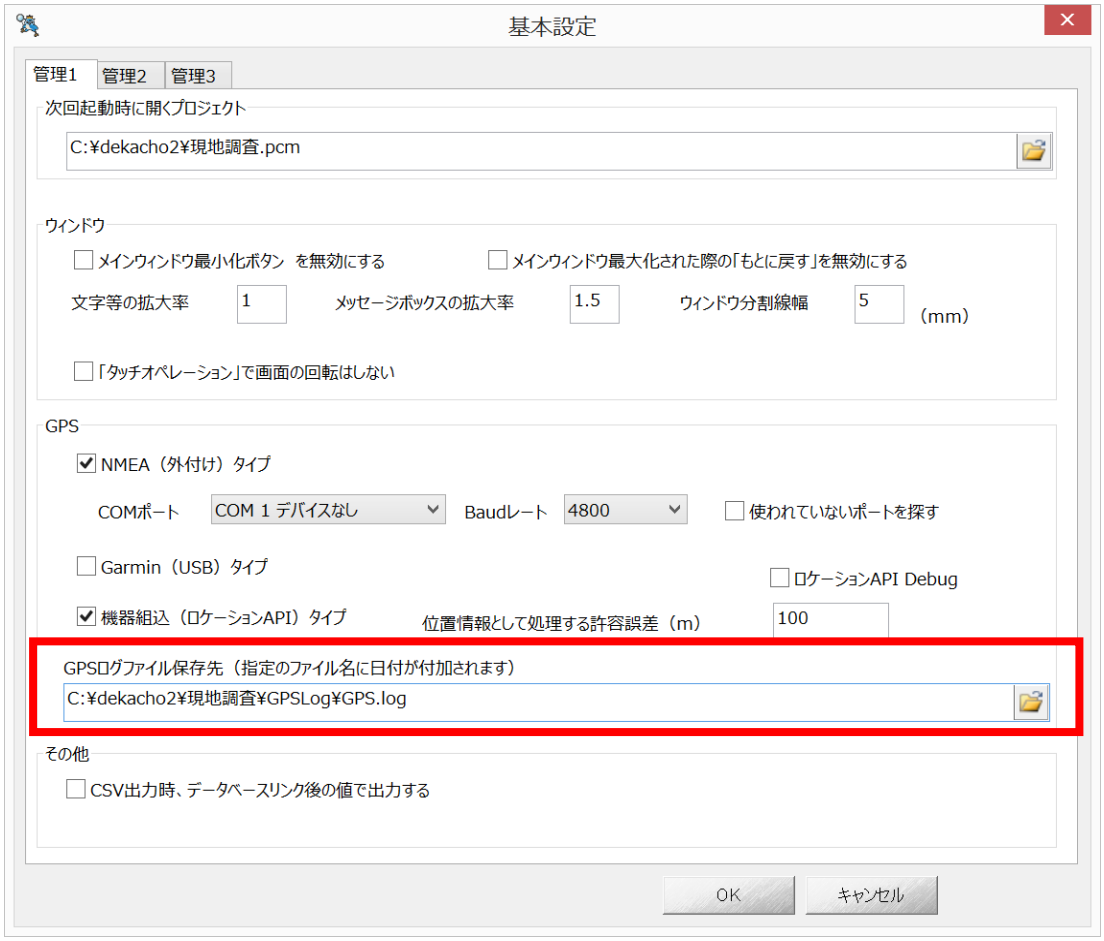
更新間隔は 1 秒・2 秒・5 秒・10 秒から選択します。選択すると以後設定した時間毎に現在地情報を GPS から取得します。
※更新間隔は、メニューのカスタマイズにより自由に設定することが可能です。
※現在地の表示については前項『3.2.1.現在地の取得』(p.9)をご参照ください。



3.2.3. GPS ログを保存する

『3.2.1.現在地の取得』(p.9)で、[現在位置へ移動]、[自動更新 〇秒間隔]を設定することで、GPS が測位した情報をログファイルとして保存します。

情報が取得された場合、『管理ツール』-「管理 1」パネル「GPS」の「GPS ログファイル保存先」で設定したファイル名に日付が付加されて、保存されます。

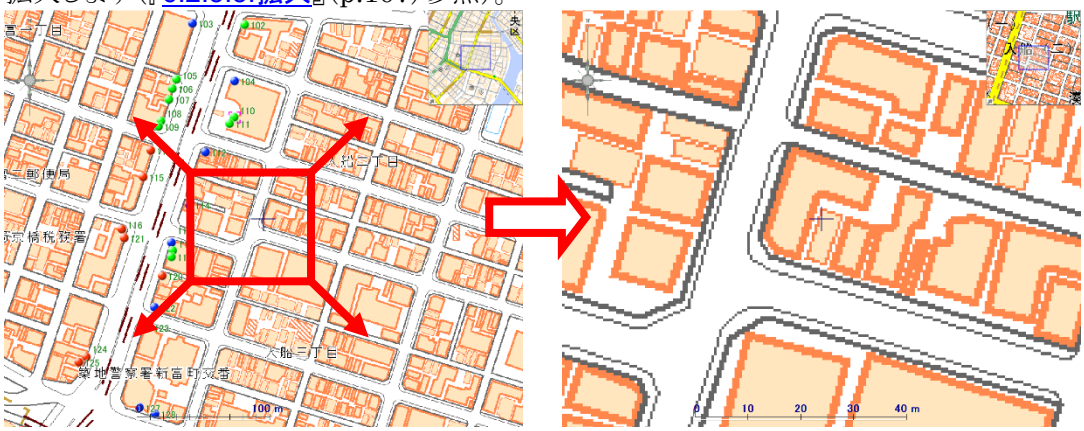


4. 基本操作

画面の表示状態の変更を行います。

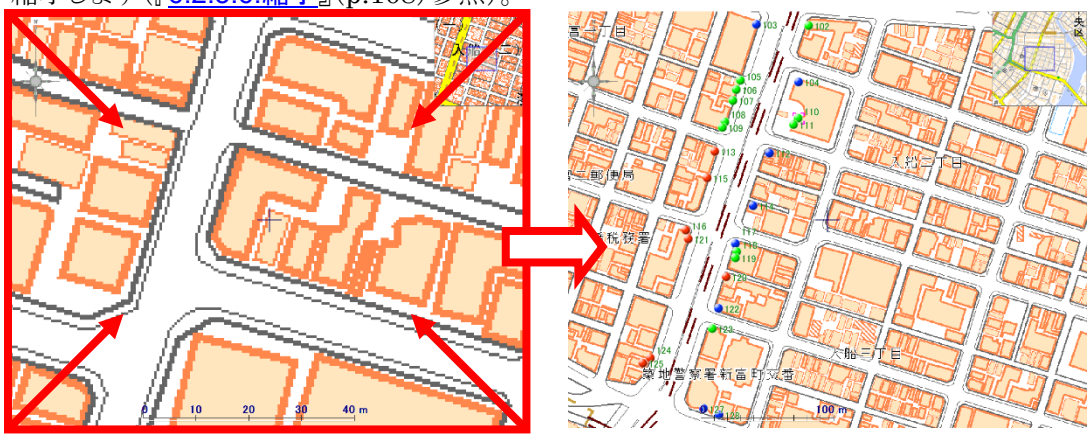
4.1. 地図表示領域拡大

地図上をピンチアウトすると、地図の縮尺を拡大表示します。
また、ツールバーに【拡大】ボタン( )が登録されている場合は、ボタンをタップすると表示領域を拡大します(『6.2.5.5.拡大』(p.107)参照)。



4.2. 地図表示領域縮小

地図上をピンチインすると、地図の縮尺を縮小表示します。
また、ツールバーに【縮小】ボタン( )が登録されている場合は、ボタンをタップすると表示領域を縮小します(『6.2.5.6.縮小』(p.108)参照)。

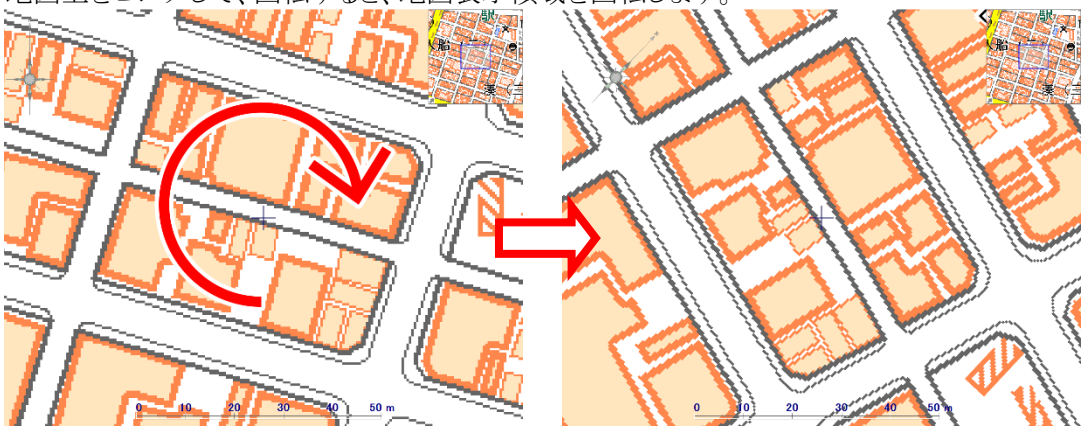


4.3. 地図表示領域移動

地図上をスワイプすると、スワイプした方向へ地図表示領域を移動します。

4.4. 地図表示領域回転

地図上をピンチして、回転すると、地図表示領域を回転します。



【回転】ボタン( )により、コンパスによる回転が行えます。

① 【回転】ボタンをタップすると、[回転表示設定]ダイアログボックスが表示されます。

コンパス

コンパスをタップして回転させて回転角度を指定します。

「センターマーカーを表示する」チェックボックス

ON の時、地図表示領域の中心位置に十字のセンターマーカーを表示します。

「コンパスを表示する」チェックボックス

ON の時、地図上にコンパスを表示します。

【閉じる】ボタン

設定を反映してダイアログボックスを閉じます。

【適用】ボタン

ダイアログボックスを閉じずに設定内容を地図上に反映します。

【ゼロ】ボタン

回転表示状態を解除します(回転角度を 0 度に設定します)。

5. 現地調査

調査対象物ポイントの作成、移動および現地調査結果の入力を行います。

5.1. 調査対象物の新規作成・選択・移動

現地調査結果は、以下の 2 つの方法で、入力することができます。

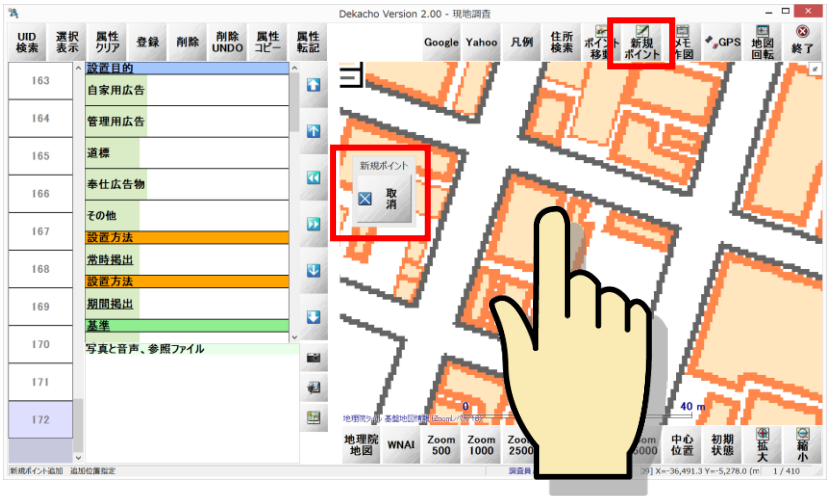
- 新規に調査対象物ポイントを作成して、情報を入力する(『5.1.1.調査対象物の新規作成』(p.14))。
- あらかじめ調査対象物ポイントを用意しておき、調査対象物を検索して、情報を入力する(『5.1.2.調査対象物の選択』(p.15))。

調査対象物を新たに発見した場合、地図上から調査対象物を選択する場合、調査対象物の場所を移動する場合の操作方法は以下を参照してください。

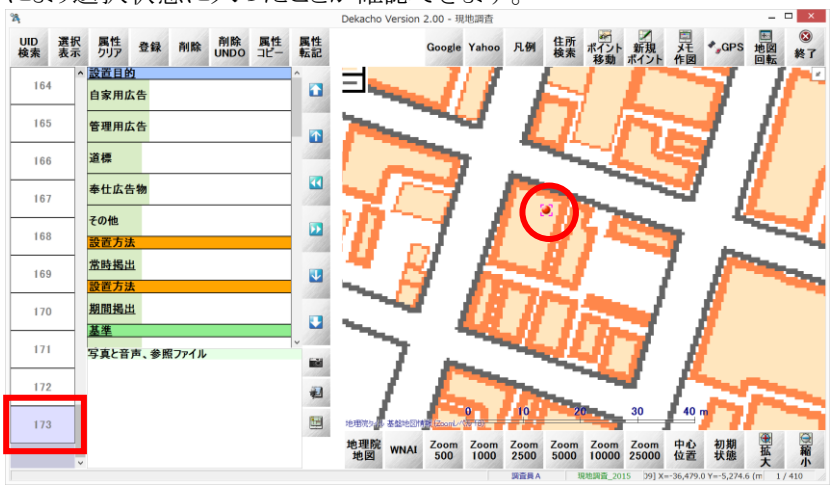
5.1.1. 調査対象物の新規作成

新たに調査対象物を発見した場合に行います。
GPS や背景地図を参考に現在位置が確認できたら、新たに調査対象物のポイントを作成します。

① 地図操作メニューの【新規ポイント】ボタンをタップすると、【新規ポイント[取消]】ボタンが表示され、新規ポイント作成モードになります。
調査対象物の場所をタップしてください。



② 調査対象物のポイントが追加されます。作成と同時に選択状態になっているため、地図上の調査対象物のポイントがピンク色の枠で囲われ、UID リストの該当番号が青色になります。これにより選択状態に入ったことが確認できます。

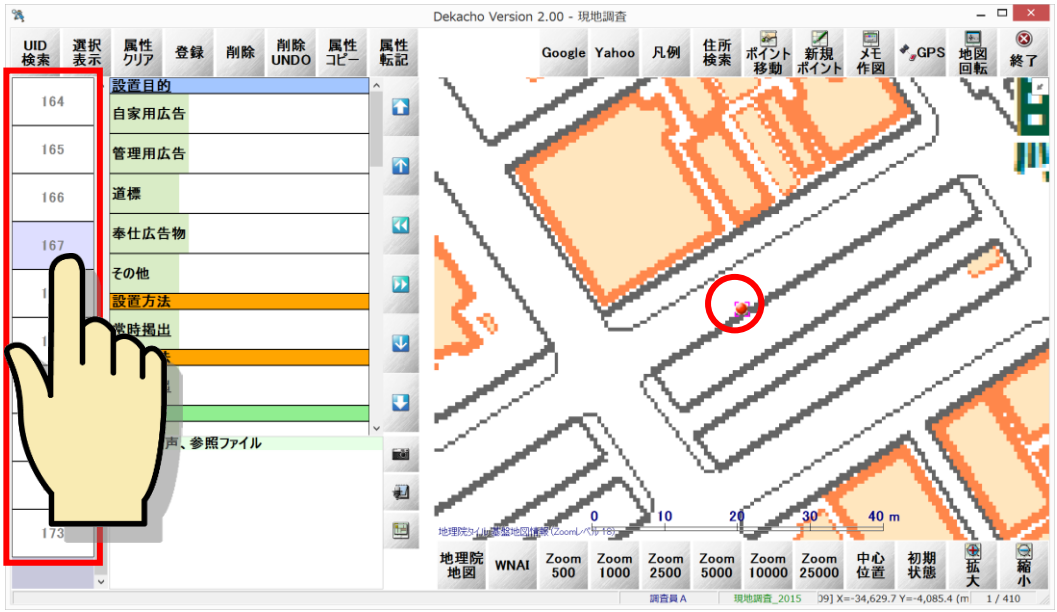


『5-2.調査項目の登録』(p.19)で調査項目の登録を行います。

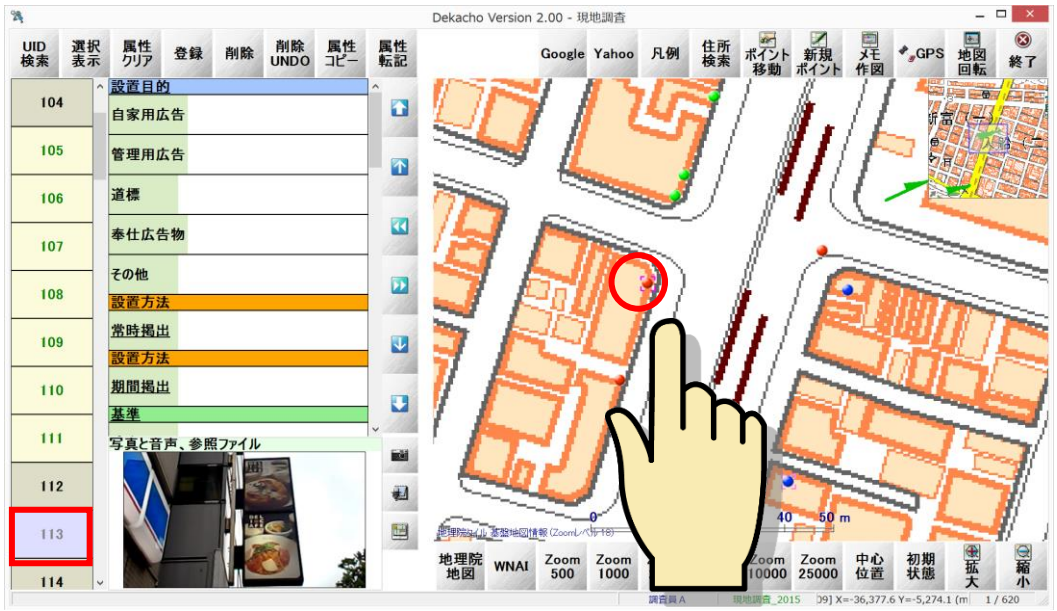
5.1.2. 調査対象物の選択

あらかじめ用意した調査対象物ポイントがある場合は、対象物を選択後、情報入力作業を行います。選択方法には以下の 2 種類があります。

① 選択する調査対象物の UID を、「UID リストボックス」からタップする。



② 選択する地図上の調査対象物のポイントをタップする。



選択されると、地図上の調査対象物のポイントがピンク色の枠で囲われ、「UID リストボックス」の該当 UID が青色になります。これにより、対象物が選択されていることが確認できます。
また、「UID リストボックス」から選択した場合に限り、選択ポイントを中心とした地図領域を表示します。

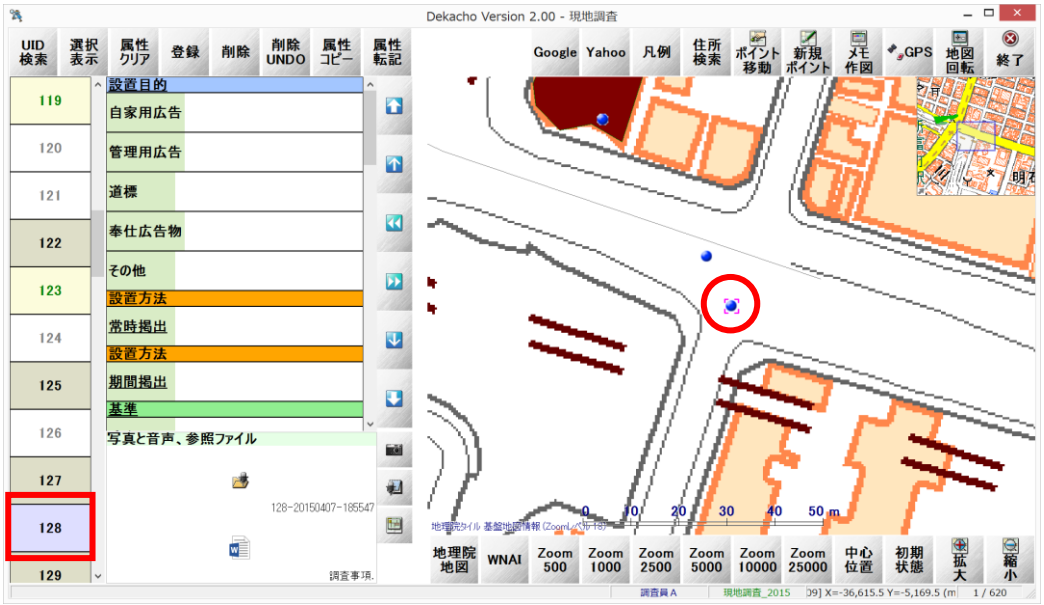
UID 検索

【UID 検索】ボタンがある場合、UID を検索して選択することができます。

① 【UID 検索】ボタンをタップすると、[UID 検索]ダイアログボックスが表示されます。

② テキストボックスに直接 UID を入力するか、数字ボタンをタップして、検索する UID を入力し、【検索】ボタンをタップしてください。

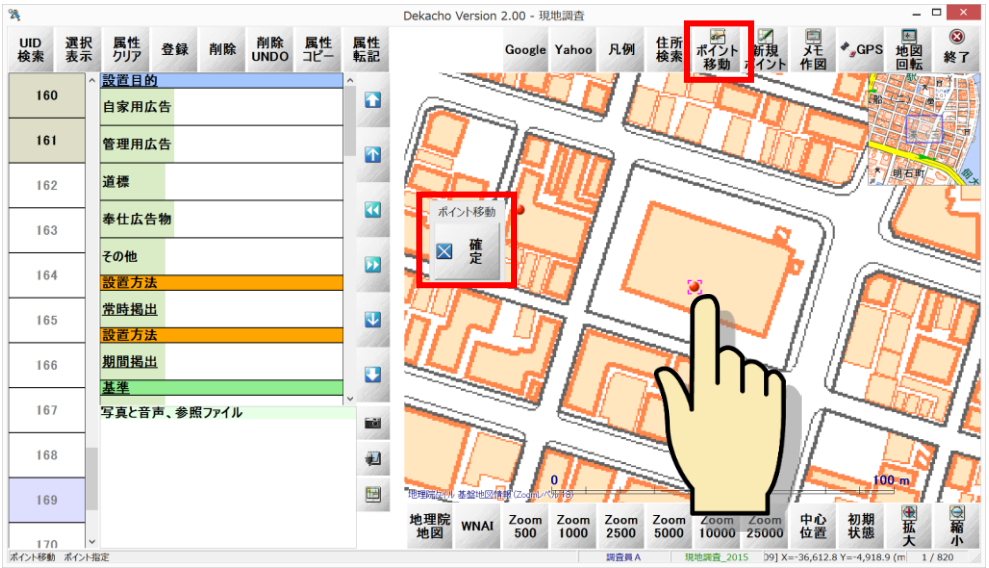
③ 地図上の調査対象物のポイントがピンク色の枠で囲われ、画面中心位置に表示されます。「UID リストボックス」の該当 UID が青色になります。



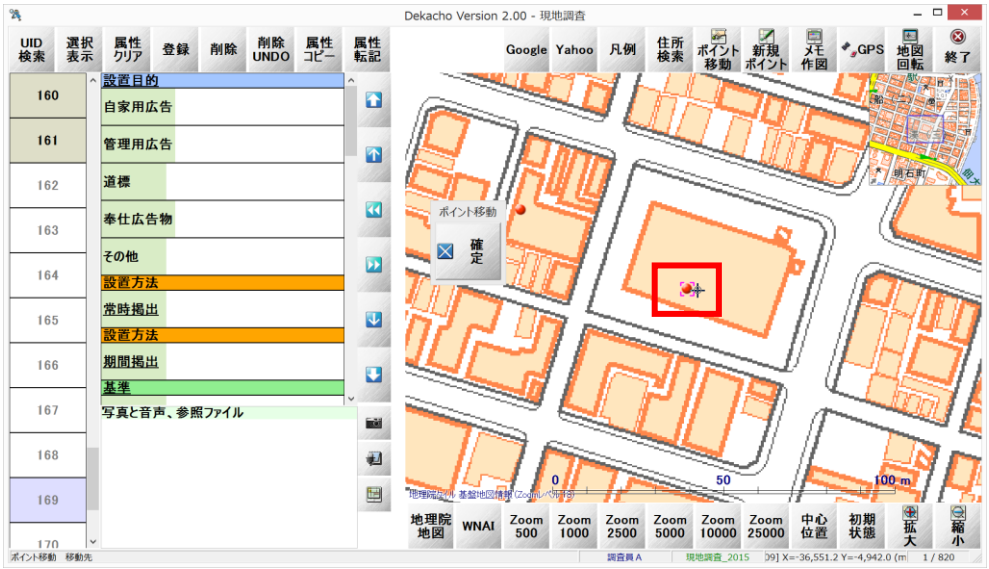
5.1.3. 調査対象物の移動

調査対象物を新たに作成した時にポイントを落とす場所を間違えた場合、あらかじめ用意した調査対象物の場所が現況と異なっていた場合は、調査対象物のポイントを移動させて調整します。

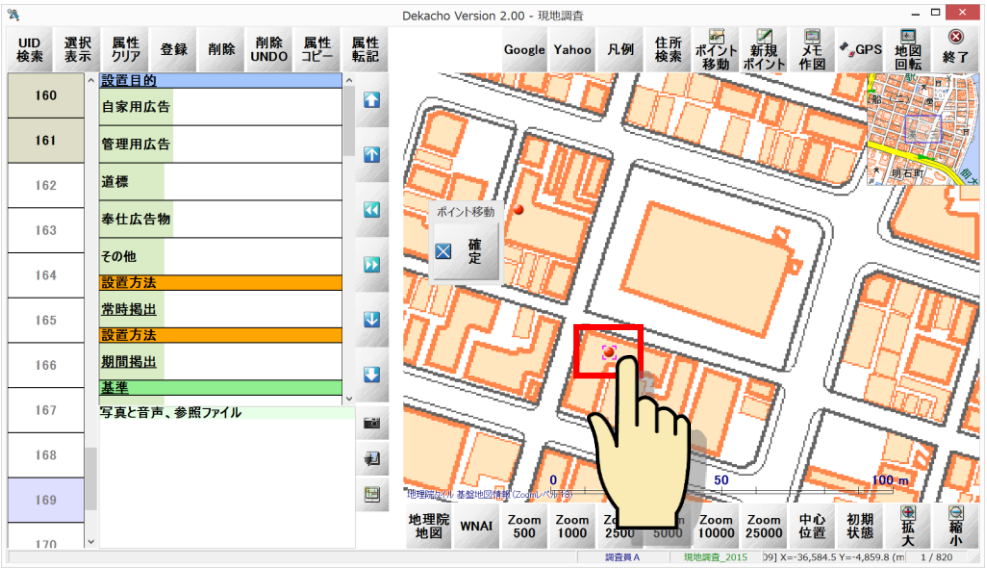
① 地図操作メニューの**【ポイント移動】**ボタンをタップすると、**【ポイント移動［確定］】**ボタンが表示され、ポイント移動モードになります。
調査対象物のポイントをタップしてください。



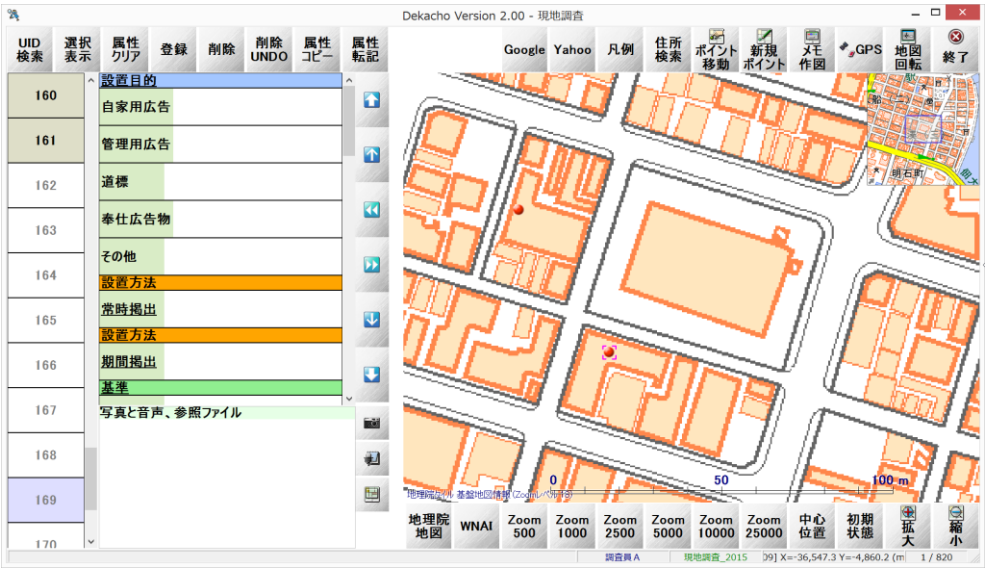
② 選択されると、地図上の調査対象物のポイントが⊗ の形状で表示され、移動処理状態に入ったことが確認できます。



③ 調査対象物の移動処理状態であることを確認後、そのまま移動先地点をタップすると移動先が確定します。

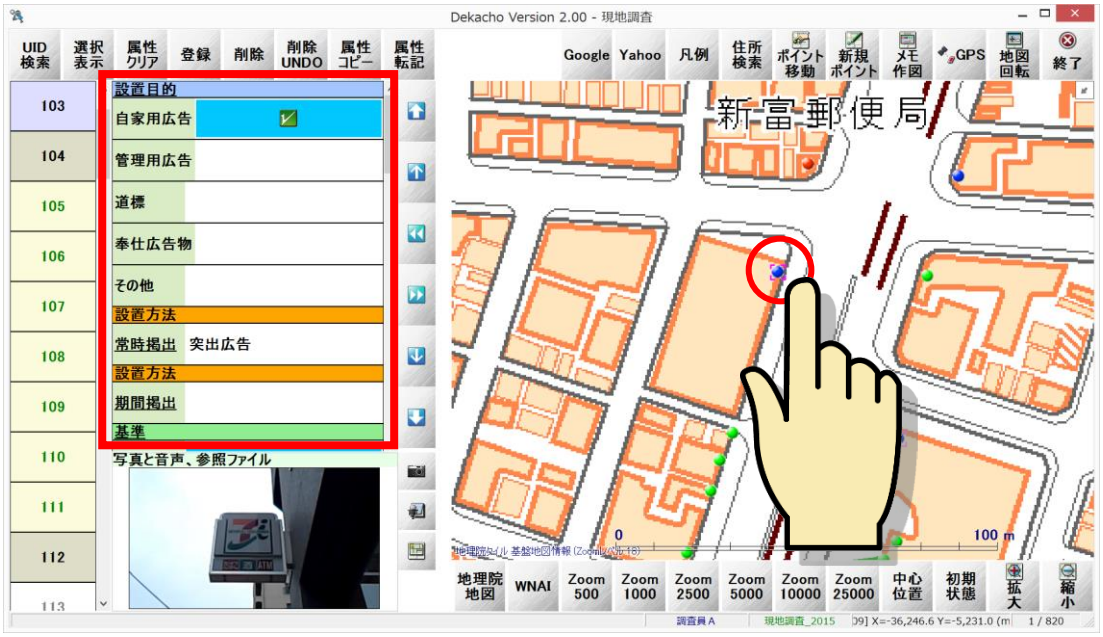


④ 処理を中断・終了する時は、**【ポイント移動[確定]】**ボタンをタップしてください。**【ポイント移動[確定]】**ボタンが閉じ、**[ポイント移動]**モードが終了します。



5.2. 調査結果の登録

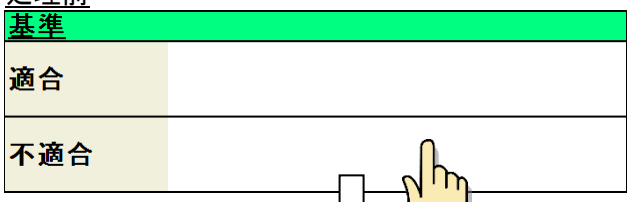
調査対象物に現地調査結果を登録します。
タップした調査対象物の情報が**「属性リストボックス」**に表示されています。
ここでは、選択状態の調査対象物に対して、**「属性リストボックス」**を利用して情報を入力し、登録作業を行います。



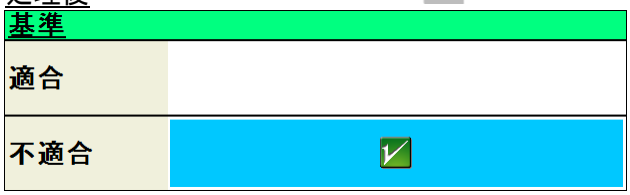
5.2.1. 単一選択の調査項目

緑色(デフォルト色)の調査項目 ： 選択肢の中から 1 項目のみ選択できます。
タップした箇所にチェックが入ります。

<u>処理前</u>



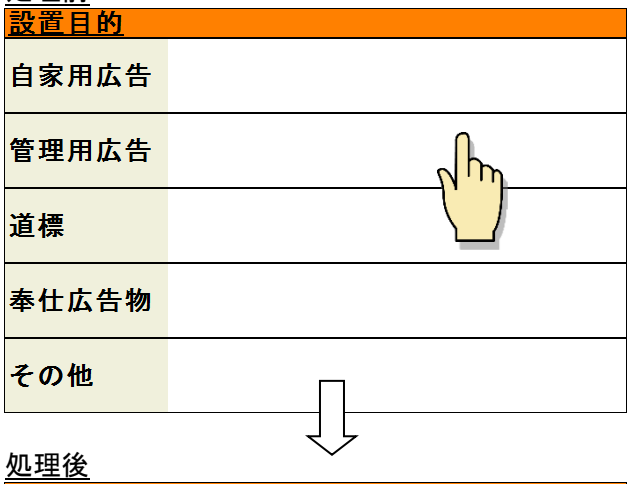
<u>処理後</u>



5.2.2. 複数選択の調査項目

オレンジ色(デフォルト色)の調査項目 ： 選択肢の中から該当する分の項目を選びます。
複数項目選択することができます。
タップした箇所にチェックが入ります。

処理前

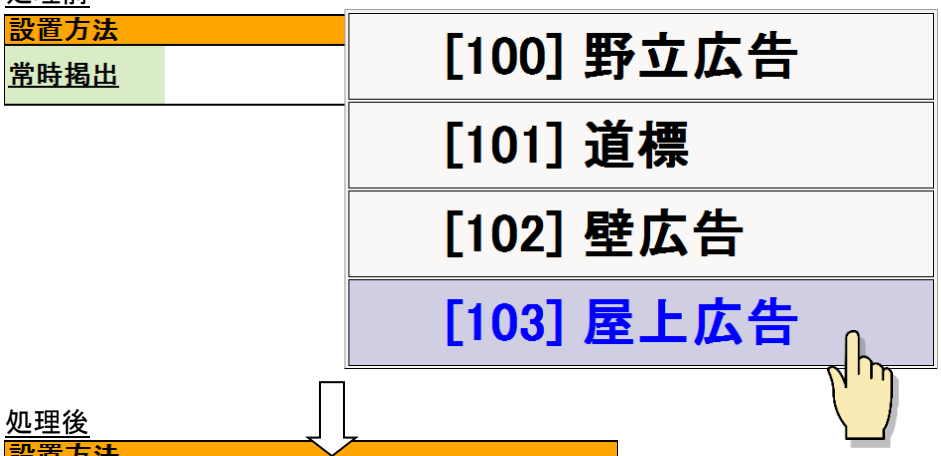


処理後

5.2.3. 辞書引き選択の調査項目

白い(デフォルト色)セルをタップした時に、リストが表示される場合は、辞書引きで選択肢の中から該当する項目を選びます。
選択した項目の文字列が表示されます。

処理前

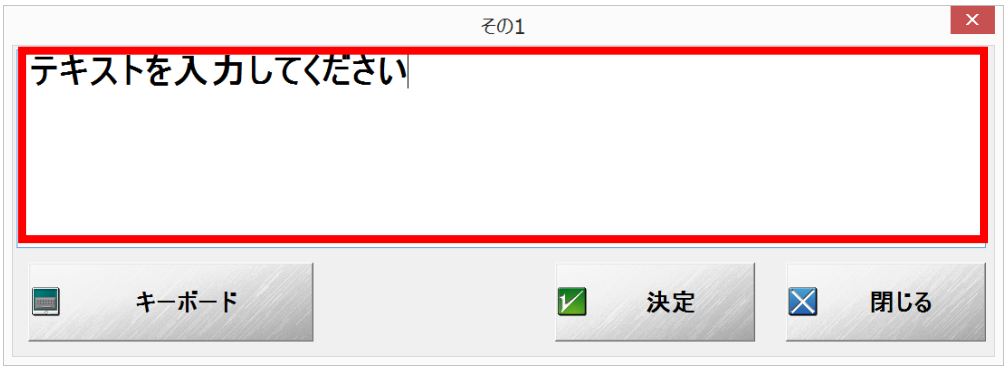


処理後

5.2.4. 文字入力の調査項目

白いセル(デフォルト色)をタップした時に、文字入力ダイアログボックスが表示されるセルには、調査項目に対して文字入力が行えます。

① 文字入力ダイアログボックスのテキストボックス(白い部分)をタップして文字を入力してください。調査端末の物理キーボードまたは、ソフトキーボードで文字を入力します。



【キーボード】ボタン

調査端末の物理キーボードを使用しない場合は、**【キーボード】**ボタンをタップしてください。
システム内蔵のソフトキーボードあるいは手書きパッドが表示されます。
ソフトキーボードでは物理キーボードと同様に文字を入力します。
手書きパッドではタブレット上に直接手あるいはタッチペンなどで字を書いて入力することができます。

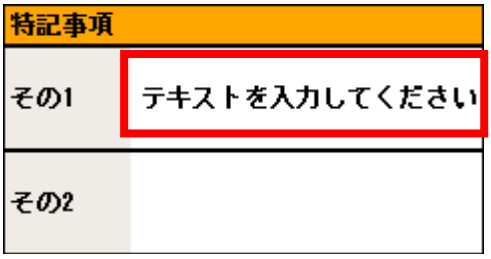
【決定】ボタン

文字入力確定後、**【決定】**ボタンをタップして文字入力ダイアログボックスを閉じてください。

【閉じる】ボタン

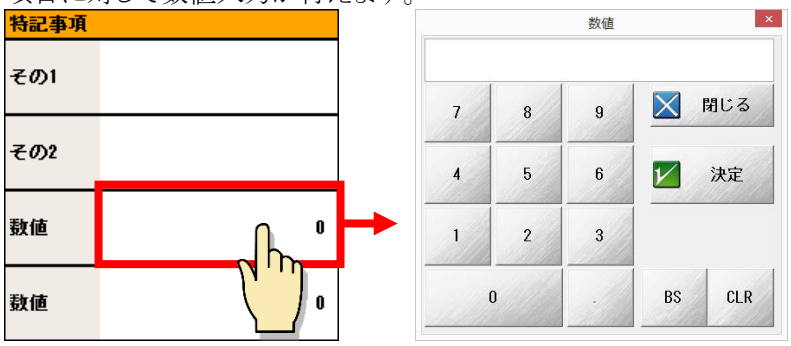
入力処理を中止する場合は、**【閉じる】**ボタンをタップして文字入力ダイアログボックスを閉じます。

② 入力後**【決定】**ボタンをタップすると、設定した文字列がセルに反映されていることが確認できます。



5.2.5. 数値入力の調査項目

白いセル(デフォルト色)をタップした時に、[数値]ダイアログボックスが表示されるセルには、調査項目に対して数値入力が行えます。



① [数値]ダイアログボックスの各数値ボタンをタップすると、テキストボックス(白い部分)に入力した数値が表示されます。
テキストボックス(白い部分)をタップして、調査端末の物理キーボードで文字を入力することも可能です。

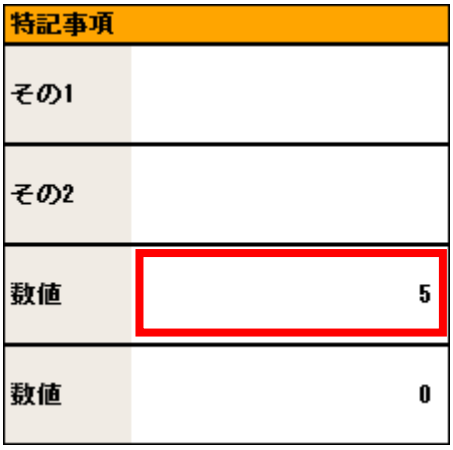
【決定】ボタン

文字入力確定後、**【決定】**ボタンをタップして[**数値**]ダイアログボックスを閉じてください。

【閉じる】ボタン

入力処理を中止する場合は、**【閉じる】**ボタンをタップして[**数値**]ダイアログボックスを閉じます。

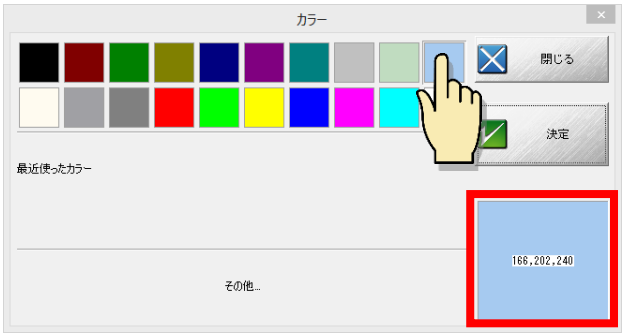
② 入力後、**【決定】**ボタンをタップすると、設定した数値がセルに反映されていることが確認できます。



5.2.6. 色選択の調査項目

黒いセル(デフォルト色)をタップした時に、[**カラー**]ダイアログボックスが表示されるセルには、調査項目に対して色の設定が行えます。

① [**カラー**]ダイアログボックスの各カラーボタンをタップすると、プレビューにタップした色が表示されます。



【その他】ボタン

初期状態で表示されているカラーボタンの色以外を選択する場合にタップしてください。
表示される[**カラー設定**]ダイアログボックスから設定する色を決定後、**【OK】**ボタンをタップしてください。

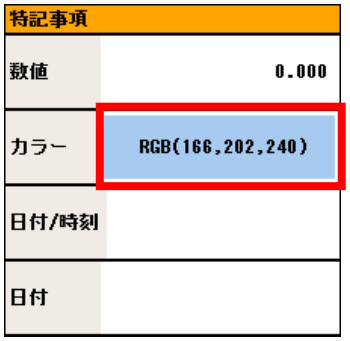
【決定】ボタン

カラー選択確定後、**【決定】**ボタンをタップして[**カラー**]ダイアログボックスを閉じてください。

【閉じる】ボタン

入力処理を中止する場合は、**【閉じる】**ボタンをタップして[**カラー**]ダイアログボックスを閉じてください。

② 該当する色をタップし、**【決定】**ボタンをタップすると、設定した色がセルに反映されていることが確認できます。

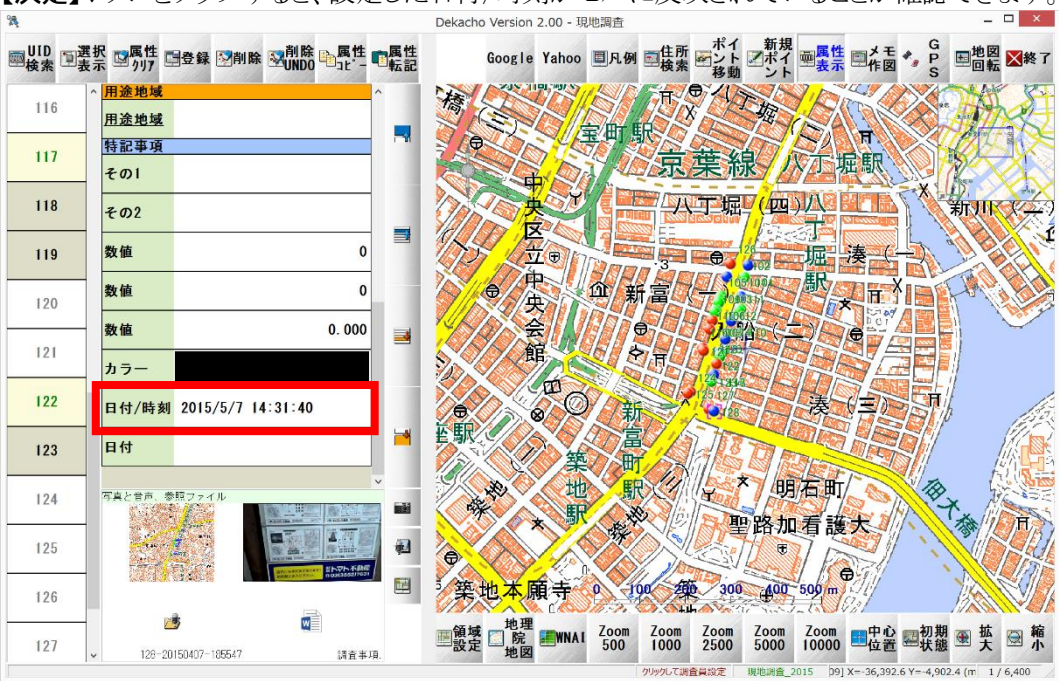


5.2.7. 日付時刻入力の調査項目

白いセル（デフォルト色）をタップした時に、[日付/時刻]ダイアログボックスが表示されるセルには、調査項目に対して日付/時刻の設定が行えます。

① [日付/時刻]ダイアログボックスには、タップした時点の日付/時刻が表示されます。
設定する日付/時刻を設定してください。

② 【決定】ボタンをタップすると、設定した日付/時刻がセルに反映されていることが確認できます。



※日付や時刻は、調査端末の設定によります。意図的に日付や時刻を変更している場合は、その日付、時刻にジャンプします。

日時を設定する

[日付/時刻]ダイアログボックスで日時表示部をタップして、日時を入力します。
タップした箇所(「年/月/日/時/分/秒」のいずれか)が選択状態になります。

年 ： 西暦の入力(下 2 桁まで)
月 ： 月の入力
日 ： 日の入力
時刻： 時;分;秒の入力
※ 入力時繰り上がりはしません。個別で値を設定してください。

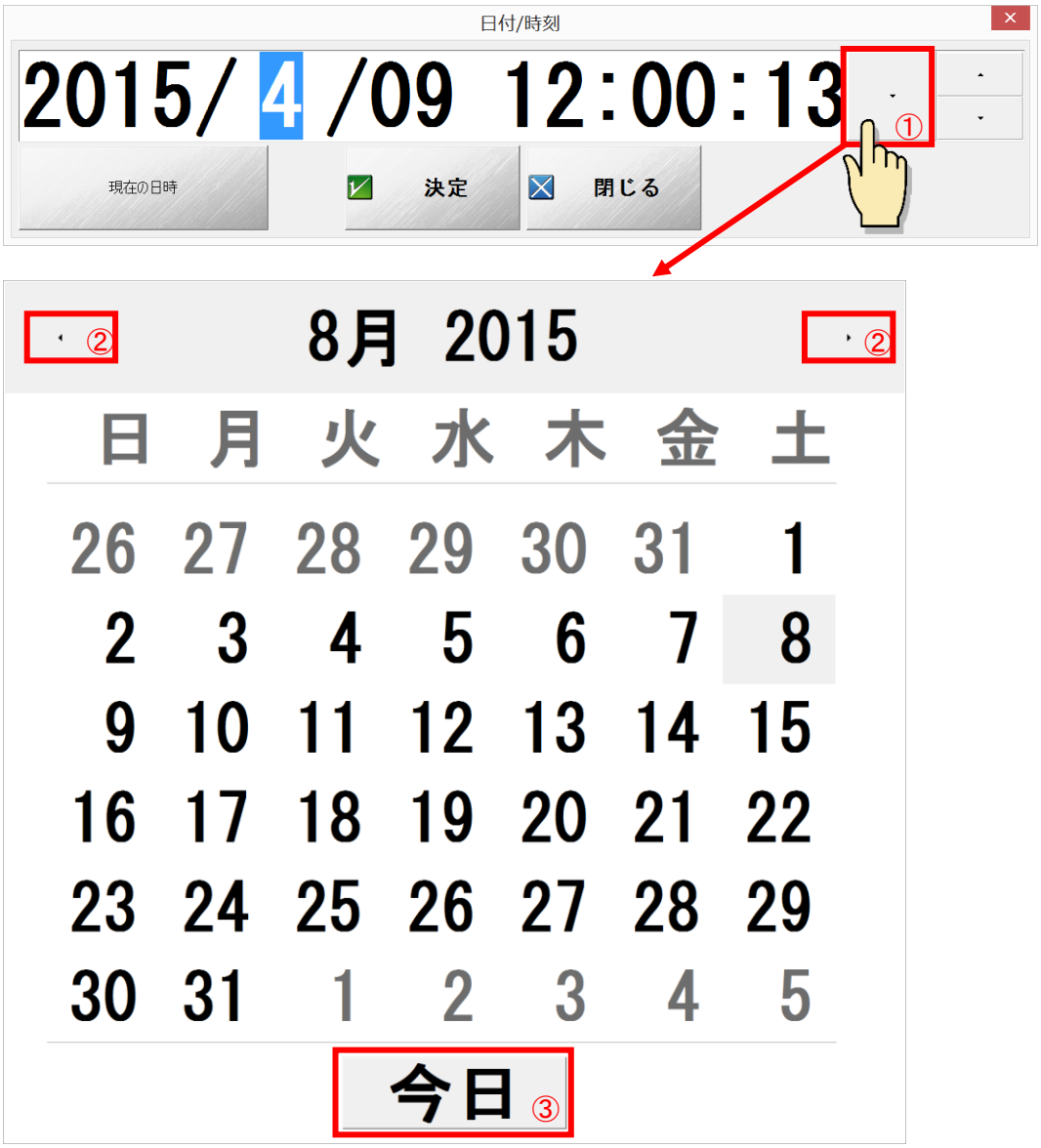
上図①ボタンをタップすると、カレンダーが表示され、カレンダーから日付を設定することができます。
※次ページ『カレンダーで選択した日付にジャンプする』(p.26)も参照してください。
上図②ボタンをタップすると、選択箇所の数値が1繰り上がります。
上図③ボタンをタップすると、選択箇所の数値が1繰り下がります。

本日の日時にジャンプする

【現在の日時】ボタンをタップすると、現在の日時が設定されます。

カレンダーで選択した日付にジャンプする

[日付/時刻]ダイアログボックスの下図①のボタンをタップすると、カレンダーが表示されます。タップされた時点の月のカレンダーが表示され、日付を選択すると日付表示部にタップした日付が表示されます。



月移動【◂】【▸】ボタン(上図②)

カレンダーで表示されている月を移動します。

【今日】ボタン(上図③)

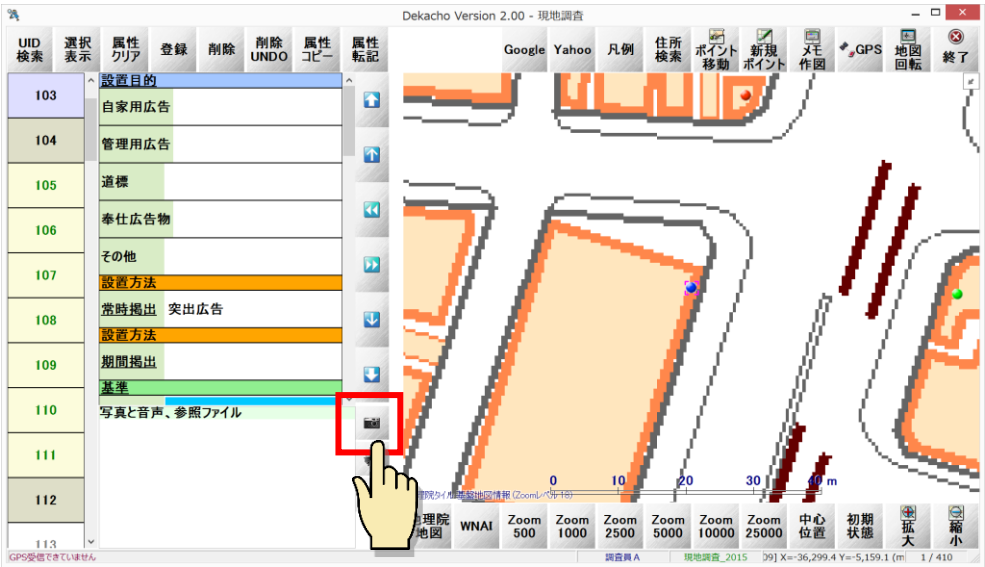
現在の日付を日付表示部に表示します。

日付をタップすると、カレンダーは自動的に閉じ、日付表示部に反映します。

フリック操作で月を選択
カレンダー上部の月・年が表示されている箇所をタッチしたまま、上下いずれかにフリックすることで前後3カ月から月を選択できます。
指を離すことで月を選択します。

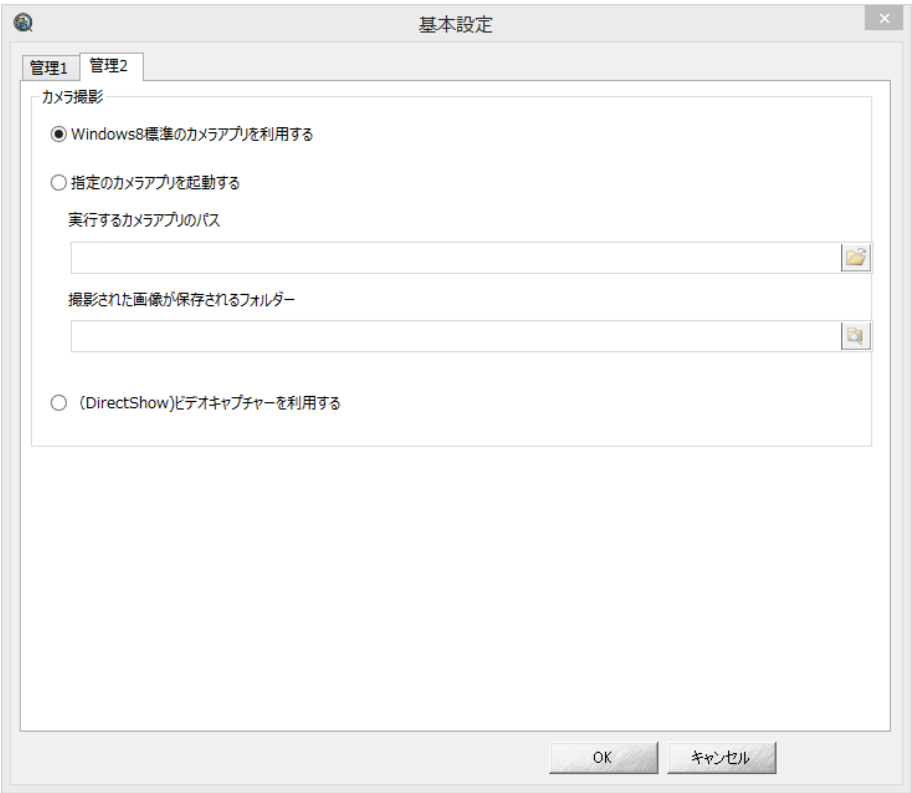
5.3. 現地写真の登録

調査対象物の状況を写真で記録します。
ツール中央部にある【写真を撮る】ボタンをタップするとカメラを起動します。
※カメラ機能が搭載された調査端末であるか、USB カメラ等を接続する必要があります。



5.3.1. 写真撮影

【写真を撮る】ボタンをタップすると、管理ツール「管理 2」パネルの設定に従い、以下の 3 通りの方法でカメラを起動し、撮影可能状態となります。



1. Windows8 標準のカメラアプリを起動します。
2. 管理ツールで設定したカメラアプリを起動します。
3. 管理ツールで設定した(DirectShow)ビデオキャプチャーを起動します。

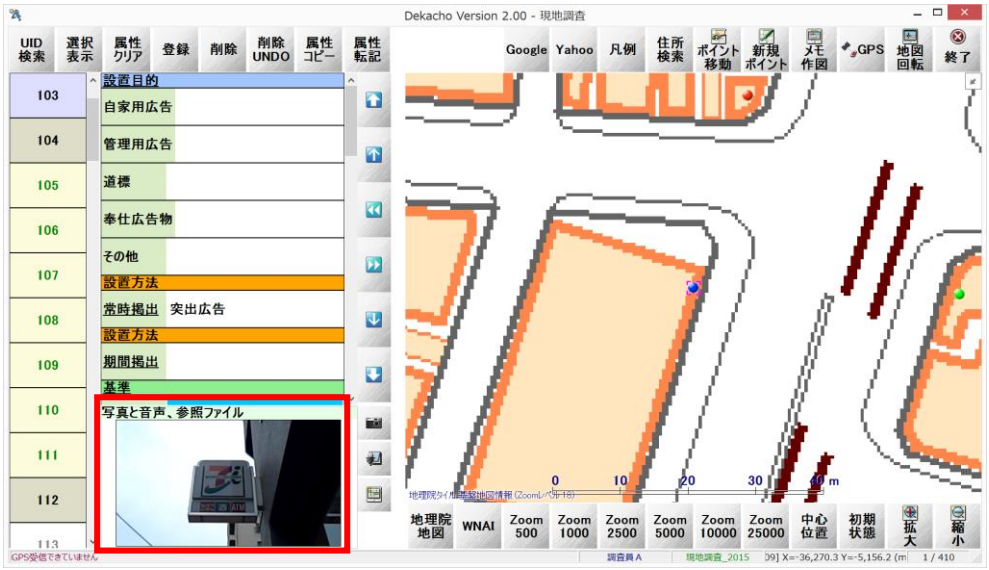
5.3.1.1. Windows8 標準のカメラアプリで撮影する

Windows タブレット PC 固有のカメラアプリ を利用して撮影します。

【写真を撮る】( )ボタンをタップすると Windows タブレット固有のカメラアプリが起動します。

① カメラ使用待機状態になりますので、撮影を行います。
Windows カメラアプリの使用方法は Windows タブレット PC の説明書を確認してください。

② 撮影後、カメラアプリを終了すると、撮影された写真が**「写真と音声、参照ファイルウィンドウ」**に表示されますので、写真がプロジェクトに登録されたことが確認できます。



撮影した写真は、『出簡調』がインストールされているフォルダーの**「プロジェクト名フォルダー」-「レイヤー名フォルダー」-「UID」**フォルダー内に保存されます。
撮影した写真のファイル名：“UID”-“日付”-“時刻” -“連番”.jpg

5.3.1.2. 指定のカメラアプリで撮影する

管理ツールで指定したカメラアプリを利用して撮影します。

【写真を撮る】( )ボタンをタップすると指定したカメラアプリが起動します。

① 指定のカメラアプリ使用待機状態になりますので、撮影を行います。
カメラアプリの使用方法は各アプリの説明書を確認してください。

② 撮影後、カメラアプリを終了すると、撮影された写真が**「写真と音声、参照ファイルウィンドウ」**に表示されますので、写真がプロジェクトに登録されたことが確認できます。

③ 撮影した写真は、管理ツール**「管理 2」パネル**で設定付したフォルダー内に保存されます。
撮影した写真のファイル名：**“UID”–“日付”–“時刻” –“連番”**.jpg

『管理ツール』–「管理 2」パネルで、**「カメラアプリは手動で起動し、指定秒以内に撮影された画像を登録する」**チェックボックスが ON の時は、外部カメラで写真を撮影した後に、**『管理ツール』–「管理 2」パネル**で指定した秒数以内に**【写真を撮る】**( )ボタンをタップすると、写真が登録されます。

5.3.1.3. (DirectShow)ビデオキャプチャーで撮影する

(DirectShow)ビデオキャプチャーで撮影します。

【写真を撮る】( )ボタンをタップすると、[**ビデオキャプチャーコントロール**]ダイアログボックスが表示されます。

※タブレットによりビデオキャプチャー画面の画像が乱れる場合があります。その場合は、他のカメラを選択してください。

① [**ビデオキャプチャーコントロール**]ダイアログボックスが表示され、撮影待機状態になります。
【キャプチャー】ボタンをタップして、撮影してください。

【解像度】ボタン

ボタンをタップすると、解像度メニューが表示されますので、撮影するビデオの解像度をリストから選択します。

【キャプチャー】ボタン

撮影を実行します。
撮影した写真は、『**出簡調**』がインストールされているフォルダーの「プロジェクト名フォルダー」-「レイヤー名フォルダー」-「UID」フォルダー内に保存されます。
撮影した写真のファイル名：“UID”-“日付”-“時刻”.jpg

【カメラ選択】ボタン

内臓カメラ、接続されているカメラが 1 台の場合、自動的にカメラを選択してキャプチャーします。
複数台接続されている場合は端末のデフォルトに設定されているものを最初に選択します。
複数台接続されている場合は、接続されているカメラからキャプチャーするカメラを選択することができます。

【閉じる】ボタン

撮影を中止して、[**ビデオキャプチャーコントロール**]ダイアログボックスを閉じます。

② 撮影後、カメラアプリを終了すると、撮影された写真が「**写真と音声、参照ファイルウィンドウ**」に表示されますので、写真がプロジェクトに登録されたことが確認できます。

5.3.2. 撮影した写真を確認する

「写真と音声、参照ファイルウィンドウ」に撮影、録音したファイルや画面コピーした地図等が表示されます。

5.3.2.1. 撮影した写真を見る

撮影した写真を確認する場合、確認する写真をタップして表示される[写真]メニューを利用します。ビューアーに撮影した写真が表示されます。

① 表示する写真をタップしてください。[写真]メニューが表示されます。

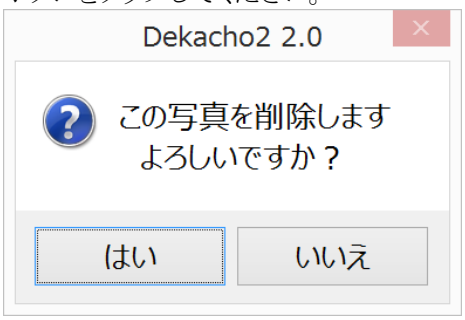
② [この写真を見る]メニューをタップしてください。
端末固有のビューアーが起動して、選択した写真を表示します。

5.3.2.2. 撮影した写真を削除する

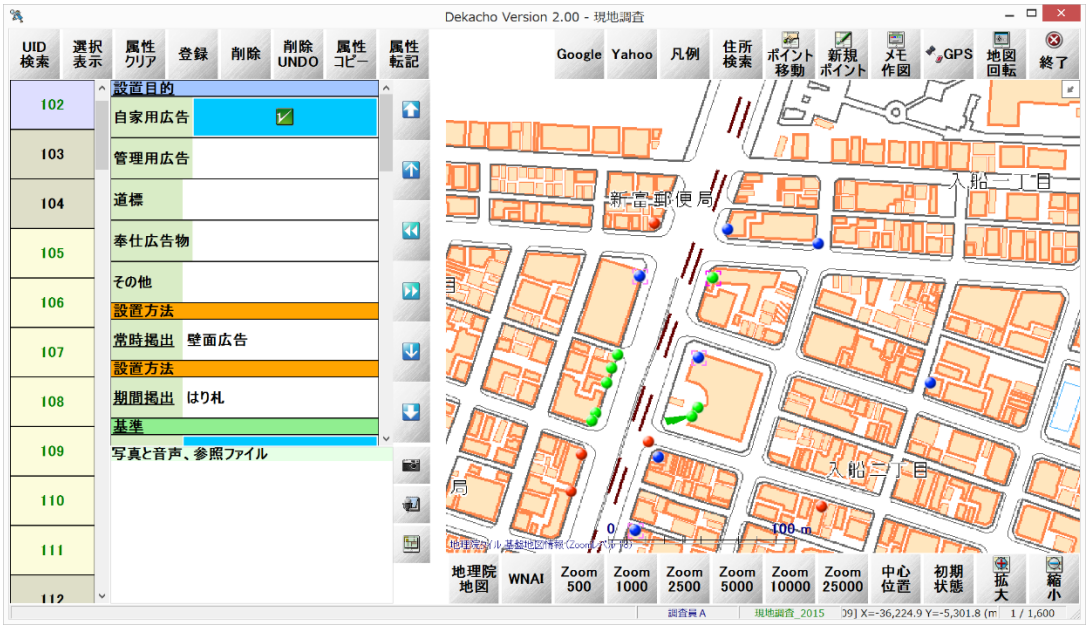
撮影した写真を削除する場合、確認する写真をタップして表示される[**写真**]メニューを利用します。

① 表示する写真をタップしてください。[**写真**]メニューが表示されます。

② [**この写真を削除する**]メニューをタップしてください。
メッセージボックスが表示されます。削除する場合は【**はい**】ボタンを、削除しない場合は【**いいえ**】ボタンをタップしてください。



③ 【**はい**】ボタンをタップすると、選択した画像が「**写真と音声、参照ファイルウィンドウ**」から解除されますので、削除されたことが確認できます。



5.3.2.3. 撮影した写真を確認する

撮影した写真は、それぞれの調査対象物の UID 番号が付けられた自動生成フォルダーに保存されます。

保存場所は、『出簡調』がインストールされているフォルダーの「“プロジェクト名”フォルダー」-「“レイヤー名”フォルダー」-「UID」フォルダーとなります。

例：C ドライブにインストールし、プロジェクト名が「現地調査」で、レイヤー名が「現地調査 2015」、UID が 104 の場合
→C:¥Dekacho2¥現地調査¥現地調査 2015¥104¥

5.3.3. 撮影方向作図

写真を撮影した方向を地図上に矢印で表示します。
作図する写真をタップして表示される[写真]メニューを利用します。

5.3.3.1. 影方向を作図する

① 作図する写真をタップしてください。[写真]メニューが表示されます。

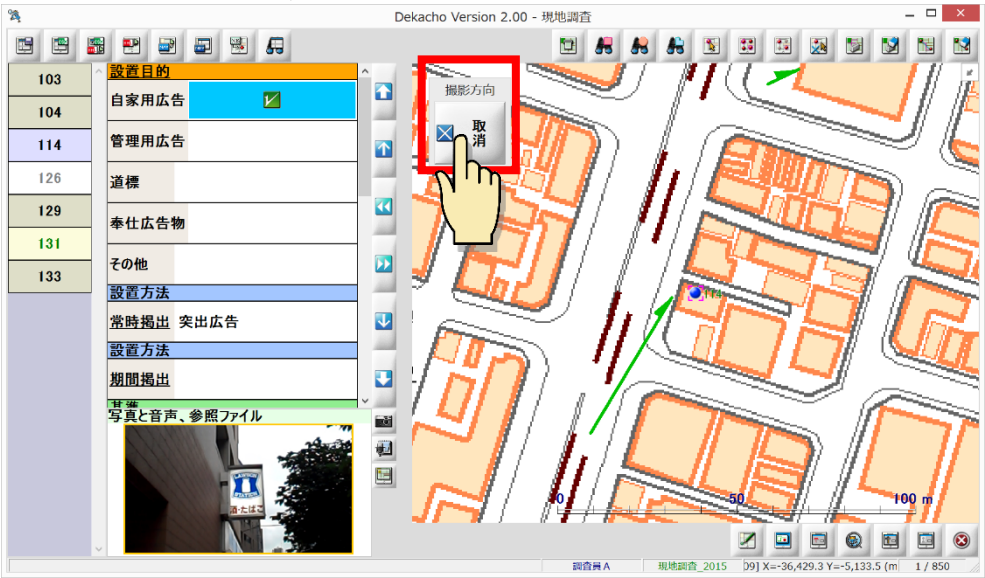
② [撮影方向を作図する]メニューをタップしてください。
撮影方向作図モードに入り、【撮影方向(取消)】ボタンが表示され、かつ、画面左下にステータスが表示されます。

③ 矢印の始点と終点を地図上でタップしてください。
地図上に緑色の矢印が作図されます。作図が終了した写真はオレンジ色の枠で囲まれます。

作図した矢印を修正する時は、再度[**撮影方向を作図する**]メニューをタップしてください。
これまでに追加していた矢印が消去されますので、新しく矢印を追加しなおしてください。
この時の UNDO 操作はありませんのでご注意ください。

5.3.3.2. 撮影方向の作図を終了する

撮影方向の作図処理を、中断または終了するには、【**撮影方向(取消)**】ボタンをタップしてください。
撮影方向作図モードが解除され、通常時の状態に戻ります。



5.3.3.3. 作図した撮影方向を削除する

作図した撮影方向矢印を削除します。

① 撮影方向を作図した写真をタップすると[写真]メニューに、[撮影方向データを削除する]メニューが追加されます。

② [撮影方向データを削除する]メニューをタップすると作図した撮影方向データを削除します。同時に、写真のオレンジ色の枠も解除されます。

5.4. 音声機能

調査対象物の状況を音声で記録します。
ツール中央部にある【ボイスメモ】ボタンをタップすると、[ボイスメモ]ダイアログボックスを表示します。
※マイク機能が搭載された調査端末であるか、USB マイク等を接続する必要があります。

5.4.1. 音声録音

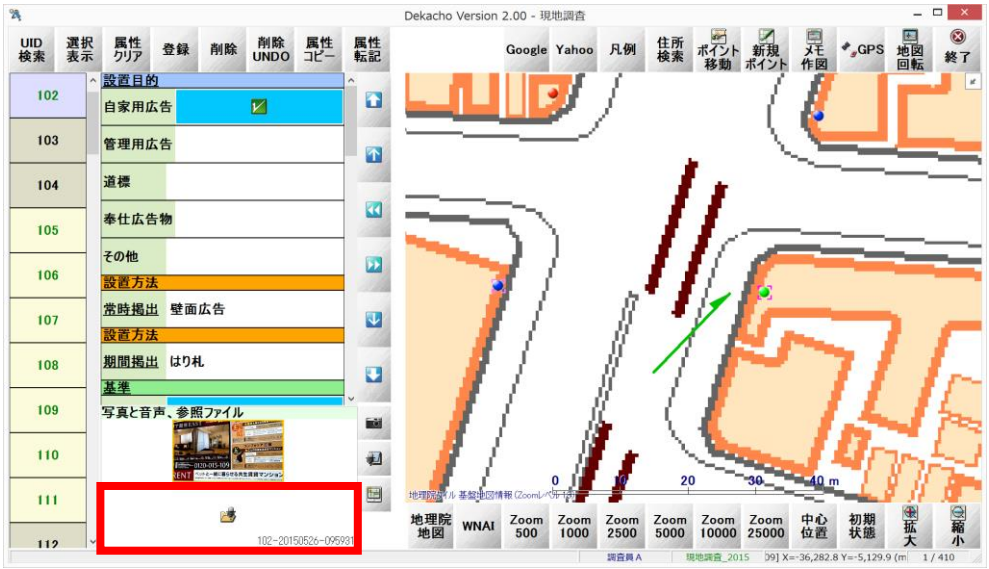
現場の音声や、口頭で調査内容を記録する場合は、音声を録音します。

① [ボイスメモ]ダイアログボックスの【Rec】ボタンをタップして、音声の録音を開始します。

② 録音中はダイアログボックスのタイトルが[ボイスメモ 録音中]となり、ダイアログボックス内に動くバーを表示して録音していることをお知らせします。【Stop】ボタンをタップすると録音を終了します。

③ 録音終了後はダイアログボックスのタイトルが[**ボイスメモ 録音済み**]になります。
【保存して閉じる】ボタンをタップすると、録音した音声を音声ファイルとして保存します。
【キャンセル】ボタンをタップすると、保存せずに音声ファイルを破棄します。
【保存して閉じる】ボタン、**【キャンセル】**ボタンをタップすると[**ボイスメモ 録音済み**]ダイアログボックスを閉じます。

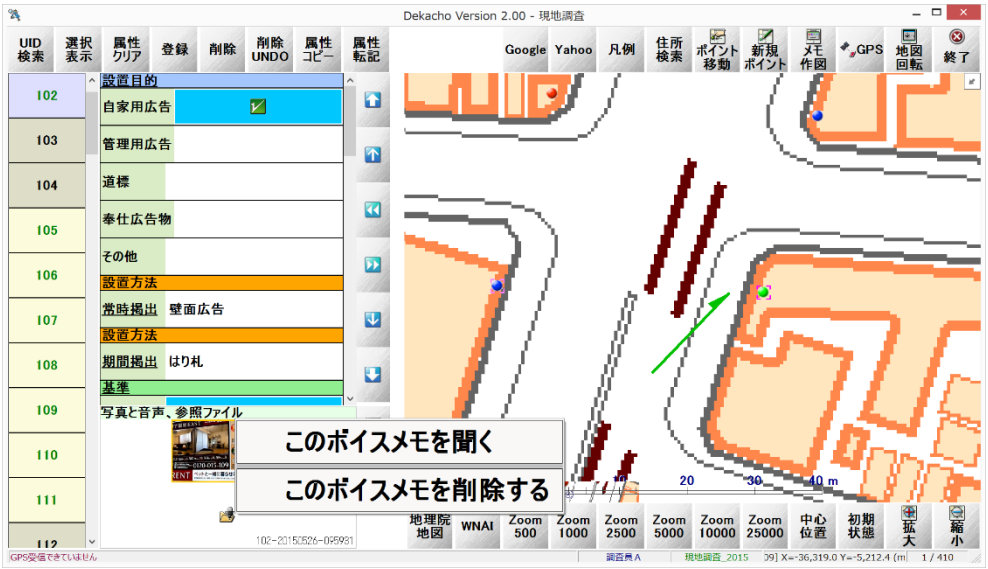
④ 録音後、録音された音声ファイルが**「写真と音声、参照ファイルウィンドウ」**に表示されますので、音声がプロジェクトに登録されたことが確認できます。



録音した音声は、**『出簡調』**がインストールされているフォルダーの**「プロジェクト名フォルダー」**-**「レイヤー名フォルダー」**-「UID」フォルダー内に保存されます。
録音した音声のファイル名：“UID”-“日付”-“時刻”.wav

5.4.2. 録音音声の確認

保存した音声ファイルは**「写真と音声、参照ファイルウィンドウ」**に表示されます。
音声ファイルをタップすると[音声ファイル]メニューが表示され、音声ファイルを操作できます。
録音した音声データが表示されますので、確認するデータをタップしてください。
Windows 既定の音楽ソフトで、音声が再生されます。



[このボイスメモを聞く]メニュー

録音した音声ファイルを再生します。再生は Windows 既定の音楽ソフトを利用します。

[このボイスメモを削除する]メニュー

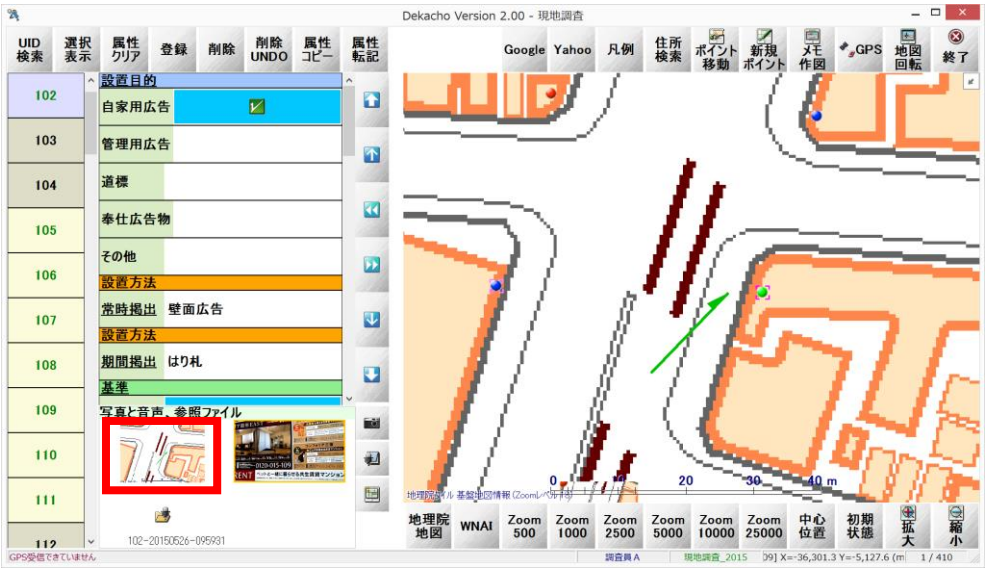
録音した音声ファイルを削除します。

5.5. 地図画面の画像取得

画面上に表示されている地図のハードコピーを取得し、画像ファイルとして保存します。
ツール中央部にある【地図画面コピー】ボタンをタップすると、直ちに処理を実行します。

5.5.1. 地図画面の保存

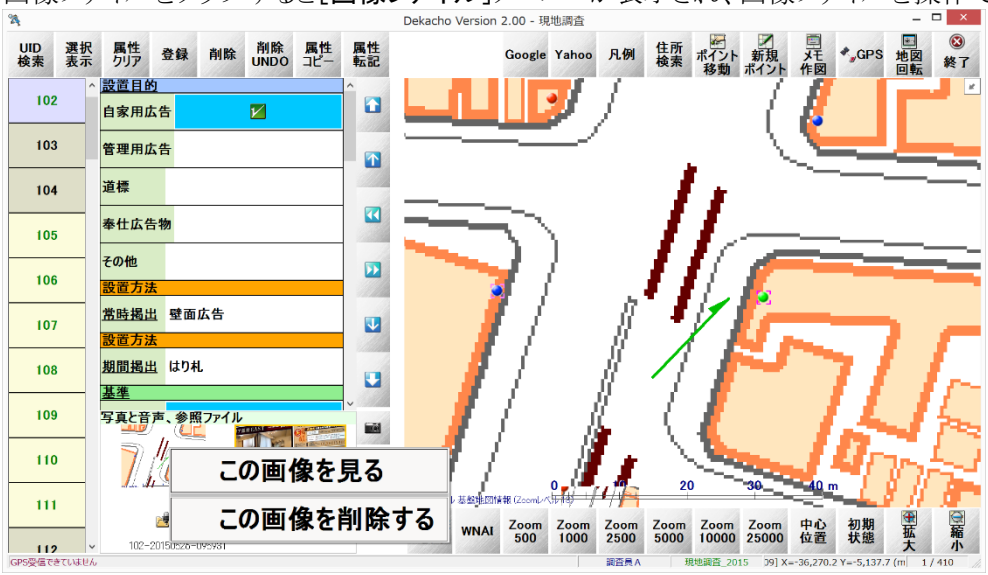
地図画像を取得する場所を、拡大・縮小・移動等を利用して画面に表示します。
【地図画面コピー】ボタンをタップすると、取得された地図が「写真と音声、参照ファイルウィンドウ」に表示されますので、画像がプロジェクトに登録されたことが確認できます。



取得した地図は、『出簡調』がインストールされているフォルダーの「プロジェクト名フォルダー」-「レイヤー名フォルダー」-「UID」フォルダー内に保存されます。
取得した地図のファイル名：“UID”-“日付”-“時刻”.png

5.5.2. 地図画面の確認

保存した画像ファイルは**「写真と音声、参照ファイルウィンドウ」**に表示されます。
画像ファイルをタップすると[**画像ファイル**]メニューが表示され、画像ファイルを操作できます。

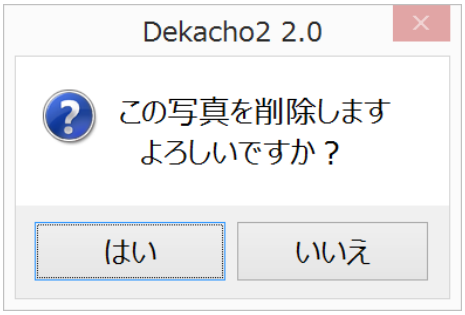


[この画像を見る]メニュー

端末固有のビューアーが起動して、選択した画像を表示します。

[この画像を削除する]メニュー

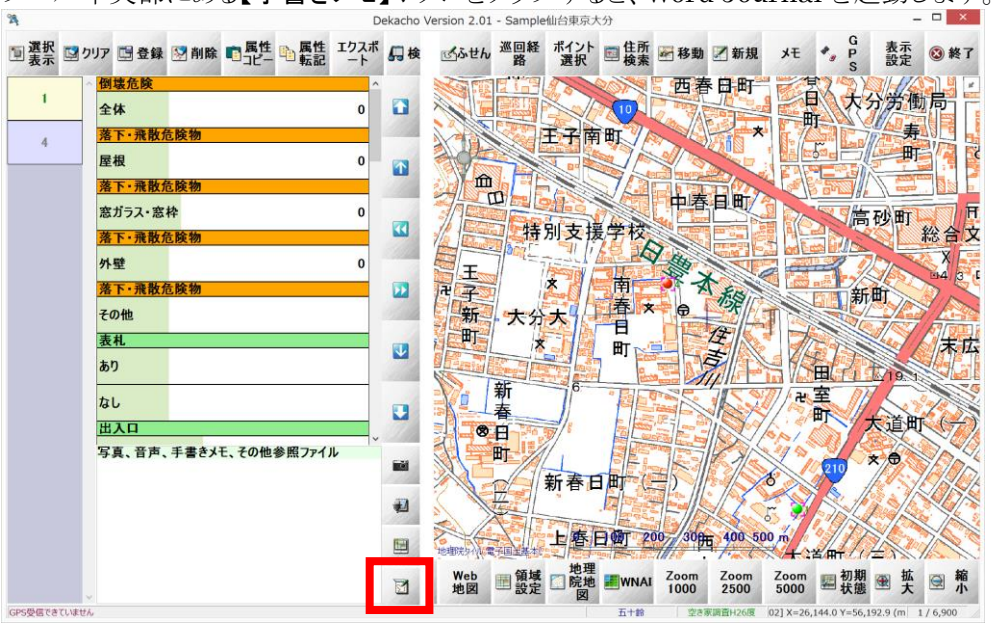
画像を選択して、[**この写真を削除する**]メニューをタップしてください。
メッセージボックスが表示されます。削除する場合は**【はい】**ボタンを、削除しない場合は**【いいえ】**ボタンをタップしてください。



【はい】ボタンをタップすると、選択した画像が**「写真と音声、参照ファイルウィンドウ」から解除されますので、**削除されたことが確認できます。

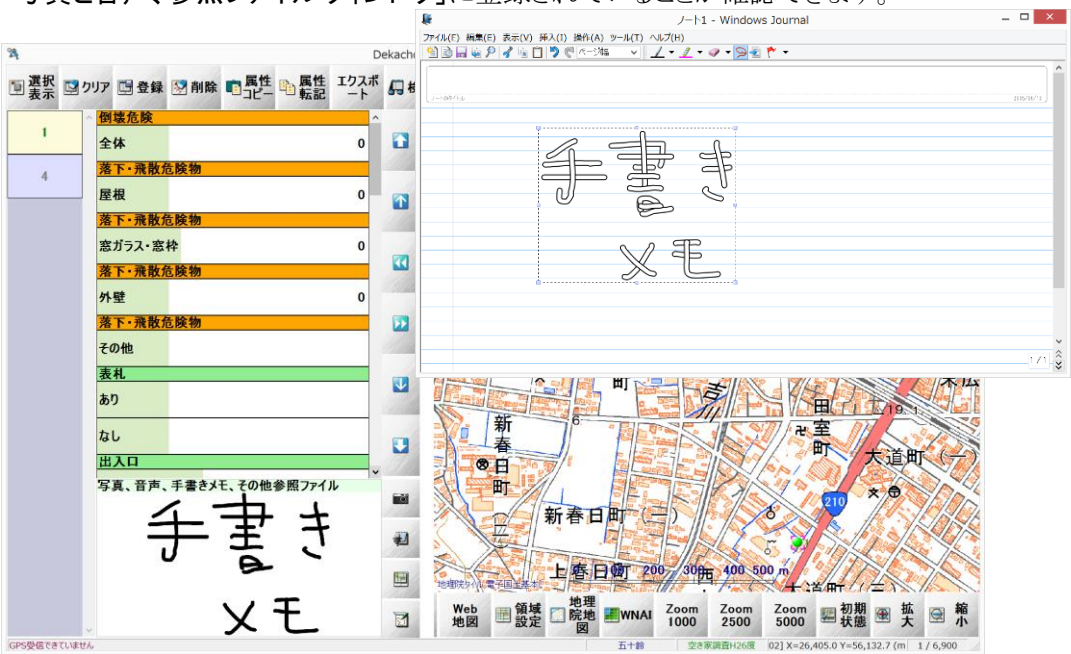
5.6. 手書きメモ

Word Journal を利用して、手書きでメモ書きしたものを画像として、登録します。
ツール中央部にある【手書きメモ】ボタンをタップすると、Word Journal を起動します。



5.6.1. 手書き入力

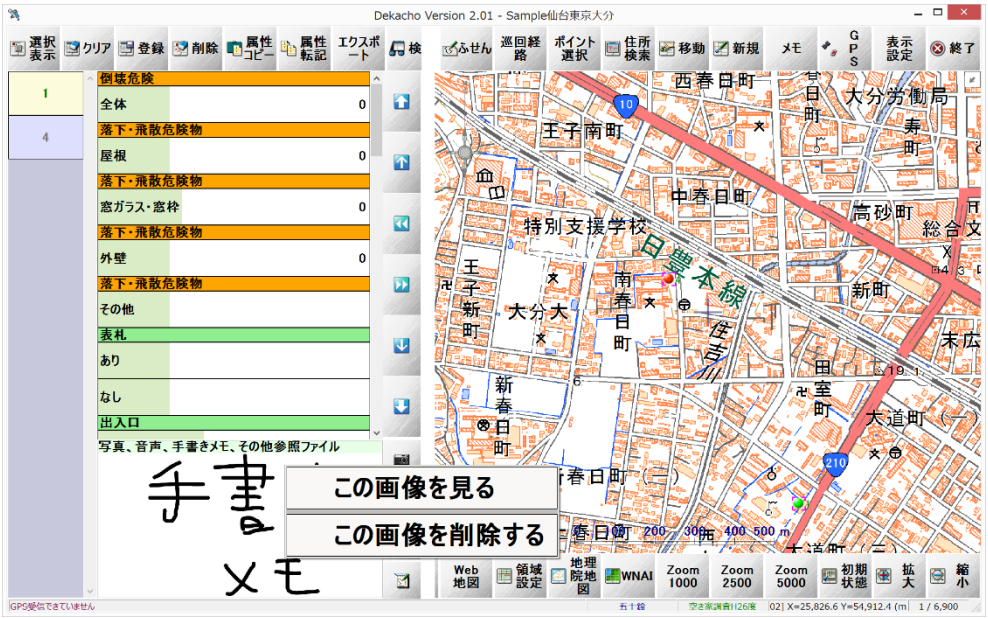
【手書きメモ】ボタンをタップすると、Word Journal が起動します。
Word Journal 上で、入力したものをコピーし、『出簡調』をアクティブにすると、コピーした内容が「写真と音声、参照ファイルウィンドウ」に登録されていることが確認できます。



取得した画像は、『出簡調』がインストールされているフォルダーの「プロジェクト名フォルダー」-「レイヤー名フォルダー」-「UID」フォルダー内に保存されます。
取得した地図のファイル名：“UID”-“日付”-“時刻”-M.png

5.6.2. 手書きメモの確認

保存した手書きメモファイルは「**写真と音声、参照ファイルウィンドウ**」に表示されます。
画像ファイルをタップすると[**手書きメモファイル**]メニューが表示され、手書きメモファイルを操作できます。

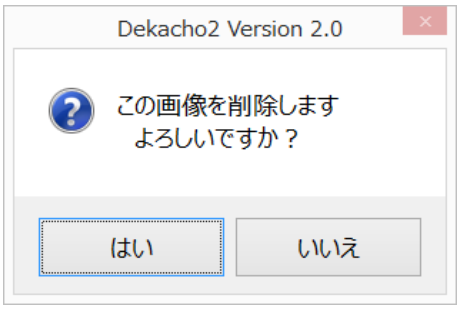


[この画像を見る]メニュー

端末固有のビューアーが起動して、選択した画像を表示します。

[この画像を削除する]メニュー

画像を選択して、[**この画像を削除する**]メニューをタップしてください。
メッセージボックスが表示されます。削除する場合は【**はい**】ボタンを、削除しない場合は【**いいえ**】ボタンをタップしてください。



【**はい**】ボタンをタップすると、選択した画像が「**写真と音声、参照ファイルウィンドウ**」から解除されますので、削除されたことが確認できます。

5.7. 外部ファイルの関連付け

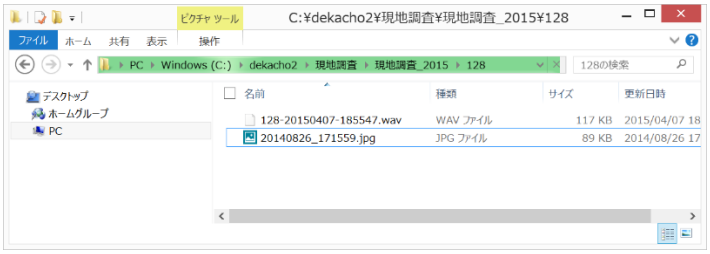
『5.3.現地写真の登録』(p.27)や、『5.4.音声機能』(p.37)で登録したファイルだけでなく、画像形式の図面や、Excel、PDF のような外部形式ファイルを、『出簡調』ファイルに関連付けて、『出簡調』から閲覧することができます。
調査対象物の該当 UID フォルダーに、閲覧するファイルを置くことで、外部ファイルを閲覧することができます。
※タブレットに、該当ファイルを閲覧する機能が必要となります。

5.7.1. 外部ファイルを登録する

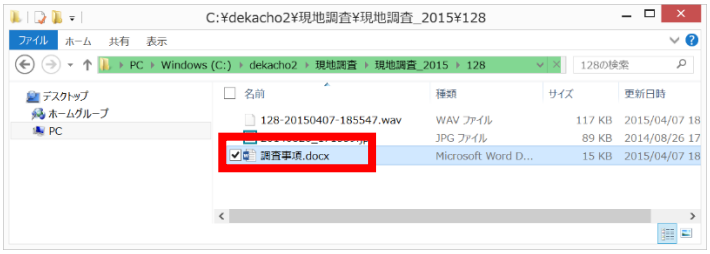
5.7.1.1. 既に対応フォルダーがある場合

『5.3.現地写真の登録』(p. 27)や、『5.4.音声機能』(p. 37)でファイルを登録した場合、『出簡調』がインストールされているフォルダーの「**"プロジェクト名"フォルダー**」-「**"レイヤー名"フォルダー**」-「UID」フォルダーが作成されています。

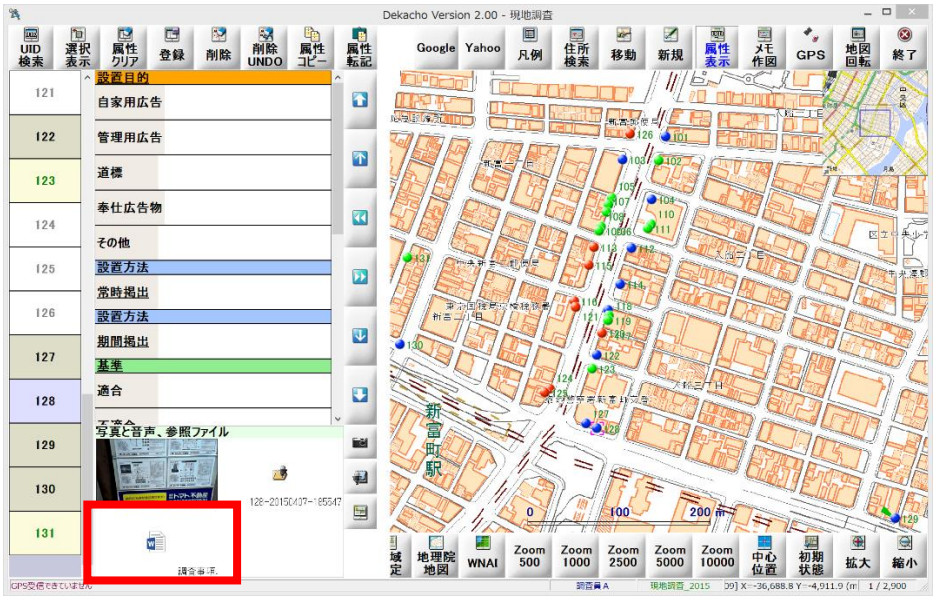
① エクスプローラーを開き、ファイルを登録する「UID」フォルダーを開きます。



② 登録するファイルを保存します。



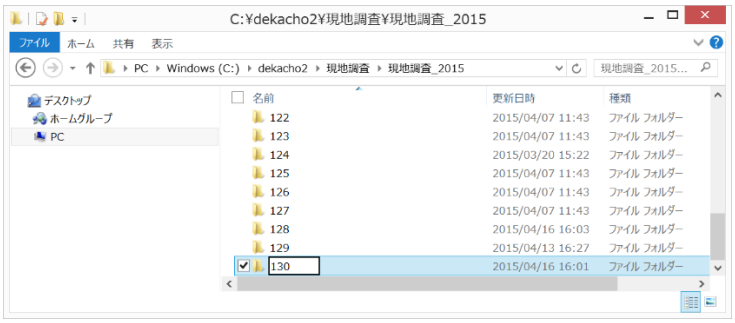
③ 『出簡調』を再起動すると、エクスプローラーでコピーした外部ファイルが「**写真と音声、参照ファイルウィンドウ**」に登録されていることが確認できます。



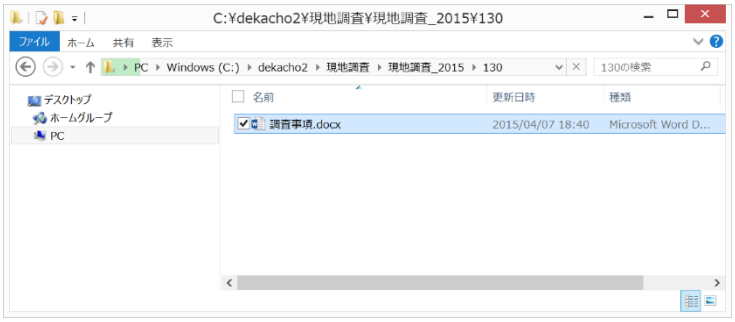
5.7.1.2. 対応フォルダーがない場合

ポイントを新規追加した場合のみでは、対応 UID フォルダーは作成されません。『出簡調』がインストールされているフォルダーの「“プロジェクト名”フォルダー」-「“レイヤー名”フォルダー」に、該当の「UID」フォルダーを新規作成して、登録するファイルをコピーしてください。

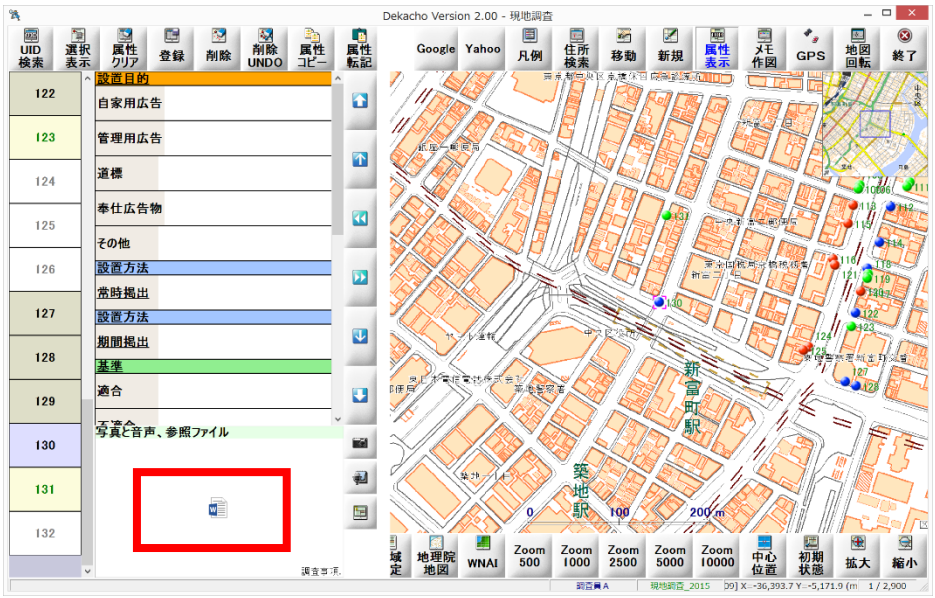
① エクスプローラーを開き、新規フォルダーを作成します。
フォルダー名は、ファイルを登録する調査対象物の UID 名としてください。



② 登録するファイルを保存します。



③ 『出簡調』を再起動すると、エクスプローラーでコピーした外部ファイルが「写真と音声、参照ファイルウィンドウ」に登録されていることが確認できます。



5.7.2. 外部ファイルを閲覧する

登録した外部ファイルをタップすると、[**このファイルを開く**]メニューが表示されます。メニューをタップすると外部ファイルを該当のアプリケーションで表示します。

5.7.3. 外部ファイルを削除する

登録した外部ファイルを削除する場合は、『**出簡調**』システムから操作は行えません。
エクスプローラーで、保存したフォルダーから削除してください。

5.8. 情報シート

写真を撮った際に、写真に対して、Excel の表や、矢印、円といった情報シートを張り付けることができます。

※この機能を利用する際は、別途スクリプトの設定が必要です。詳しくは『出簡調管理ツールマニュアル』を参照してください。

※情報シートは、エクセルの設定及び対になるスクリプトにより異なります。

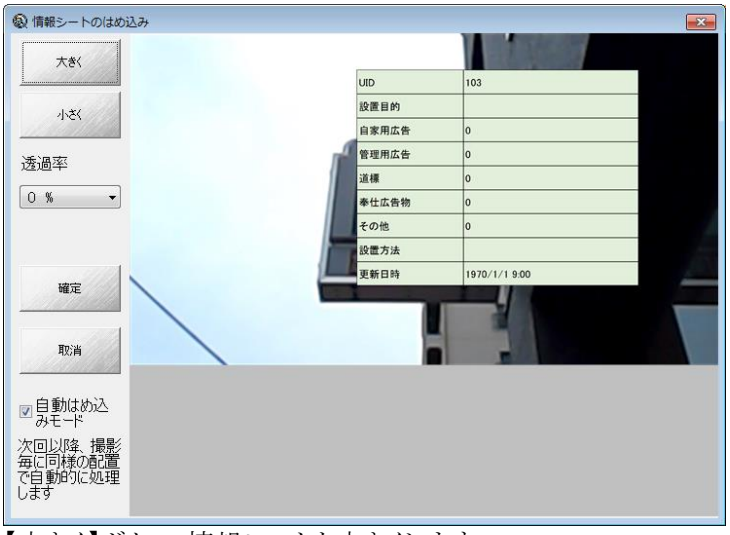
5.8.1. 情報シートを貼り付ける

登録した写真をタップした時に、メニューに[情報シート**を貼り付ける]が表示される場合、このメニューが実行できます。

① [情報シート**を貼り付ける]をタップします。

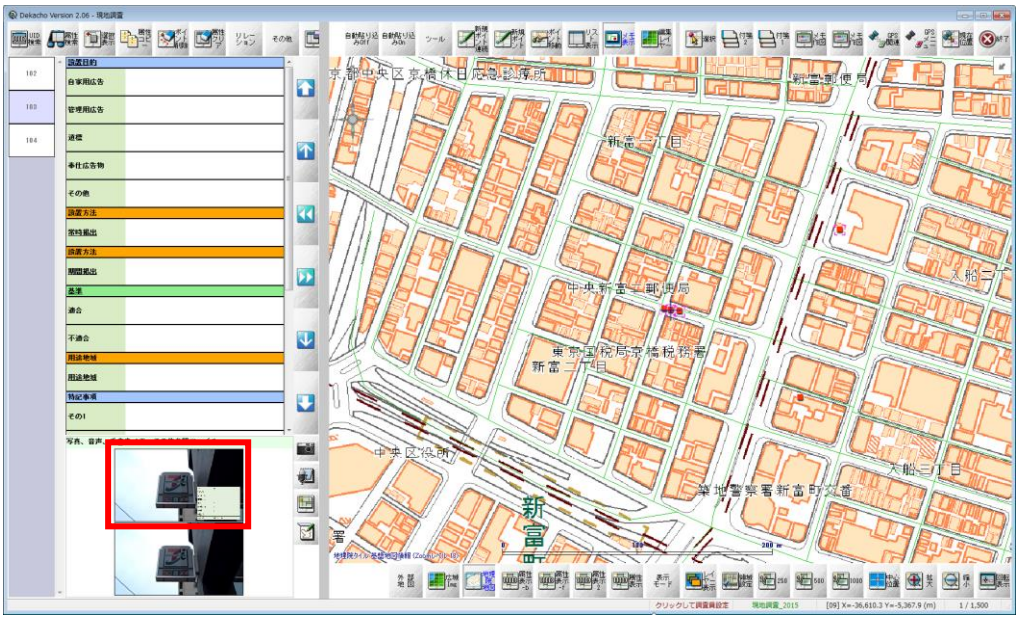
② [情報シートのはめ込み]ダイアログボックスが表示されます。

設定されている情報シートが貼りついた状態でプレビューが表示されます。情報シートをスワイプすることで、位置を移動します。



【大きく】ボタン:情報シートを大きくします。
【小さく】ボタン:情報シートを小さくします。
透過率:プルダウンから情報シートの透過率を設定します。
「自動はめ込みモード」チェックボックス:
ON の場合、次回以降の撮影時に同じ位置に情報シートを表示します。
【確定】ボタン:設定を反映してダイアログボックスを閉じます。
【取消】ボタン:設定を破棄してダイアログボックスを閉じます。

③ 【確定】ボタンをタップすると、情報シートが貼り付いた画像が新たに写真ファイルとして登録されます。
保存されたファイルは、末尾に「-BM」が付与されます。

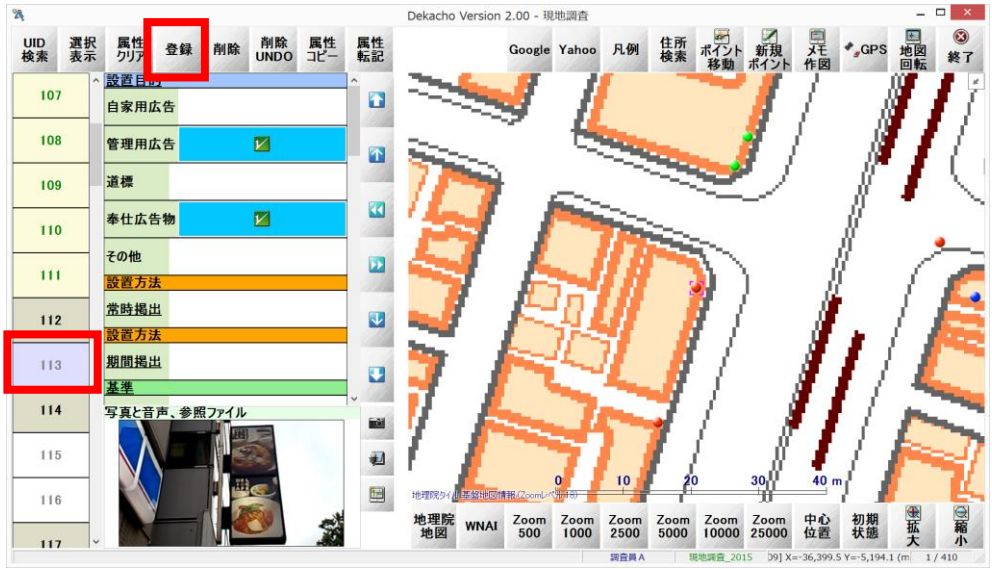


④ 情報シートを貼り付けた画像の閲覧、削除等は、通常の写真の閲覧削除と同様に行うことができます。

5.9. 登録

調査対象物に対し、属性リストボックスで入力終了後は、システム画面左上の【登録】ボタンをタップし、調査内容を保存します。

① 【登録】ボタンをタップしてください。



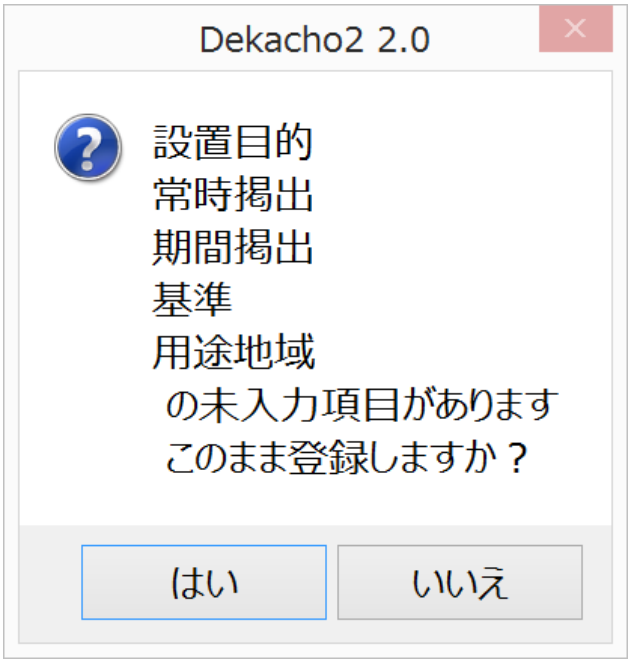
② 登録が完了すると、システム画面左側の UID 番号一覧の文字色がグレーから黒に、UID リストの背景色も変更されます。以下を参照してください。

UID	未登録の場合
UID	未入力項目がなくて、登録済み
UID	未入力項目があって登録済の場合

また地図上に表示されている調査対象物ポイントが変更されます。

調査対象物ポイントの状態については、【凡例】ボタンをタップすると表示される凡例を参照し、確認してください。(『6.2.5.9.凡例表示』(p.110)参照)。

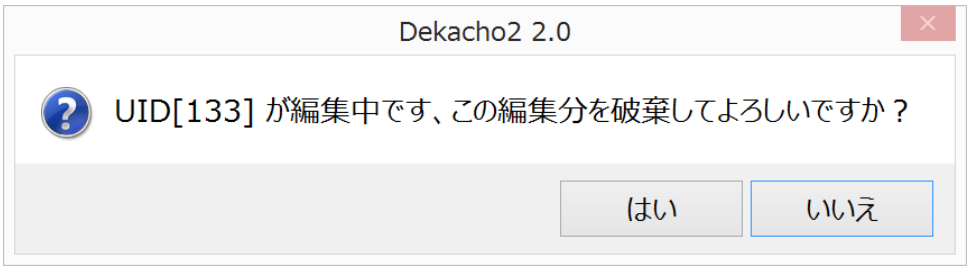
③ 未入力の項目がある場合、ダイアログボックスが表示されます。



【はい】ボタンをタップすると登録を実行します。
【いいえ】ボタンをタップすると、登録を中止します。

登録は一つ一つの調査対象物に対して実行してください。

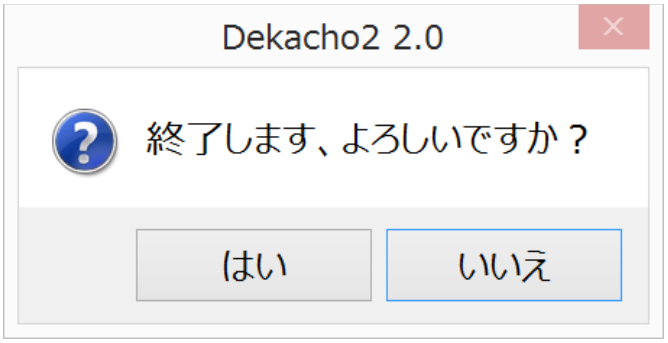
④ 登録作業を実行せずに、他の UID をタップすると、メッセージボックスが表示されます。
編集を破棄して、次の UID を編集する場合は**【はい】**をタップしてください。
編集を登録する場合は、**【いいえ】**をタップして**【登録】**ボタンをタップしてから次の UID 作業に移動してください。



5.10. 終了

システムを終了します。

① 【終了】ボタン( )をタップすると、メッセージボックスが表示されます。
終了する場合は【はい】ボタンを、終了しない場合は【いいえ】ボタンをタップしてください。



6. 便利な機能

カスタマイズにより『出簡調』では様々な機能を利用できます。以下に全機能を紹介します。
メニュー名、ツールバーボタンのイメージは、デフォルトとなりますので、変更されている場合は、各自置き換えてご参照ください。

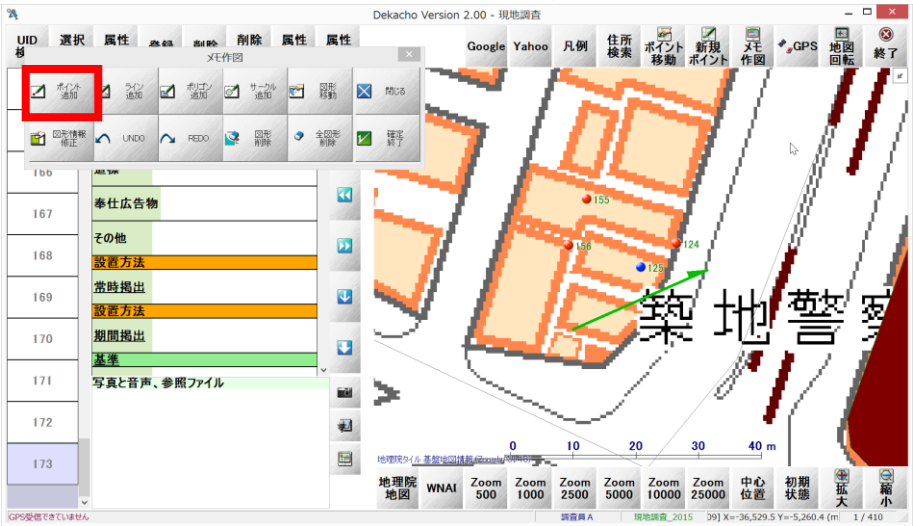
6.1. メモ作図

地図上にメモとして、図形(ポイント、ライン、ポリゴン、サークル)と、情報を入力します。
【メモ作図】ボタンをタップすると[**メモ作図**]ダイアログボックスが表示されます。

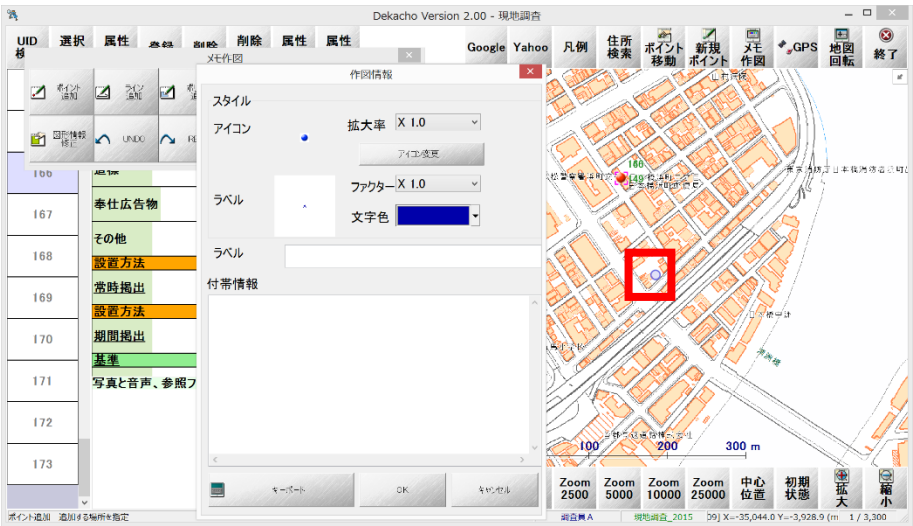
6.1.1. 【ポイント追加】ボタン

地図上にメモとしてポイントを追加します。

① **【ポイント追加】**ボタンをタップ後、ポイントを置く位置をタップしてください。



② ポイントが追加され、[**作図情報**]ダイアログボックスが表示されます。



[作図情報]ダイアログボックス

スタイル

アイコン

ポイント形状のプレビューが表示されます。
【アイコン変更】ボタンをタップすると、[**シンボル**]ダイアログボックスが表示されます。一覧からポイントの形状を選択し、**【OK】**ボタンをタップすると、変更が反映されます。

拡大率

ポイントの大きさを設定します。
プルダウンをタップすると、1.0 倍、1.5 倍、2.0 倍、3.0 倍、4.0 倍から選択できます。

ラベル

ポイントに表示させる文字列のサイズをプレビューします。

ファクター

ポイントに表示させる文字列の大きさを設定します。
プルダウンをタップすると、1.0 倍、1.5 倍、2.0 倍、3.0 倍、4.0 倍、5.0 倍から選択できます。

文字色

ポイントの文字列の色を設定します。
プルダウンをタップすると、[**カラー選択**]ダイアログボックスが表示されます。各カラーボタンまたは**【その他】**ボタンをタップして色を設定後、**【決定】**ボタンをタップすると、変更が反映されます。**【閉じる】**ボタンをタップした場合、色の変更は反映されません。

ラベル

追加したポイントに表示させる文字列を入力してください。

付帯情報

追加したポイントの付帯情報を入力してください。
入力した内容は、確定後、ポイントをタップすると、吹き出しでラベルと共に表示されます。

【キーボード】ボタン

スクリーンキーボードを表示します。

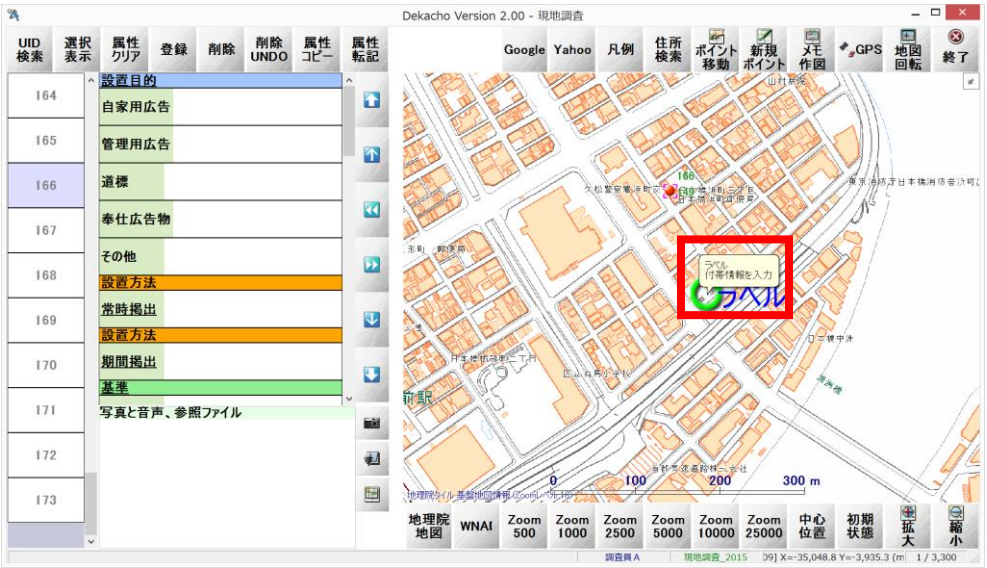
【OK】ボタン

設定を反映して、[**作図情報**]ダイアログボックスを閉じ、[**メモ作図**]ダイアログボックスに戻ります。

【キャンセル】ボタン

設定を破棄して、[**作図情報**]ダイアログボックスを閉じ、[**メモ作図**]ダイアログボックスに戻ります。

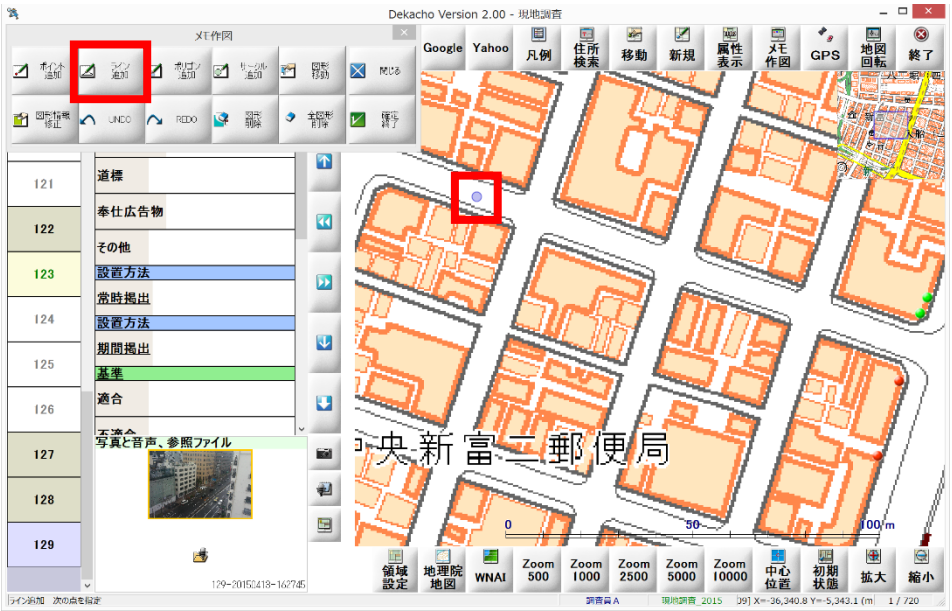
③ ［作図情報］ダイアログボックスの【OK】ボタンをタップし、［メモ作図］ダイアログボックスの【閉じる】ボタンをタップすると、設定したポイントが地図上に追加されたことが確認できます。
※ポイントのみ、ラベルに入力した文字列が画面上に表示されます。



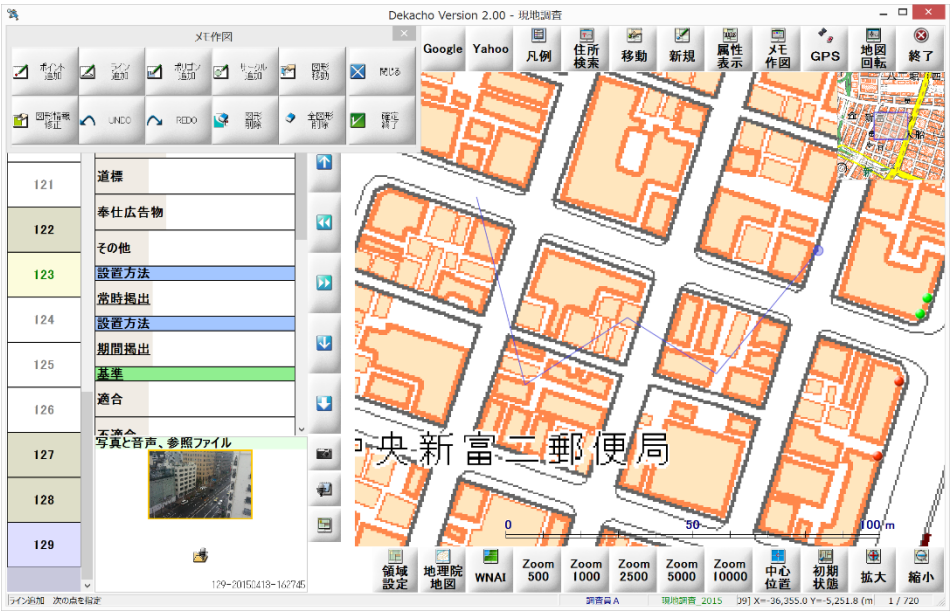
6.1.2.【ライン追加】ボタン

地図上にメモとしてラインを追加します。

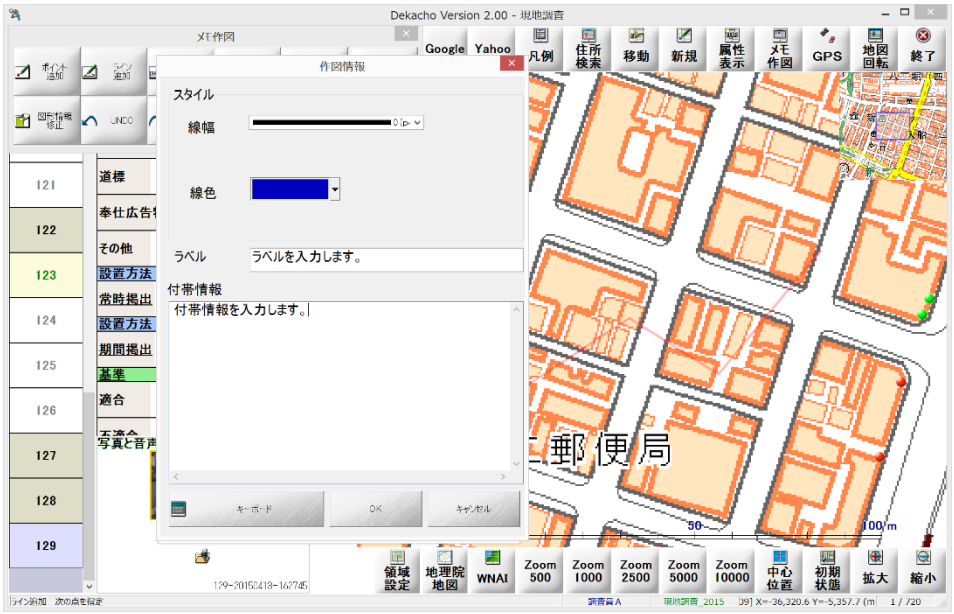
① 【ライン追加】ボタンをタップ後、ラインの始点をタップしてください。ラインの始点が確定し、青〇で表示されます。



② ラインの屈曲点をタップして指定してください。



③ ライン終点で、ダブルタップ、もしくは、[**メモ作図**]ダイアログボックスの【**確定終了**】ボタンをタップすると、ラインが追加され、[**作図情報**]ダイアログボックスが表示されます。



[**作図情報**]ダイアログボックス

スタイル

線幅

ラインのプレビューが表示されます。
プルダウンをタップすると、線幅を 2px、5px、10px、15px から選択できます。

線色

ラインの色を設定します。
プルダウンをタップすると[**カラー選択**]ダイアログボックスが表示されます。
各カラーボタンまたは【**その他**】ボタンをタップして色を設定後、【**決定**】ボタンをタップすると、変更が反映されます。【**閉じる**】ボタンをタップした場合、色の変更は反映されません。

ラベル

ラインのラベル文字列を入力してください。

付帯情報

ラインの付帯情報を入力してください。
入力した内容は、確定後、ラインをタップすると、吹き出しでラベルと共に表示されます。

【キーボード】ボタン

スクリーンキーボードを表示します。

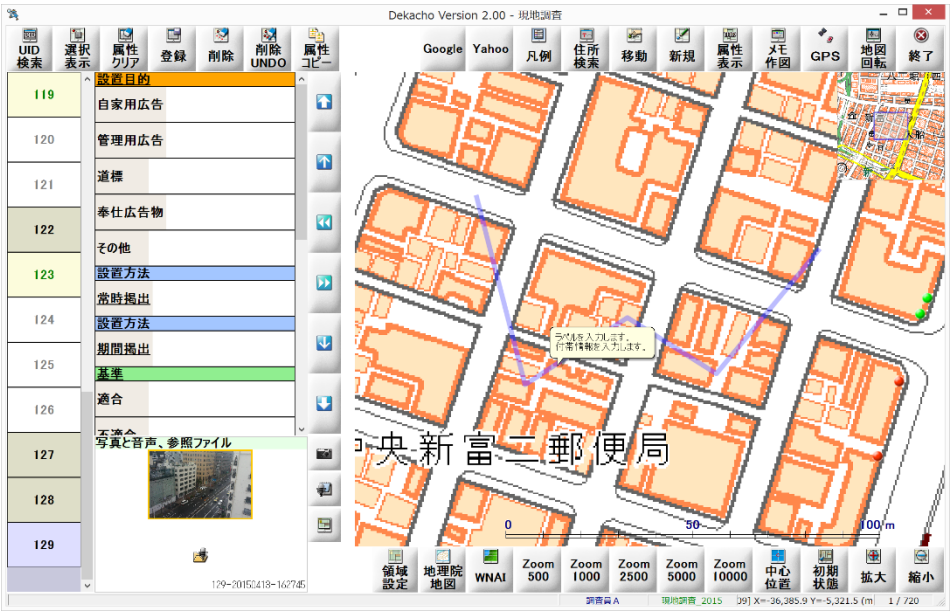
【OK】ボタン

設定を反映して、[**作図情報**]ダイアログボックスを閉じ、[**メモ作図**]ダイアログボックスに戻ります。

【キャンセル】ボタン

設定を破棄して、[**作図情報**]ダイアログボックスを閉じ、[**メモ作図**]ダイアログボックスに戻ります。

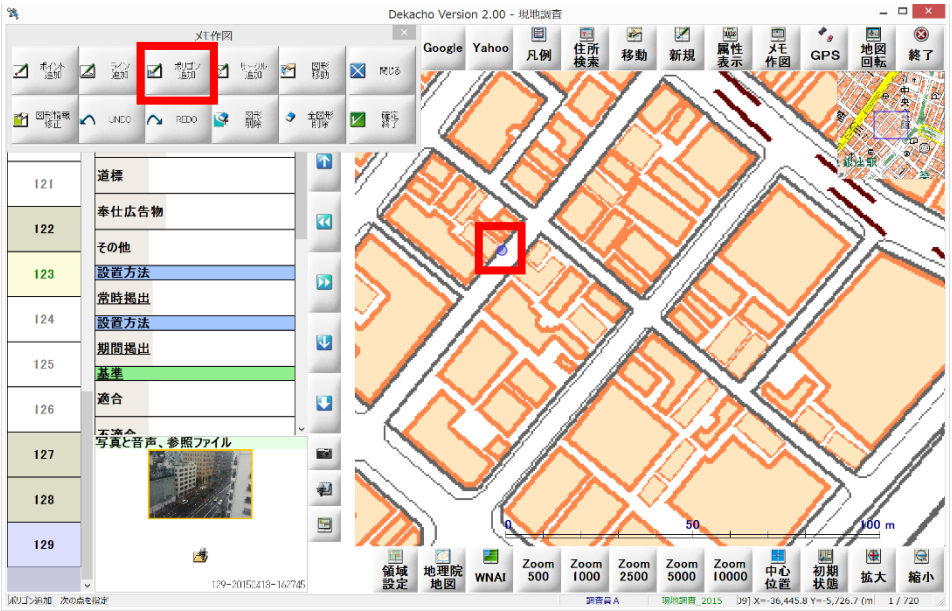
④ ［作図情報］ダイアログボックスの【OK】ボタンをタップし、［メモ作図］ダイアログボックスの【閉じる】ボタンをタップすると、設定したラインが地図上に追加されたことが確認できます。
ライン追加中に【閉じる】ボタンをタップすると、ライン追加をキャンセルします。



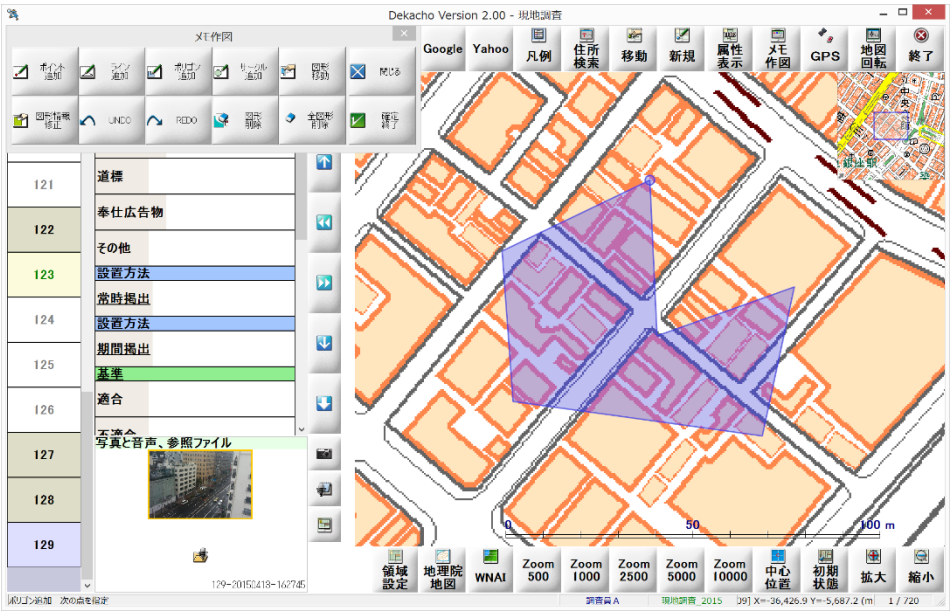
6.1.3.【ポリゴン追加】ボタン

地図上にメモとしてポリゴンを追加します。

① 【ポリゴン追加】ボタンをタップ後、ポリゴンの始点をタップしてください。ポリゴンの始点が確定し、青〇で表示されます。



② ポリゴンの屈曲点をタップして指定してください。



③ ポリゴン終点で、ダブルタップ、もしくは、[**メモ作図**]ダイアログボックスの【**確定終了**】ボタンをタップすると、ポリゴンが確定し、[**作図情報**]ダイアログボックスが表示されます。
※ポリゴンの性質上、3 点以上の屈曲点が必要です。2 点の時点で、【**確定終了**】ボタンをタップすると、ポリゴン追加操作をキャンセルし、[メモ作図]ダイアログボックスを閉じます。

[作図情報]ダイアログボックス

スタイル

線幅

ポリゴンの線幅のプレビューが表示されます。
プルダウンをタップすると、線幅を 2px、5px、10px、15px から選択できます。

線色

ポリゴンの線色を設定します。
プルダウンをタップすると[**カラー選択**]ダイアログボックスが表示されます。
各カラーボタンまたは【**その他**】ボタンをタップして色を設定後、【**決定**】ボタンをタップすると、変更が反映されます。【**閉じる**】ボタンをタップした場合、色の変更は反映されません。

塗色

ポリゴンの塗色を設定します。
プルダウンをタップすると[**カラー選択**]ダイアログボックスが表示されます。
各カラーボタンまたは【**その他**】ボタンをタップして色を設定後、【**決定**】ボタンをタップすると、変更が反映されます。【**閉じる**】ボタンをタップした場合、色の変更は反映されません。

ラベル

ポリゴンのラベル文字列を入力してください。

付帯情報

ポリゴンの付帯情報を入力してください。
入力した内容は、確定後、ポリゴンをタップすると、吹き出しでラベルと共に表示されます。

【キーボード】ボタン

スクリーンキーボードを表示します。

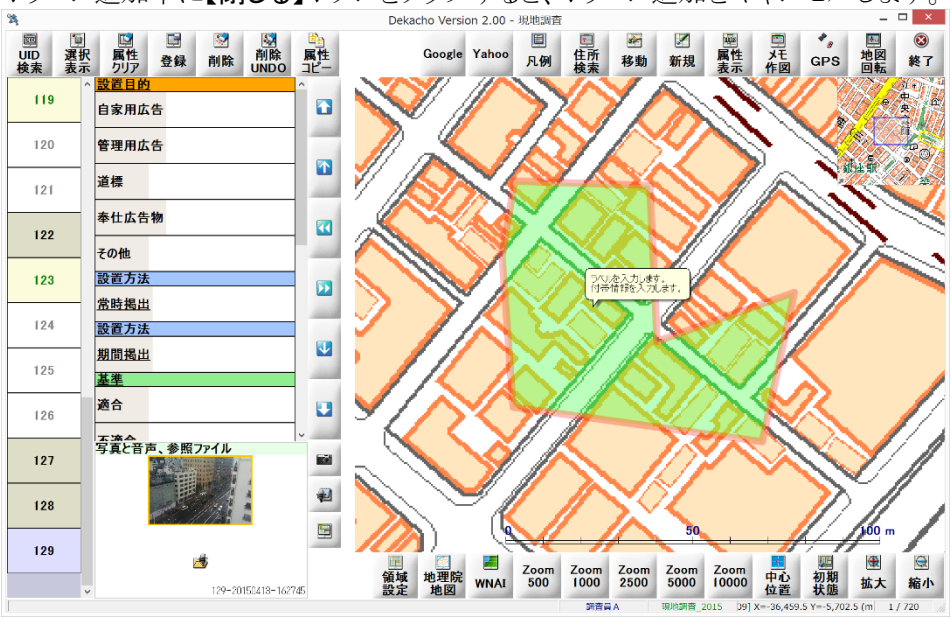
【OK】ボタン

設定を反映して、[**作図情報**]ダイアログボックスを閉じ、[**メモ作図**]ダイアログボックスに戻ります。

【キャンセル】ボタン

設定を破棄して、[**作図情報**]ダイアログボックスを閉じ、[**メモ作図**]ダイアログボックスに戻ります。

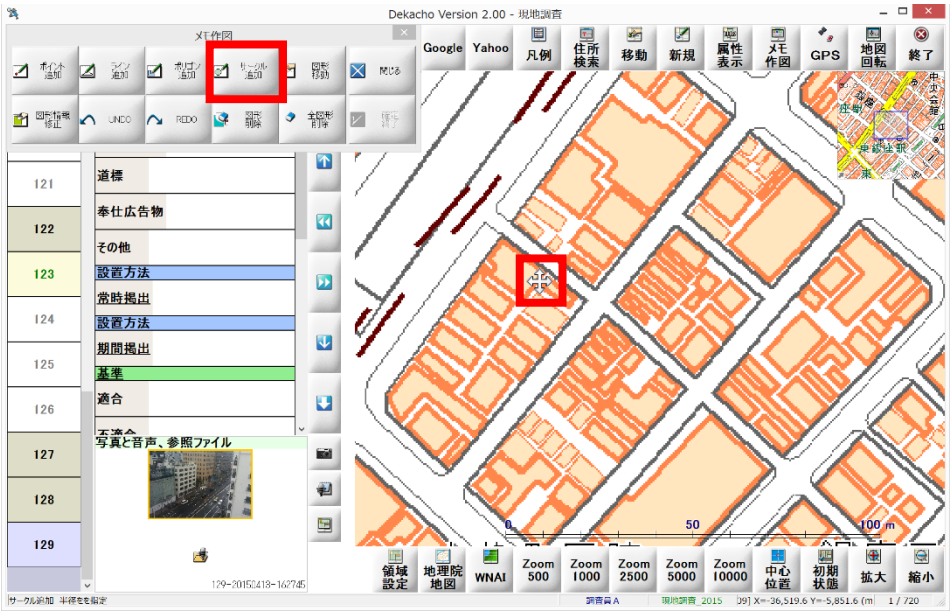
④ [**作図情報**]ダイアログボックスの【OK】ボタンをタップし、[**メモ作図**]ダイアログボックスの【閉じる】ボタンをタップすると、設定したポリゴンが地図上に追加されたことが確認できます。ポリゴン追加中に【閉じる】ボタンをタップすると、ポリゴン追加をキャンセルします。



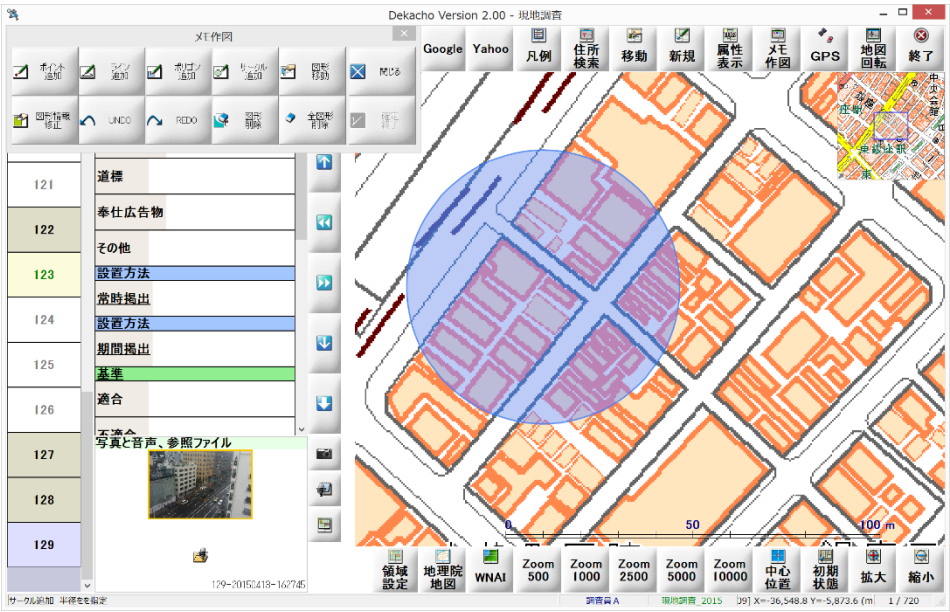
6.1.4.【サークル追加】ボタン

地図上にメモとしてサークルを追加します。

① 【サークル追加】ボタンをタップ後、サークルの中心点をタップしてください。サークルの始点が確定し、十字矢印で表示されます。



中心点を設定後、スワイプした場合、サークルのプレビューが表示されます。



② サークルの外円点をタップすると、サークルが追加され、[**作図情報**]ダイアログボックスが表示されます。

[作図情報]ダイアログボックス

スタイル

線幅

サークルの線幅のプレビューが表示されます。
プルダウンをタップすると、線幅を 2px、5px、10px、15px から選択できます。

線色

サークルの線色を設定します。
プルダウンをタップすると[**カラー選択**]ダイアログボックスが表示されます。
各カラーボタンまたは【**その他**】ボタンをタップして色を設定後、【**決定**】ボタンをタップすると、変更が反映されます。【**閉じる**】ボタンをタップした場合、色の変更は反映されません。

塗色

サークルの塗色を設定します。
プルダウンをタップすると[**カラー選択**]ダイアログボックスが表示されます。
各カラーボタンまたは【**その他**】ボタンをタップして色を設定後、【**決定**】ボタンをタップすると、変更が反映されます。【**閉じる**】ボタンをタップした場合、色の変更は反映されません。

ラベル

サークルのラベル文字列を入力してください。

付帯情報

サークルの付帯情報を入力してください。
入力した内容は、確定後、ポリゴンをタップすると、吹き出しでラベルと共に表示されます。

【キーボード】ボタン

スクリーンキーボードを表示します。

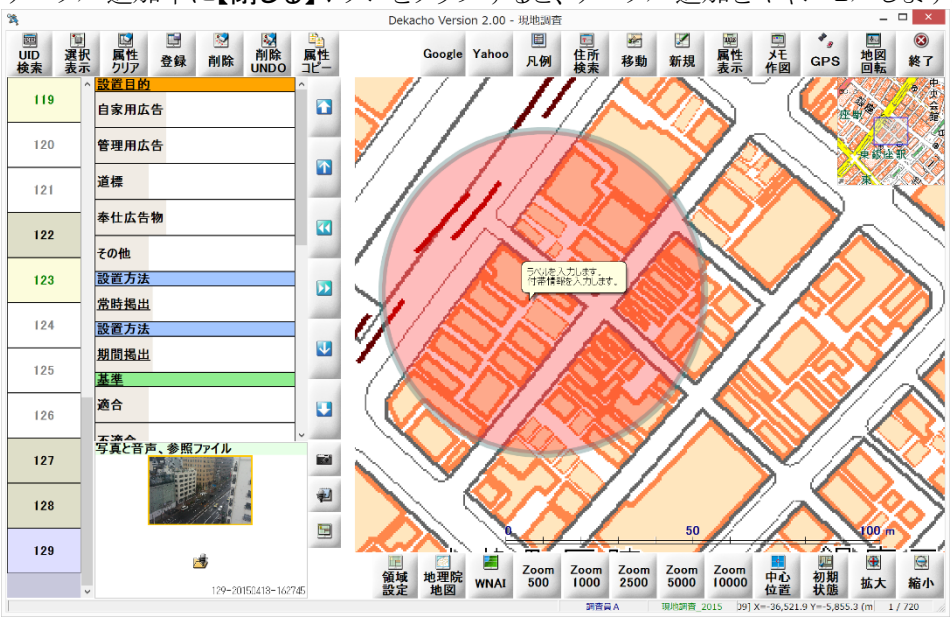
【OK】ボタン

設定を反映して、[**作図情報**]ダイアログボックスを閉じ、[**メモ作図**]ダイアログボックスに戻ります。

【キャンセル】ボタン

設定を破棄して、[**作図情報**]ダイアログボックスを閉じ、[**メモ作図**]ダイアログボックスに戻ります。

③ [**作図情報**]ダイアログボックスの【OK】ボタンをタップし、[**メモ作図**]ダイアログボックスの【**閉じる**】ボタンをタップすると、設定したポリゴンが地図上に追加されたことが確認できます。サークル追加中に【**閉じる**】ボタンをタップすると、サークル追加をキャンセルします。

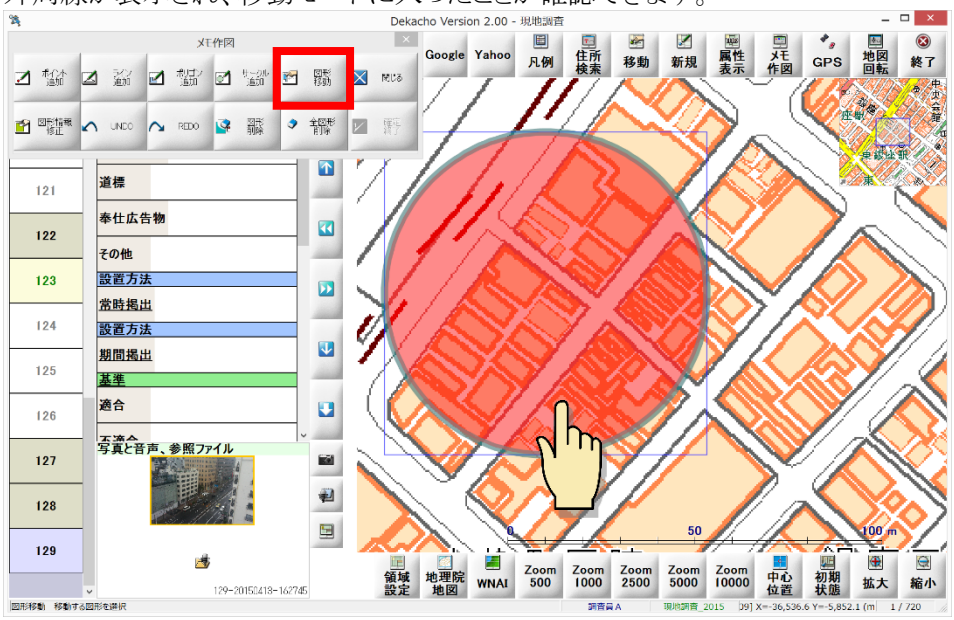


6.1.5.【図形移動】ボタン

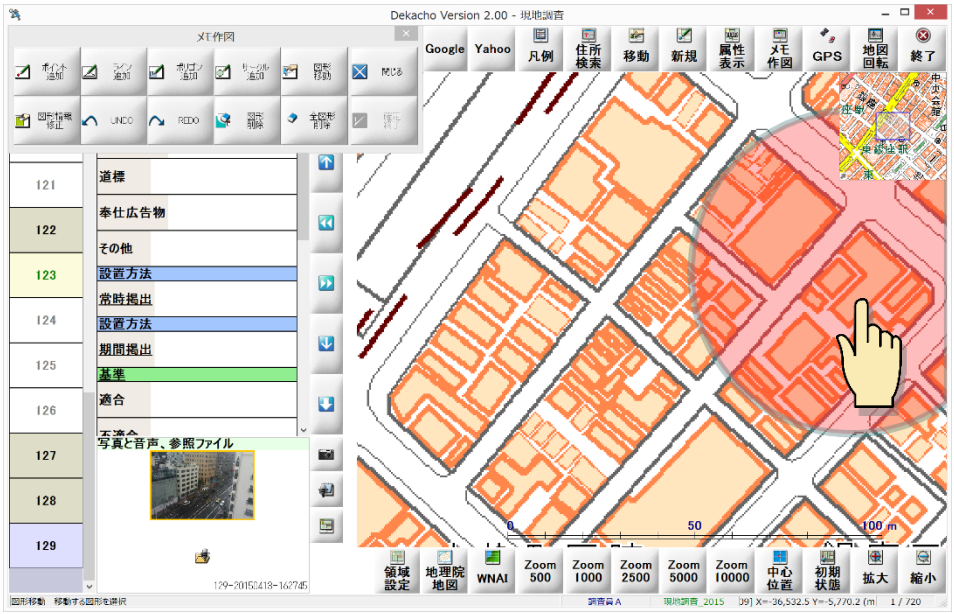
『6.1.1.【ポイント追加】ボタン』(p.52)、『6.1.2.【ライン追加】ボタン』(p.55)、『6.1.3.【ポリゴン追加】ボタン』(p.58)、『6.1.4.【サークル追加】ボタン』(p.61)、『6.2.10.1【フリー作図】ボタン』(p.150)で追加したメモ図形を移動します。

6.1.5.1. ライン、ポリゴン、サークル移動

① 【図形移動】ボタンをタップ後、対象のメモ図形(ライン、ポリゴン、サークル)をタップしてください。外周線が表示され、移動モードに入ったことが確認できます。

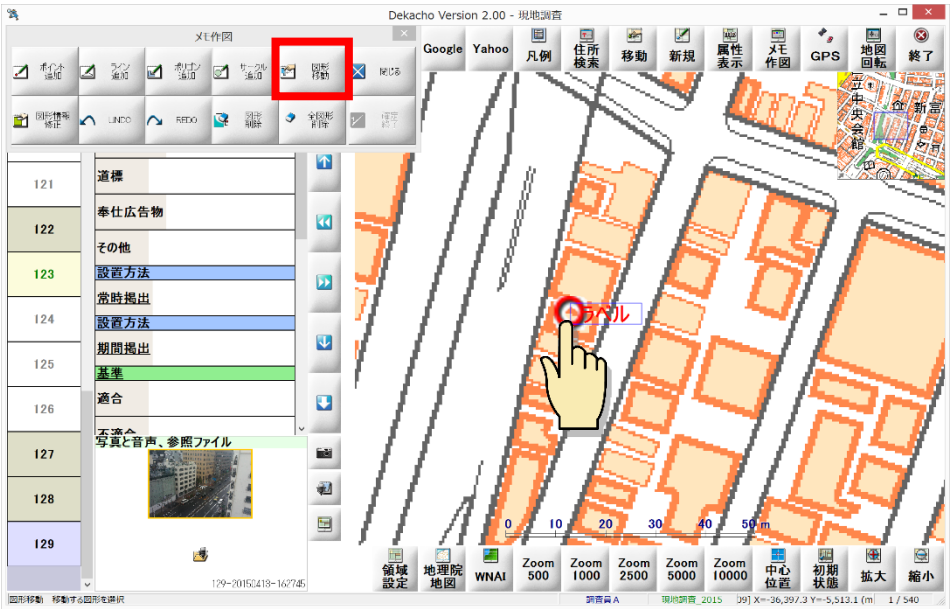


② 移動先をタップすると、メモ図形の移動位置が確定します。

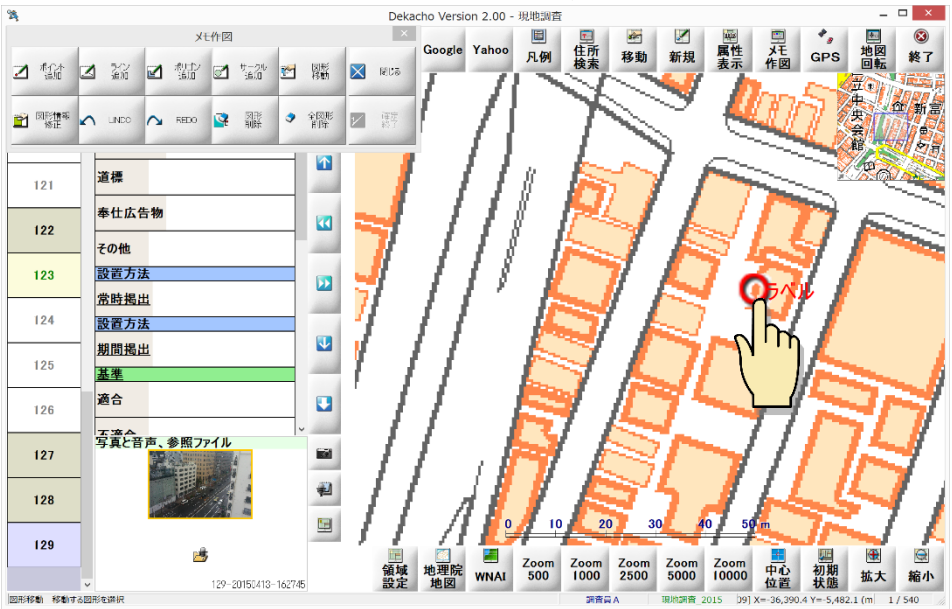


6.1.5.2. ポイント移動

① 【図形移動】ボタンをタップ後、対象のメモ図形（ポイント）をタップしてください。ラベル枠が表示されます。
※ラベルがない場合、選択状態は表示されません。



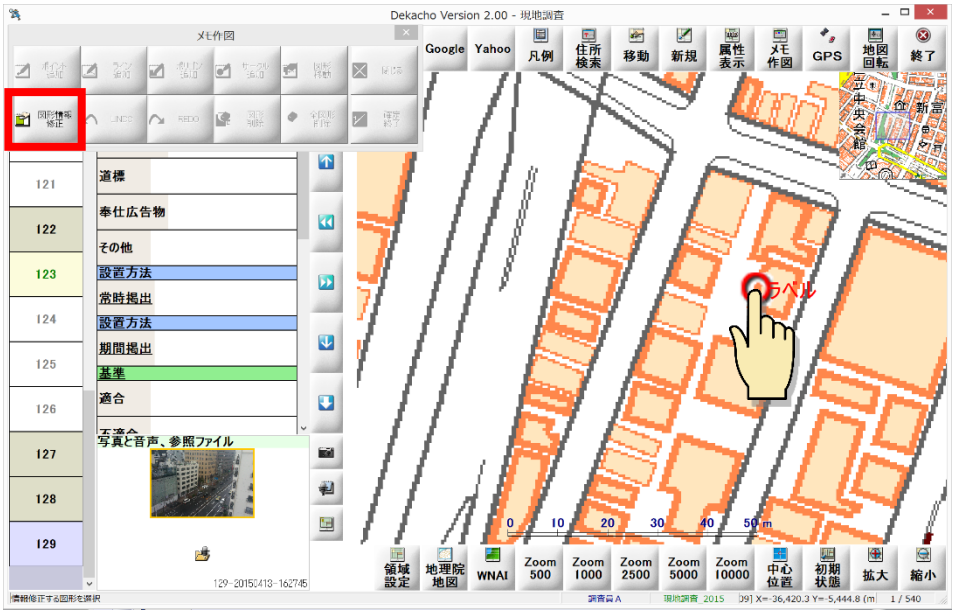
② 移動先をタップすると、メモ図形（ポイント）の移動位置が確定します。



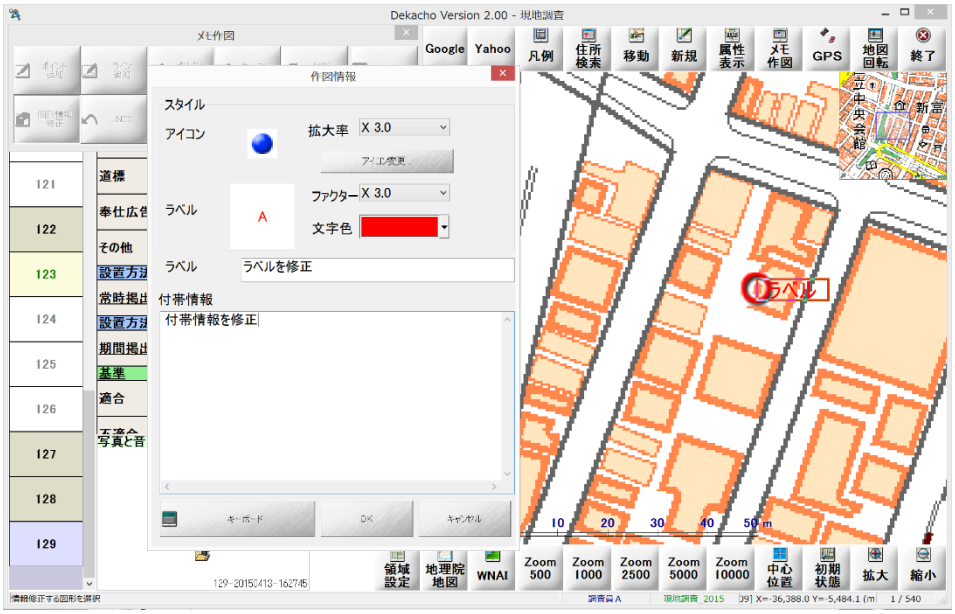
6.1.6.【図形情報修正】ボタン

『6.1.1.【ポイント追加】ボタン』(p.52)、『6.1.2.【ライン追加】ボタン』(p.55)、『6.1.3.【ポリゴン追加】ボタン』(p.58)、『6.1.4.【サークル追加】ボタン』(p.61)、『6.2.10.1【フリー作図】ボタン』(p.150)で追加したメモ図形の情報を修正します。

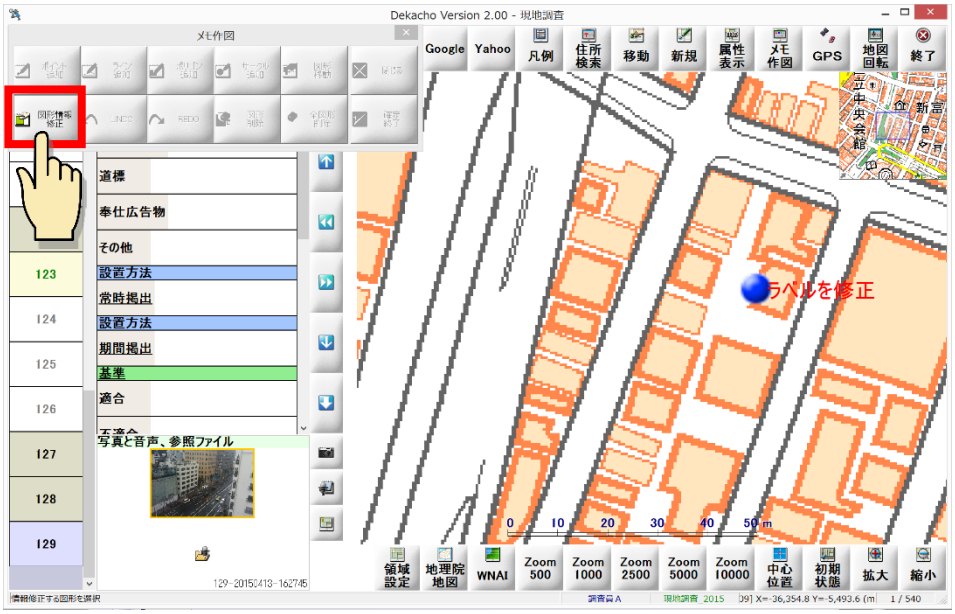
① 【図形情報修正】ボタンをタップすると、図形情報修正モードとなり、【図形情報修正】ボタン以外のボタンが利用不可になります。



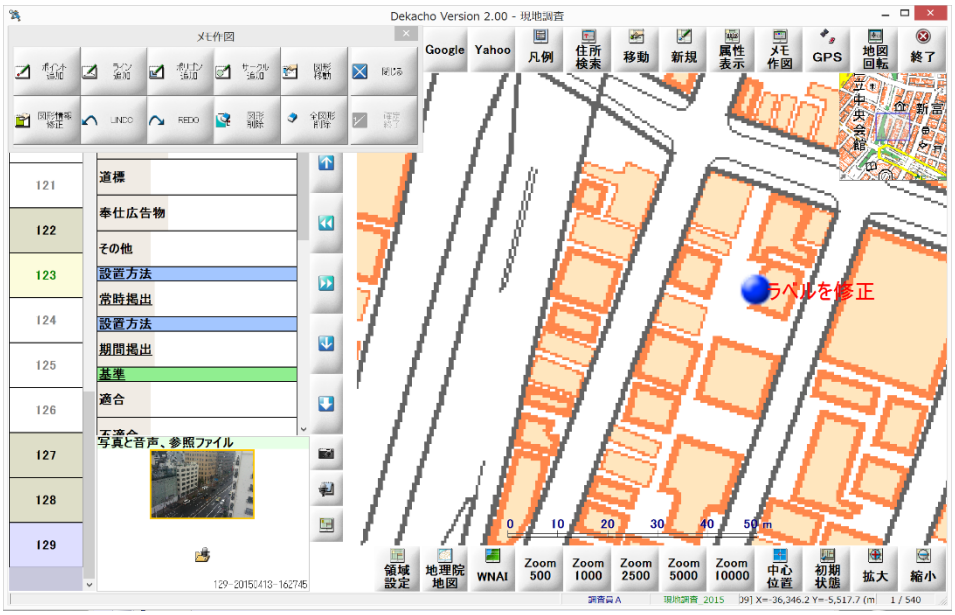
② 修正するメモ図形をタップしてください。
該当するメモ図形の[**作図情報**]ダイアログボックスが表示されます。入力時と同様に修正を行うことができます。
※それぞれのダイアログボックスの詳細は、上記の各ページを参照してください。



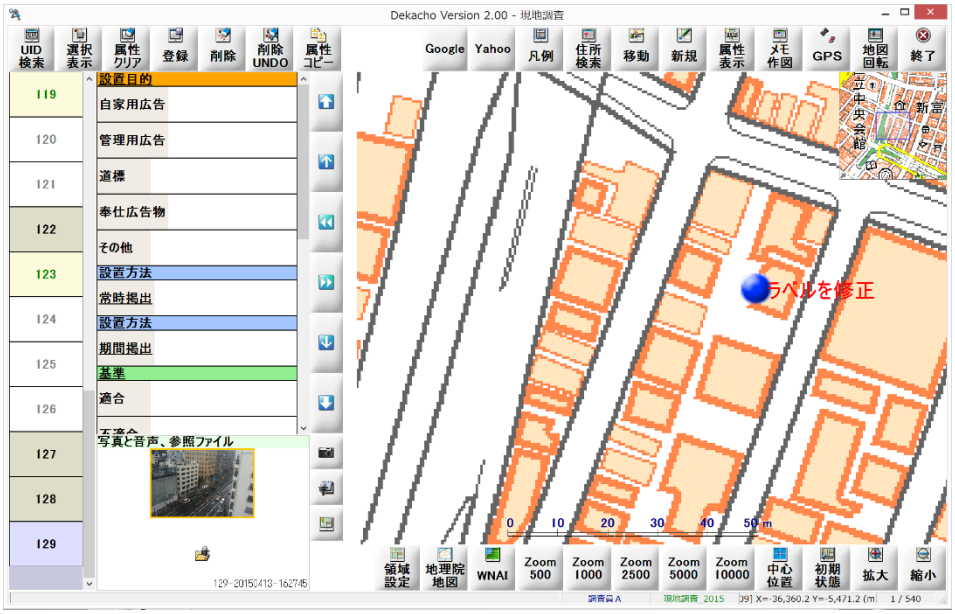
③ [作図情報]ダイアログボックスの【OK】ボタンをタップすると、変更が反映され、[メモ作図]ダイアログボックスに戻ります。引き続き、修正作業を行うことができます。
終了する場合は、再度【図形情報修正】ボタンをタップしてください。



④ [メモ作図]ダイアログボックスの【図形情報修正】ボタン以外もアクティブになります。



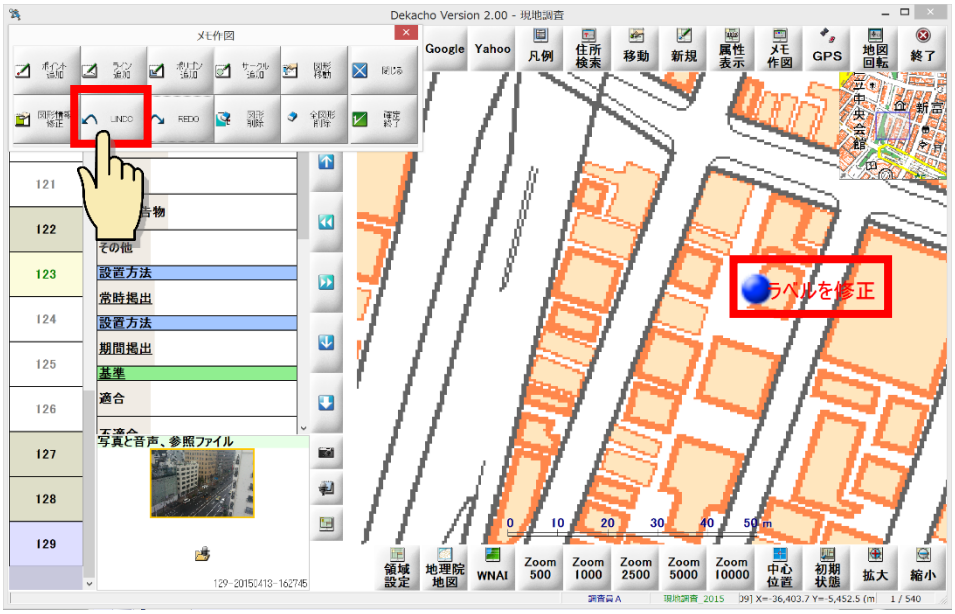
⑤ [メモ作図]ダイアログボックスの【閉じる】ボタンをタップすると修正作業を終了します。



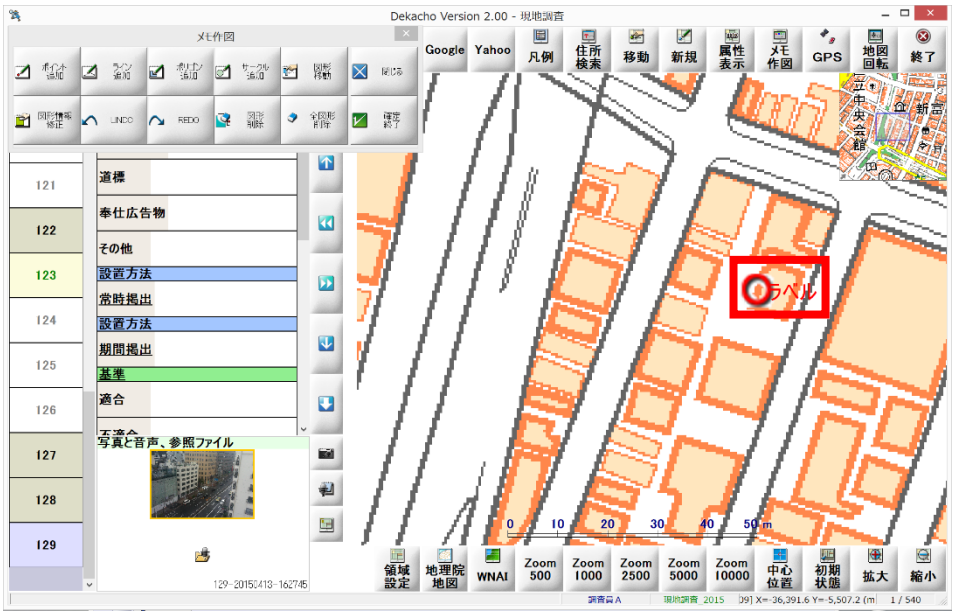
6.1.7.【UNDO】ボタン

『6.1.1.【ポイント追加】ボタン』(p.52)、『6.1.2.【ライン追加】ボタン』(p.55)、『6.1.3.【ポリゴン追加】ボタン』(p.58)、『6.1.4.【サークル追加】ボタン』(p.61)、『6.1.5.【図形移動】ボタン』(p.64)、『6.1.6.【図形情報修正】ボタン』(p.66)、『6.1.8.【REDO】ボタン』(p.70)、『6.1.9.【図形削除】ボタン』(p.71)、『6.2.10.1【フリー作図】ボタン』(p.150)で行った直前の作業を取り消します。

① メモ図形操作後、【UNDO】ボタンをタップしてください。



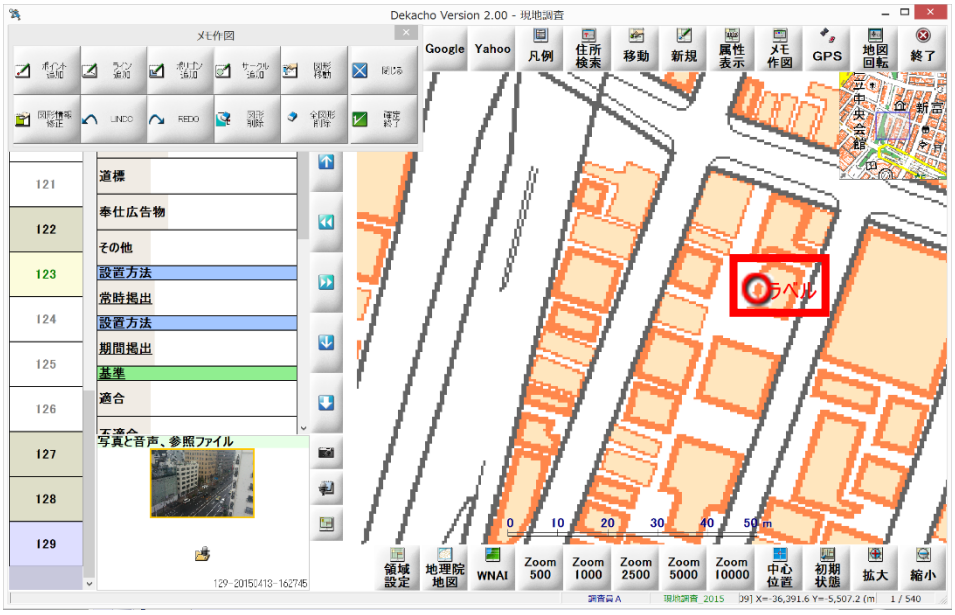
② 直前に行った処理が取り消されていることが確認できます。



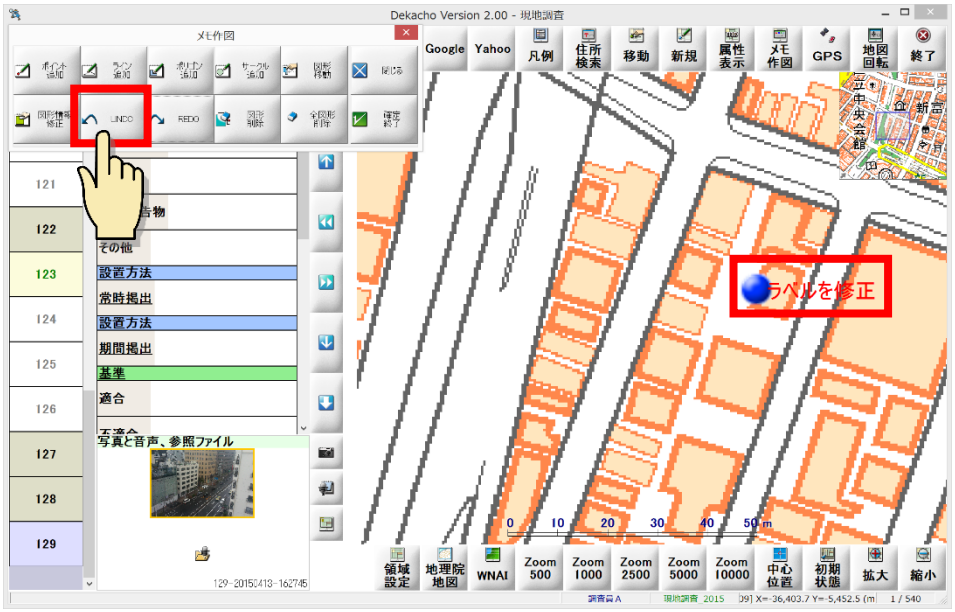
6.1.8.【REDO】ボタン

『6.1.1.【ポイント追加】ボタン』(p.52)、『6.1.2.【ライン追加】ボタン』(p.55)、『6.1.3.【ポリゴン追加】ボタン』(p.58)、『6.1.4.【サークル追加】ボタン』(p.61)、『6.1.5.【図形移動】ボタン』(p.64)、『6.1.6.【図形情報修正】ボタン』(p.66)、『6.1.9.【図形削除】ボタン』(p.71)で行った処理に対し、『6.1.7.【UNDO】ボタン】』(p.69)、『6.2.10.1【フリー作図】ボタン』(p.150)処理を行った作業を取り消します。

① 【UNDO】ボタンをタップ後、【REDO】ボタンをタップしてください。



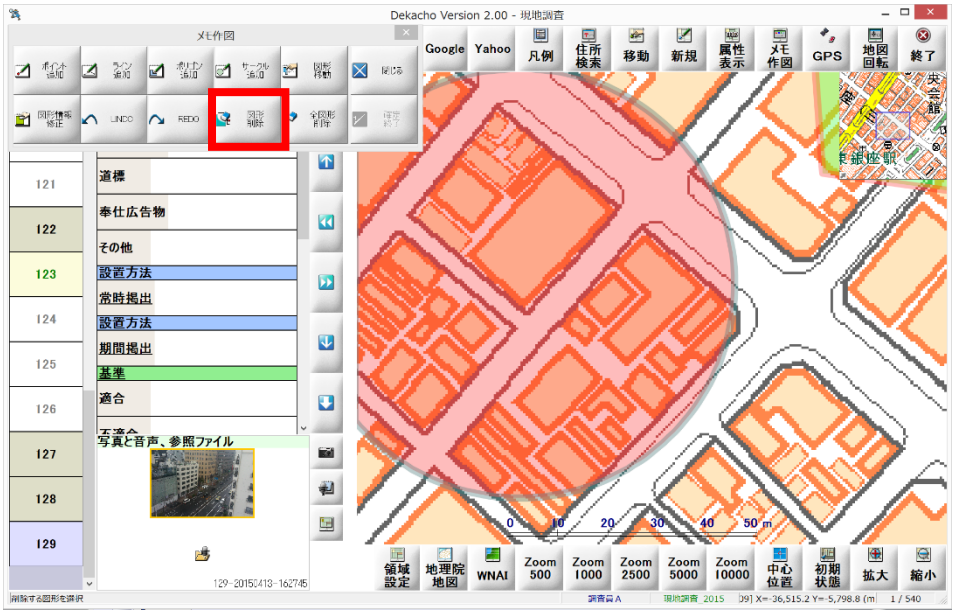
② 【UNDO】ボタン操作により、取り消された処理が元に戻っていることが確認できます。



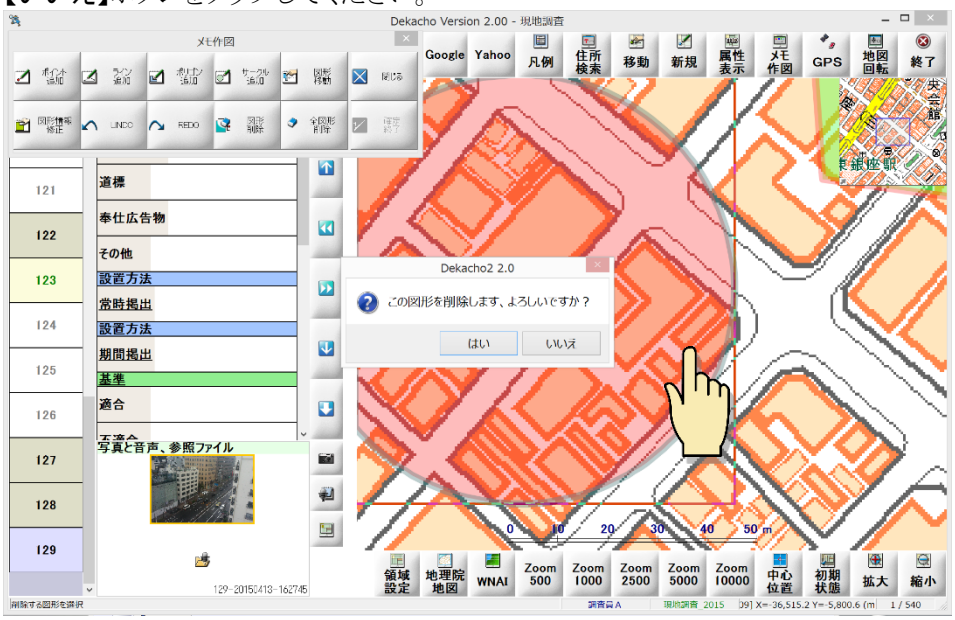
6.1.9.【図形削除】ボタン

『6.1.1.【ポイント追加】ボタン』(p.52)、『6.1.2.【ライン追加】ボタン』(p.55)、『6.1.3.【ポリゴン追加】ボタン』(p.58)、『6.1.4.【サークル追加】ボタン』(p.61)、『6.2.10.1【フリー作図】ボタン』(p.150)で追加したメモ図形を削除します。

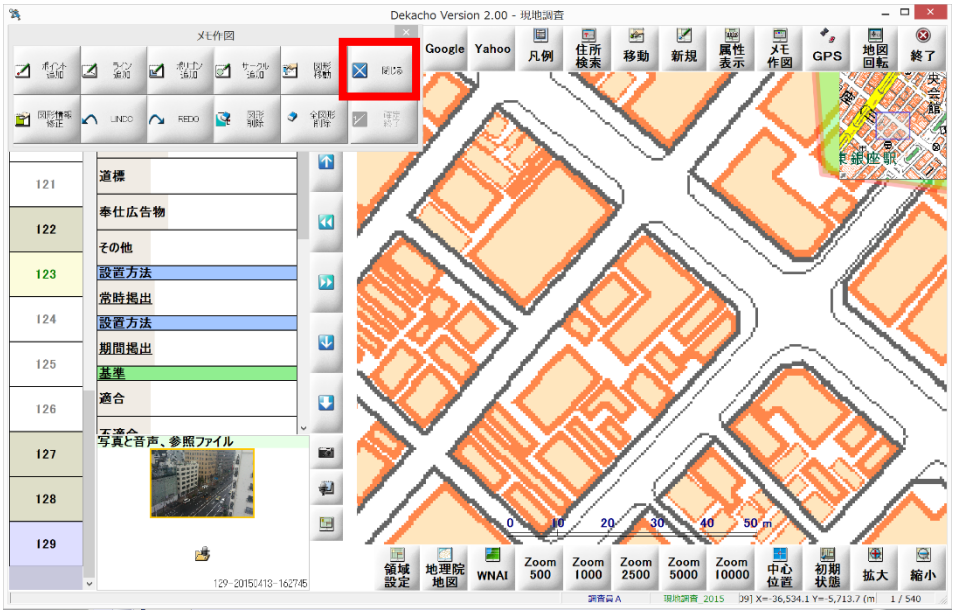
① 【図形削除】ボタンをタップしてください。



② 削除するメモ図形をタップしてください。
メッセージボックスが表示されます。削除する場合は【はい】ボタンを、削除しない場合は【いいえ】ボタンをタップしてください。



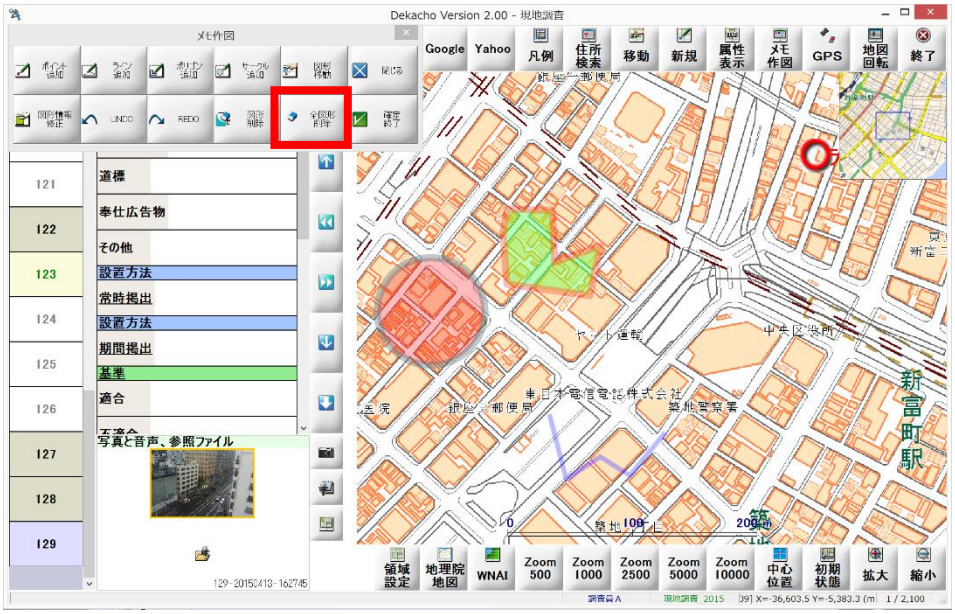
③ 【はい】ボタンをタップした場合、対象のメモ図形が削除されていることが確認できます。
引き続き、[メモ作図]ダイアログボックスの処理が行えます。
終了する場合は、[メモ作図]ダイアログボックスの【閉じる】ボタンをタップしてください。



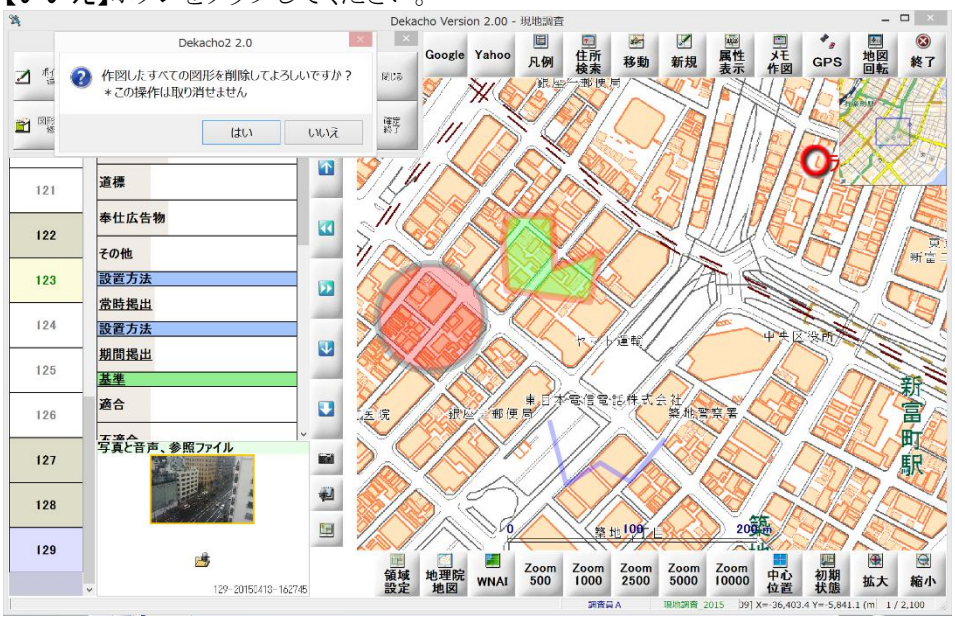
6.1.10.【全図形削除】ボタン

『6.1.1.【ポイント追加】ボタン』(p.52)、『6.1.2.【ライン追加】ボタン』(p.55)、『6.1.3.【ポリゴン追加】ボタン』(p.58)、『6.1.4.【サークル追加】ボタン』(p.61)、『6.2.10.1【フリー作図】ボタン』(p.150)で追加したプロジェクト上のメモ図形をすべて削除します。
※この操作は取り消せません。

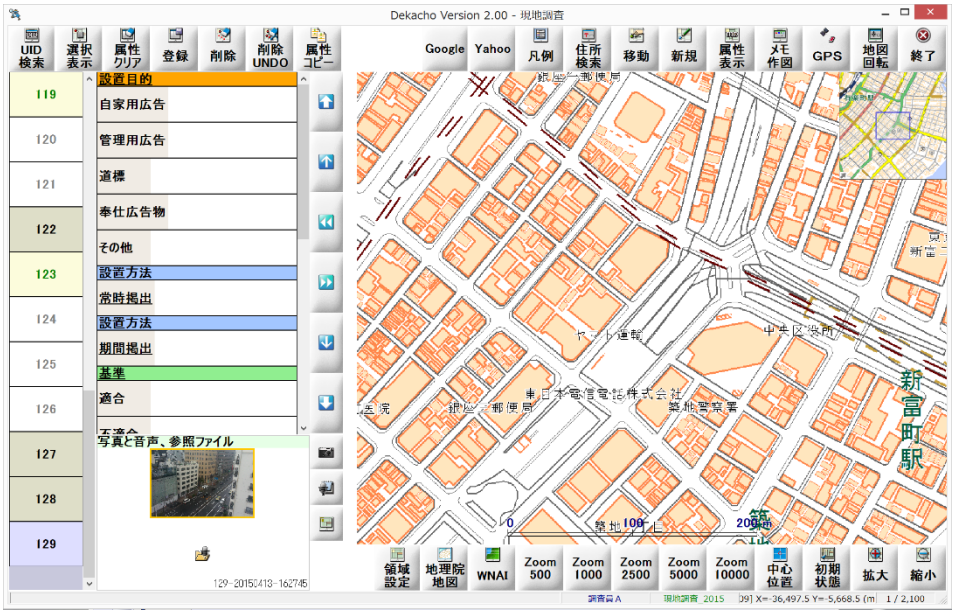
① 【全図形削除】ボタンをタップしてください。



② メッセージボックスが表示されます。削除する場合は【はい】ボタンを、削除しない場合は【いいえ】ボタンをタップしてください。



③ 【はい】ボタンをタップした場合、[メモ作図]ダイアログボックスが閉じられ、すべてのメモ図形が削除されていることが確認できます。

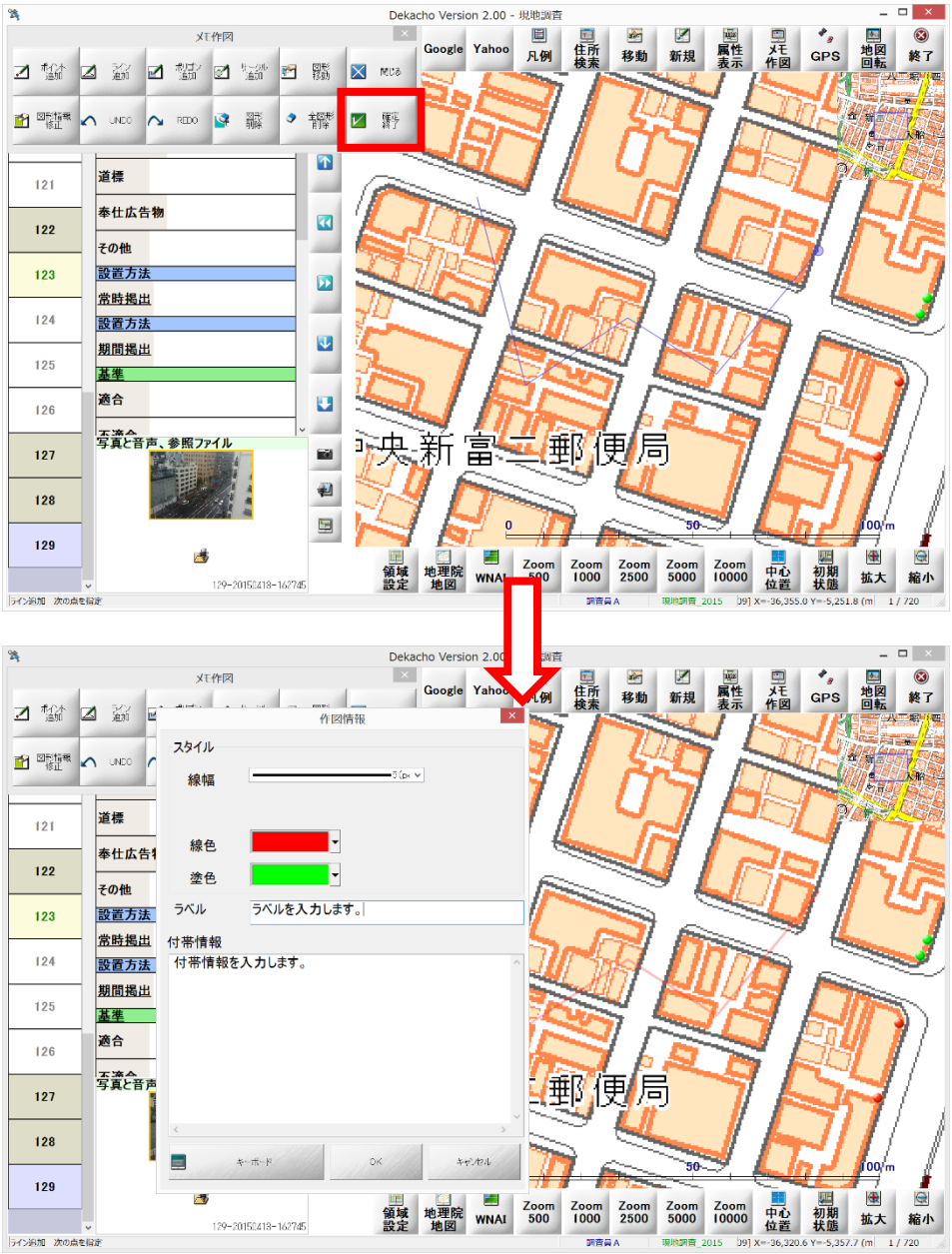


6.1.11.【閉じる】ボタン

[メモ作図]ダイアログボックスを閉じます。
追加作業中にこのボタンをタップした場合、追加中のメモ図形の追加作業がキャンセルされます。

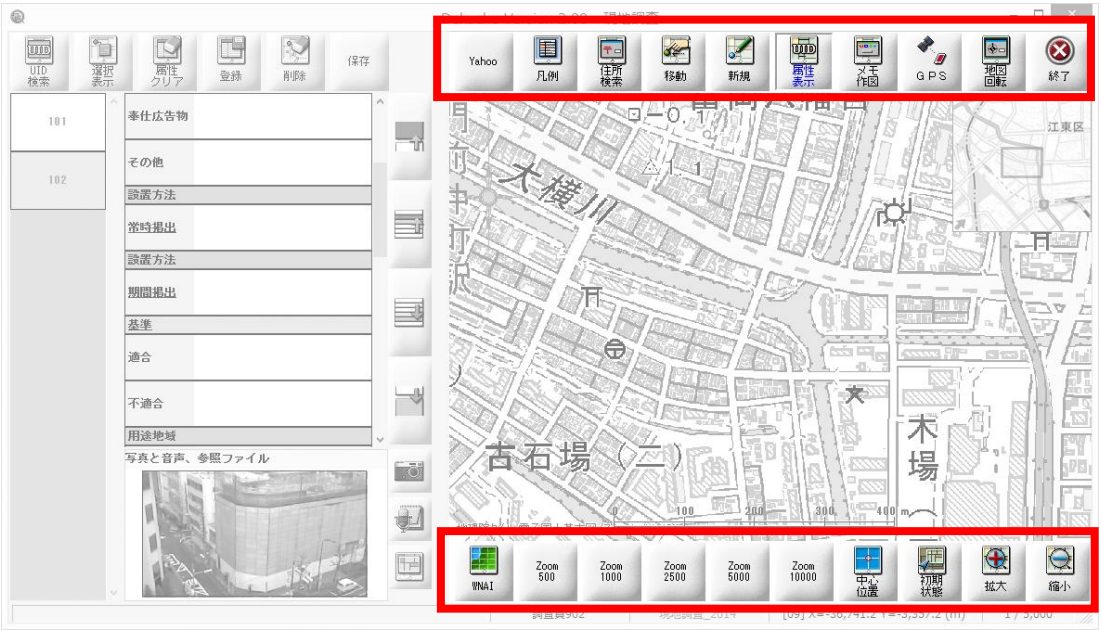
6.1.12.【確定終了】ボタン

『6.1.2.【ライン追加】ボタン』(p.55)、『6.1.3.【ポリゴン追加】ボタン』(p.58)入力時、終了点を確定する時にタップしてください。



6.2. 地図画面メニュー

地図画面で利用するメニューは、下図のように、画面右側の上下に表示されます。



6.2.1. システムメニュー

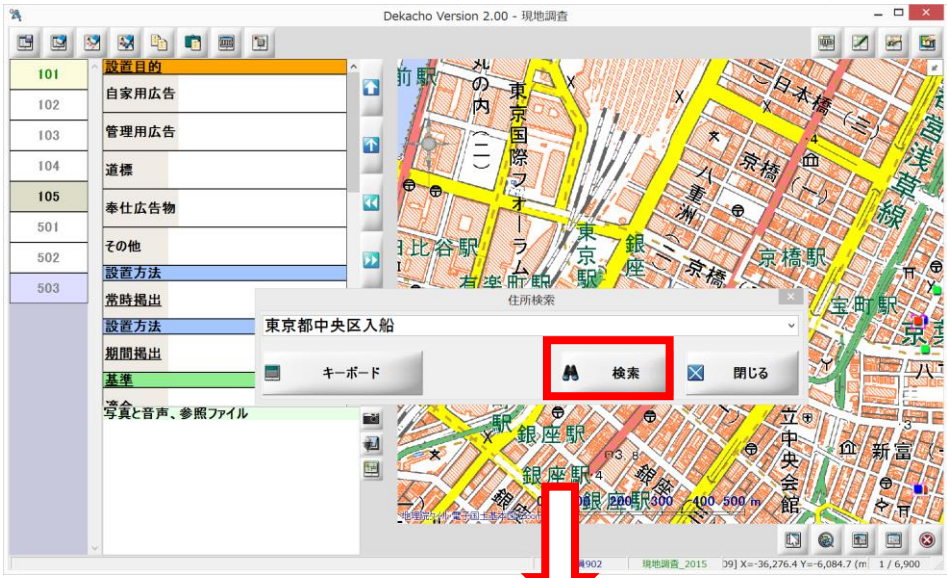
6.2.1.1. 住所検索

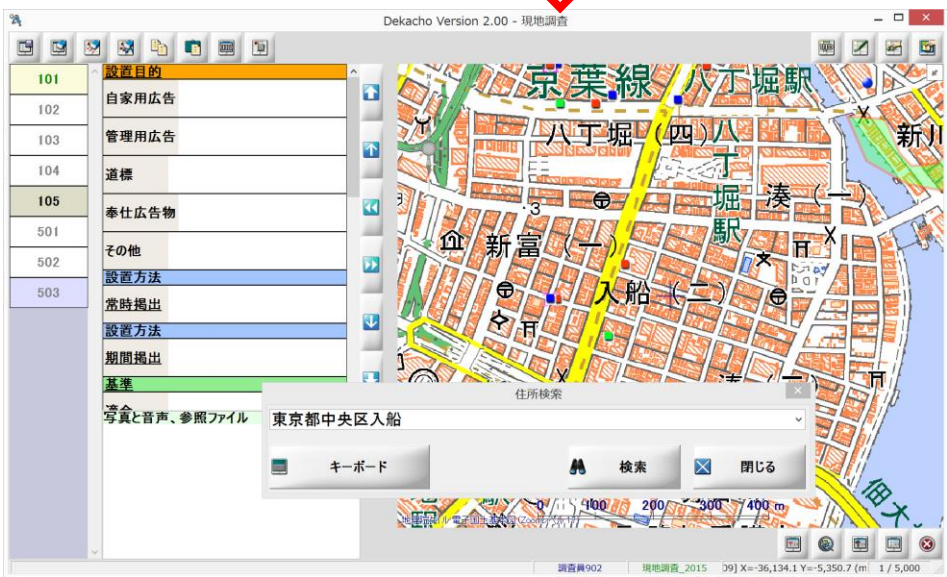
ツールバー	36
コマンド	AddrJump

地図を表示する位置を住所から指定します。
住所は、「都道府県」+「市区町村」+「字名」を入力することで指定することができます。

① 【住所検索】ボタンをタップすると、[住所検索]ダイアログボックスが表示されます。
テキストボックスに、検索する住所を入力してください。

② 【検索】ボタンをタップすると、地図表示位置を指定した住所に該当する位置に移動します。





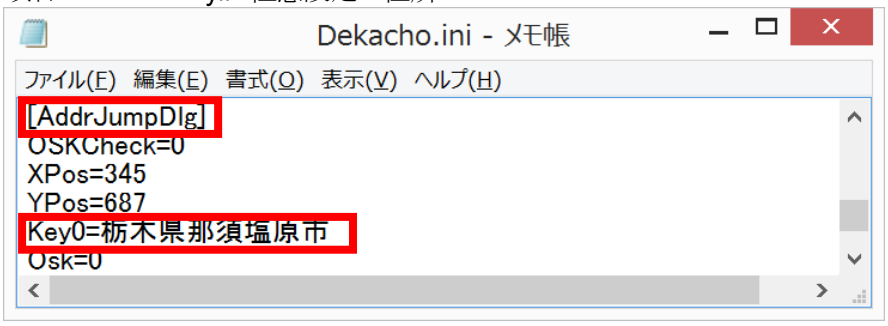
③ 【閉じる】ボタンをタップすると、住所検索を終了します。

※この機能を使用するには、住所検索用データベース PcmGC.pgc ファイルが必要です。
http://www.mapcom.co.jp/ftp/pcmgc75.zip
からダウンロードし、圧縮ファイルを解凍後に Dekacho.exe と同じフォルダーへコピーしてください。

※住所は都道府県、市区町村、字まで入力してください。
都道府県のみ、都道府県と市区町村のみ、または、都道府県を指定しない場合、該当する住所を検索することができません。

検索場所の入力例
東京都中央区入船

または、あらかじめ設定することで、[住所検索]ダイアログボックスのテキストボックスに任意の住所が表示できます。
『出簡調』がインストールされているフォルダーにある ini ファイル(Dekacho.ini)をメモ帳等で開き、編集してください。
セクション [AddrJumpDlg]
項目 Key#=任意設定の住所



一度検索した住所は、このファイルに自動で入力されています。

[住所検索]ダイアログボックスに編集した住所が表示されるようになります。

住所検索を行うごとに ini ファイルに登録されます。
Key#を増やすことで、複数の登録が可能となり、[住所検索]ダイアログボックスのテキストボックスにプルダウン表示されます。
※Key#の“#”は 0 から始まる任意の番号。

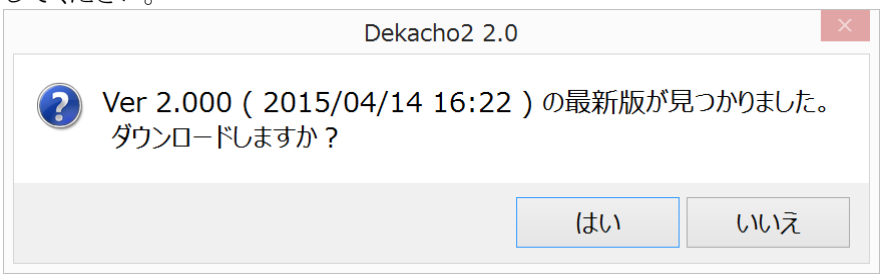
6.2.1.2. 最新版検索

ツールバー	37
コマンド	CheckUpdate

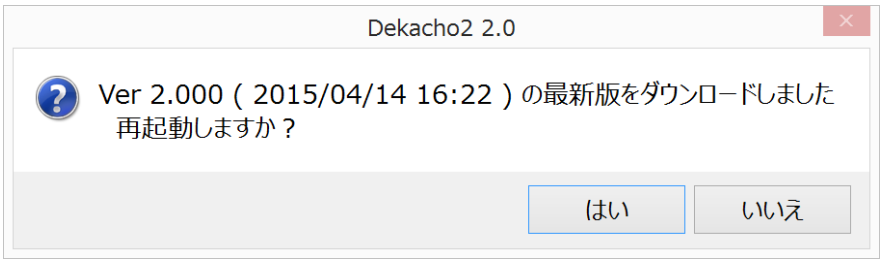
最新版の検索を行います。

① 【**最新版の検索**】ボタンをタップすると、最新版の検索を行います。

② 最新版が見つかった場合は、メッセージボックスを表示します。
ダウンロードする場合は、【**はい**】ボタンを、ダウンロードしない場合は【**いいえ**】ボタンをタップしてください。

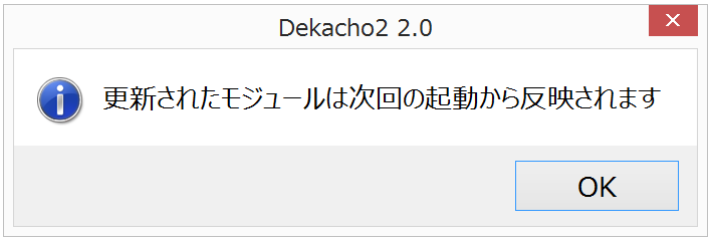


③ ②で、【**はい**】ボタンをタップすると、ダウンロードを開始します。ダウンロードが完了すると、メッセージボックスを表示します。
再起動する場合は、【**はい**】ボタンを、再起動しない場合は【**いいえ**】ボタンをタップしてください。

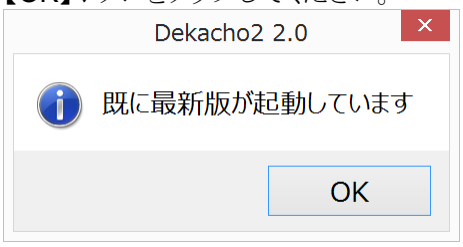


④ ③で、【**はい**】ボタンをタップすると、再起動を行い、最新バージョンの『**出簡調**』が起動します。

⑤ ③で、【**いいえ**】ボタンをタップすると、メッセージボックスを表示します。
【OK】ボタンをタップしてください。



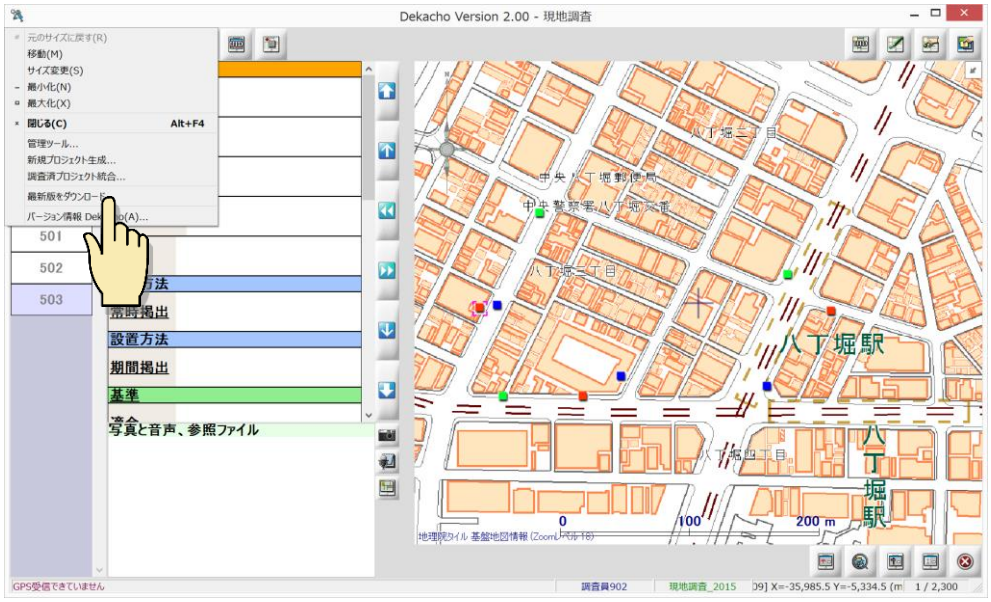
⑥ 【**最新版の検索**】ボタンタップ時に、起動している『**出簡調**』が最新の場合は、メッセージボックスが表示されます。
【OK】ボタンをタップしてください。



※システムに【**最新版の検索**】ボタンが登録されていない場合、システムメニューから最新版の検索を行うことができます。

1). 画面左上隅の『**出簡調**』アイコンをタップしてください。システムメニューが表示されます。

2). [**最新版をダウンロード**]メニューをタップすると、前ページと同様の操作で、最新版をダウンロードすることができます。

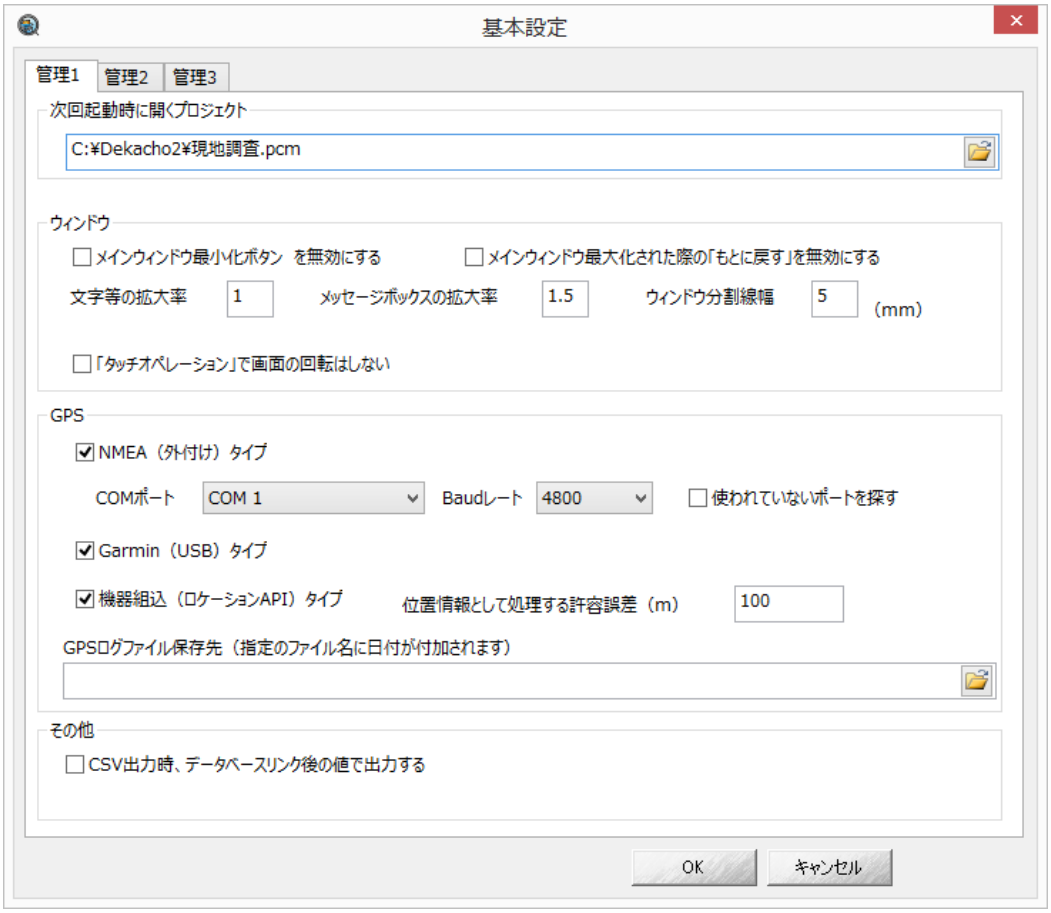


6.2.1.3. 管理ツール

ツールバー	38
コマンド	Kanri

管理ツールを起動します。

① 【管理ツール表示】ボタンをタップすると、『管理ツール』を起動します。
『管理ツール』の操作方法については、別途『出簡調管理設定マニュアル』をご参照ください。

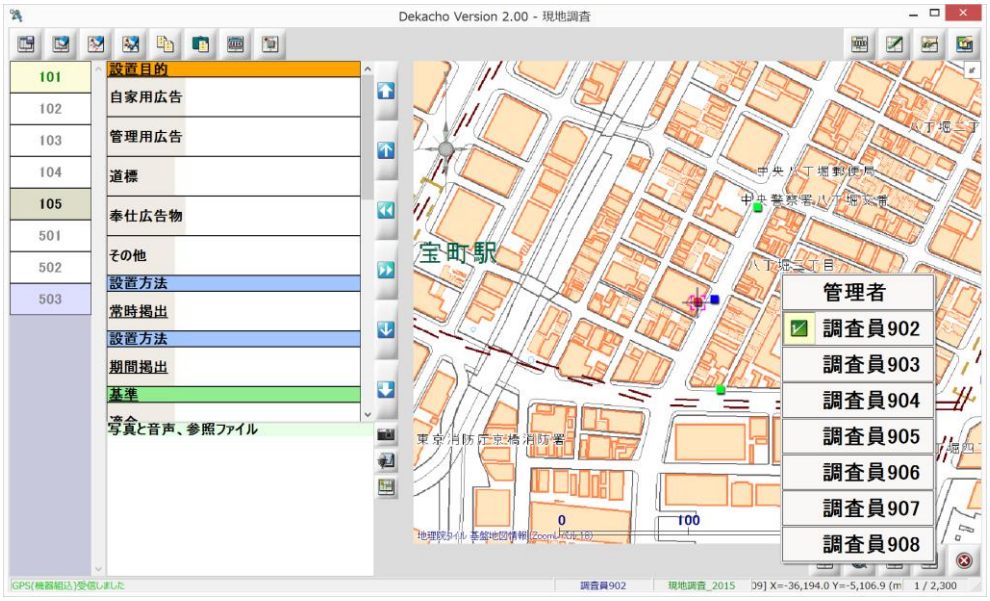


6.2.1.4. 調査員変更

ツールバー	39
コマンド	StaffChange

[調査員変更]メニューを表示します。
『3.1.調査員の設定』(p.7)と同じメニューです。

① 【調査員変更】ボタンをタップすると、[調査員変更]メニューを表示します。
変更する調査員をタップしてください。

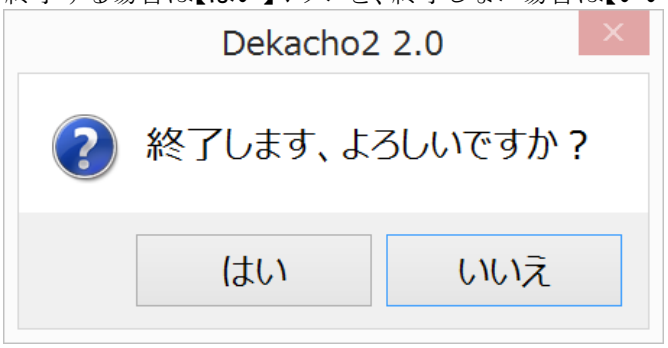


6.2.1.5. 終了

ツールバー	28
コマンド	Close

システムを終了します。

① 【終了】ボタンをタップすると、メッセージボックスが表示されます。
終了する場合は【はい】ボタンを、終了しない場合は【いいえ】ボタンをタップしてください。



6.2.2. 調査対象物メニュー

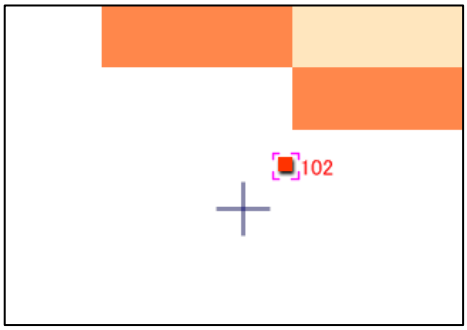
6.2.2.1. UID 表示/非表示

ツールバー	29
コマンド	AttrDisp

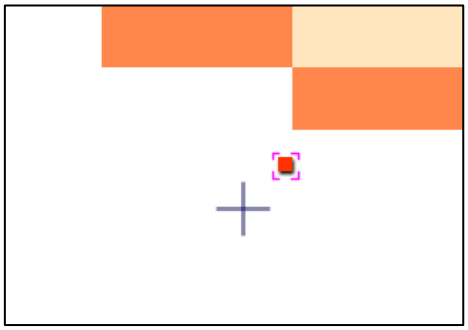
地図上での UID の表示状態を切り替えます。

① 【UID 表示/非表示】ボタンをタップすると、地図上の UID の表示状態を切り替えます。

表示時



非表示時



6.2.2.2. 新規ポイント

ツールバー	47
コマンド	NewPnt

新規に調査対象物ポイントを追加します。
動作は『5.1.1.調査対象物の新規作成』(p.14)を参照してください。

6.2.2.3. ポイント移動

ツールバー	30
コマンド	MovePnt

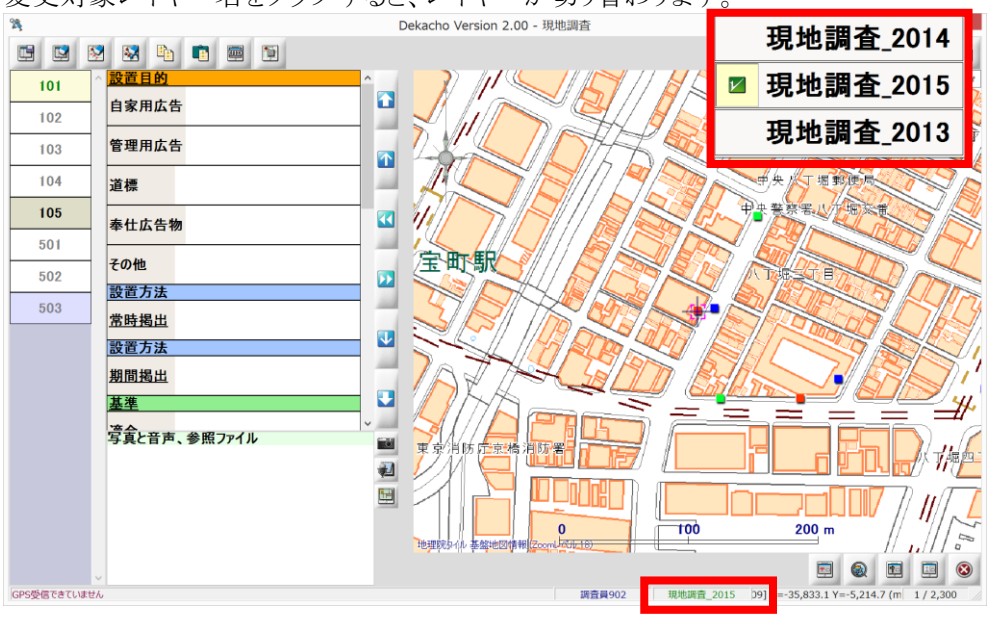
既存の調査対象物ポイントを移動します。
動作は『5.1.3.調査対象物の移動』(p.17)を参照してください。

6.2.2.4. 対象レイヤー変更

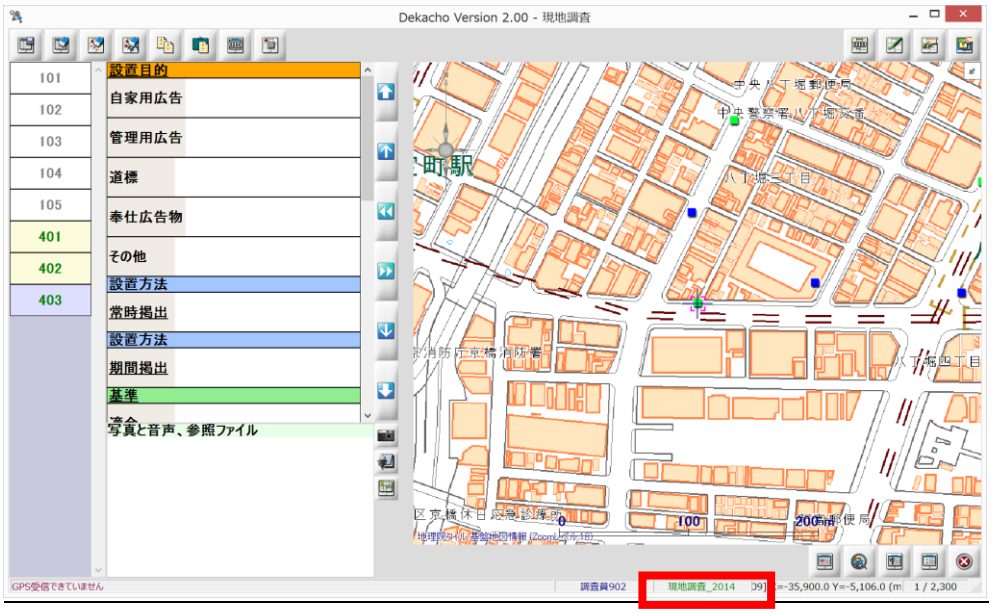
ツールバー	32
コマンド	SurveyChange

実行中のプロジェクトに複数のレイヤーが存在する場合、調査対象レイヤーの切り替えを行います。

① 【対象レイヤー変更】ボタンをタップすると、[レイヤー名]メニューが表示されます。
変更対象レイヤー名をタップすると、レイヤーが切り替わります。



② 「作業設定ウィンドウ」の名称が切り替えたレイヤー名に変更されますので、レイヤーが変更されたことを確認できます。



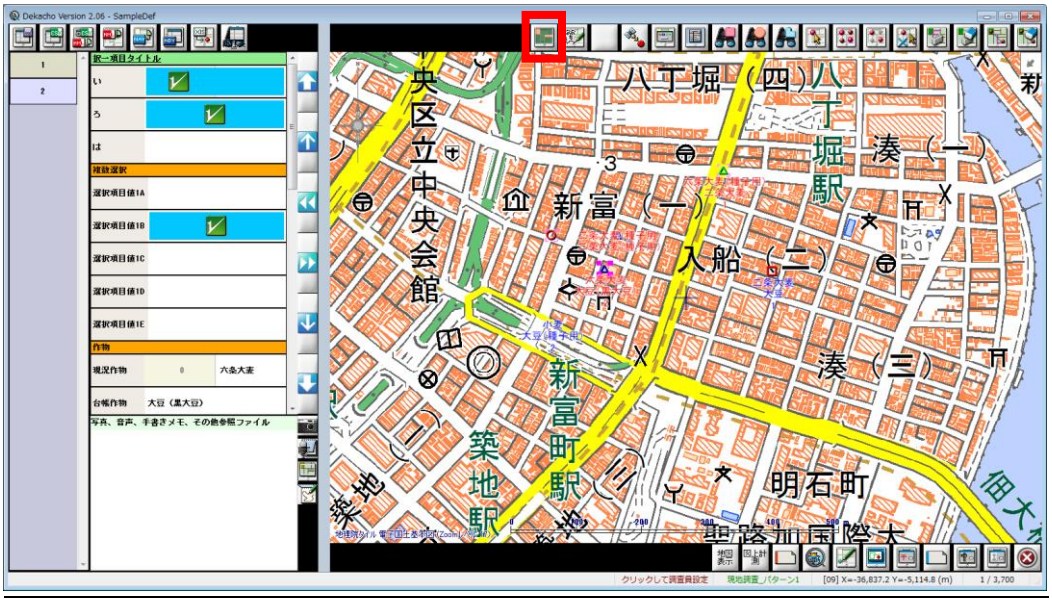
6.2.2.5. 地図表示切替

ツールバー	126
コマンド	FullMap

画面上の地図表示状態を切り替えます。

① 【地図表示切替】ボタンをタップすると、ただちに、全画面地図表示になります。

② 再度【地図表示切替】ボタンをタップすると、地図画面と、調査項目表示状態に戻ります。



6.2.3. GPS メニュー

6.2.3.1. 現在地表示

ツールバー	33
コマンド	GpsPos

GPS により、現在地を表示します。

① 【現在地表示】ボタンをタップすると、現在地を画面中心に表示します。

6.2.3.2. GPSMenu コマンド

ツールバー	GPS
コマンド	GpsMenu

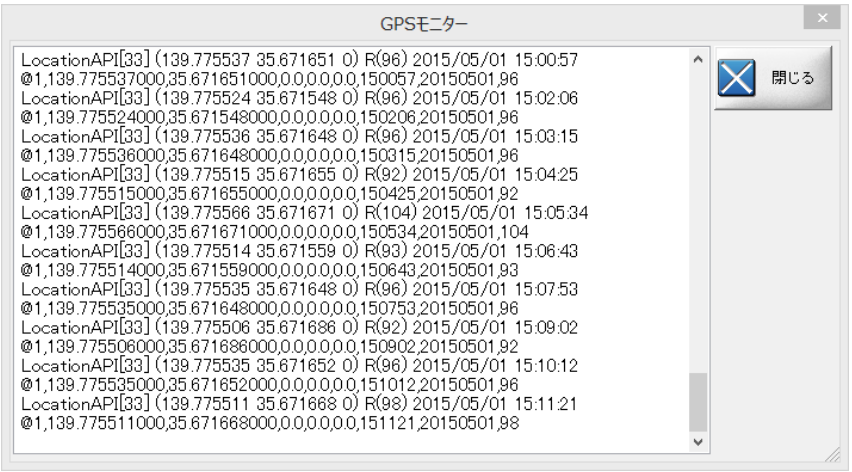
GPS の受信状態を表示します。このメニューに関しては、ツールバーの変更は行えません。
表示状態については、『3.2.GPS 設定』(p.8)を参照してください。

6.2.3.3. GPS モニター表示

ツールバー	37
コマンド	GpsMonitor

GPS モニターを表示します。

① 【GPS モニター表示】ボタンをタップすると、GPS モニターを表示します。

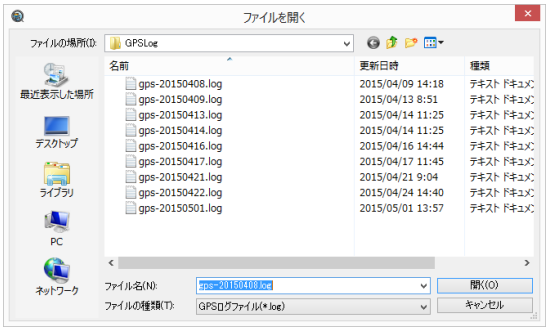


6.2.3.4. GPS 軌跡表示

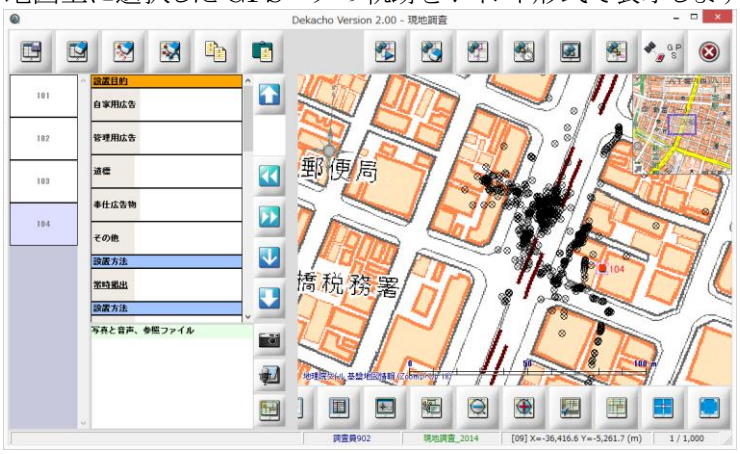
ツールバー	80
コマンド	GpsLogTrace

GPS ログの軌跡を表示します。

① 【GPS 軌跡表示】ボタンをタップすると、[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。ログファイルを選択して【開く】ボタンをタップしてください。



② 地図上に選択した GPS ログの軌跡をポイント形式で表示します。



③ 非表示にするときは、『6.2.3.5.GPS 軌跡消去』(p.88)を実行してください。

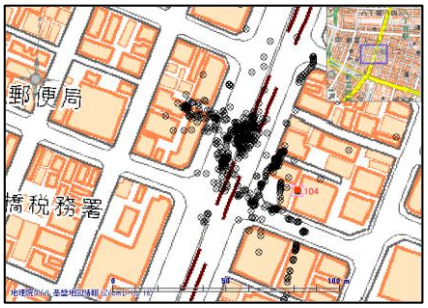
6.2.3.5. GPS 軌跡消去

ツールバー	81
コマンド	GpsLogClear

『6.2.3.4.GPS 軌跡表示』(p.88)で表示した GPS ログ軌跡の表示状態を解除します。

① 【GPS ログ軌跡消去】ボタンをタップすると、地図上の GPS ログ軌跡を消去します。

処理前



処理後

6.2.3.6. GPS プレイバック

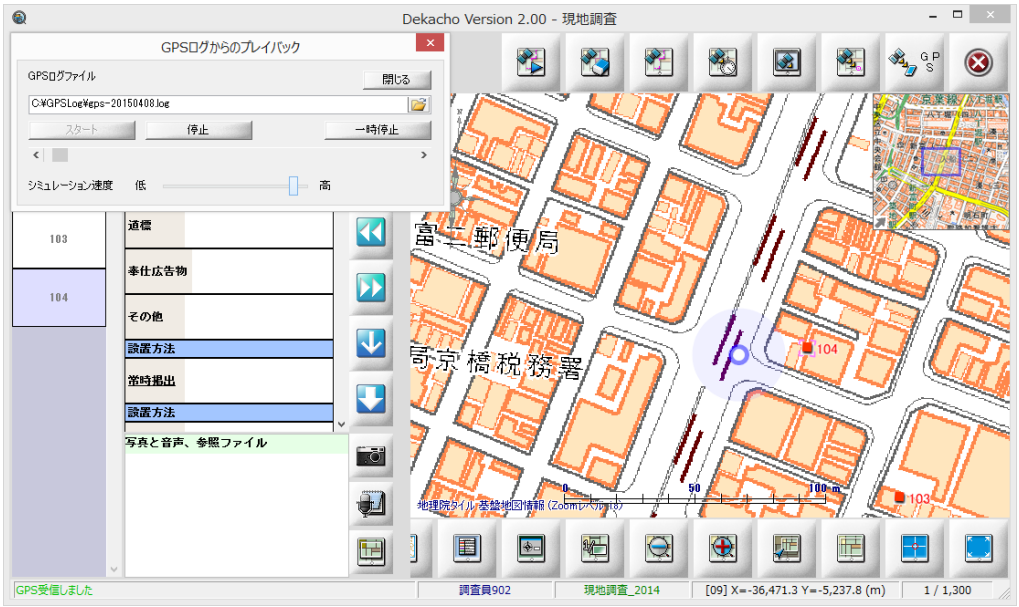
ツールバー	82
コマンド	GpsLogPlay

GPS ログによるプレイバックを行います。

① 【GPS プレイバック】ボタンをタップすると、[GPS ログからのプレイバック]ダイアログボックスが表示されます。

② 【ファイル参照】ボタン ( ) でプレイバックを行うログファイルを指定し、【スタート】ボタンをタップしてください。

③ ログの箇所は地図上に青紫の円で表示されます。



[GPS ログからのプレイバック]ダイアログボックス

【閉じる】ボタン	:ダイアログボックスを閉じて、GPS ログによるプレイバックを終了します。
ボタン	:タップすると[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。プレイバックを行うファイルを指定してください。
【スタート】ボタン	:タップすると、青紫の円で、ログのプレイバックを開始します。
【停止】ボタン	:ログのプレイバックを停止します。
【一時停止】ボタン	:ログのプレイバックを一時停止します。
「シミュレーション速度」バー	:プレイバック速度を変更します。

6.2.3.7. GPS 位置にポイント作成

ツールバー	103
コマンド	GpsPnt

GPS を利用して、現在の位置にポイントを生成します。

① 【GPS 位置にポイント生成】ボタンをタップすると、ただちに該当箇所にポイントを生成します。

② 【GPS 位置にポイント生成】ボタンにオプションが付けられている場合（GpsPnt△-Camera と指定）、写真を撮った位置にポイントを生成し、写真をポイントに登録します。

。

6.2.4. メモ作図メニュー

6.2.4.1. メモ作図

ツールバー	40
コマンド	Sakuzu

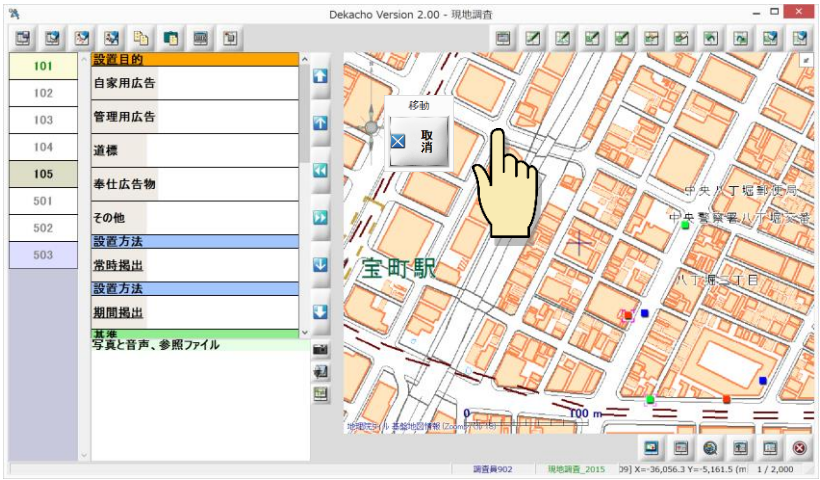
[**メモ作図**]ダイアログボックスを表示します。
動作は『6.1.メモ作図』(p.52)を参照してください。

6.2.4.2. ポイント作図

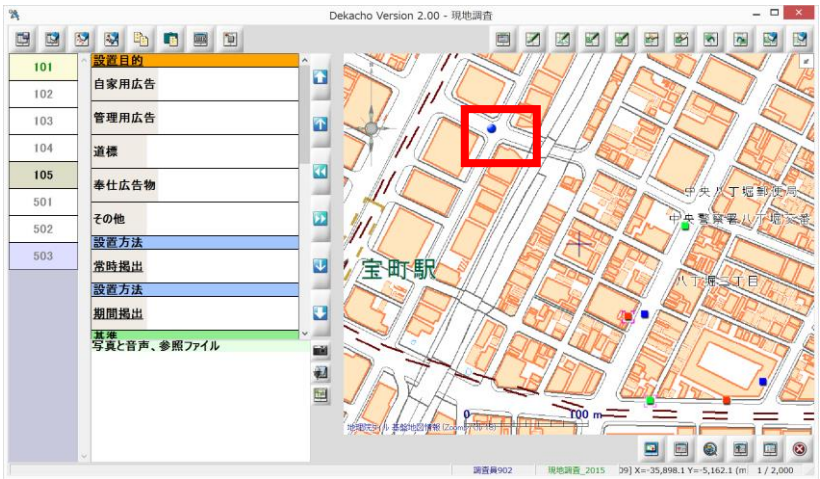
ツールバー	47
コマンド	SakuzuTrack△1△……(※) (※)……以降のパラメーターは『**出簡調管理設定マニュアル**』を参照

メモポイントを作図します。

① 【**ポイント作図**】ボタンをタップすると、【**ポイント追加(取消)**】ボタンが表示されます。
ポイントを置く位置をタップしてください。【**ポイント追加(取消)**】ボタンをタップすると処理を中止します。



② タップした位置にポイントが追加され、同時に【**ポイント追加(取消)**】ボタンが閉じます。
連続して処理は行えませんので、作図作業を続ける場合は再度【**ポイント作図**】ボタンをタップしてください。

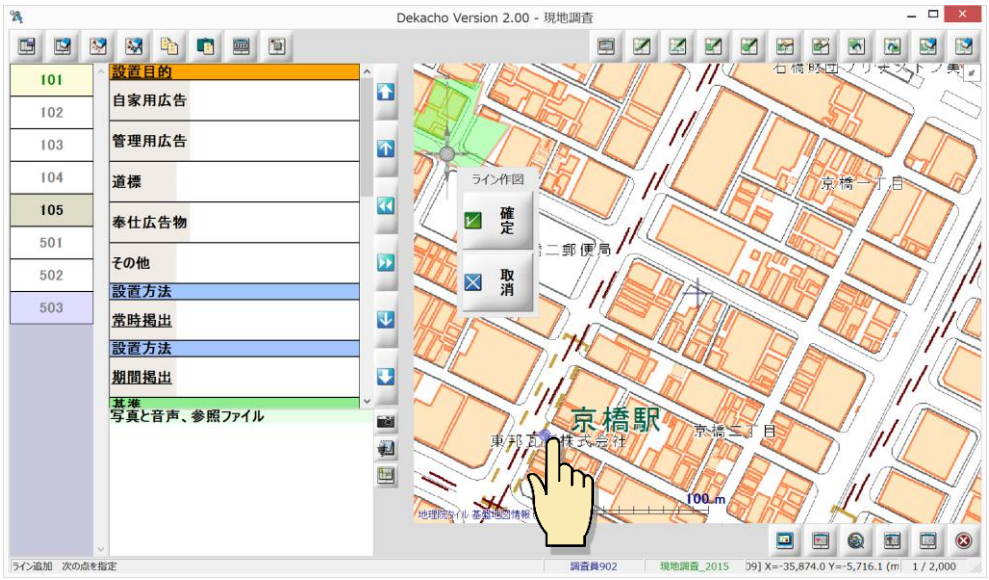


6.2.4.3. ライン作図

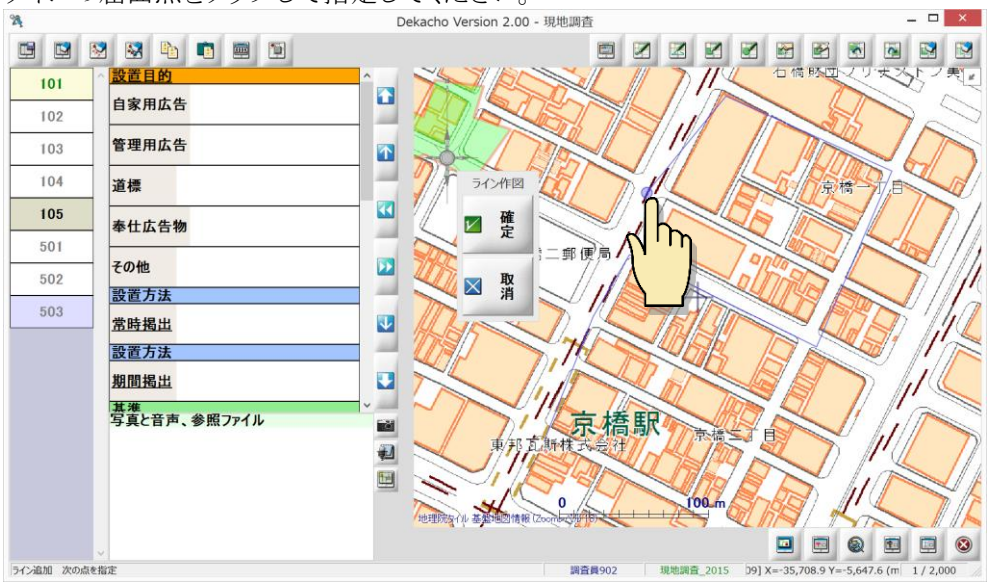
ツールバー	48
コマンド	SakuzuTrack△2

メモラインを作図します。

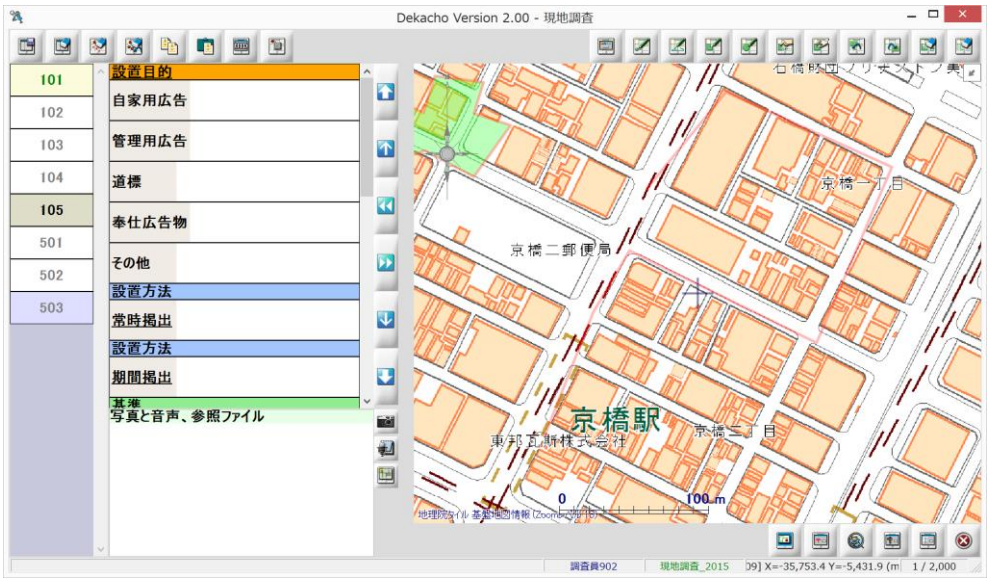
① 【ライン作図】ボタンをタップすると、【ライン追加（確定）/（取消）】ボタンが表示されます。
ラインの始点をタップしてください。ラインの始点が確定し、青〇で表示されます。
【ライン追加（取消）】ボタンをタップすると処理を中止します。



② ラインの屈曲点をタップして指定してください。



① ライン終点でダブルタップ、もしくは、**【ライン追加（確定）】**ボタンをタップすると、ラインが追加され、同時に**【ライン追加（確定）/（取消）】**ボタンが閉じます。
連続して処理は行えませんので、作図作業を続ける場合は再度**【ライン作図】**ボタンをタップしてください。

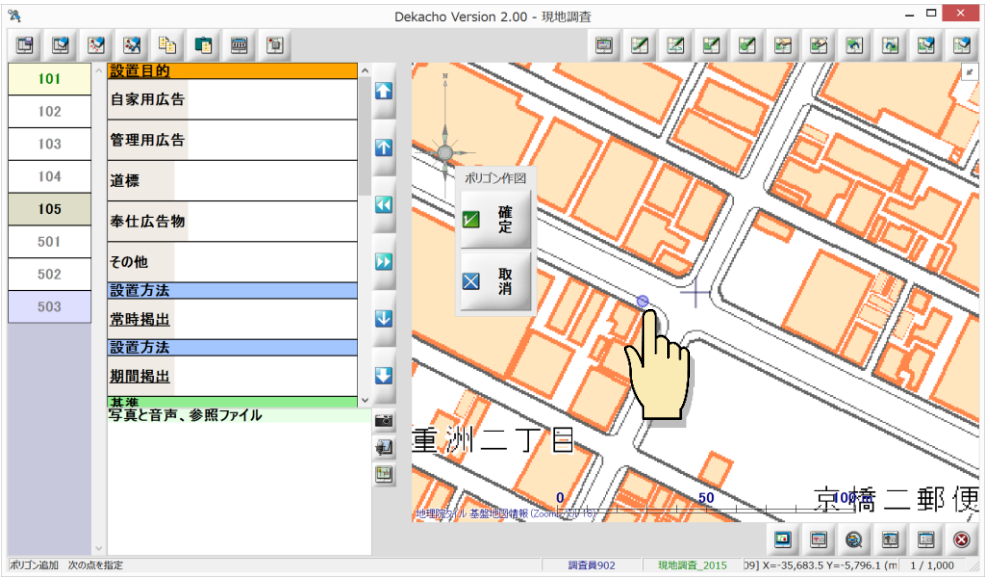


6.2.4.4. ポリゴン作図

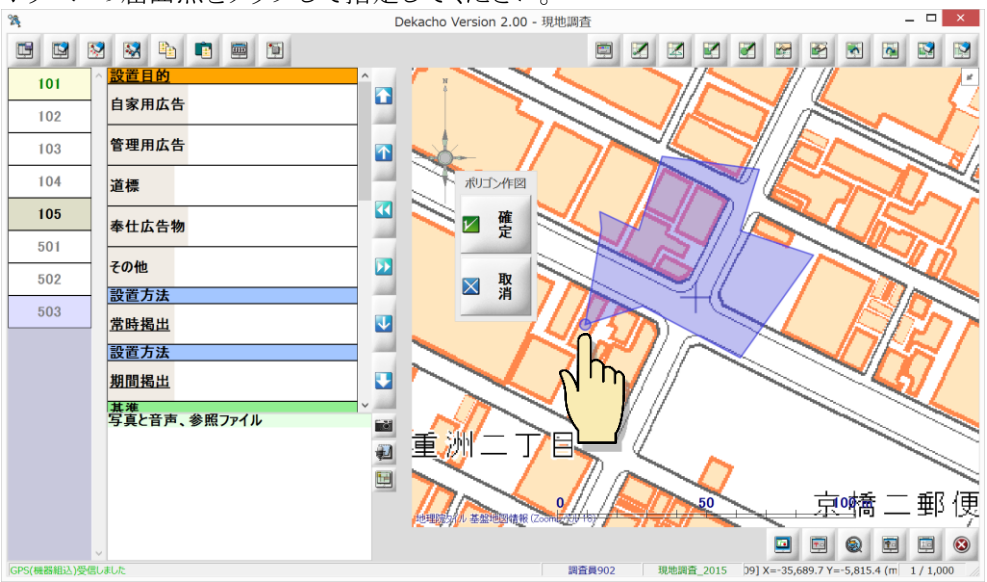
ツールバー	49
コマンド	SakuzuTrack△3

メモポリゴンを作図します。

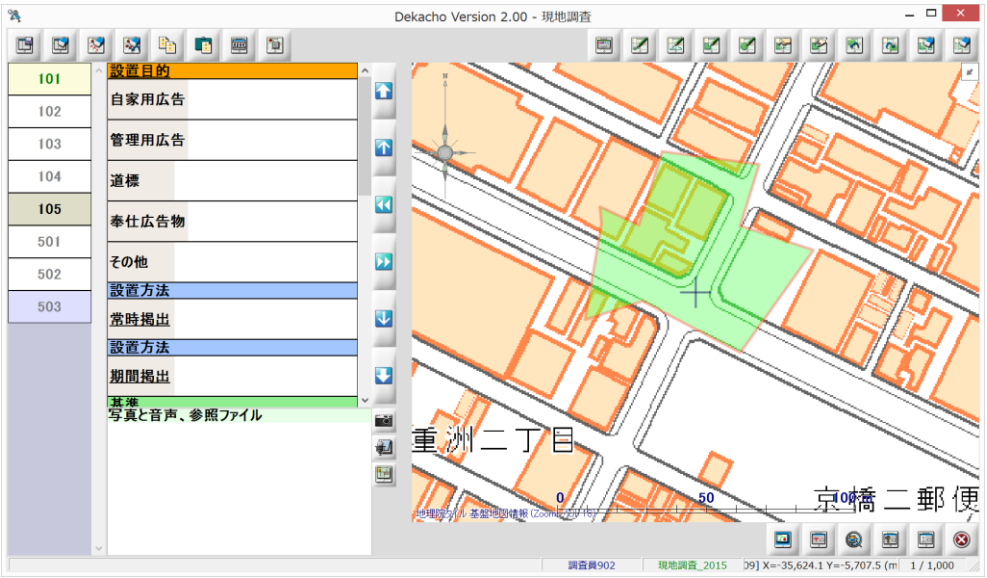
① 【ポリゴン作図】ボタンをタップすると、【ポリゴン作図（確定）/（取消）】ボタンが表示されます。
ポリゴンの始点をタップしてください。ポリゴンの始点が確定し、青〇で表示されます。
【ポリゴン作図（取消）】ボタンをタップすると処理を中止します。



② ポリゴンの屈曲点をタップして指定してください。



③ ポリゴン終点でダブルタップ、もしくは、**【ポリゴン作図（確定）】**ボタンをタップすると、ポリゴンが追加され、同時に**【ポリゴン作図（確定）/（取消）】**ボタンが閉じます。
連続して処理は行えませんので、作図作業を続ける場合は再度**【ポリゴン作図】**ボタンをタップしてください。
※ポリゴンの性質上、3 点以上の屈曲点が必要です。2 点の時点で、**【ポリゴン作図（確定）】**ボタンをタップすると、ポリゴン追加操作をキャンセルし、**【ポリゴン作図（確定）/（取消）】**ボタンが閉じます。

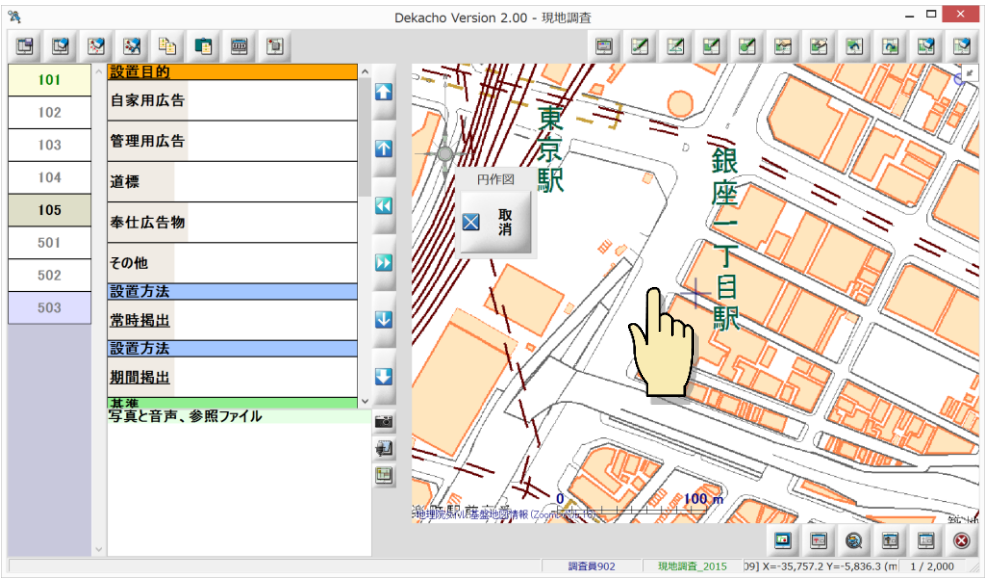


6.2.4.5. サークル作図

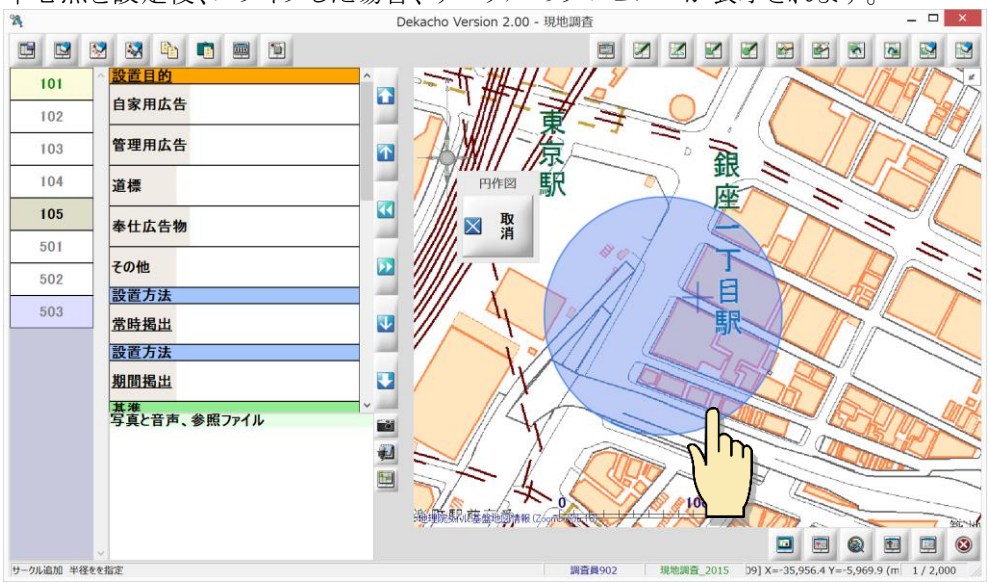
ツールバー	50
コマンド	SakuzuTrack△4

メモサークルを作図します。

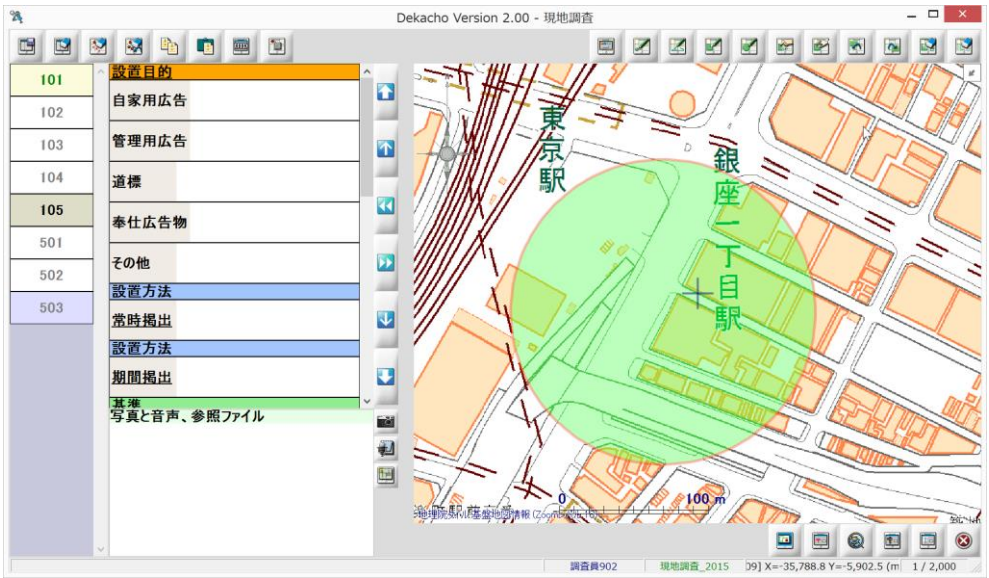
① 【サークル作図】ボタンをタップすると、【円作図(取消)】ボタンが表示されます。
サークルの中心点をタップしてください。サークルの始点が確定します。
【円作図(取消)】ボタンをタップすると処理を中止します。



② 中心点を設定後、スワイプした場合、サークルのプレビューが表示されます。



③ サークルの外円点をタップすると、サークルが追加され、同時に**【円作図（取消）】**ボタンが閉じます。
連続して処理は行えませんので、作図作業を続ける場合は再度**【サークル作図】**ボタンをタップしてください。

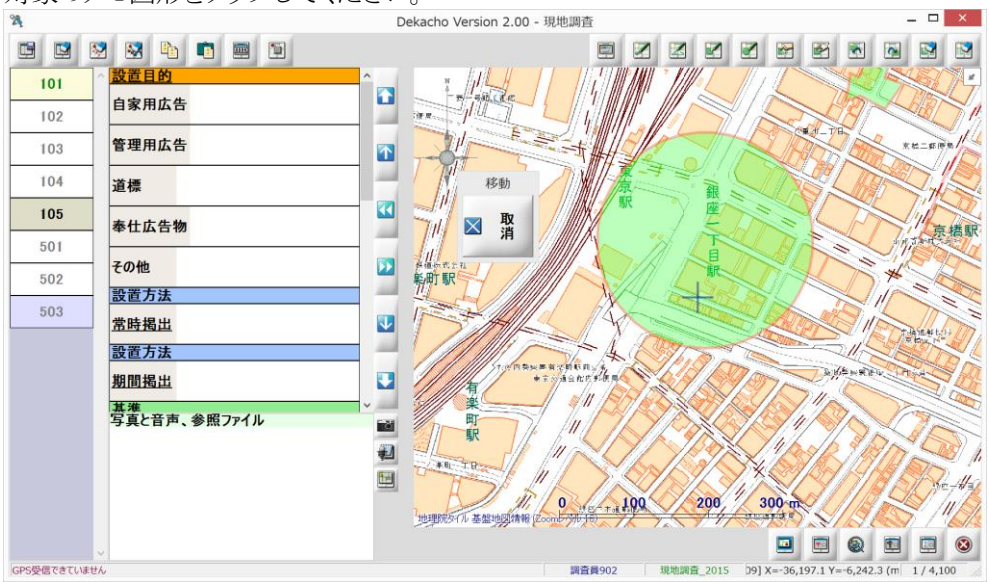


6.2.4.6. 図形移動

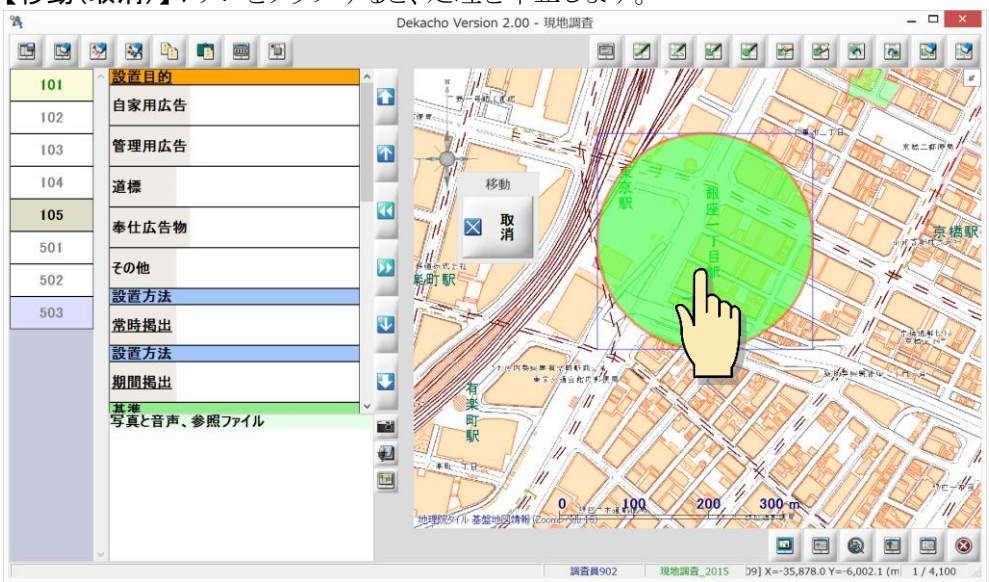
ツールバー	41
コマンド	SakuzuEdit△1

『6.1.メモ作図』(p.52)、『6.2.4.1.メモ作図』(p.91)、『6.2.4.2.ポイント作図』(p.91)、『6.2.4.3.ライン作図』(p.92)、『6.2.4.4.ポリゴン作図』(p.94)、『6.2.4.5.サークル作図』(p.96)、『6.2.10.1【フリー作図】ボタン』(p.150)で追加したメモ図形を移動します。

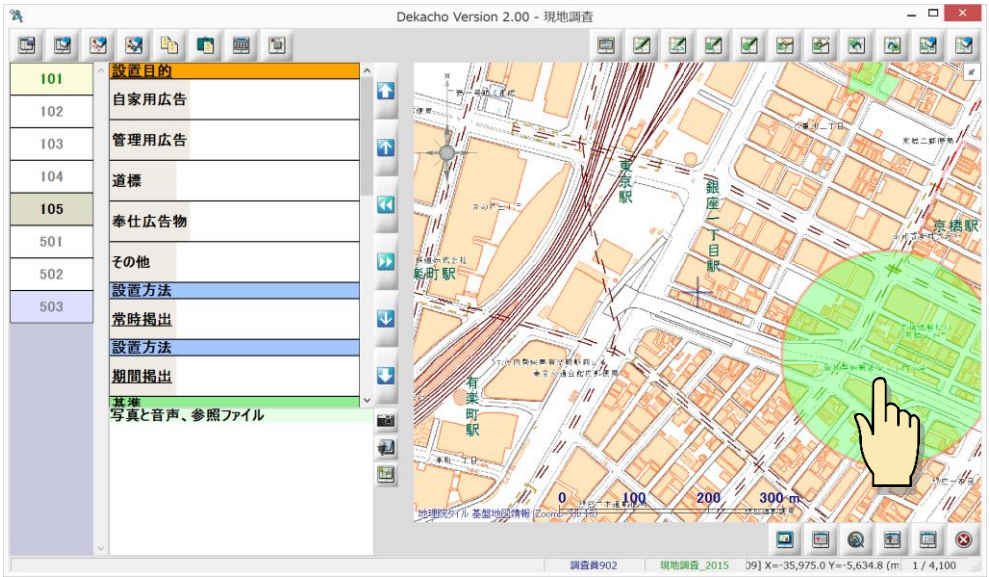
① 【図形移動】ボタンをタップすると、【移動(取消)】ボタンが表示されます。
対象のメモ図形をタップしてください。



② 外周線が表示され、移動モードに入ったことが確認できます。
【移動(取消)】ボタンをタップすると、処理を中止します。



③ 移動先をタップするとメモ図形の移動位置が確定し、同時に**【移動(取消)】**ボタンが閉じます。連続して処理は行えませんので、移動作業を続ける場合は再度**【図形移動】**ボタンをタップしてください。

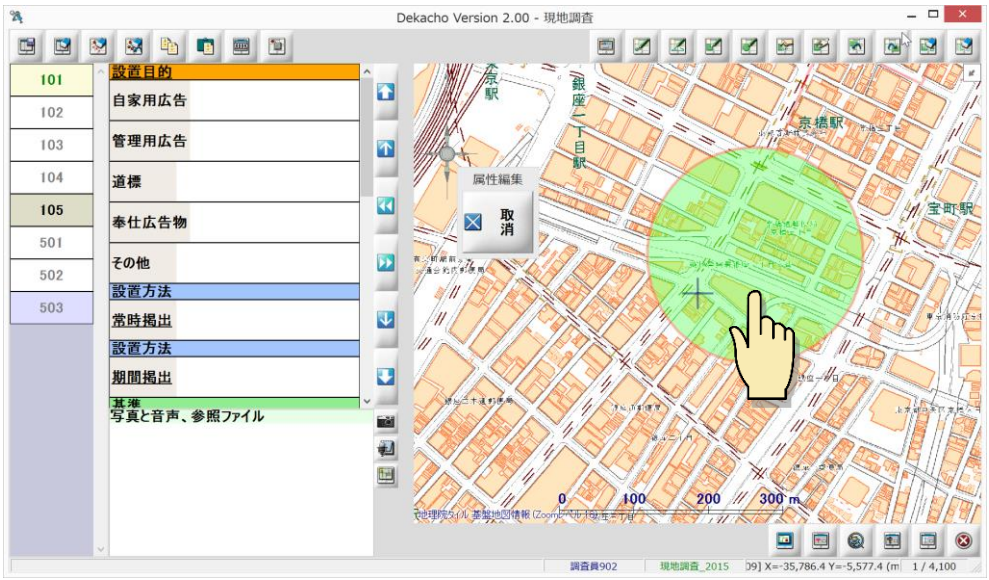


6.2.4.7. 図形情報修正

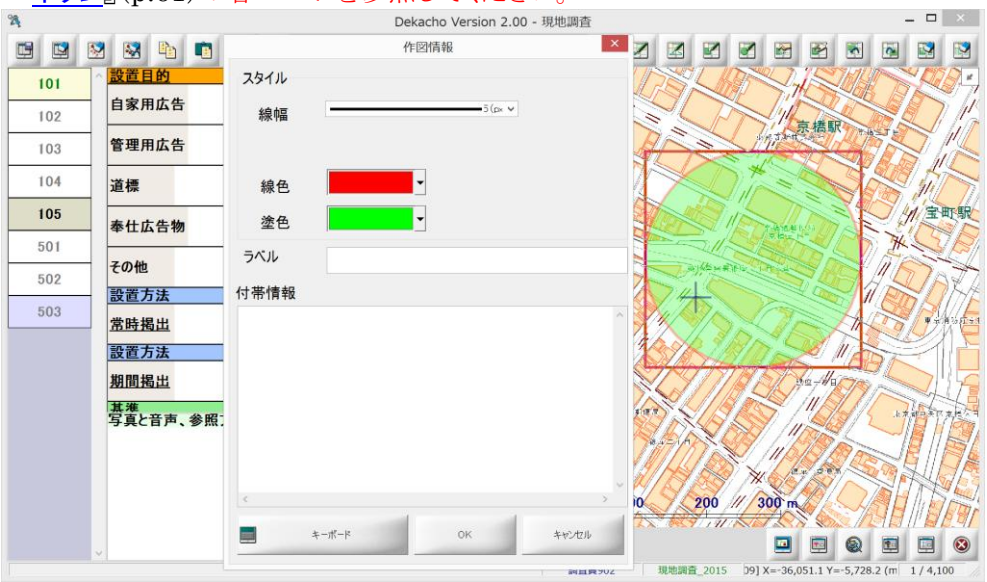
ツールバー	42
コマンド	SakuzuEdit△2

『6.1.メモ作図』(p.52)、『6.2.4.1.メモ作図』(p.91)、『6.2.4.2.ポイント作図』(p.91)、『6.2.4.3.ライン作図』(p.92)、『6.2.4.4.ポリゴン作図』(p.94)、『6.2.4.5.サークル作図』(p.96)、『6.2.10.1【フリー作図】ボタン』(p.150)で追加したメモ図形に情報を入力します。

① 【図形情報修正】ボタンをタップすると、図形情報修正モードとなり、【属性編集(取消)】ボタンが表示されます。【属性編集(取消)】ボタンをタップすると処理を中止します。



② 修正するメモ図形をタップしてください。
該当するメモ図形の[作図情報]ダイアログボックスが表示されます。入力時と同様に修正を行うことができます。
※それぞれのダイアログボックスの詳細は、『6.1.1.【ポイント追加】ボタン』(p.52)、『6.1.2.【ライン追加】ボタン』(p.55)、『6.1.3.【ポリゴン追加】ボタン』(p.58)、『6.1.4.【サークル追加】ボタン』(p.61)の各ページを参照してください。



③ 【OK】ボタンをタップすると、[作図情報]ダイアログボックスが閉じます。
連続して処理は行えませんので、編集作業を続ける場合は再度【図形情報修正】ボタンをタップしてください。

6.2.4.8. UNDO

ツールバー	43
コマンド	SakuzuEdit△3

『6.2.4.1.メモ作図』(p.91)、『6.2.4.2.ポイント作図』(p.91)、『6.2.4.3.ライン作図』(p.92)、『6.2.4.4.ポリゴン作図』(p.94)、『6.2.4.5.サークル作図』(p.96)、『6.2.4.6.図形移動』(p.98)、『6.2.4.7.図形情報修正』(p.100)、『6.2.4.9.REDO』(p.101)、『6.2.4.10.図形削除』(p.102)、『6.2.10.1【フリー作図】ボタン』(p.150)で行った直前の作業を取り消します。

動作は『6.1.7【UNDO】ボタン』(p.69)を参照してください。

6.2.4.9. REDO

ツールバー	44
コマンド	SakuzuEdit△4

『6.2.4.1.メモ作図』(p.91)、『6.2.4.2.ポイント作図』(p.91)、『6.2.4.3.ライン作図』(p.92)、『6.2.4.4.ポリゴン作図』(p.94)、『6.2.4.5.サークル作図』(p.96)、『6.2.4.6.図形移動』(p.98)、『6.2.4.7.図形情報修正』(p.100)、『6.2.4.10.図形削除』(p.102)、『6.2.10.1【フリー作図】ボタン』(p.150)で行った処理に対し、『6.2.4.8.UNDO』(p.101)処理を行った作業を取り消します。

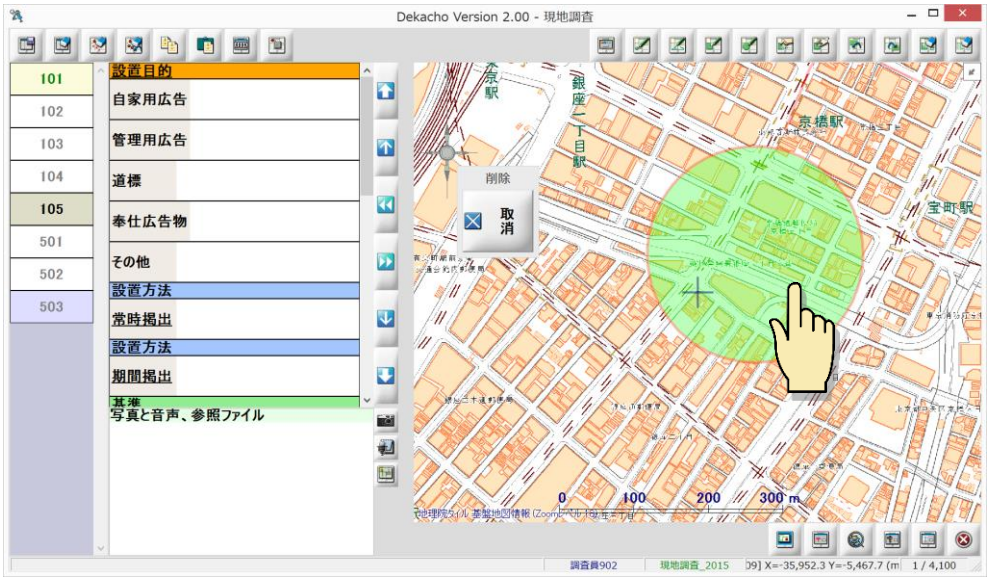
動作は、『6.1.8【REDO】ボタン』(p.70)を参照してください。

6.2.4.10. 図形削除

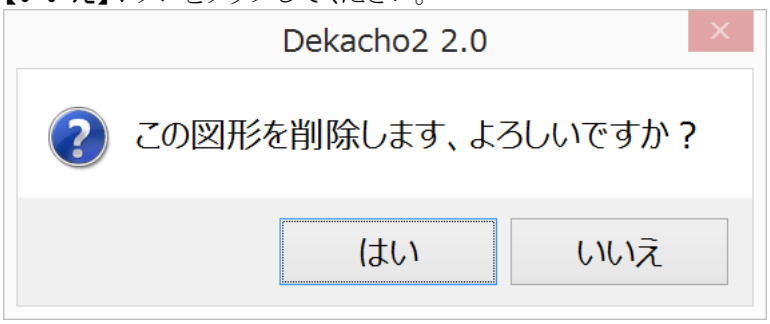
ツールバー	45
コマンド	SakuzuEdit△5

『6.1.メモ作図』(p.52)、『6.2.4.1.メモ作図』(p.91)、『6.2.4.2.ポイント作図』(p.91)、『6.2.4.3.ライン作図』(p.92)、『6.2.4.4.ポリゴン作図』(p.94)、『6.2.4.5.サークル作図』(p.96)、『6.2.10.1【フリー作図】ボタン』(p.150)で追加したメモ図形を削除します。

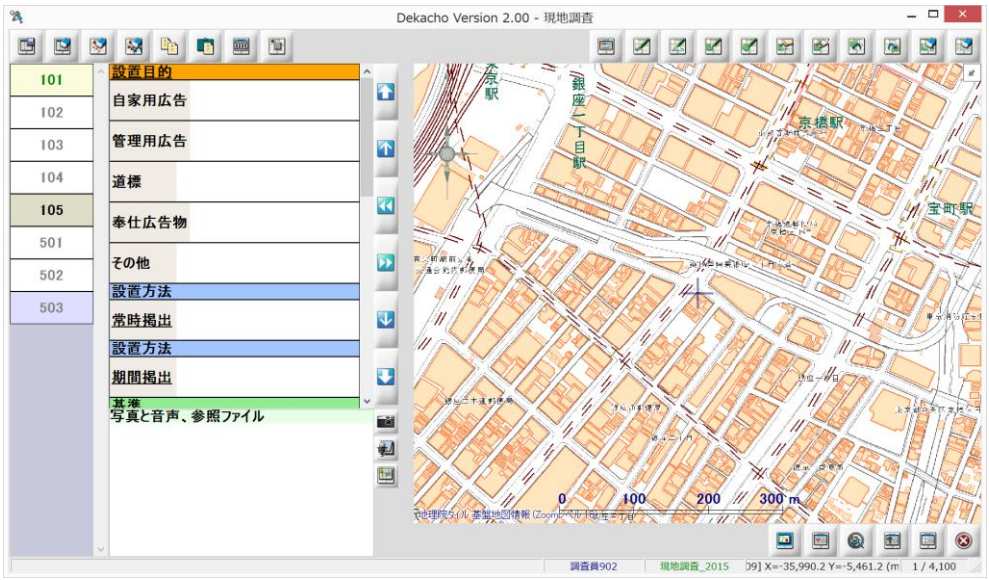
① 【図形削除】ボタンをタップすると、【削除(取消)】ボタンが表示されます。
【削除(取消)】ボタンをタップすると処理を中止します。



② 削除するメモ図形をタップしてください。
メッセージボックスが表示されます。削除する場合は【はい】ボタンを、削除しない場合は、【いいえ】ボタンをタップしてください。



③ 【はい】ボタンをタップした場合、対象のメモ図形が削除され、同時に【削除(取消)】ボタンが閉じます。
連続して処理は行えませんので、削除作業を続ける場合は再度【図形削除】ボタンをタップしてください。

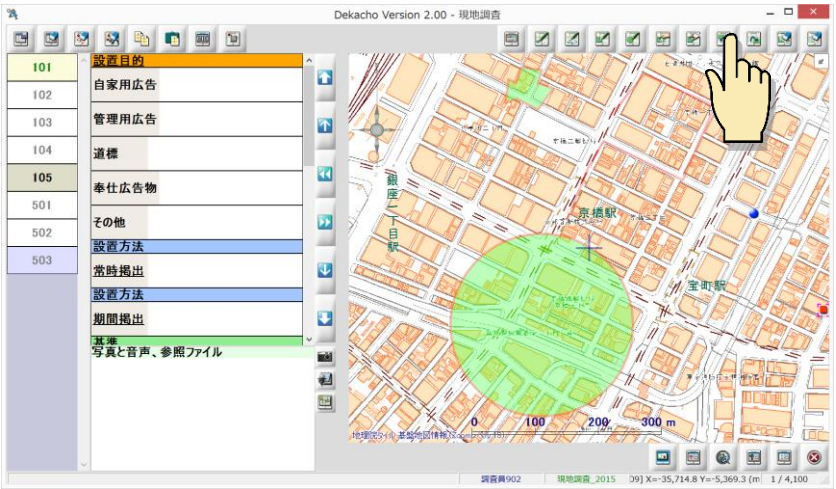


6.2.4.11. 全図形削除

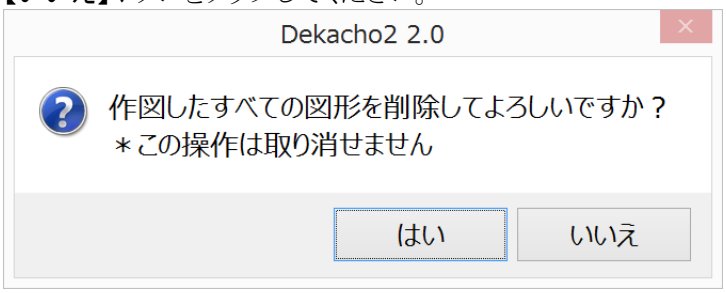
ツールバー	46
コマンド	SakuzuEdit△6

『6.1.メモ作図』(p.52)、『6.2.4.1.メモ作図』(p.91)、『6.2.4.2.ポイント作図』(p.91)、『6.2.4.3.ライン作図』(p.92)、『6.2.4.4.ポリゴン作図』(p.94)、『6.2.4.5.サークル作図』(p.96)、『6.2.10.1【フリー作図】ボタン』(p.150)で追加したメモ図形を削除します。
※この操作は取り消せません。

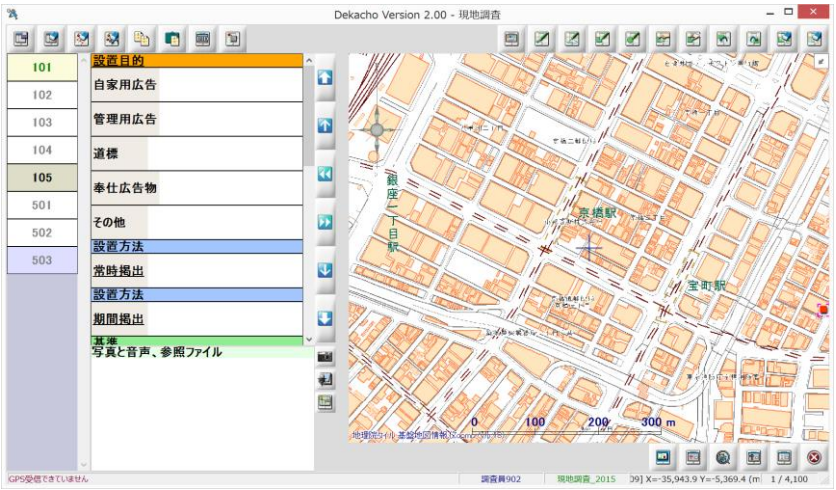
① 【全図形削除】ボタンをタップしてください。



② メッセージボックスが表示されます。削除する場合は、【はい】ボタンを、削除しない場合は、【いいえ】ボタンをタップしてください。



③ 【はい】ボタンをタップした場合、全てのメモ図形が削除されていることが確認できます。



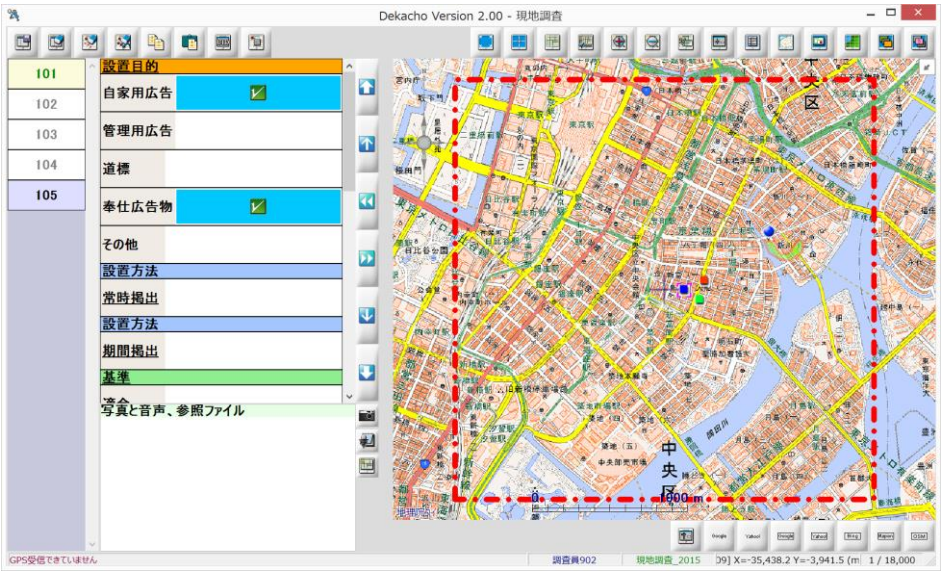
6.2.5. 表示メニュー

6.2.5.1. 全体表示

ツールバー	53
コマンド	ZoomFit

管理ツールの[管理 1]パネル-「次回起動時に開くプロジェクト」に設定しているプロジェクトファイル(*.pcm/*.pcms)のデータ領域全体を表示します。

① 【全体表示】ボタンをタップすると、データ領域全体が画面内に表示されるように表示領域を変更します。下図では、赤点線の部分が、プロジェクトファイルのデータ領域となります。

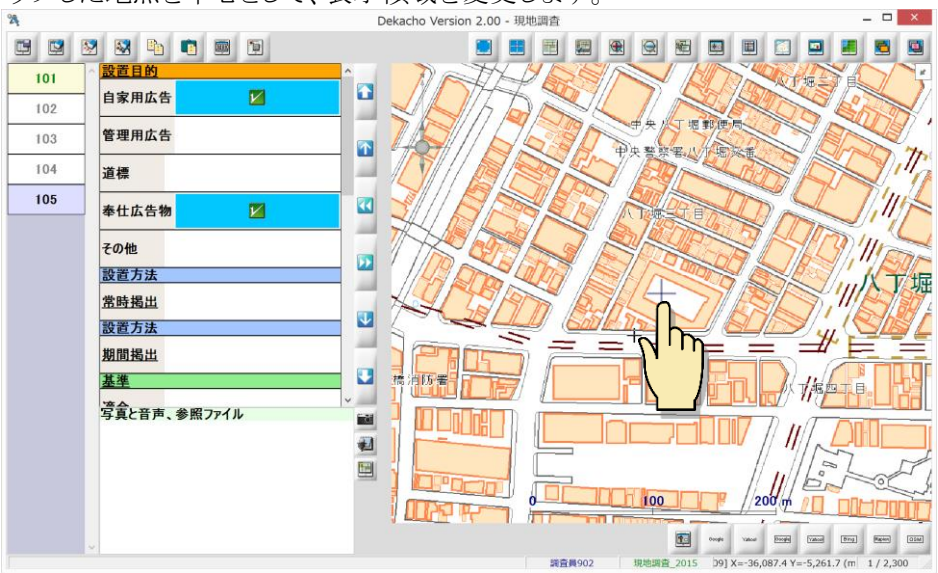


6.2.5.2. センタリング

ツールバー	52
コマンド	ZoomCenter

タップした位置を中心位置として表示します。

① 【センタリング】ボタンをタップ後、中心とする地点をタップしてください。
タップした地点を中心として、表示領域を変更します。

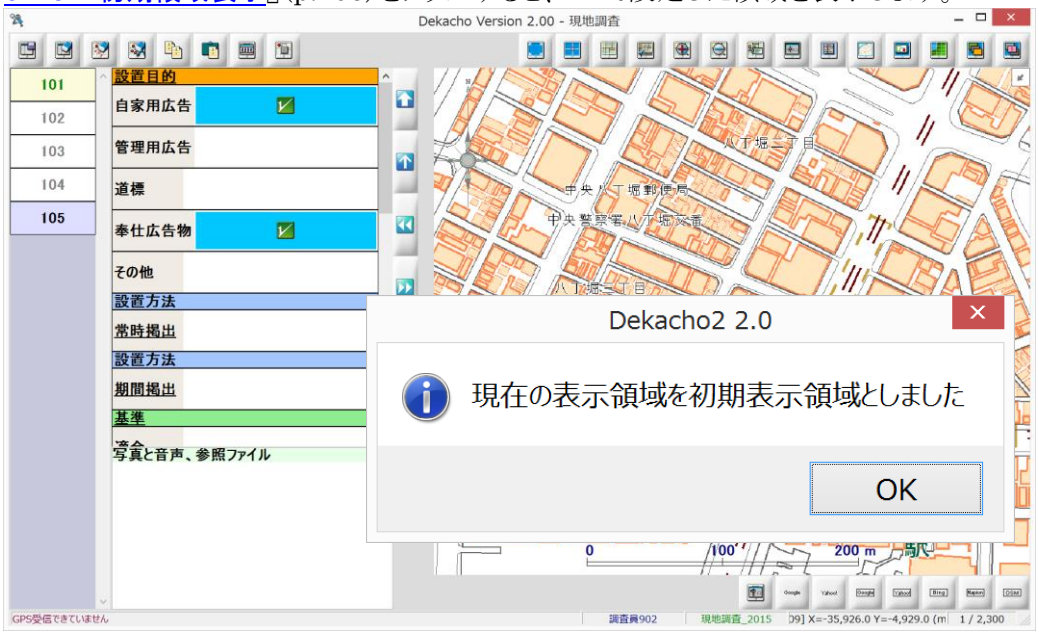


6.2.5.3. 初期領域設定

ツールバー	51
コマンド	ViewSetInit

現在の表示領域を初期領域に設定します。

① 【初期領域設定】ボタンをタップすると、メッセージボックスを表示します。
『6.2.5.4.初期領域表示』(p.106)をタップすると、ここで設定した領域を表示します。

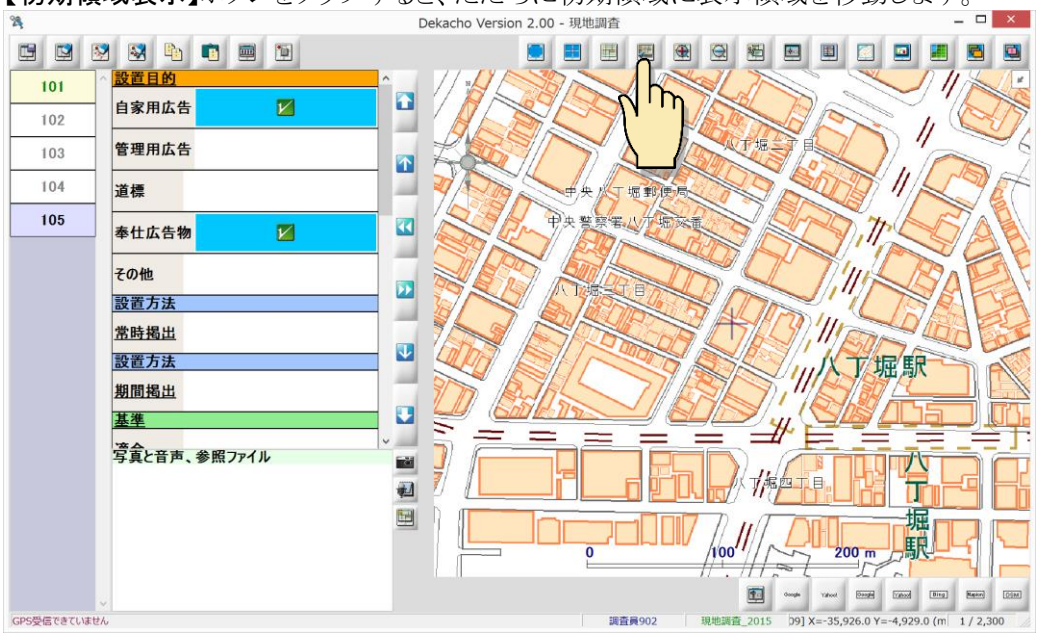


6.2.5.4. 初期領域表示

ツールバー	54
コマンド	ZoomInit

起動時の表示領域もしくは、『6.2.5.3.初期領域設定』(p.106)で設定した領域を表示します。

① 【初期領域表示】ボタンをタップすると、ただちに初期領域に表示領域を移動します。



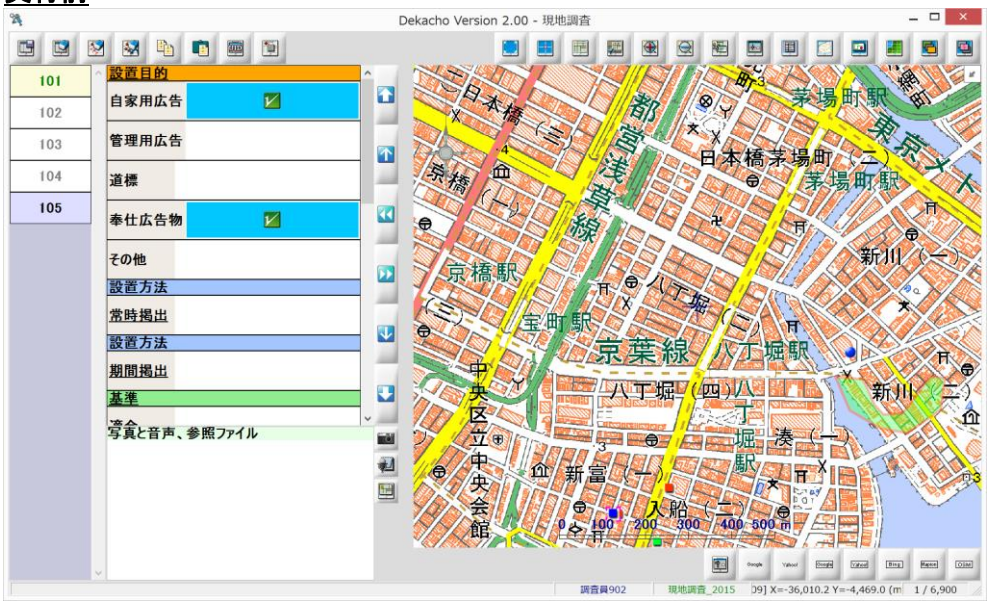
6.2.5.5. 拡大

ツールバー	55
コマンド	ZoomInStep

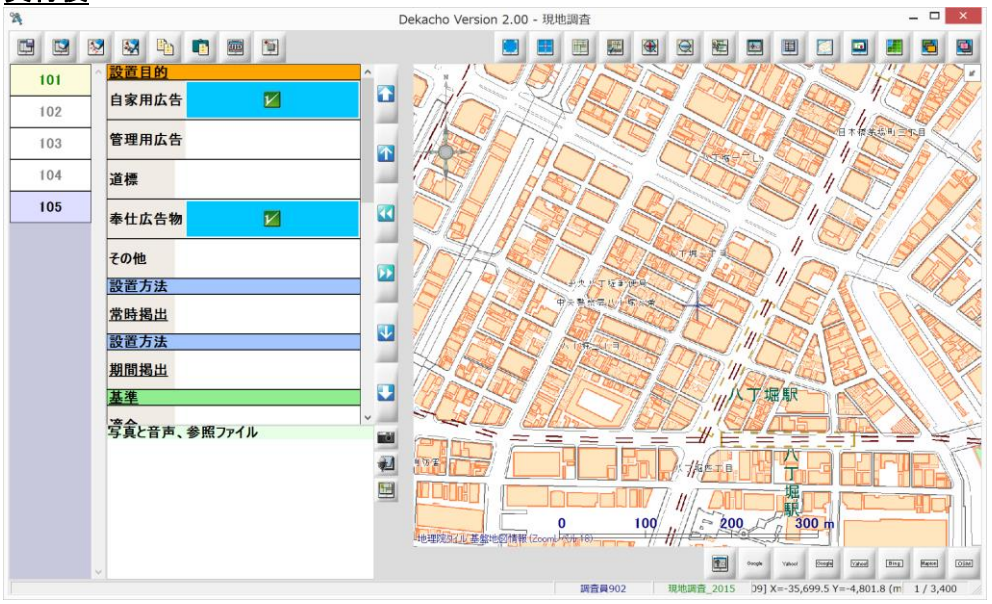
地図上の画面表示を拡大します。

① 【拡大】ボタンをタップすると、ただちに表示領域を拡大します。

実行前



実行後



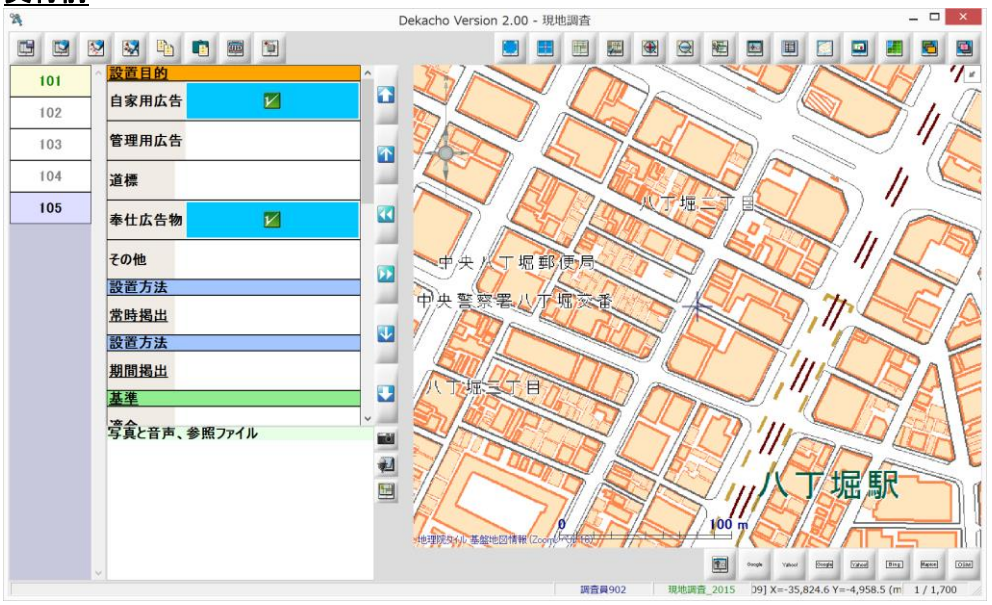
6.2.5.6. 縮小

ツールバー	56
コマンド	ZoomOutStep

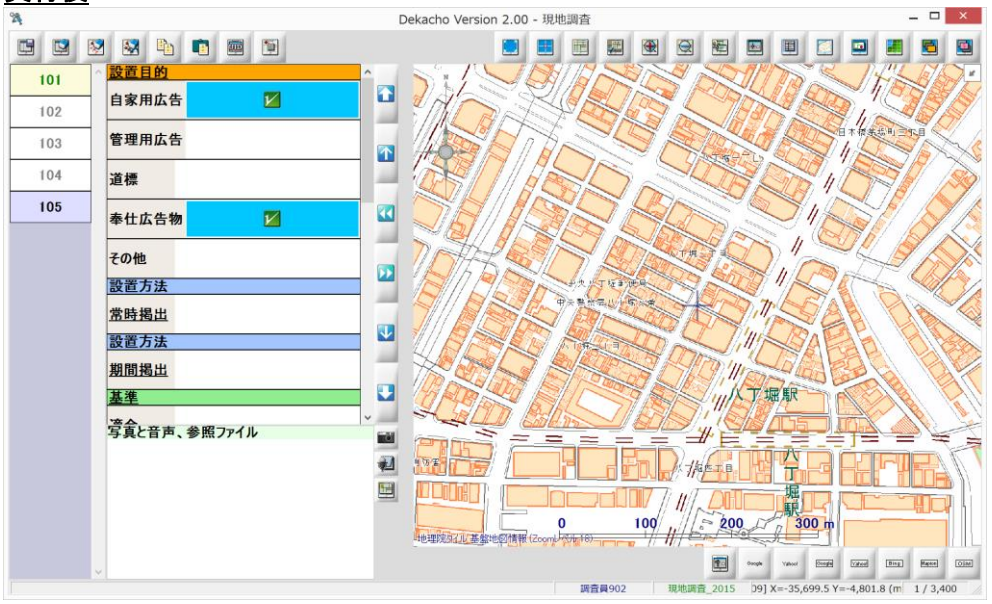
地図上の画面表示を縮小します。

① 【縮小】ボタンをタップすると、ただちに表示領域を縮小します。

実行前



実行後

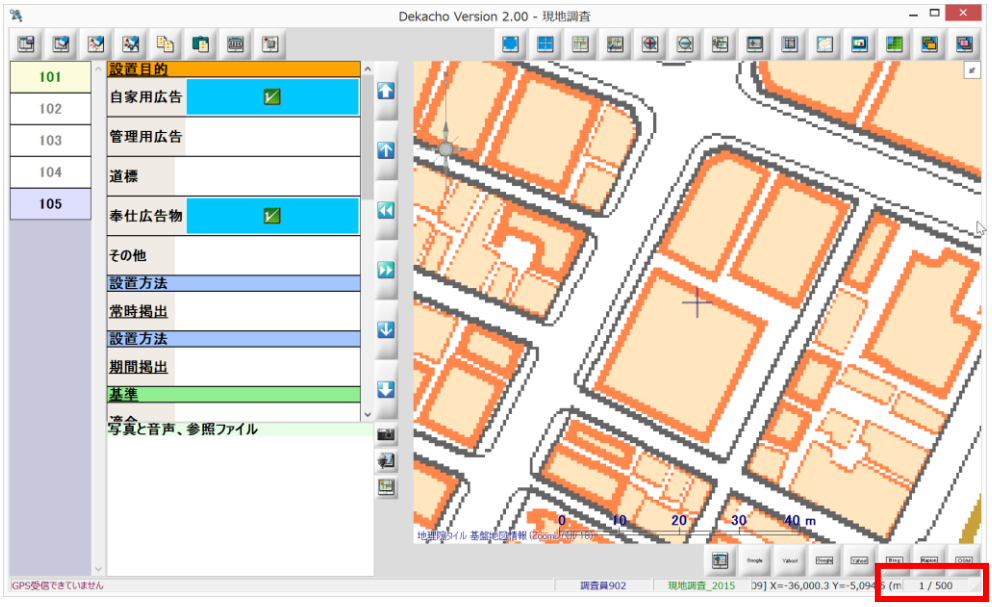


6.2.5.7. 縮尺設定

ツールバー	なし
コマンド	ZoomScale△** **:**に入力されている数値の縮尺で表示(例:500 ならば 1/500 で表示)

設定済みの表示縮尺で表示領域を変更します。

① 【縮尺設定】ボタンをタップすると、現在の表示領域を中心として、設定された縮尺で地図を表示します。下図では、1/500 で表示しています。



6.2.5.8. 回転

ツールバー	57
コマンド	ZoomRotate

地図の回転表示を行います。

① 【回転】ボタンをタップすると、[回転表示設定]ダイアログボックスが表示されます。

操作とダイアログボックスの詳細は、『4.4.地図表示領域回転』(p.13)を参照してください。

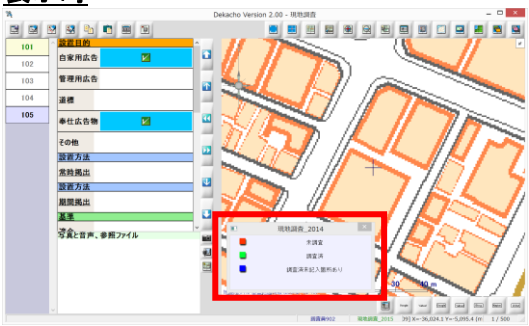
6.2.5.9. 凡例表示

ツールバー	59
コマンド	PalWnd

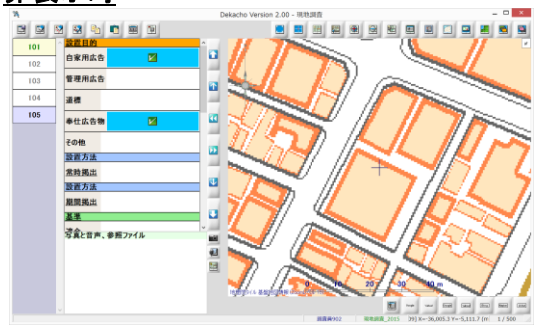
凡例ウィンドウの表示/非表示を切り替えます。

① 【凡例表示】ボタンをタップするごとに、地図上の凡例ウィンドウの表示状態を切り替えます。

表示時



非表示時



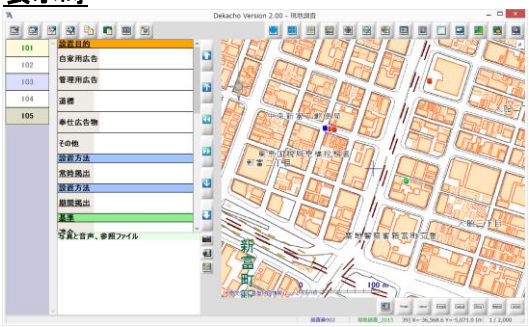
6.2.5.10. 地理院地図表示

ツールバー	60
コマンド	DispCJ

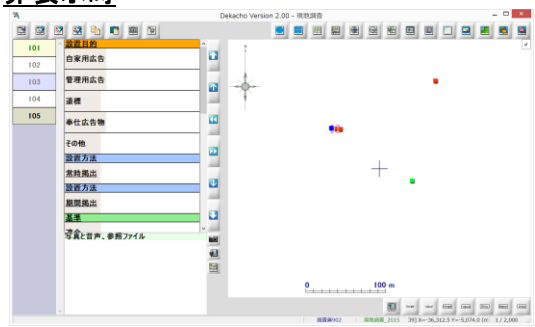
背景の地理院地図の表示/非表示を切り替えます。

① 【地理院地図表示】ボタンをタップするごとに、背景の地理院地図の表示状態を切り替えます。

表示時



非表示時



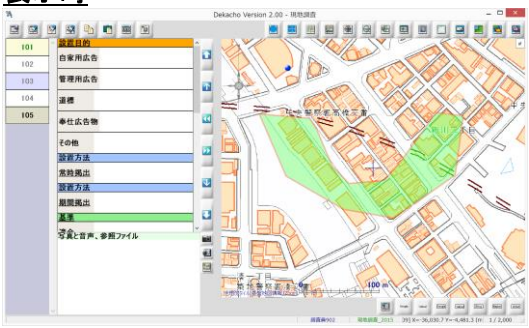
6.2.5.11. メモ表示

ツールバー	61
コマンド	DispSakuzu

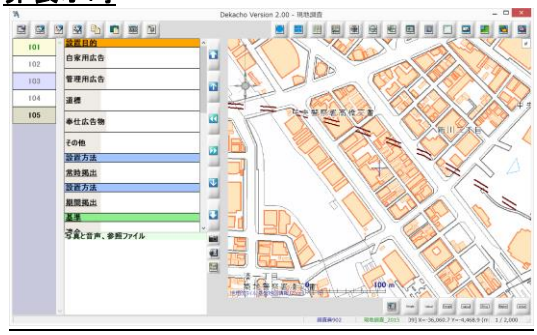
『6.1.メモ作図』(p.52)、『6.2.4.メモ作図メニュー』(p.91)で、追加したメモ図形の表示状態を切り替えます。

① 【メモ表示】ボタンをタップするごとに、メモ図形の表示状態を切り替えます。

表示時



非表示時



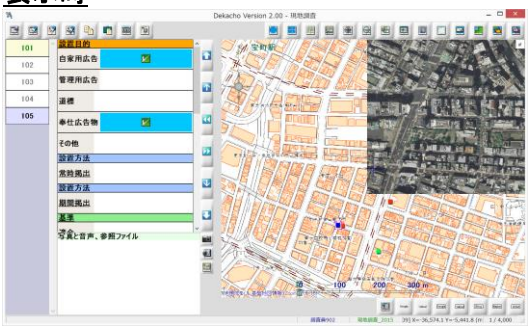
6.2.5.12. イメージ表示

ツールバー	62
コマンド	DispWai

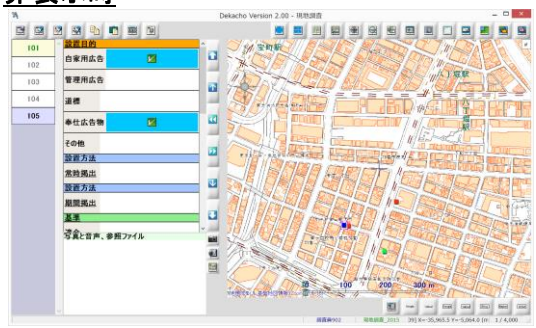
背景のイメージの表示/非表示を切り替えます。

① 【イメージ表示】ボタンをタップするごとに、背景のイメージの表示状態を切り替えます。

表示時



非表示時



6.2.5.13. レイヤー表示

ツールバー	63
コマンド	LayerDisp

登録されているレイヤーの表示状態を切り替えます。

① 【レイヤー表示】ボタンをタップすると、登録されているレイヤーがプルダウンで表示されます。

② 表示するレイヤーをタップすると、タップされたレイヤーが表示されます。グレーになっているレイヤーは、調査対象レイヤーなので、表示状態の変更は行えません。

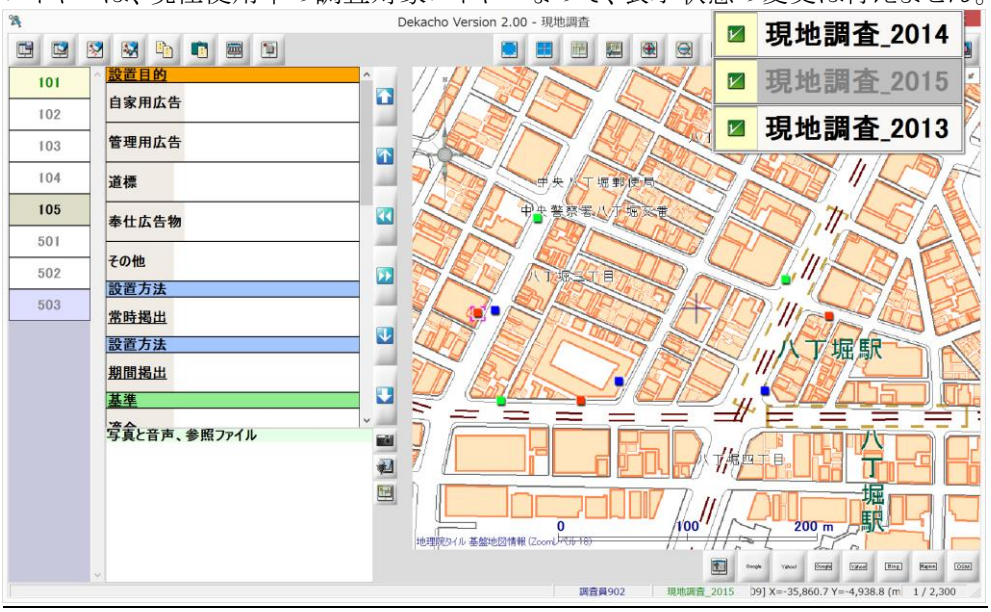
6.2.5.14. 非対象レイヤー表示

ツールバー	64
コマンド	SurveyDisp

調査対象レイヤーの表示状態を切り替えます。

① 【非対象レイヤー表示】ボタンをタップすると、プルダウンで、登録されている調査対象レイヤーが表示されます。

② 表示するレイヤーをタップすると、タップされたレイヤーが表示されます。グレーになっているレイヤーは、現在使用中の調査対象レイヤーなので、表示状態の変更は行えません。

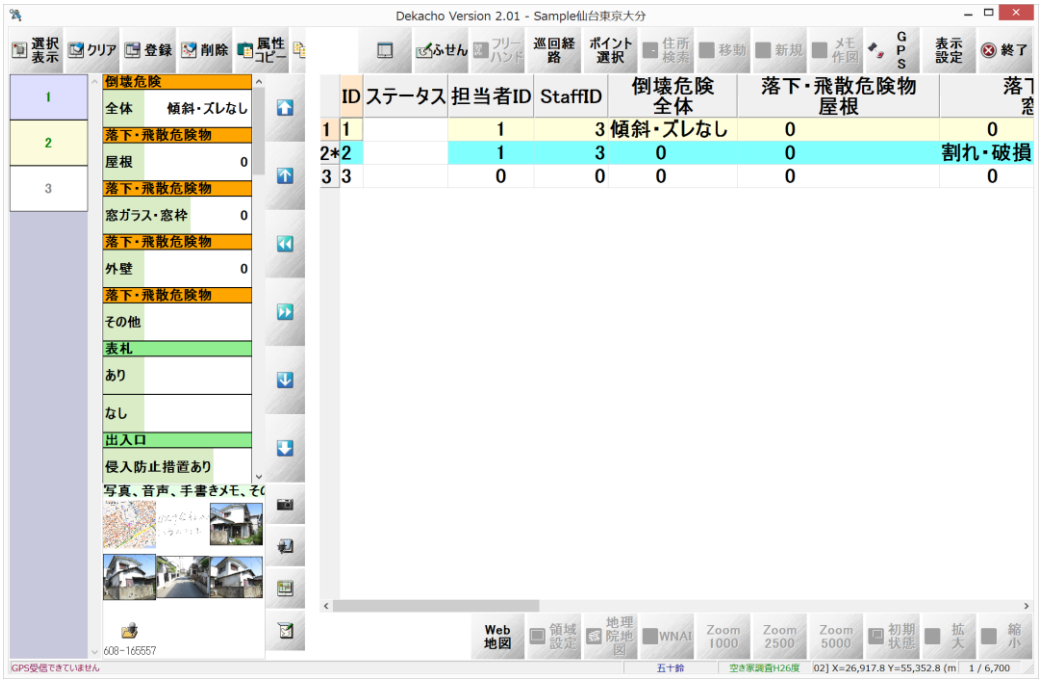


6.2.5.15. 属性リスト表示

ツールバー	122
コマンド	DBView

調査対象物の属性リストを表示します。

① 【属性リスト表示】ボタンをタップすると、地図表示ペイン側に、調査対象物の属性リスト(設定項目と、座標、更新日時)を表示します。再度タップすると、属性リストを閉じます。このリストでは属性の編集は行えません。

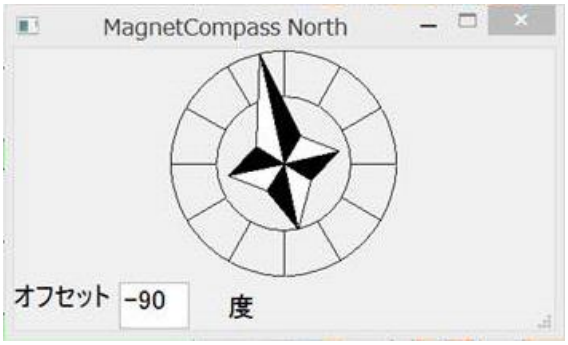


6.2.5.16. 地磁気センサーによる地図の回転

ツールバー	なし
コマンド	MCompass

地磁気センサーが搭載されたタブレットの場合、地磁気センサーの方角で地図を回転します。

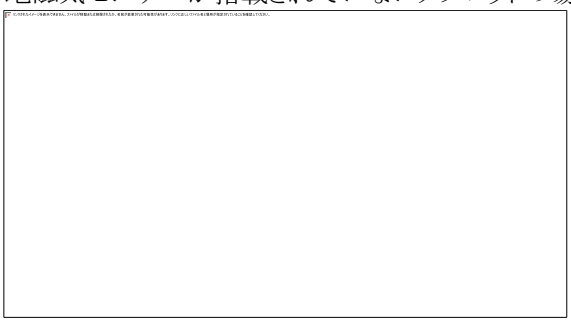
① 【地磁気センサーによる地図の回転】ボタンをタップすると、[MagnetCompass North]ダイアログボックスが表示されます。



地磁気センサーの方角に従い、地図を回転表示します。

地磁気センサーの向き(縦と横のどちらを方角の基準にしているか)と回転 0 度の時の地図の北の向きによってオフセット値をテキストボックスに入力してください。
例えば、地磁気センサーが算出する方角がタブレットの縦方向を基準にしており、かつ、地図をタブレットの横方向が北としている場合、オフセットは-90 度となります。

② 地磁気センサーが搭載されていないタブレットの場合は、メッセージボックスが表示されます。



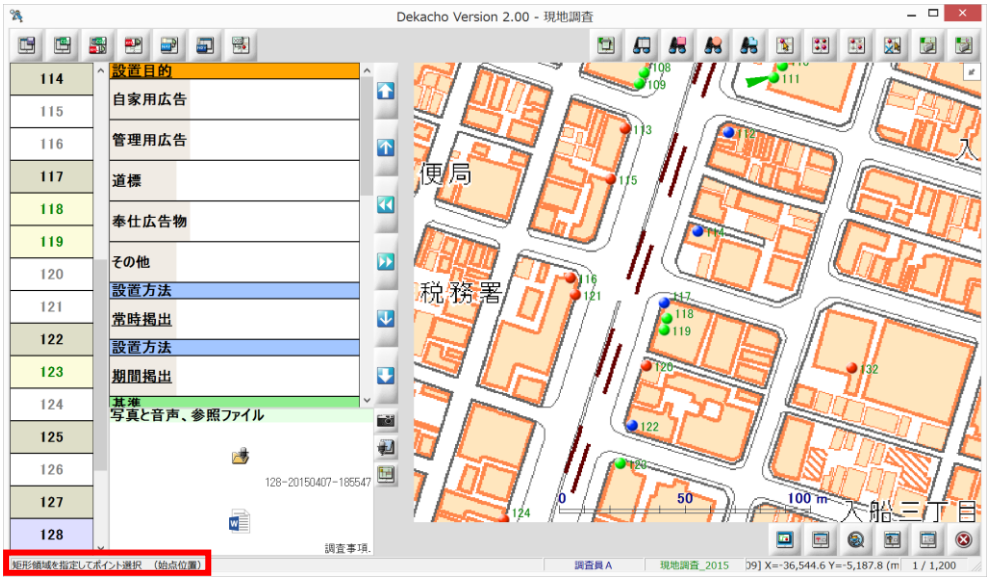
6.2.6. 解析メニュー

6.2.6.1. 矩形選択

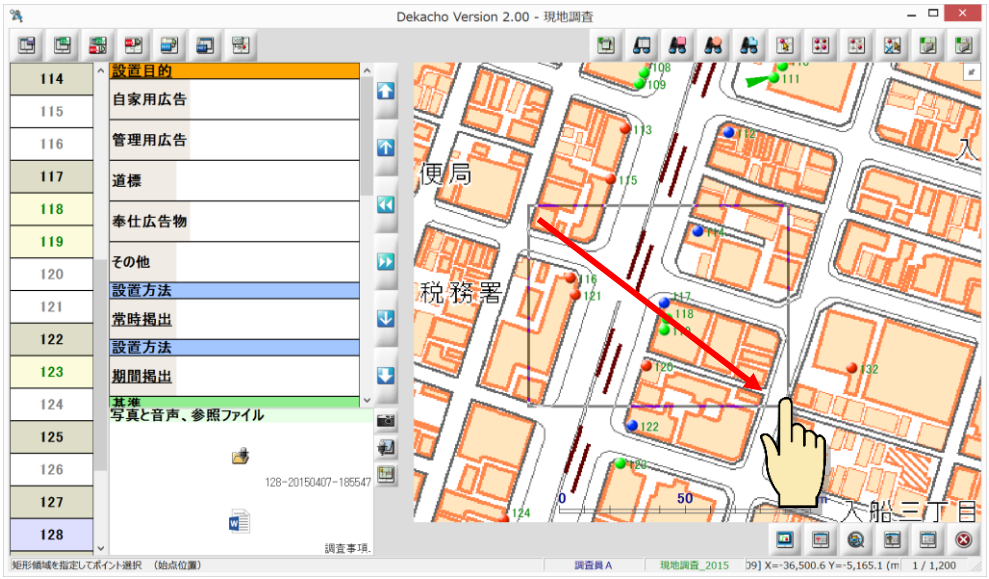
ツールバー	90
コマンド	FindByRect

調査対象物を矩形指定により選択状態にします。

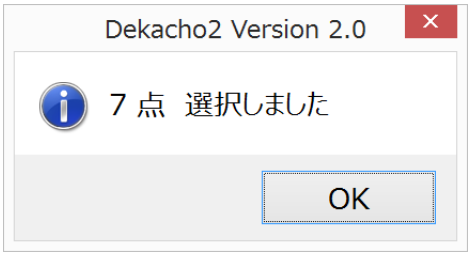
① 【矩形選択】ボタンをタップすると、ステータスバーに「矩形領域を指定してポイント選択（始点位置）」と表示され、選択モードに入ったことが確認できます。



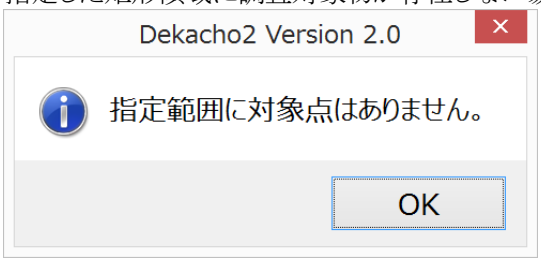
② 選択領域の始点から終点をスワイプして指定してください。



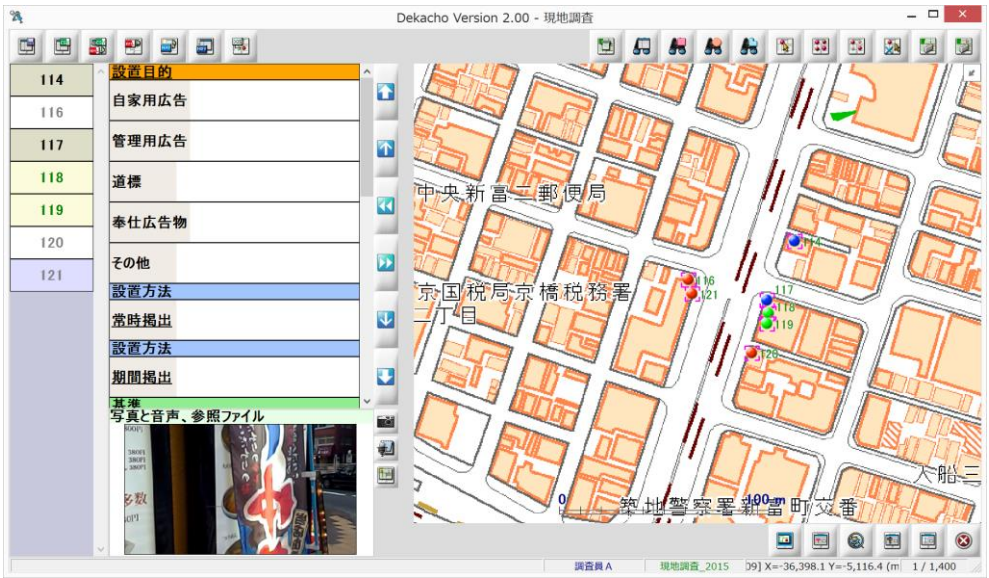
③ メッセージボックスが表示され、選択された調査対象物数を表示します。



指定した矩形領域に調査対象物が存在しない場合は、以下のメッセージボックスを表示します。



④ ③で選択ポイントがある場合、メッセージボックスの【OK】ボタンをタップして閉じると、該当した調査対象物がピンク色の枠組み付きで選択状態になったことが確認できます。



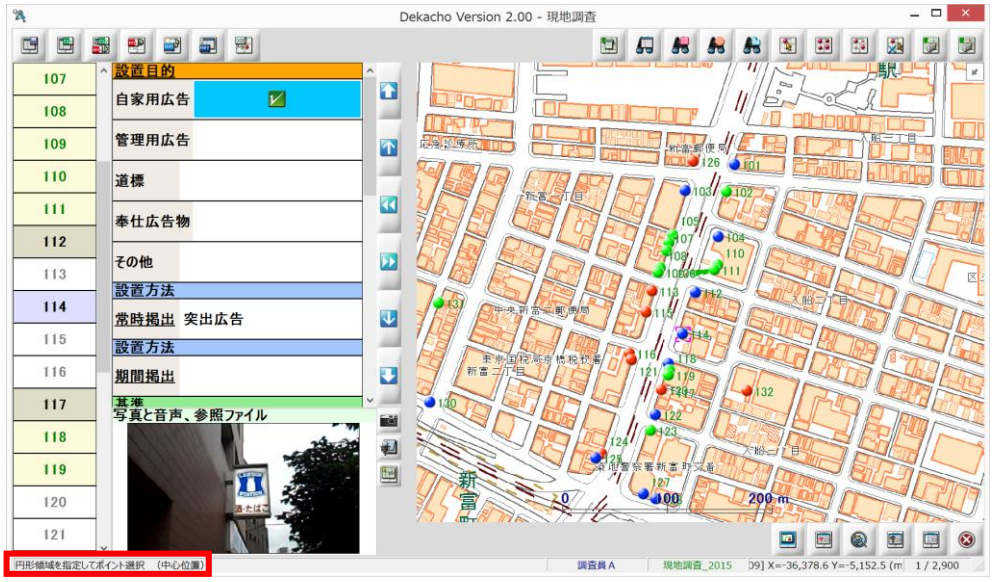
選択状態を個別に解除する場合は、『6.2.6.5.個別選択』(p.124)を、選択状態を一括解除する場合は、『6.2.6.8.選択解除』(p.127)を利用してください。

6.2.6.2. 円形選択

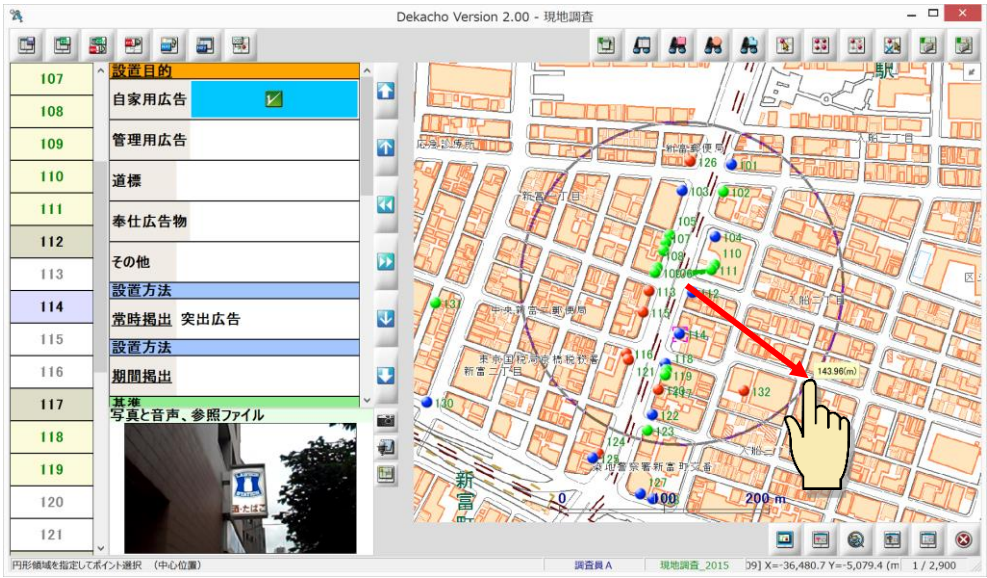
ツールバー	91
コマンド	FindByCir

調査対象物を円形指定により選択状態にします。

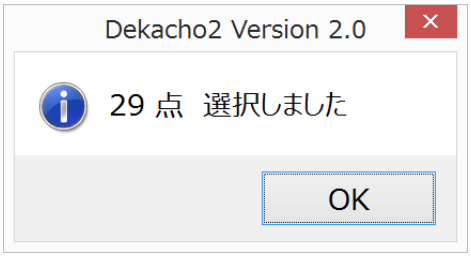
① 【円形選択】ボタンをタップすると、ステータスバーに「円形領域を指定してポイント選択（中心位置）」と表示され、選択モードに入ったことが確認できます。



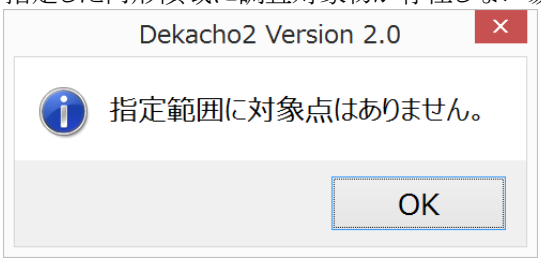
② 選択領域の中心点から外円点をスワイプして指定してください。



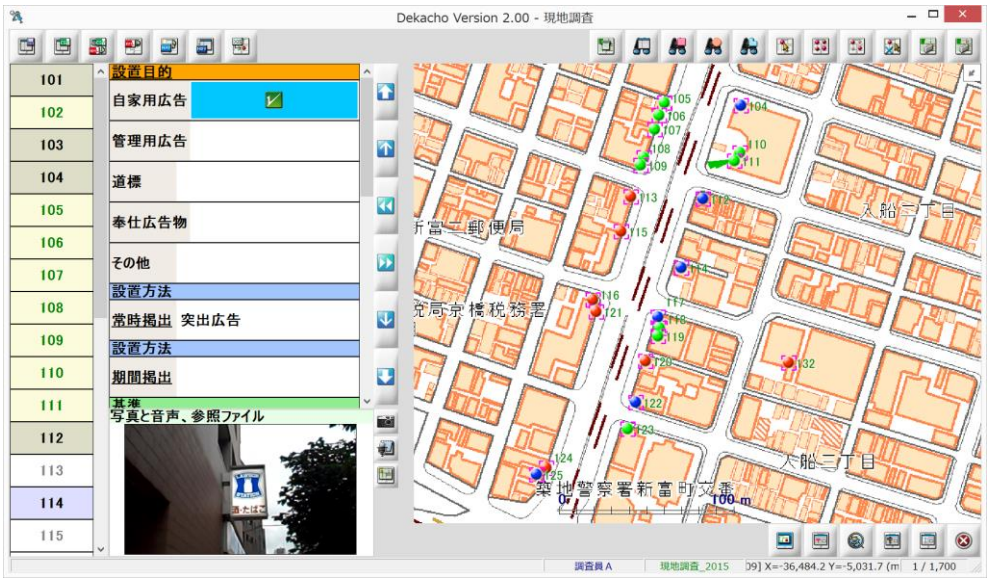
③ メッセージボックスが表示され、選択された調査対象物数を表示します。



指定した円形領域に調査対象物が存在しない場合は、以下のメッセージボックスを表示します。



④ ③で選択ポイントがある場合、メッセージボックスの【OK】ボタンをタップして閉じると、該当した調査対象物がピンク色の枠組み付きで選択状態になったことが確認できます。



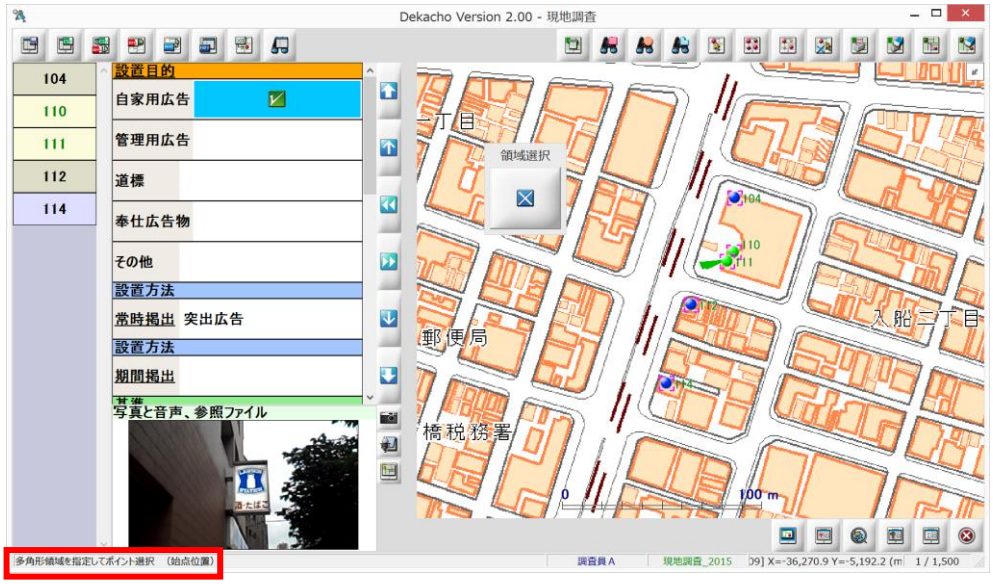
選択状態を個別に解除する場合は、『6.2.6.5.個別選択』(p.124)を、選択状態を一括解除する場合は、『6.2.6.8.選択解除』(p.127)を利用してください。

6.2.6.3. 多角形選択

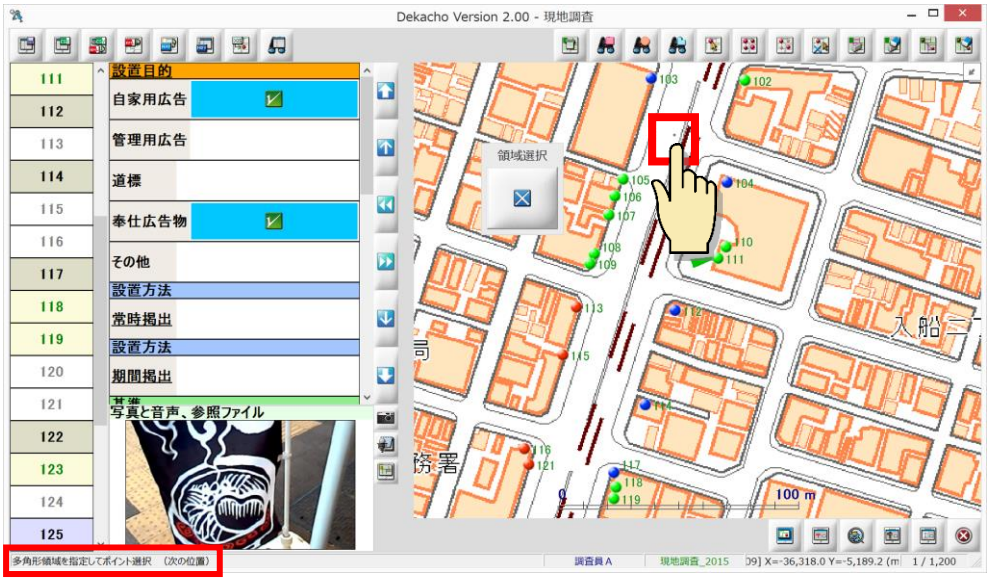
ツールバー	92
コマンド	FindByArea

調査対象物を矩形指定により選択状態にします。

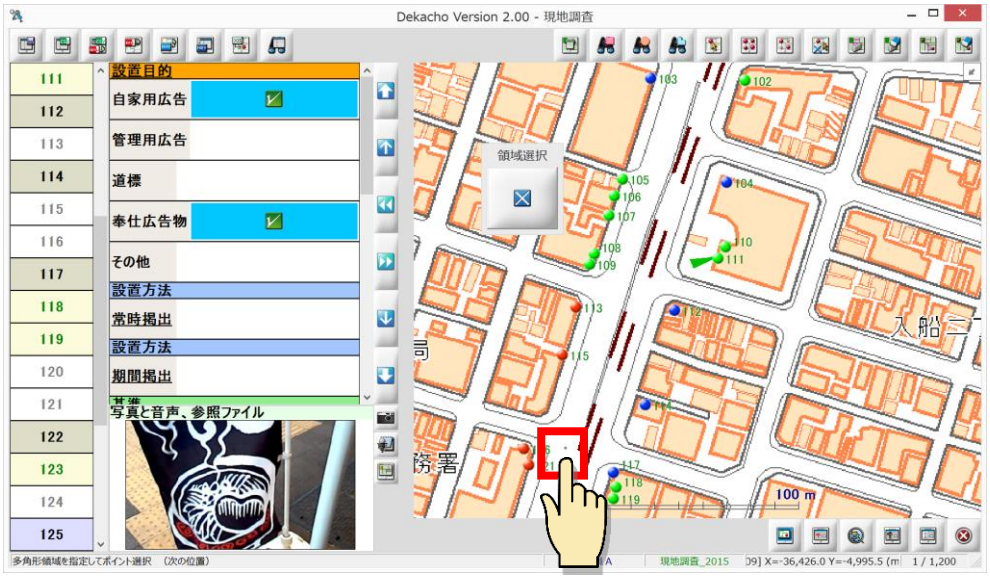
① 【多角形選択】ボタンをタップすると、【領域選択】ボタンが表示され、ステータスバーには「多角形領域を指定してポイント選択（始点位置）」と表示され、選択モードに入ったことが確認できます。



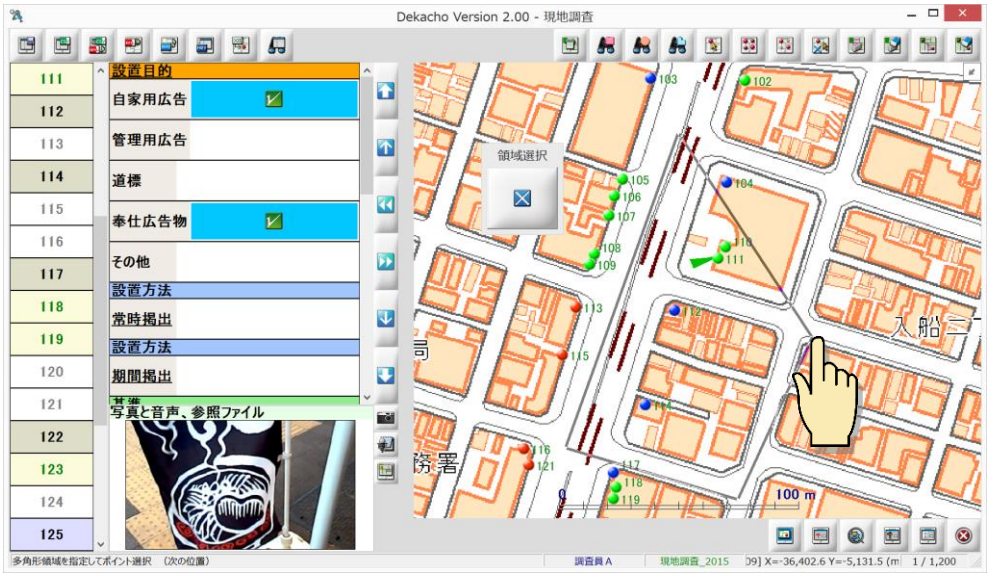
② 多角形の始点をタップしてください。多角形の始点が確定し、点で表示されます。
ステータスバーには「多角形領域を指定してポイント選択（次の位置）」と表示されます。



③ 多角形の 2 点目をタップしてください。

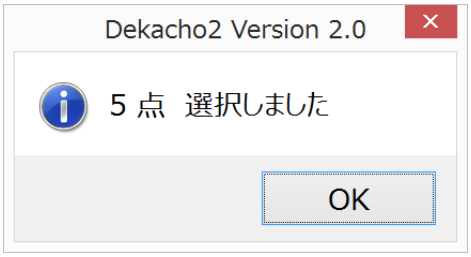


④ 3 点目以降をタップすると、ラバーバンドが表示されます。屈曲点を指定してください。

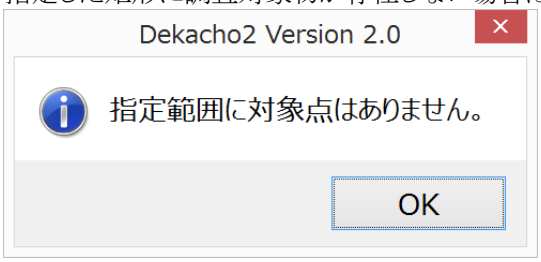


※多角形の性質上、3 点以上の屈曲点が必要です。2 点の時点で、【領域選択】ボタンをタップすると、多角形選択をキャンセルします。

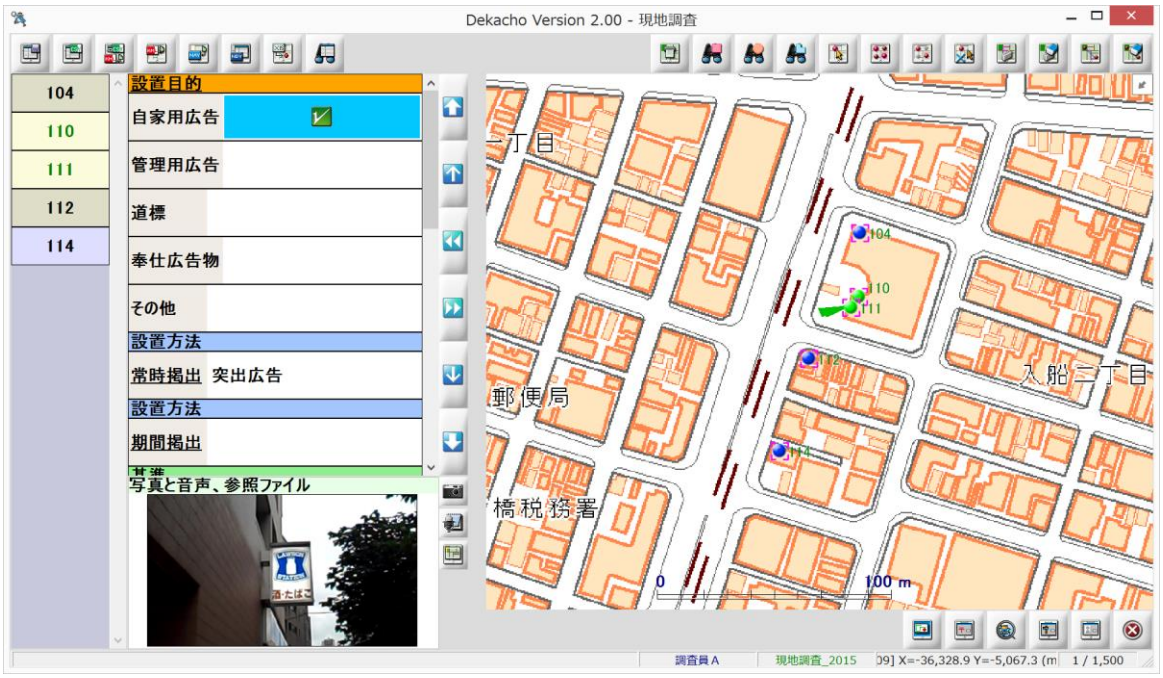
⑤ 多角形終了点で【領域選択】ボタンをタップすると、メッセージボッスが表示され、選択された調査対象物数を表示します。



指定した矩形に調査対象物が存在しない場合は、以下のメッセージボックスを表示します。



⑥ ⑥で選択ポイントがある場合、メッセージボックスの【OK】ボタンをタップして閉じると、該当した調査対象物がピンク色の枠組み付きで選択状態になったことが確認できます。



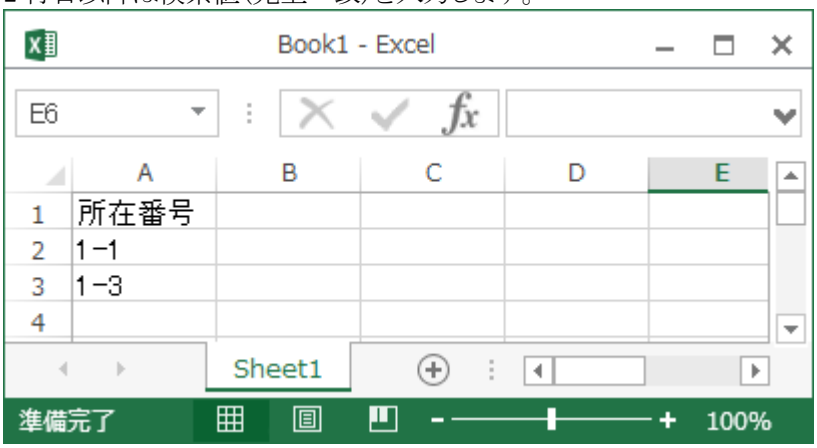
選択状態を個別に解除する場合は、『6.2.6.5.個別選択』(p.124)を、選択状態を一括解除する場合は、『6.2.6.8.選択解除』(p.127)を利用してください。

6.2.6.4. CSV による選択

ツールバー	127
コマンド	FindByCSV

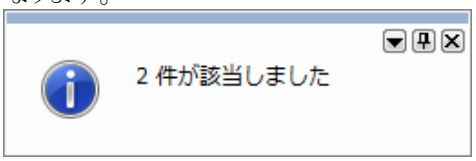
あらかじめ CSV で設定した調査対象物を、「出簡調」の調査対象物として選択します。

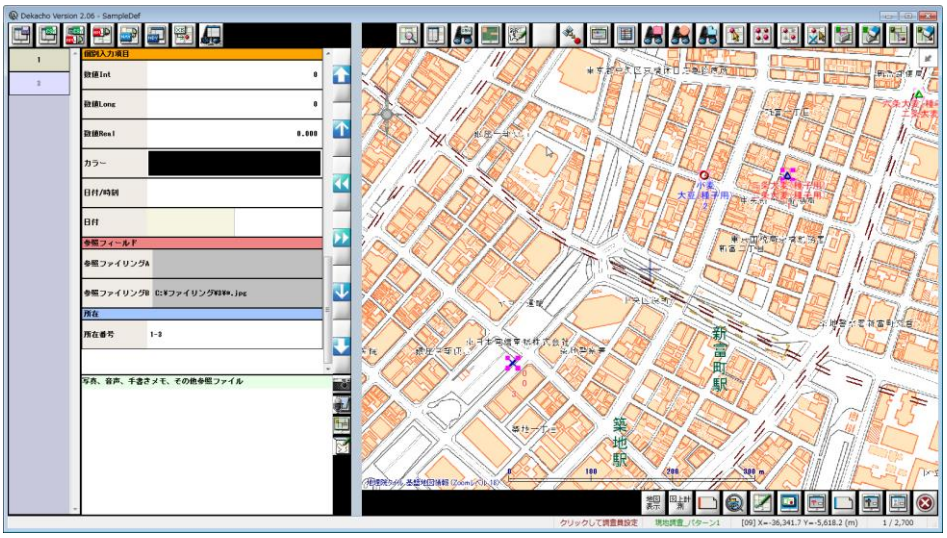
① あらかじめ「出簡調」で選択したい調査対象物(ポイント)の検索キーとなるフィールドと値を CSV に入力します。
1行目はフィールド名とします。
フィールド名先頭の「@」や「#」は省略して入力します。「*」(過去の参照するデータ、調査項目に並列して並べる参照項目)のみフィールド名の一部として入力します。
2 行目以降は検索値(完全一致)を入力します。



② 【CSV による選択】ボタンをタップすると、[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されますので、CSV ファイルを選択します。

③ ステータスバー付近に検索結果がポップアップで表示され、該当したポイントが選択状態になります。



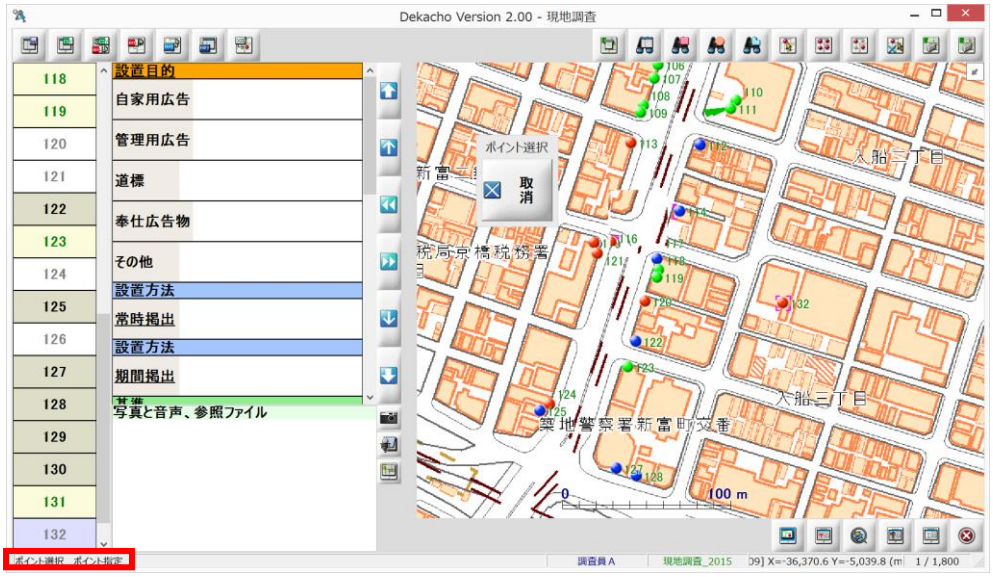


6.2.6.5. 個別選択

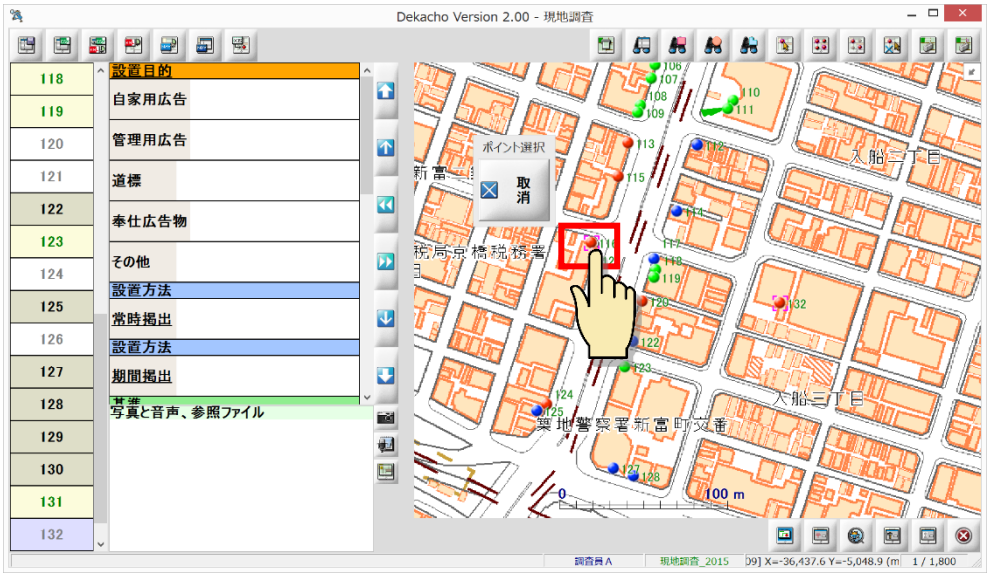
ツールバー	93
コマンド	SelectPnt

調査対象物を個別選択します。選択済みの調査対象物をタップすると、選択を解除します。

① 【個別選択】ボタンをタップすると、【ポイント選択(取消)】ボタンが表示され、ステータスバーには「ポイント選択　ポイント指定」と表示され、選択モードに入ったことが確認できます。



② 選択する調査対象物をタップしてください。ピンク色の枠で囲まれ、選択されたことが確認できます。



③ すでに選択済みの調査対象物をタップすると選択状態が解除されます。

④ 【ポイント選択(取消)】ボタンをタップすると、[個別選択]モードを終了します。

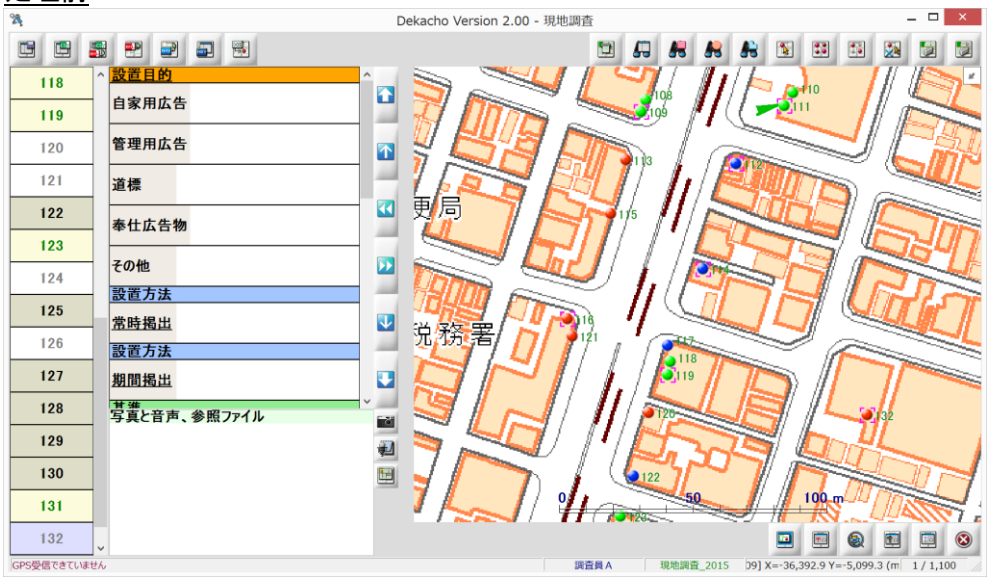
6.2.6.6. 選択表示

ツールバー	94
コマンド	DispSel 1

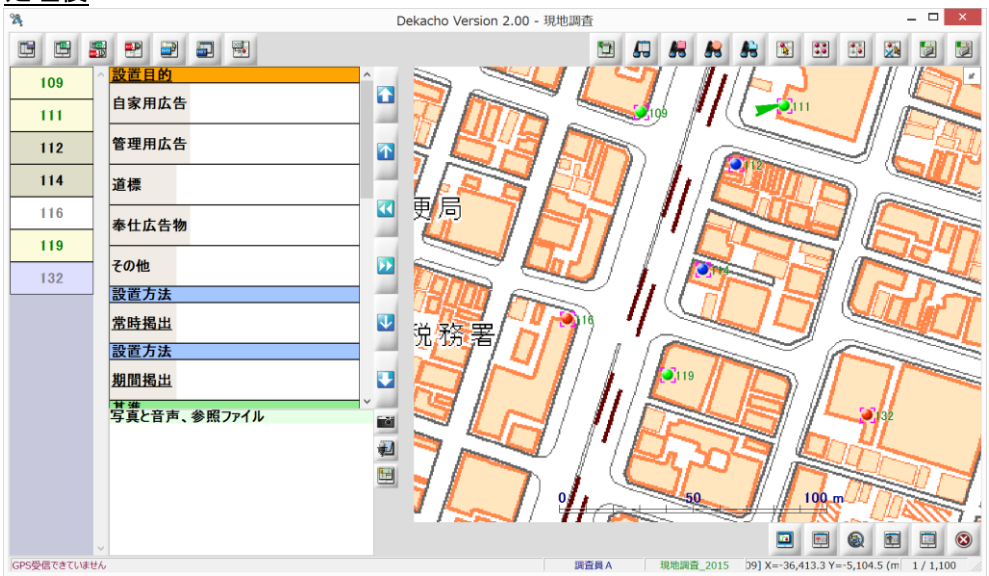
選択されている調査対象物のみ表示します。

① 【選択表示】ボタンをタップすると、選択されている調査対象物のみが表示されます。

処理前



処理後



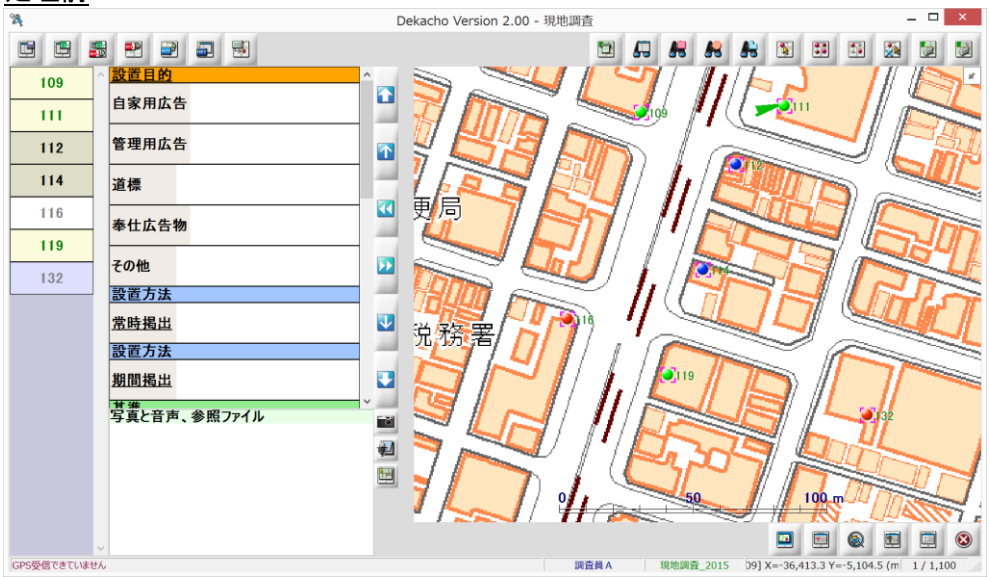
6.2.6.7. 選択表示解除

ツールバー	95
コマンド	DispSel 0

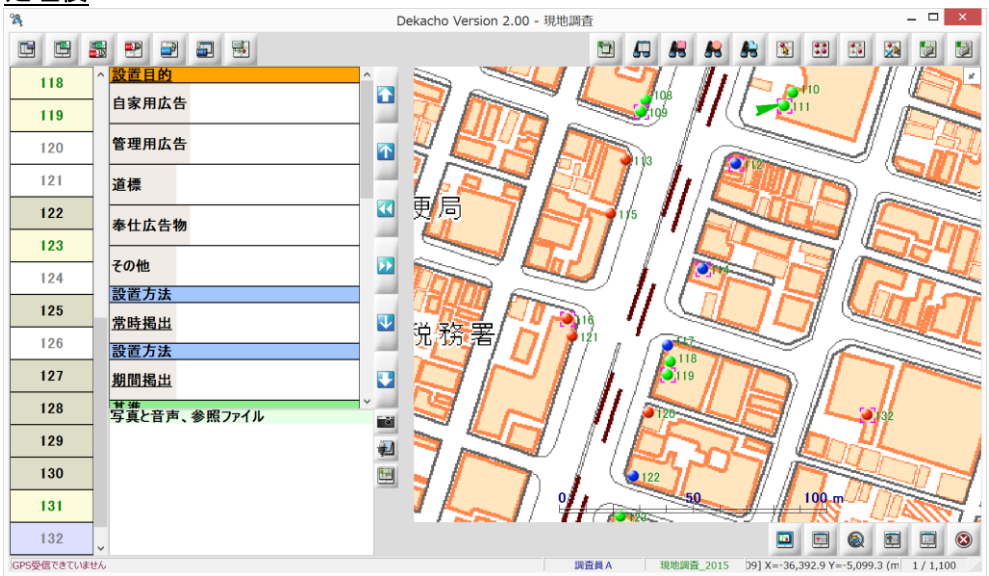
『6.2.6.6.選択表示』(p.125)の表示状態を解除しすべての調査対象物を表示します。

① 【選択表示解除】ボタンをタップすると、選択されている調査対象物のみが表示されます。

処理前



処理後



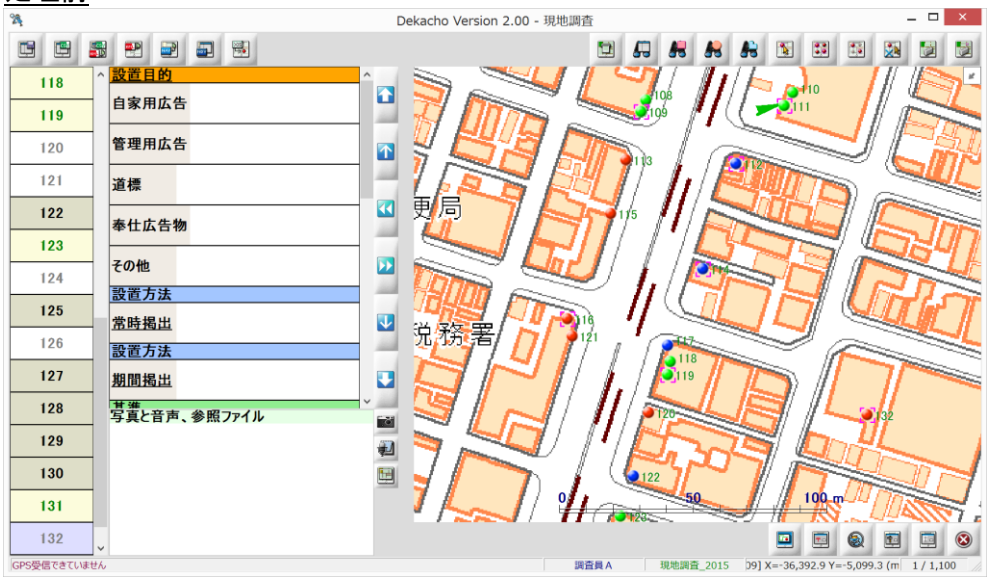
6.2.6.8. 選択解除

ツールバー	96
コマンド	ClearSel

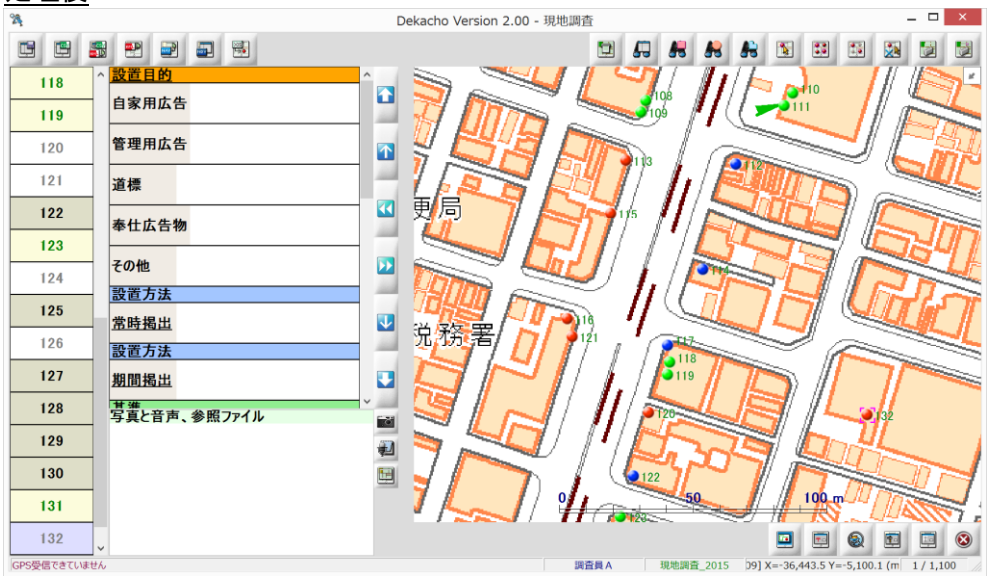
全ての調査対象物の選択状態を一括解除します。

① 【選択解除】ボタンをタップすると、全ての調査対象物の選択状態を解除します。

処理前



処理後



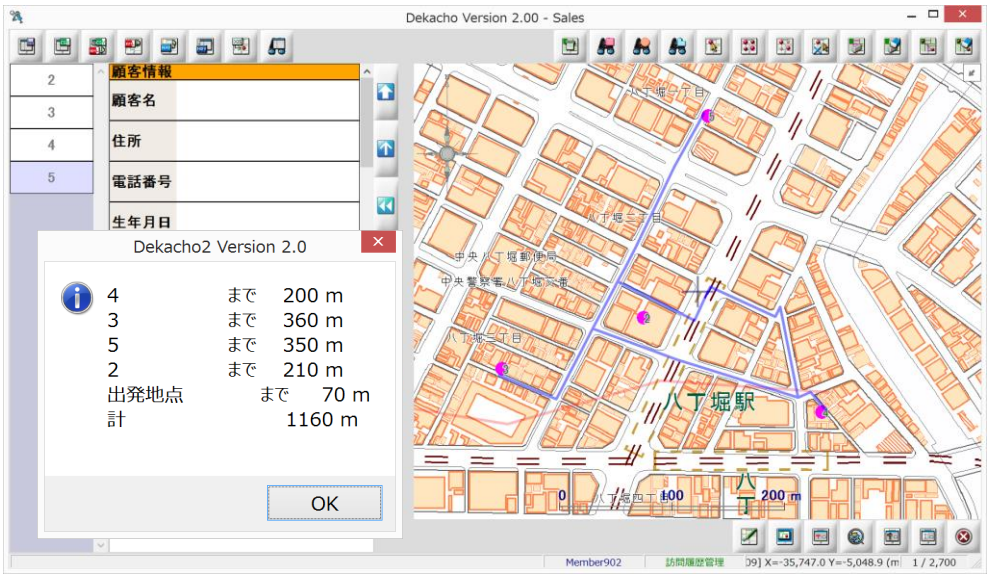
UID リストボックスで調査対象物が選択されているため、この時一つだけ選択状態の調査対象物が残ります。

6.2.6.9. 巡回ルート検索

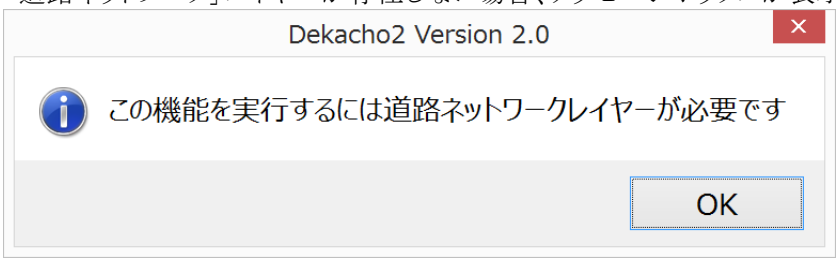
ツールバー	98
コマンド	TSP

画面中心位置から、選択されている調査対象物をすべて回る巡回ルートと距離を検索します。
『6.2.6.1.矩形選択』(p.116)、『6.2.6.2.円形選択』(p.118)、『6.2.6.3.多角形選択』(p.120)、『6.2.6.5.個別選択』(p.124)、『6.3.1.8.属性検索』(p.164)であらかじめ調査対象物を選択してください。

① 【巡回ルート検索】ボタンをタップすると、ただちに検索を行い、検索結果をメッセージボックスに表示し、地図上にルートを表示します。



② 「道路ネットワーク」レイヤーが存在しない場合、メッセージボックスが表示されます。



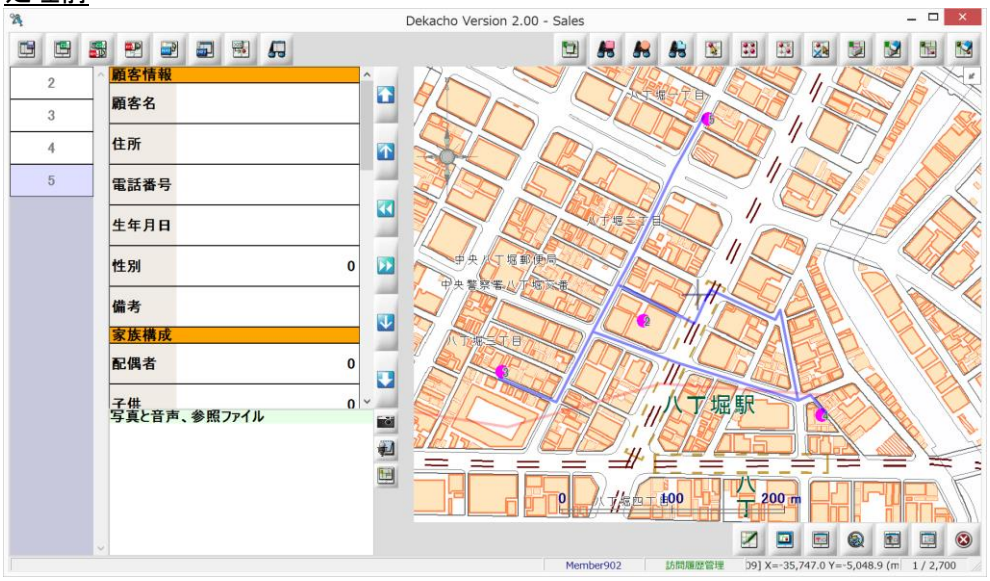
6.2.6.10. 巡回ルート表示解除

ツールバー	99
コマンド	TSPClear

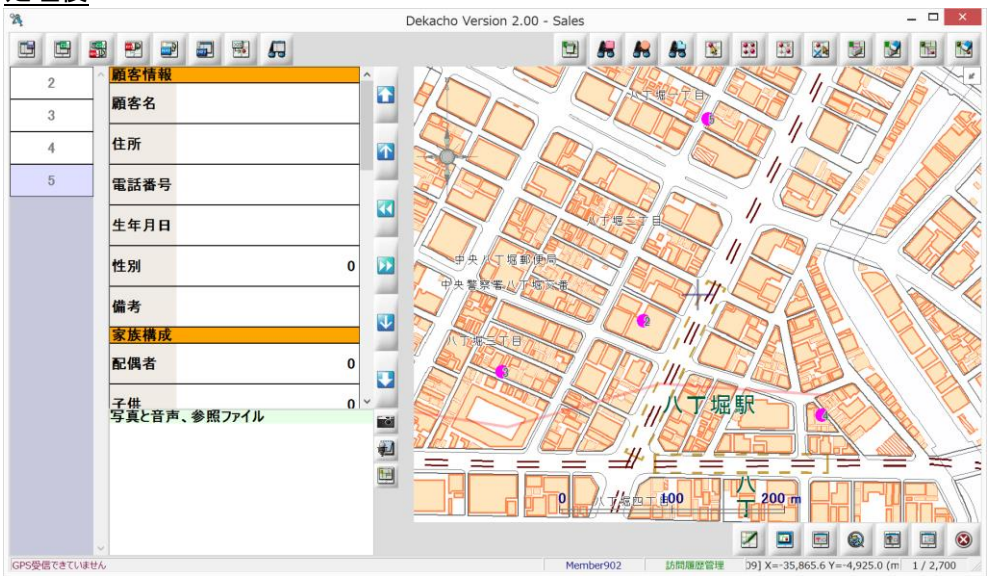
『6.2.6.9.巡回ルート検索』(p.128)で検索表示した巡回ルートの表示を解除します。

① 【巡回ルート表示解除】ボタンをタップすると、『6.2.6.9.巡回ルート検索』(p.128)で検索表示した巡回ルートの表示状態を解除します。

処理前



処理後

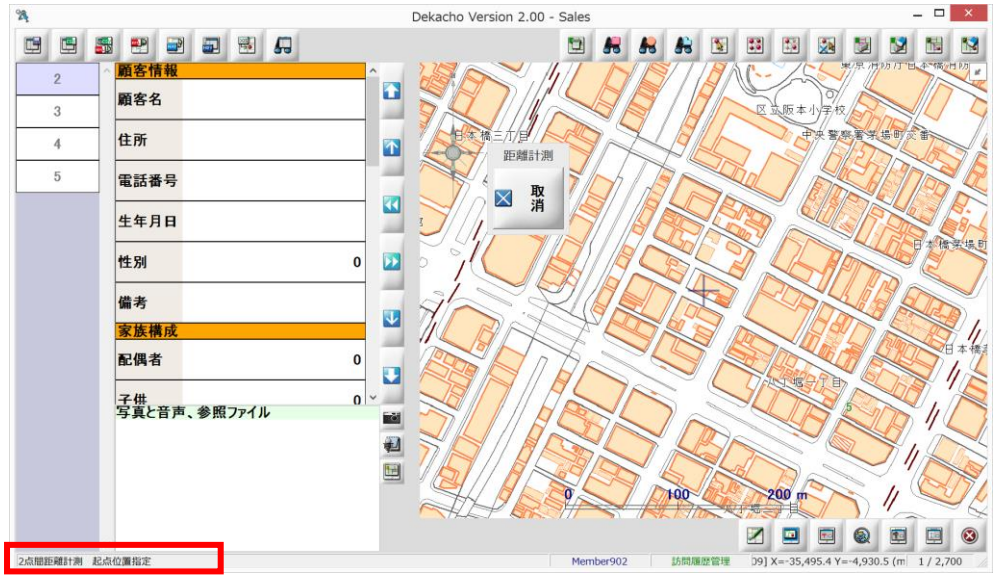


6.2.6.11. 最短距離計測

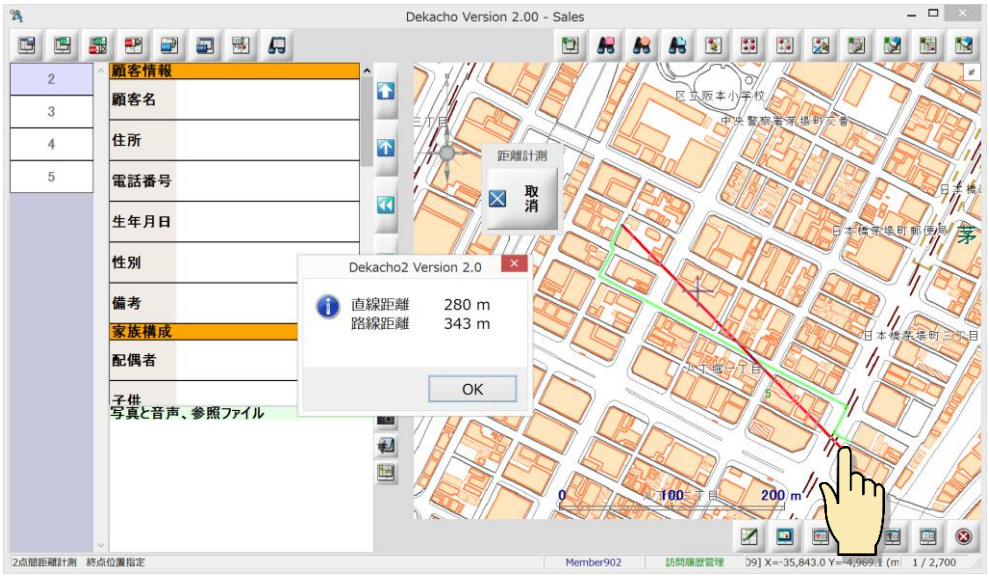
ツールバー	101
コマンド	Route

タップ指定した 2 点間の最短距離を検索します。「道路ネットワーク」レイヤーが存在する場合は、最短経路とその距離、および直線距離を計測表示し、「道路ネットワーク」レイヤーが存在しない場合は、直線距離のみを計測表示します。

① 【最短距離計測】ボタンをタップすると、【距離計測(取消)】ボタンが表示され、ステータスバーには「2点間距離計測 起点位置指定」と表示され、計測モードに入ったことが確認できます。



② 計測の始点と終点をタップ指定すると、計測距離がメッセージボックスに表示され、経路が地図上に表示されます。



赤線:始点終点を結ぶ直線
緑線:始点終点を結ぶ経路

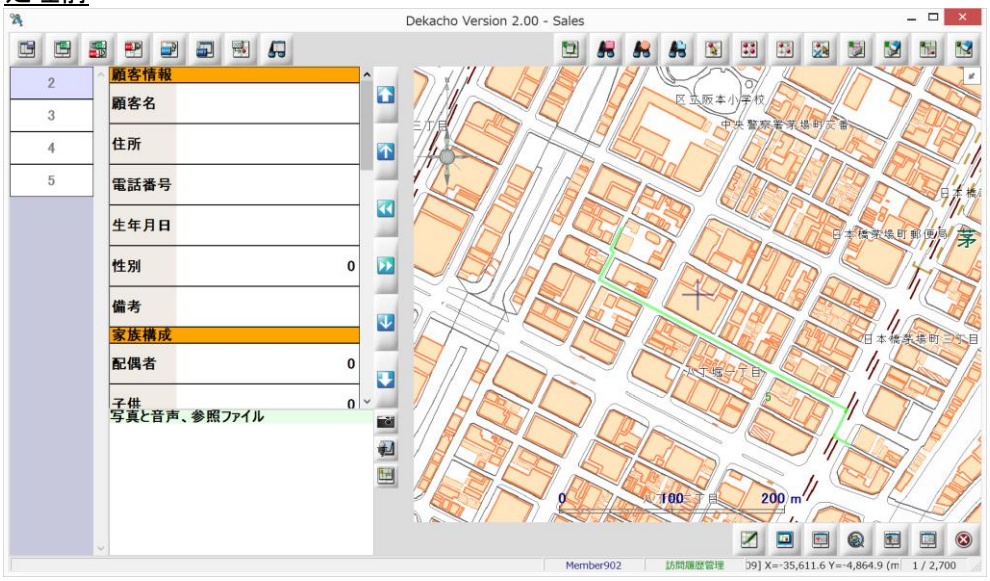
6.2.6.12. 最短距離計測解除

ツールバー	102
コマンド	RouteClear

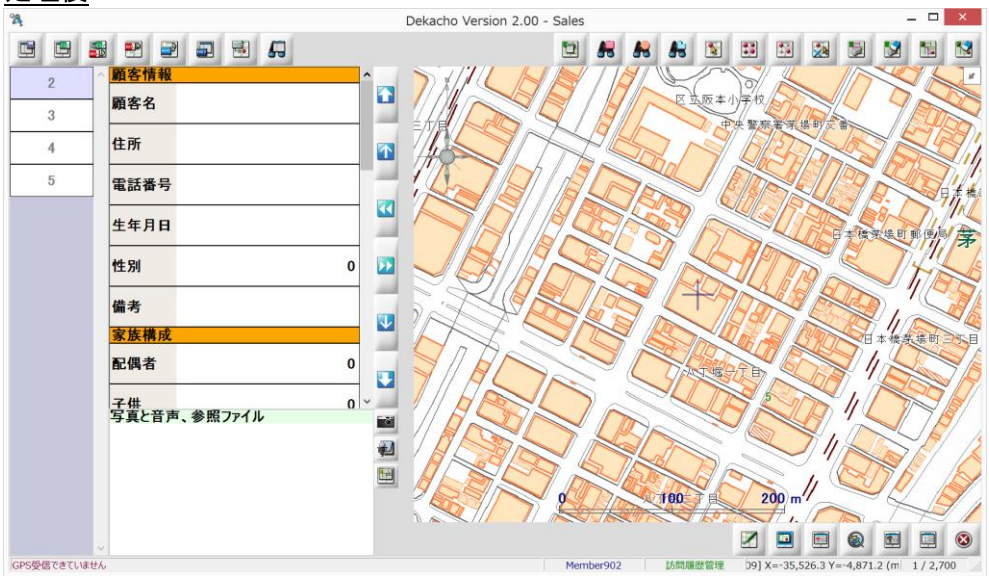
『6.2.6.11.最短距離計測』(p.130)で検索表示した巡回ルートの表示を解除します。

① 【最短距離検索解除】ボタンをタップすると、ただちに『6.2.6.11.最短距離計測』(p.130)で検索した巡回ルートの表示状態を解除します。

処理前



処理後



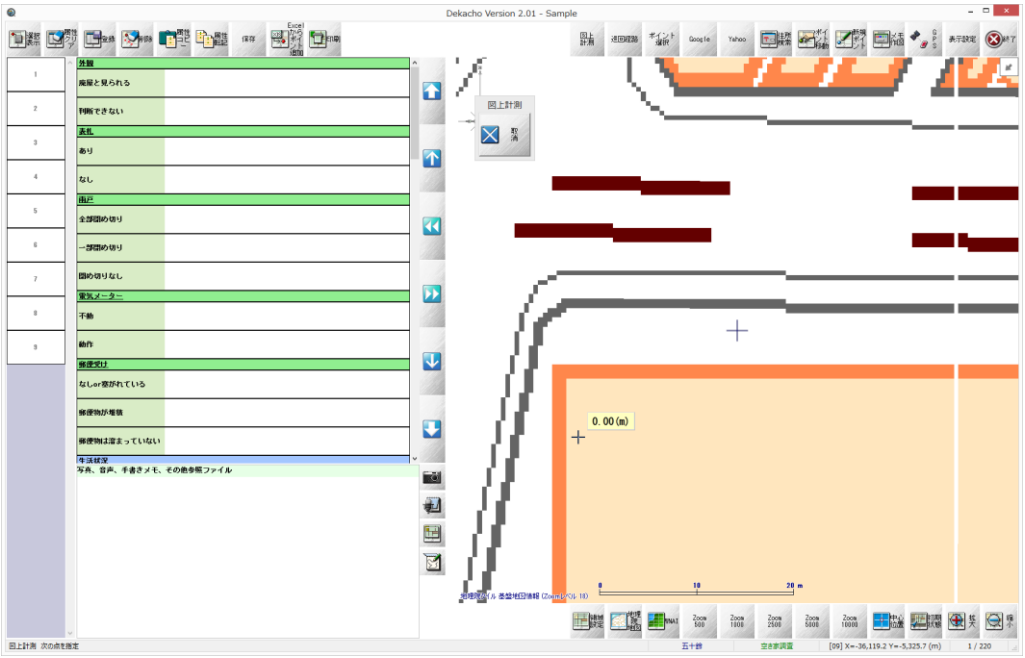
6.2.6.13. 図上計測

ツールバー	123
コマンド	RangeOp

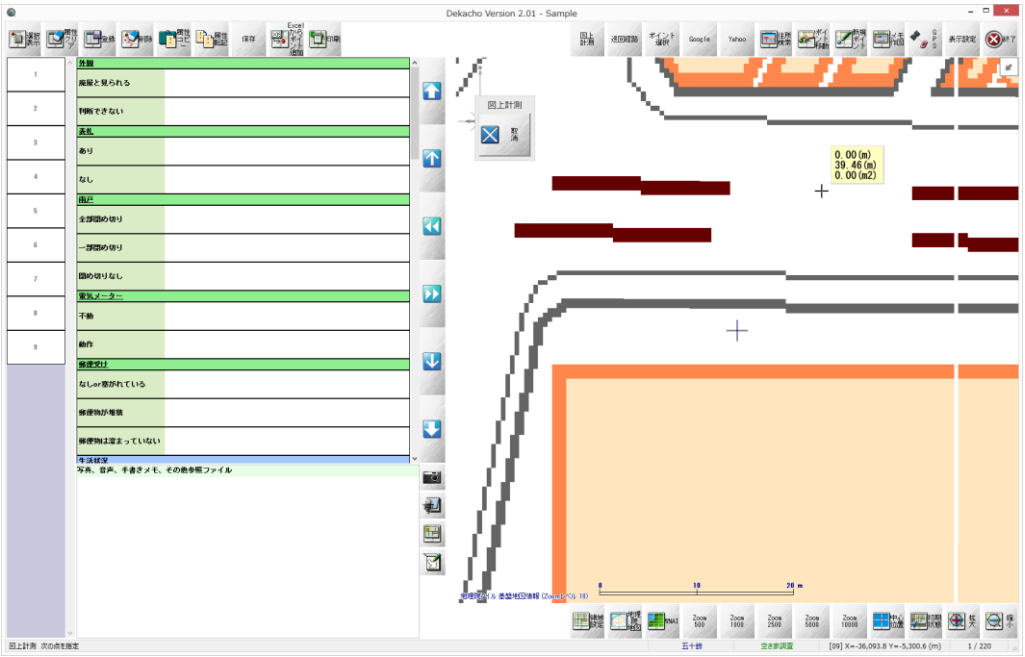
図上計測を行います。

① 【図上計測】ボタンをタップすると、【図上計測（取消）】ボタンが表示されます。

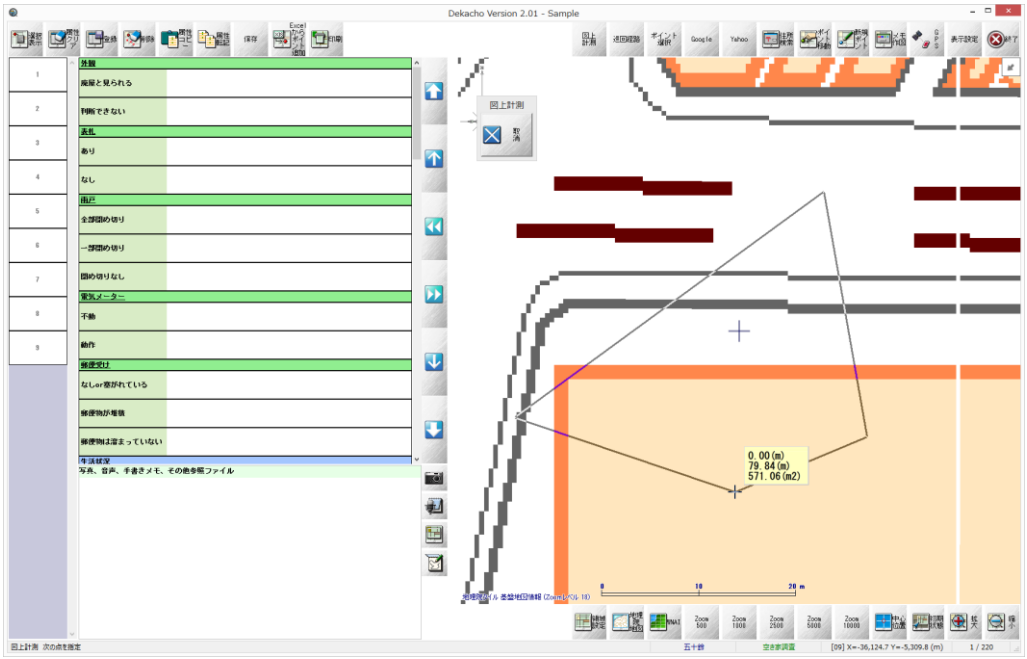
② 計測する箇所をタップすると、図上計測チップが表示されます。



③ 2 点目をタップすると、2 列目に始点から現在タップした箇所までの距離が表示されます。



④ 3 点目をすると、3 列目に始点から現在タップした箇所までを結ぶ面積が表示されます。



⑤ スワイプで指定した場合は、1 段目に直前にタップした位置からの距離が表示されます。

⑥ 終了する時は**【図上計測（取消）】**ボタンをタップしてください。

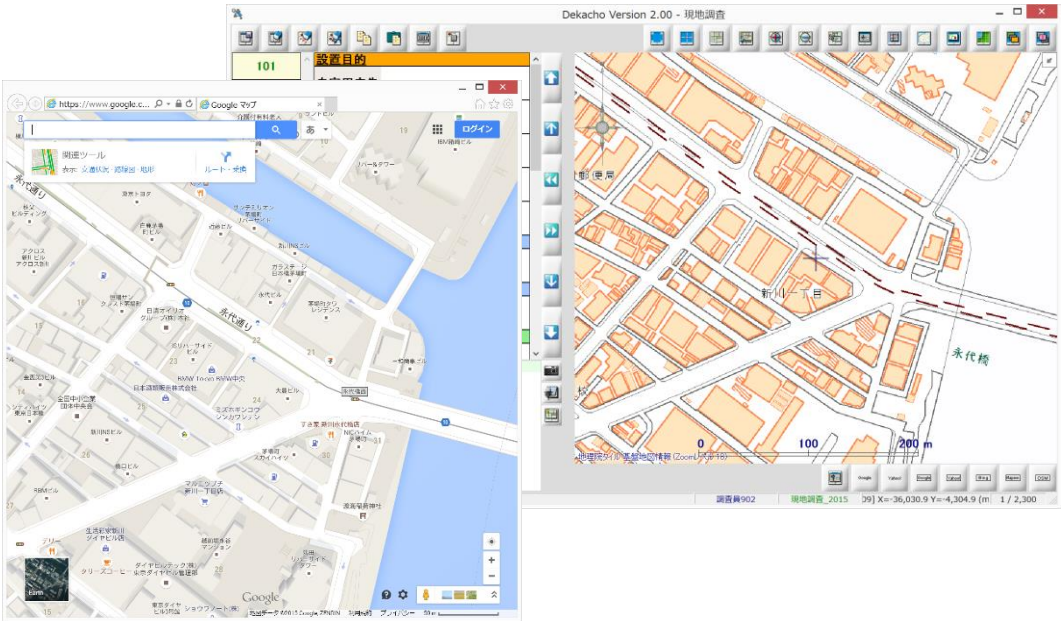
6.2.7. 外部地図メニュー

6.2.7.1. GoogleMap

ツールバー	なし
コマンド	GoogleMaps

地図表示領域を、ブラウザーを起動して、GoogleMap 上で表示します。

① 【GoogleMap】ボタンをタップすると、ブラウザーを起動し現在の表示領域を GoogleMap 上に表示します。

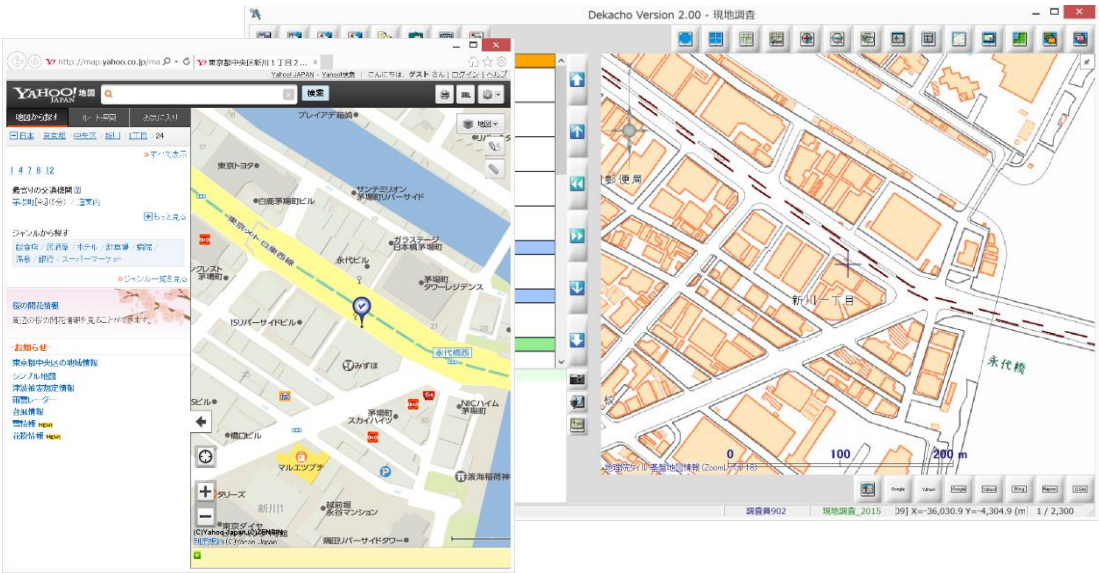


6.2.7.2. YahooMap

ツールバー	なし
コマンド	GoogleMaps△Yahoo

地図表示領域を、ブラウザーを起動して、YahooMap 上で表示します。

① 【YahooMap】ボタンをタップすると、ブラウザーを起動し現在の表示領域を YahooMap 上に表示します。

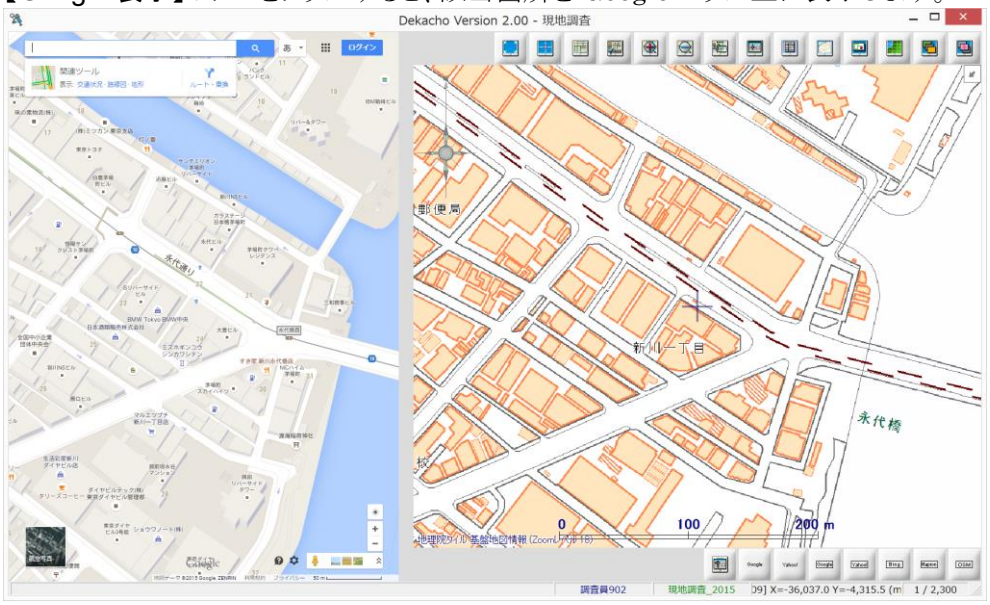


6.2.7.3. Google 表示

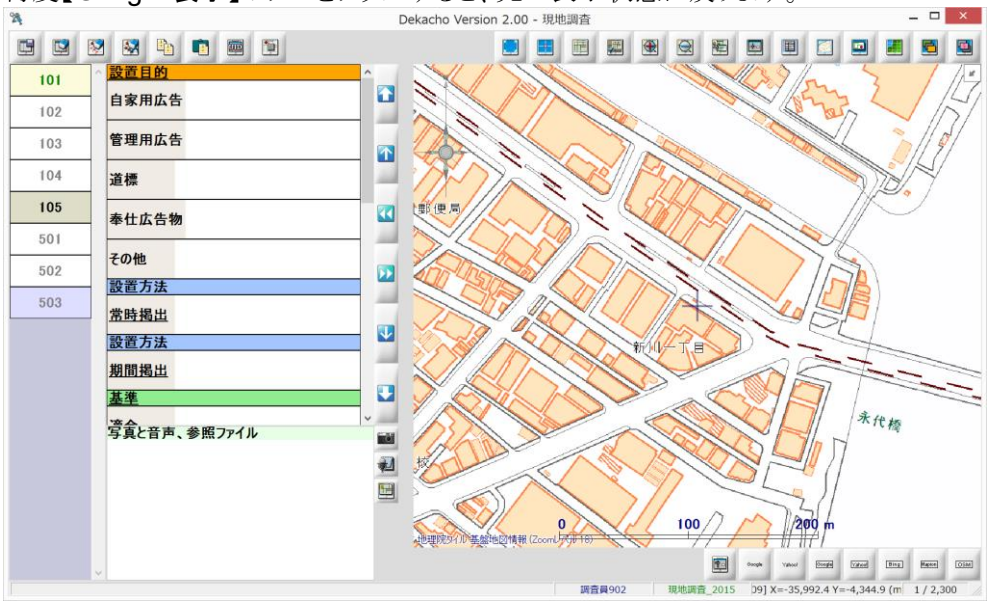
ツールバー	なし
コマンド	MapView△Google

地図表示領域を、ウィンドウ内で Google マップ上に表示します。

① 【Google 表示】ボタンをタップすると、該当箇所を Google マップ上に表示します。



② 再度【Google 表示】ボタンをタップすると、元の表示状態に戻ります。

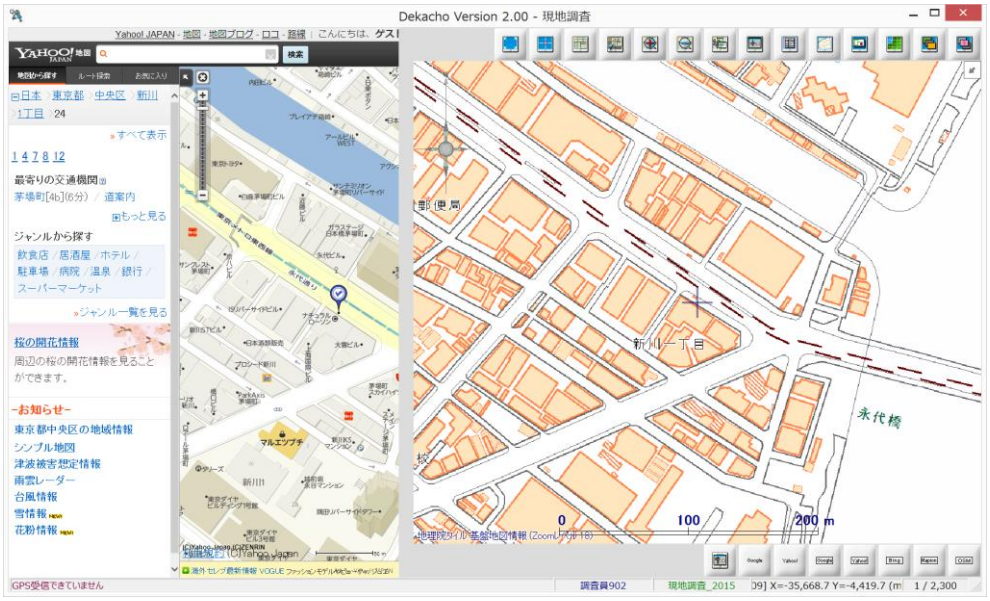


6.2.7.4. Yahoo 表示

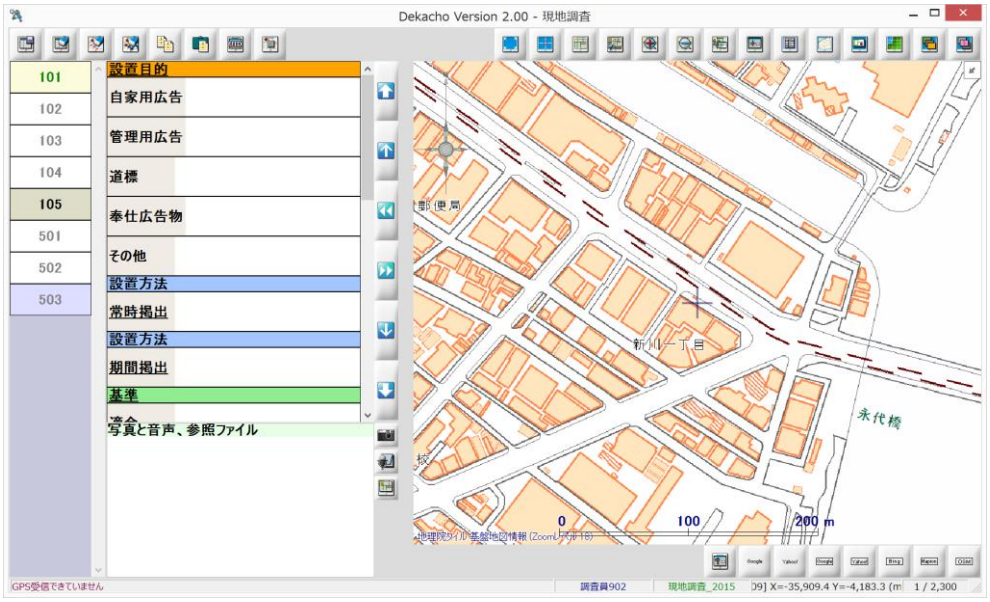
ツールバー	なし
コマンド	MapView△Yahoo

地図表示領域を、ウィンドウ内で Yahoo マップ上に表示します。

① 【Yahoo 表示】ボタンをタップすると、該当箇所を Yahoo マップ上に表示します。



② 再度【Yahoo 表示】ボタンをタップすると、元の表示状態に戻ります。

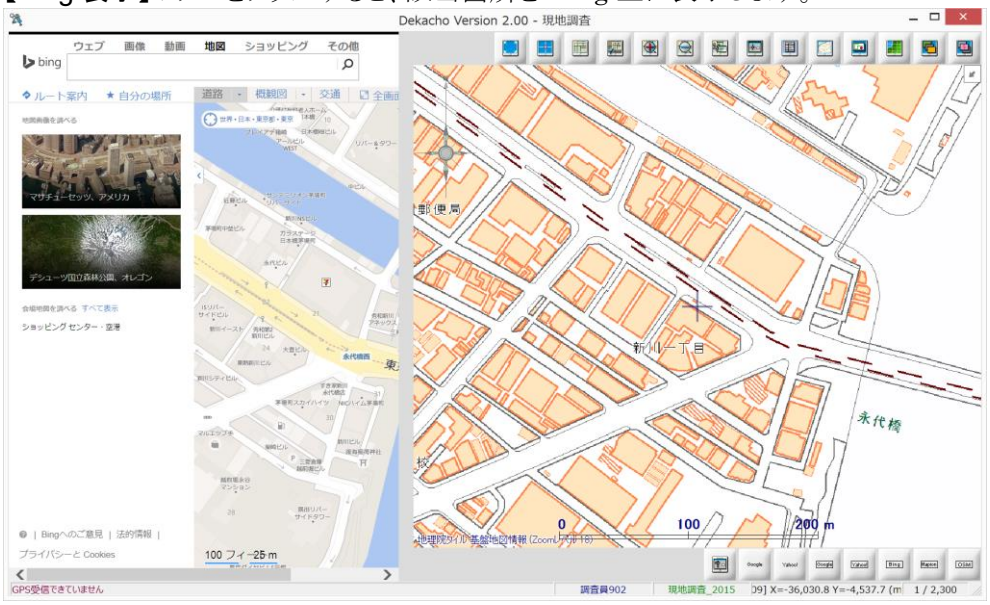


6.2.7.5. Bing 表示

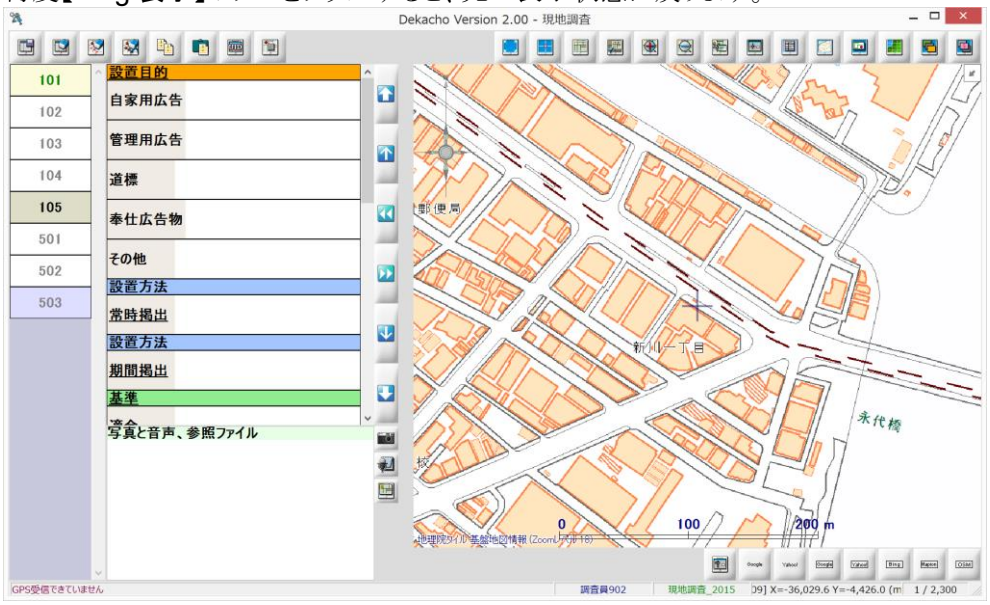
ツールバー	なし
コマンド	MapView△Bing

地図表示領域を、ウィンドウ内で Bing に表示します。

① 【Bing 表示】ボタンをタップすると、該当箇所を Bing 上に表示します。



② 再度【Bing 表示】ボタンをタップすると、元の表示状態に戻ります。

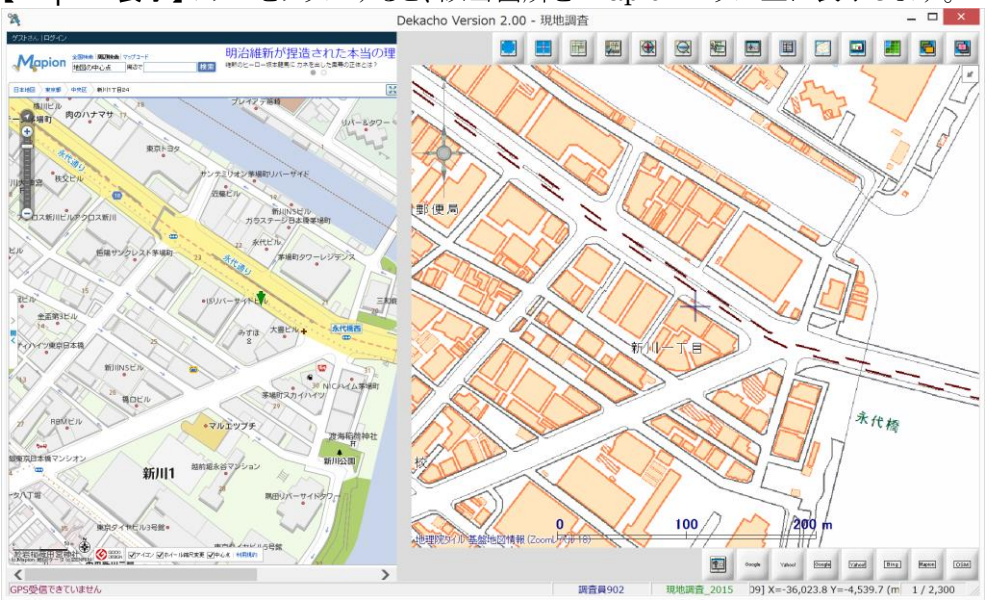


6.2.7.6. Mapion 表示

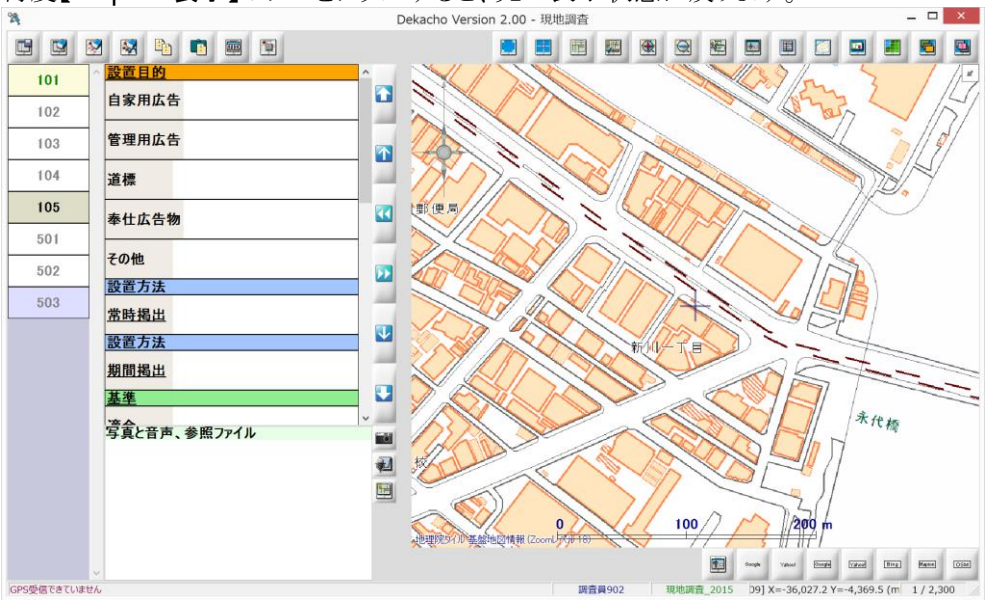
ツールバー	なし
コマンド	MapView△Mapion

地図表示領域を、ウィンドウ内で Mapion マップ上に表示します。

① 【Mapion 表示】ボタンをタップすると、該当箇所を Mapion マップ上に表示します。



② 再度【Mapion 表示】ボタンをタップすると、元の表示状態に戻ります。

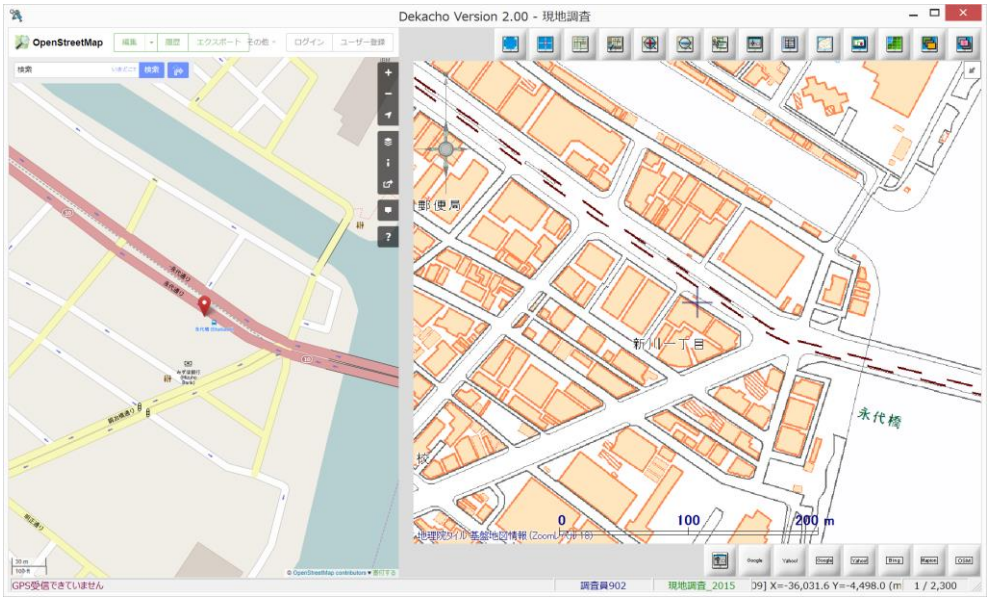


6.2.7.7. OSM 表示

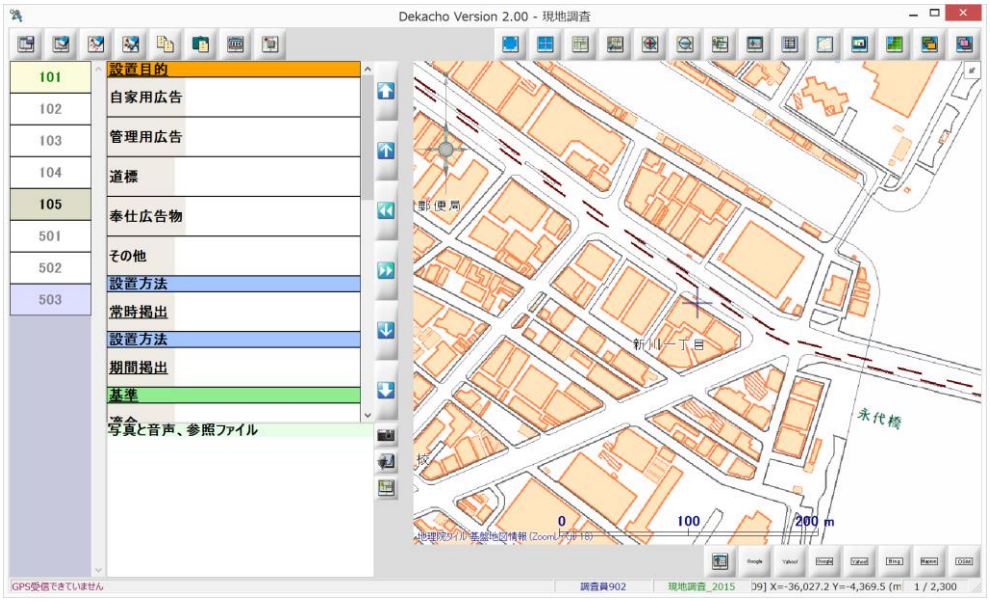
ツールバー	なし
コマンド	MapView△OSM

地図表示領域を、ウィンドウ内で OSM マップ上に表示します。

① 【OSM 表示】ボタンをタップすると、該当箇所を OSM マップ上に表示します。



② 再度【OSM 表示】ボタンをタップすると、元の表示状態に戻ります。



6.2.8. 印刷メニュー

6.2.8.1. 印刷

ツールバー	97
コマンド	Print

『出簡調』全体（現在画面に表示されている地図と属性）を印刷します。

① 【印刷】ボタンをタップすると、【Dekacho2 スナップショット】ダイアログボックスが表示されます。

【プリンター選択、設定】ボタン

Windows の［プリンターの設定］ダイアログボックスが表示されます。出力プリンター、用紙、方向等を設定して【OK】ボタンをタップしてください。

「サイズ指定」ラジオボタン

横、縦テキストボックスに入力した数値に対応して印刷サイズを変更します。印刷状態はプレビューウィンドウで確認してください。

「連動」チェックボックス

ON の場合、現在の縦横比率を保ったままサイズの変更を行います。
OFF の場合、指定したサイズに伸縮してサイズの変更を行います。

「ページサイズに適合」ラジオボタン

『出簡調』全体が出力範囲に収まるように出力します。

【印刷実行】ボタン

［プリンターの設定］ダイアログボックスで設定したプリンターへ出力を実行します。

【保存】ボタン

［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。
設定した保存場所へ、PNG、TIFF形式の画像として保存します。

【コピー】ボタン

クリップボードへコピーします。

② 各設定後、出力方法に応じて【印刷実行】ボタン、【保存】ボタン、【コピー】ボタンをタップすると、出力を実行します。
【閉じる】ボタンをタップした場合は、ダイアログボックスを閉じて処理を終了します。

6.2.9. 付箋メニュー

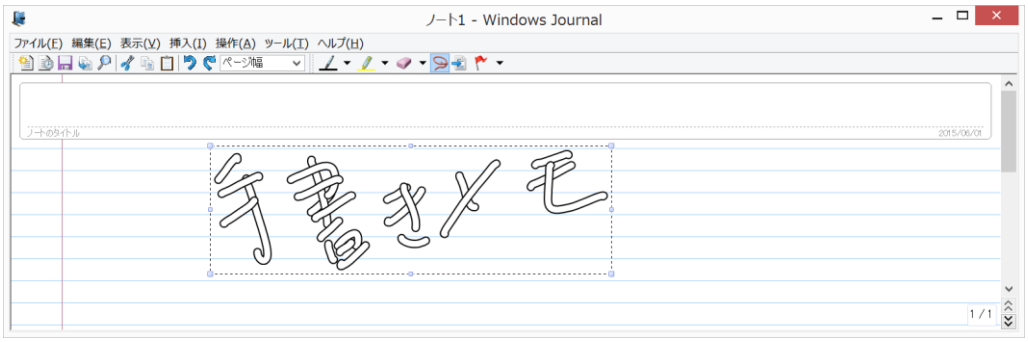
6.2.9.1. 手書きメモ

ツールバー	109
コマンド	Exec "%ProgramW6432%¥Windows Journal¥Journal.exe"

手書きノート(Journal.exe)を起動します。
Journal.exe などの手書きソフトで入力し、クリップボードにコピーした画像データを『6.2.9.2.付箋貼付』(p.142)で付箋紙のように画面上に貼り付けます。

① 【手書きメモ】ボタンをタップすると、Journal.exe が起動します。

② 手書き入力後、コピーしてください。
コピー後、『出簡調』をアクティブにしてください。

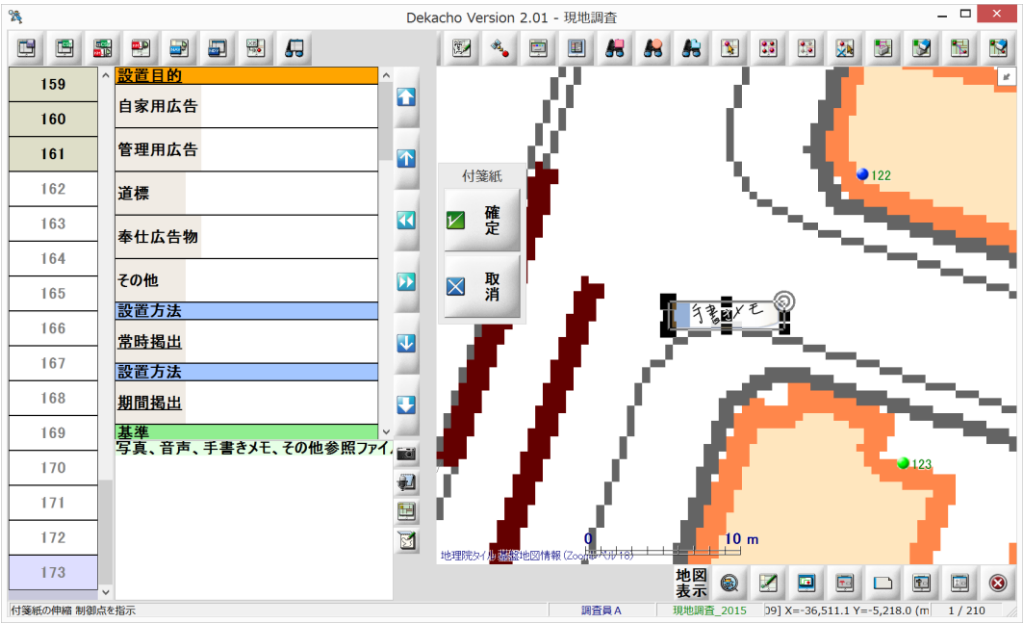


6.2.9.2. 付箋貼付

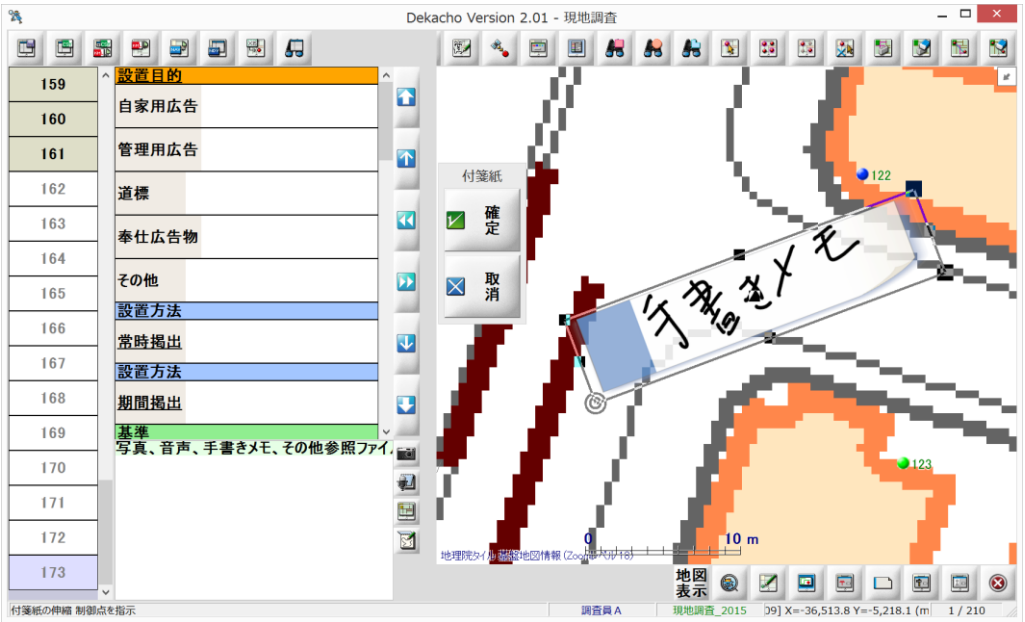
ツールバー	110 / 104
コマンド	HusenPaste

『6.2.9.1.手書きメモ』(p.141)等でコピーしておいたクリップボードのイメージを付箋紙として、画面上に貼り付けます。
オプション設定がある場合、特定の色の付箋紙を貼り付けます。
オプションについては、『出簡調管理設定マニュアル』を参照してください。

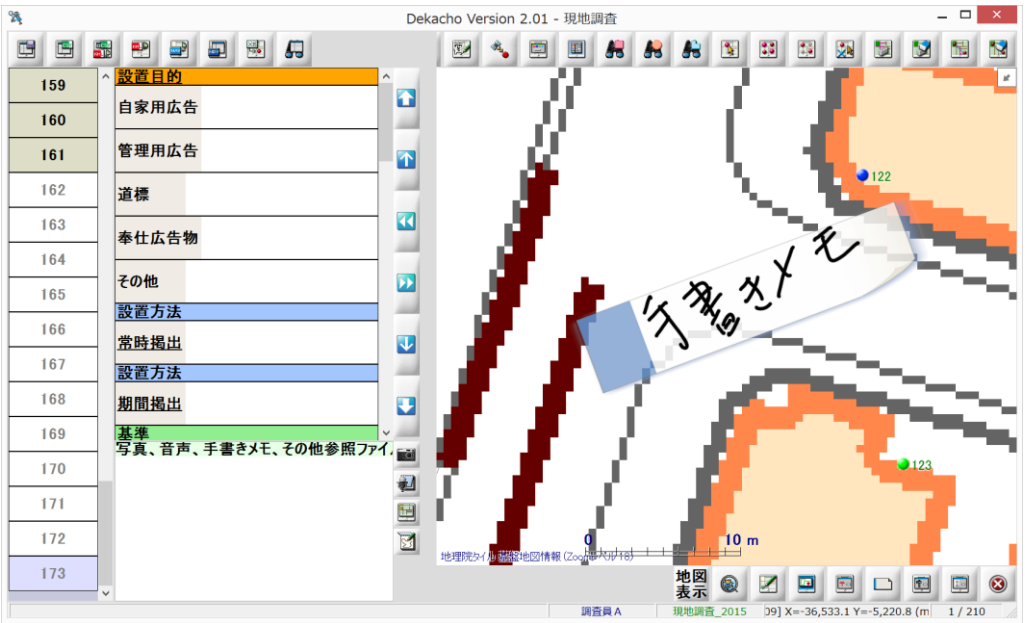
① 【付箋貼付】ボタンをタップすると、【付箋貼付(確定)/(取消)】ボタンと、クリップボードイメージが貼り付けられた付箋紙がコントロール枠付きで表示されます。



② コントロール枠の■部分をスワイプすると、それに合わせて拡大縮小を行います。
コントロール枠の◎部分をスワイプすると回転を行います。
付箋紙をスワイプすると、移動をおこないます。



③ 【付箋貼付(確定)】ボタンをタップすると、付箋紙位置、形が確定し、【付箋貼付】ボタンが閉じます。
【付箋貼付(取消)】ボタンをタップすると、付箋紙貼付を取り消し、【付箋貼付】ボタンが閉じます。
移動・回転状態も破棄されます。

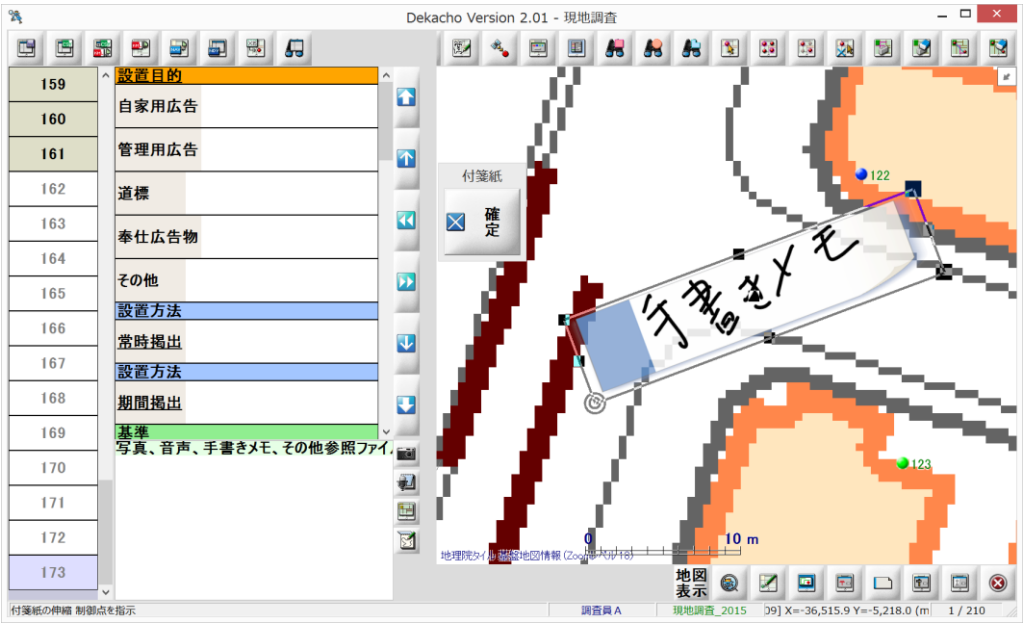


6.2.9.3. 付箋移動

ツールバー	105
コマンド	HusenMove

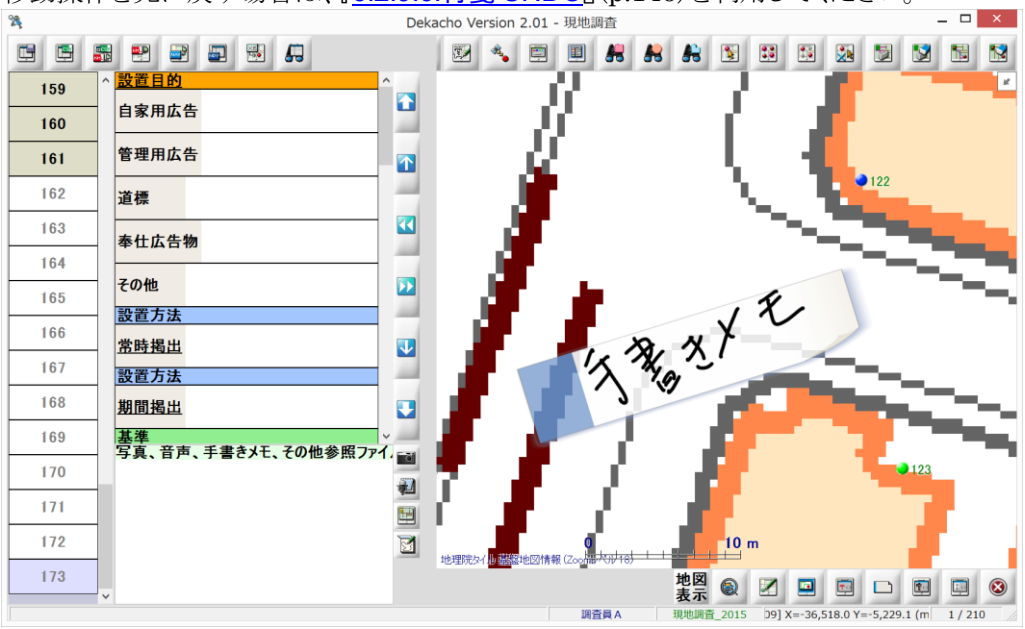
『6.2.9.2.付箋貼付』(p.142)で貼り付けた付箋紙を移動します。

① 【付箋移動】ボタンをタップすると、【付箋紙(確定)】ボタンが表示されます。
移動作業を行う付箋紙をタップすると、付箋紙がコントロール枠付きで表示されます。



② コントロール枠の■部分をスワイプすると、それに合わせて拡大縮小を行います。
コントロール枠の◎部分をスワイプすると回転を行います。
付箋紙をスワイプすると、移動をおこないます。

③ 【付箋紙(×確定)】ボタンをタップすると、付箋紙位置、形が確定し、【付箋紙(確定)】ボタンが閉じます。
移動操作を元に戻す場合は、『6.2.9.6.付箋 UNDO』(p.146)を利用してください。

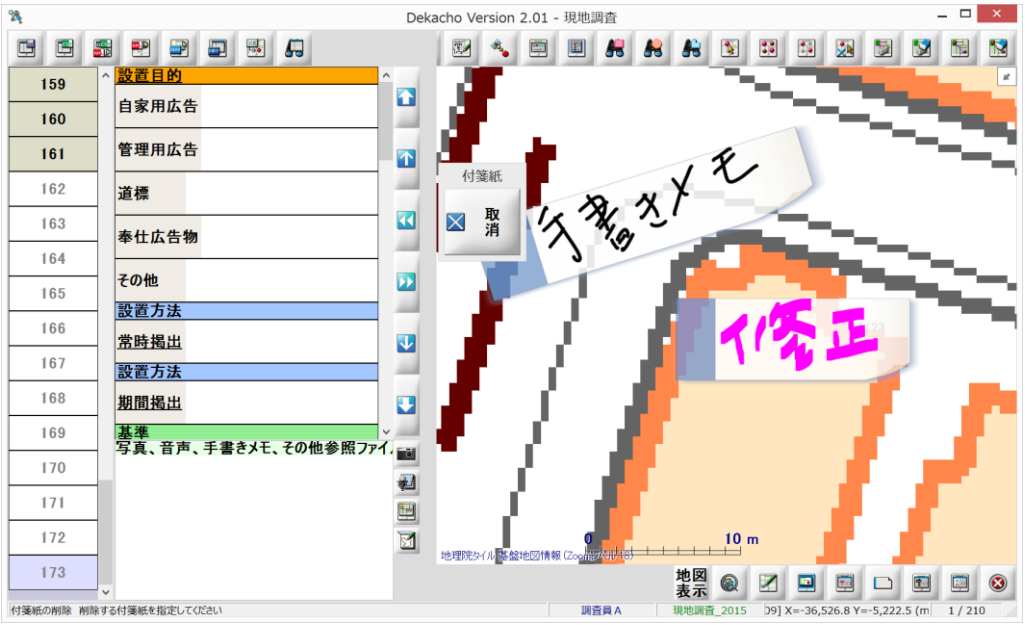


6.2.9.4. 付箋削除

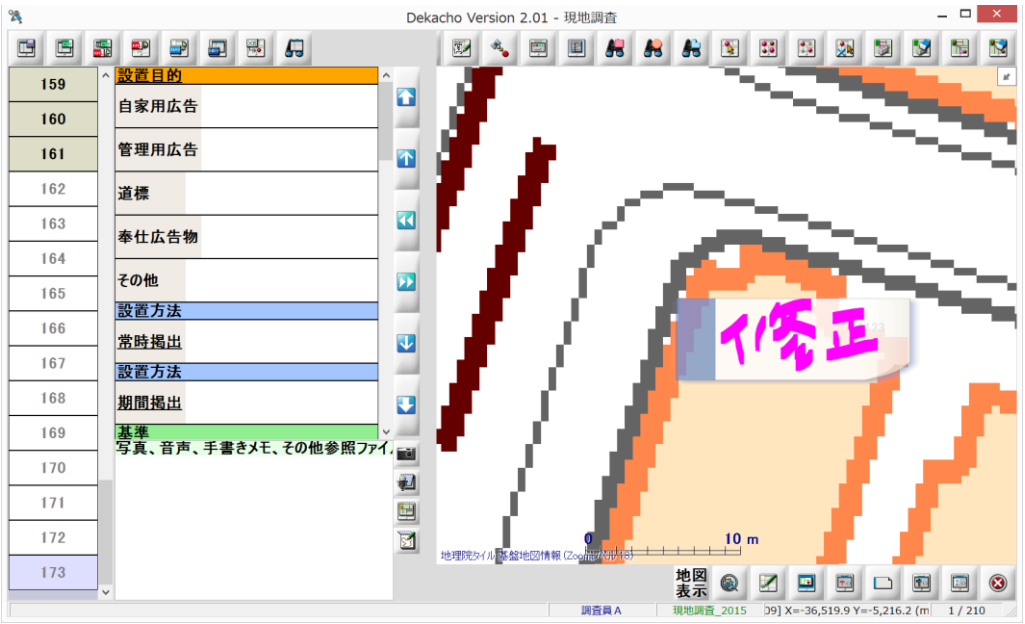
ツールバー	106
コマンド	HusenClear

『6.2.9.2.付箋貼付』(p.142)で貼り付けた付箋紙を削除します。

① 【付箋削除】ボタンをタップすると、【付箋紙(取消)】ボタンが表示されます。



② 削除する付箋紙をタップすると、タップした付箋紙がただちに削除され、【付箋紙(取消)】ボタンが閉じます。



③ 付箋紙をタップする前に、【付箋紙(取消)】ボタンをタップすると、[付箋削除]モードを終了します。

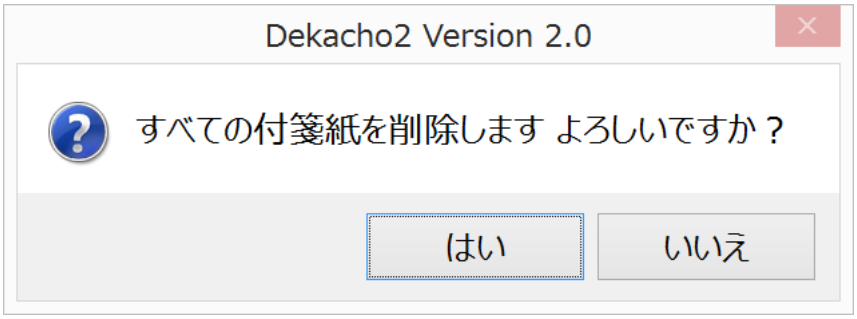
削除操作を元に戻す場合は、『6.2.9.5.付箋 UNDO』(p.146)を利用してください。

6.2.9.5. 全付箋削除

ツールバー	111
コマンド	HusenClearAll

『6.2.9.2.付箋貼付』(p.142)で貼り付けた付箋紙をすべて削除します。
オプション設定がある場合、特定の色のみ削除します。
オプションについては、『**出簡調管理設定マニュアル**』を参照してください。

① 【**全付箋削除**】ボタンをタップすると、メッセージボックスが表示されます。



② 【**はい**】ボタンをタップすると、全ての付箋紙を削除します。
【**いいえ**】ボタンをタップすると、この処理を中止します。

③ 削除操作を元に戻す場合は、『6.2.9.5.付箋 UNDO』(p.146)を利用してください。

6.2.9.6. 付箋 UNDO

ツールバー	107
コマンド	HusenUndo

『6.2.9.2.付箋貼付』(p.142)、『6.2.9.3.付箋移動』(p.144)、『6.2.9.4.付箋削除』(p.145)、『6.2.9.5.全付箋削除』(p.146)、『6.2.9.7.付箋 REDO』(p.146)で行った処理を元に戻します。

① 【付箋 UNDO】ボタンをタップすると、ただちに上記処理を一段階前に戻します。

6.2.9.7. 付箋 REDO

ツールバー	108
コマンド	HusenRedo

『6.2.9.2.付箋貼付』(p.142)、『6.2.9.3.付箋移動』(p.144)、『6.2.9.4.付箋削除』(p.145)、『6.2.9.5.全付箋削除』(p.146)の処理に対して、『6.2.9.6.付箋 UNDO』(p.146)で行った処理を元に戻します。

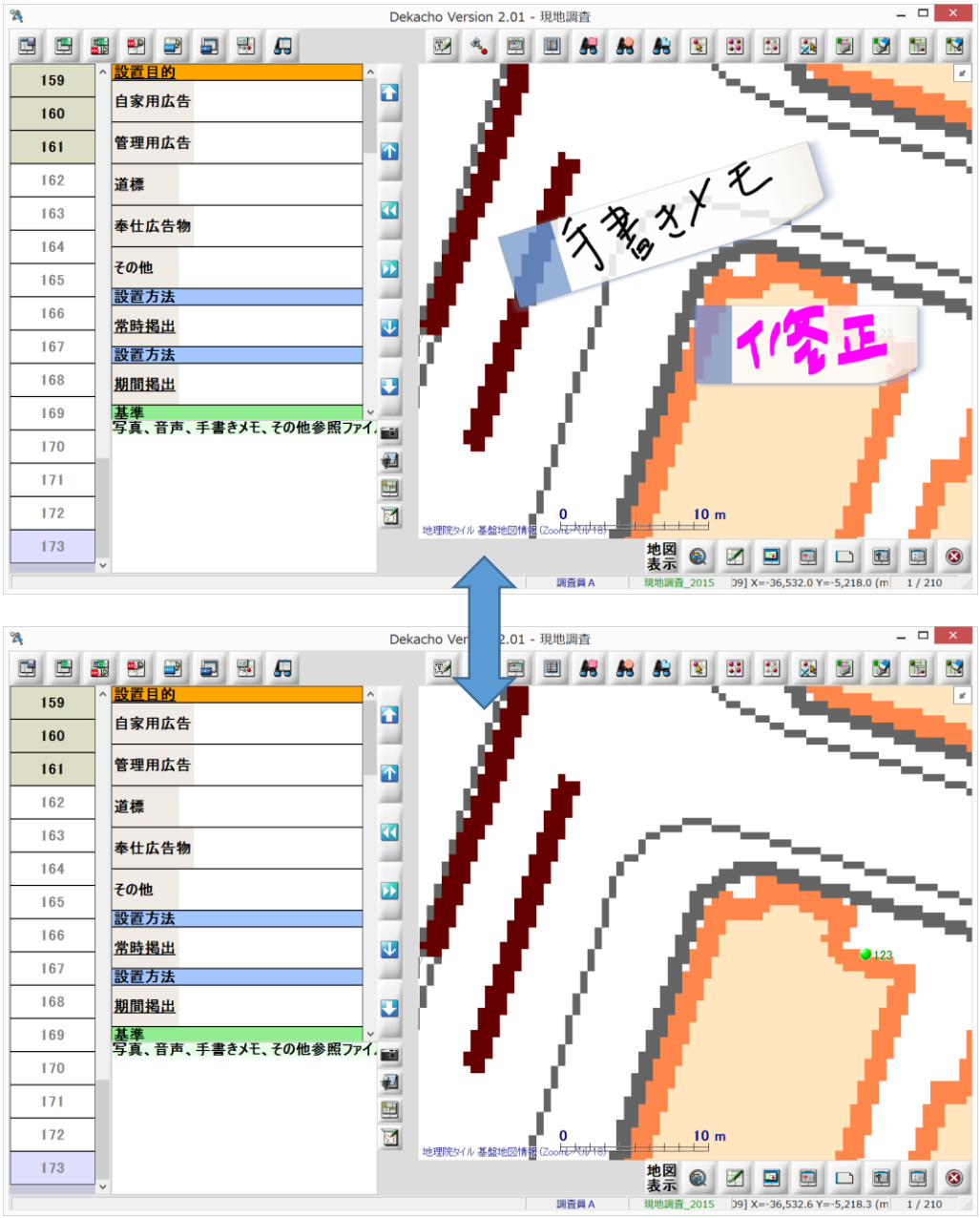
① 【付箋 REDO】ボタンをタップすると、ただちに上記処理を一段階前に戻します。

6.2.9.8. 付箋表示切替

ツールバー	112
コマンド	HusenDisp

『6.2.9.2.付箋貼付』(p.142)で貼り付けた付箋紙の表示状態を切り替えます。
オプション設定がある場合、特定の色のみ表示状態を切り替えます。
オプションについては、『出簡調管理設定マニュアル』を参照してください。

① 【付箋表示切替】ボタンをタップすると、付箋紙の表示/非表示を切り替えます。



6.2.9.9. 付箋巡回次

ツールバー	113
コマンド	HusenCir

『6.2.9.2.付箋貼付』(p.142)で貼り付けた付箋紙を巡回表示します。
オプション設定がある場合、特定の色のみ巡回表示します。
オプションについては、『**出簡調管理設定マニュアル**』を参照してください。

① 【付箋巡回次】ボタンをタップすると、付箋紙個所を巡回表示し、該当付箋を強調表示します。

6.2.9.10. 付箋巡回前

ツールバー	114
コマンド	HusenCir△-back

『6.2.9.2.付箋貼付』(p.142)で貼り付けた付箋紙を逆巡回表示し、該当付箋を強調表示します。
オプション設定がある場合、特定の色のみ逆巡回表示します。
オプションについては、『**出簡調管理設定マニュアル**』を参照してください。

① 【付箋巡回前】ボタンをタップすると、『6.2.9.9.付箋巡回次』(p.148)と逆方向で、付箋紙個所を巡回表示します。

6.2.9.11. 付箋強調解除

ツールバー	124
コマンド	HusenCirClear

『6.2.9.9.付箋巡回次』(p.148)、『6.2.9.9.付箋巡回前』(p.148)で強調表示された付箋の協調を解除します。

① 【付箋強調解除】ボタンをタップすると、ただちに強調表示を解除します。

6.2.9.12. 付箋 KML エクスポート

ツールバー	118
コマンド	HusenKML

『6.2.9.2.付箋貼付』(p.142)で貼り付けた付箋紙を KML ファイルへエクスポートし、GoogleEarth を起動します。
※KML ファイルを GoogleEarth に関連付けしておく必要があります。

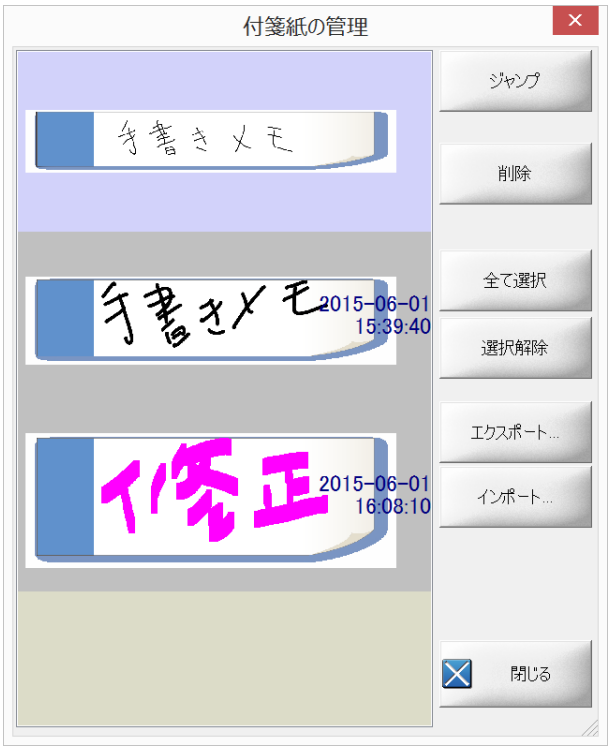
① 【付箋 KML エクスポート】ボタンをタップすると GoogleEarth 上に付箋紙を出力します。

6.2.9.13. 付箋管理

ツールバー	121
コマンド	HusenKanri

『6.2.9.2.付箋貼付』(p.142)で貼り付けた付箋紙の管理を行います。

① 【付箋管理】ボタンをタップすると、[付箋紙の管理]ダイアログボックスが表示されます。
一覧から付箋をタップすると、それぞれのボタンがアクティブになります。



【ジャンプ】ボタン
選択した付箋紙の個所へ移動します。

【削除】ボタン
選択した付箋紙を削除します、

【すべて選択】ボタン
一覧の付箋紙すべてを選択します。

【選択解除】ボタン
付箋紙の選択状態を解除します。

【エクスポート】ボタン
一覧で選択されている付箋紙を「*.husen」形式で出力します。

【インポート】ボタン
「*.husen」形式のファイルを読み込みます。

【閉じる】ボタン
このダイアログボックスを閉じます。

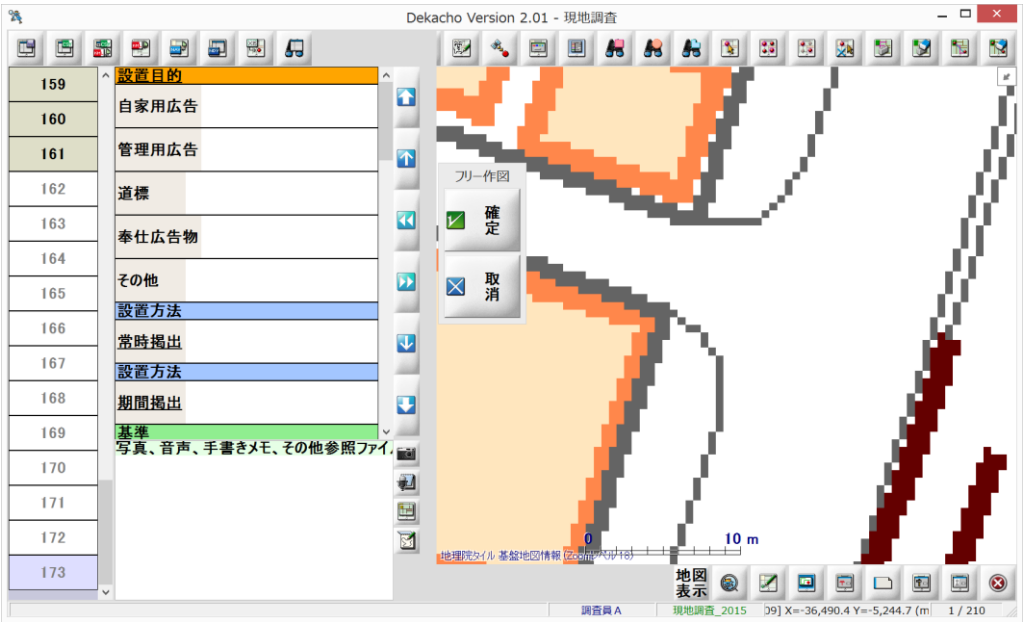
6.2.10. フリー作図

6.2.10.1. フリー作図

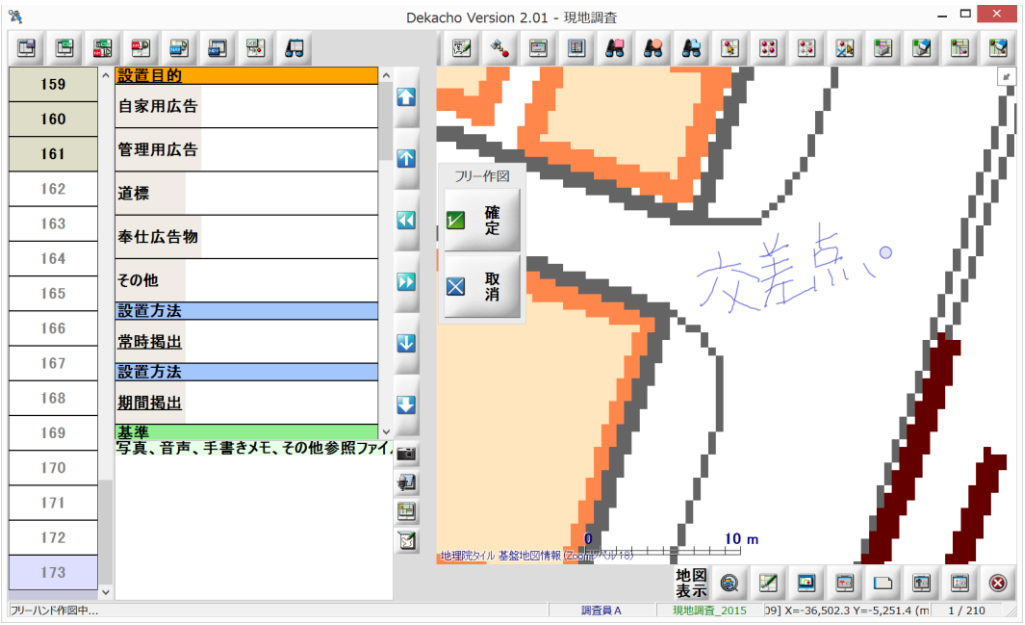
ツールバー	119
コマンド	SakuzuTrack△5…. ※…以下は『出簡調管理設定マニュアル』を参照してください。

地図画面に直接フリーハンドで覚書等を書き込みます。

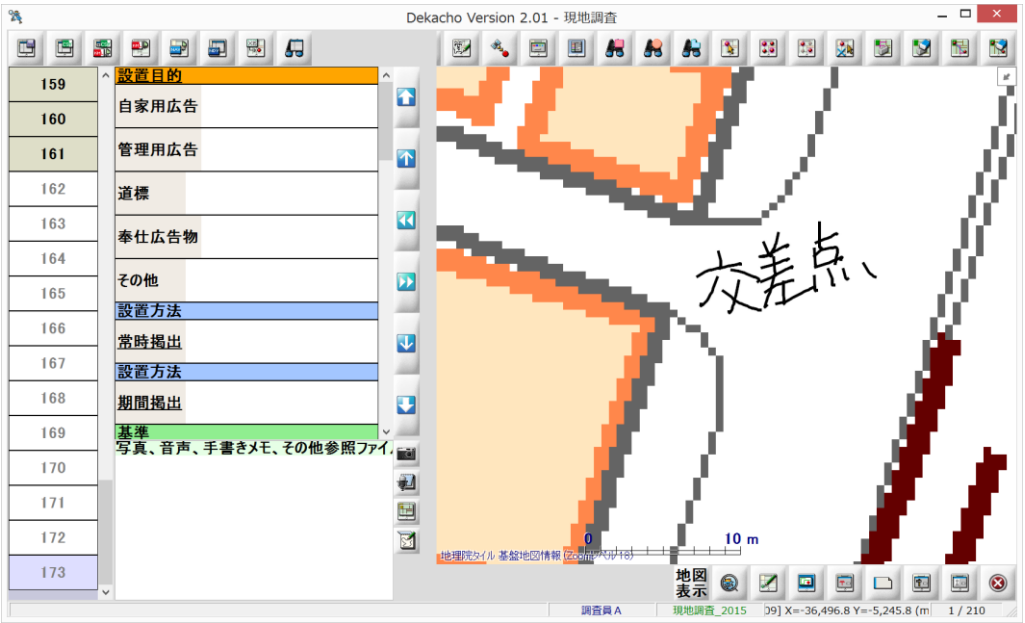
① 【フリー作図】ボタンをタップすると、【フリー作図(確定)/(取消)】ボタンが表示されます。



② 直接、メモ書きのように画面上に文字を入力してください。

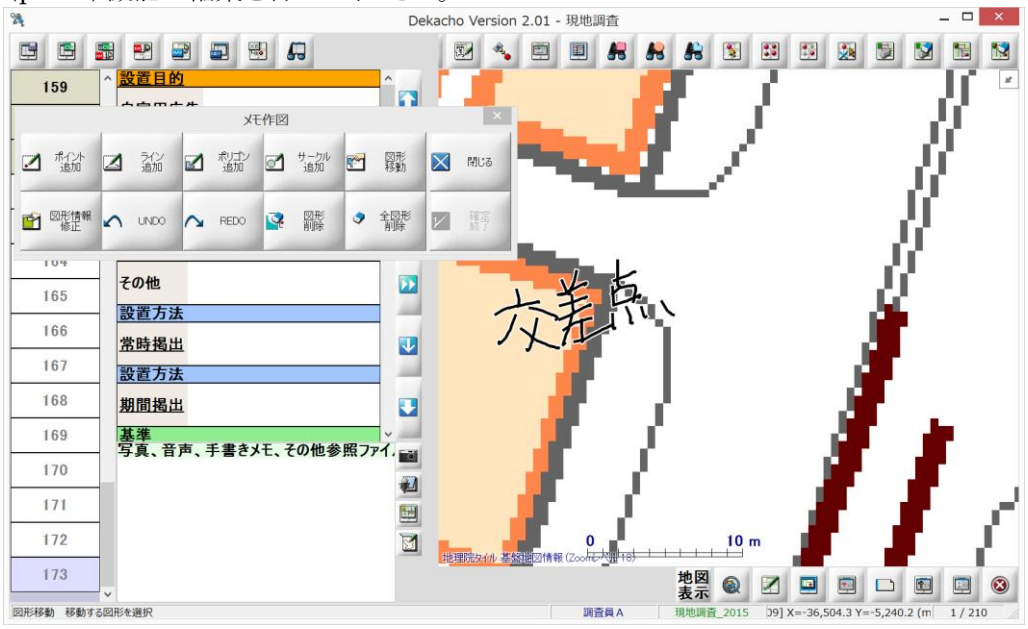


③ 【フリー作図(確定)】ボタンをタップすると、書き込んだ文字が、確定します。



④ 【フリー作図(取消)】ボタンをタップすると入力を取り消します。

⑤ ここで入力したフリー作図図形は、『6.1.メモ作図』(p.52)、『6.2.4.1.メモ作図』(p.91)、『6.2.4.6.図形移動』(p.98)、『6.2.4.7.図形情報修正』(p.100)、『6.2.4.8.UNDO』(p.101)、『6.2.4.9.REDO』(p.101)、『6.2.4.10.図形削除』(p.102)、『6.2.4.11.全図形削除』(p.104)機能で編集を行ってください。



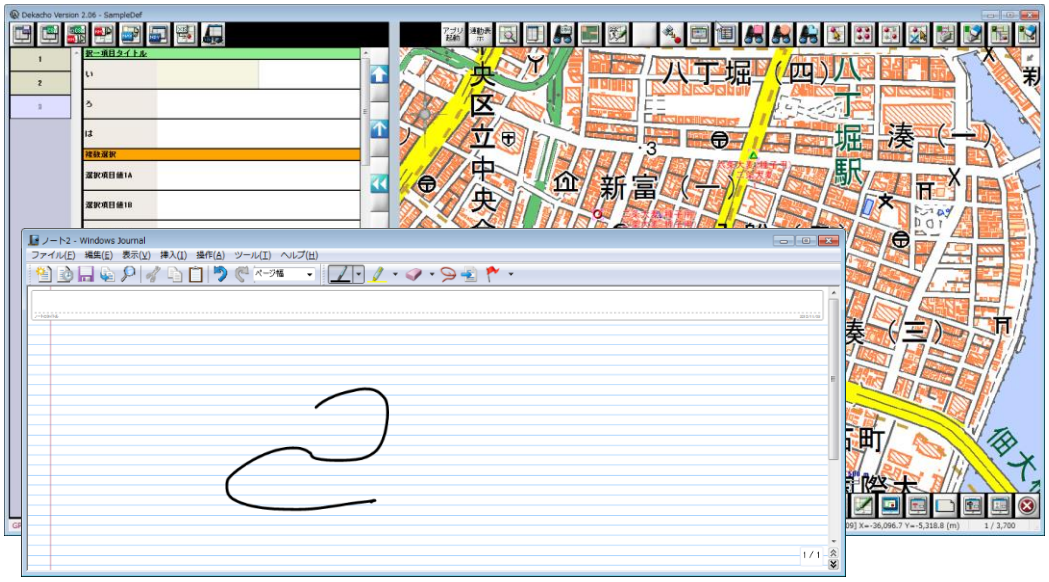
6.2.10.2. アプリ起動

ツールバー	
コマンド	HandMemoExec.

管理ツール「管理 2」パネル「手書きメモアプリの指定」で設定したアプリを開きます。

【アプリ起動】ボタンをタップすると、**指定したアプリが起動します。**

このメニューでは、ただ起動するだけで、ポイントに対して関連付けることはできません。



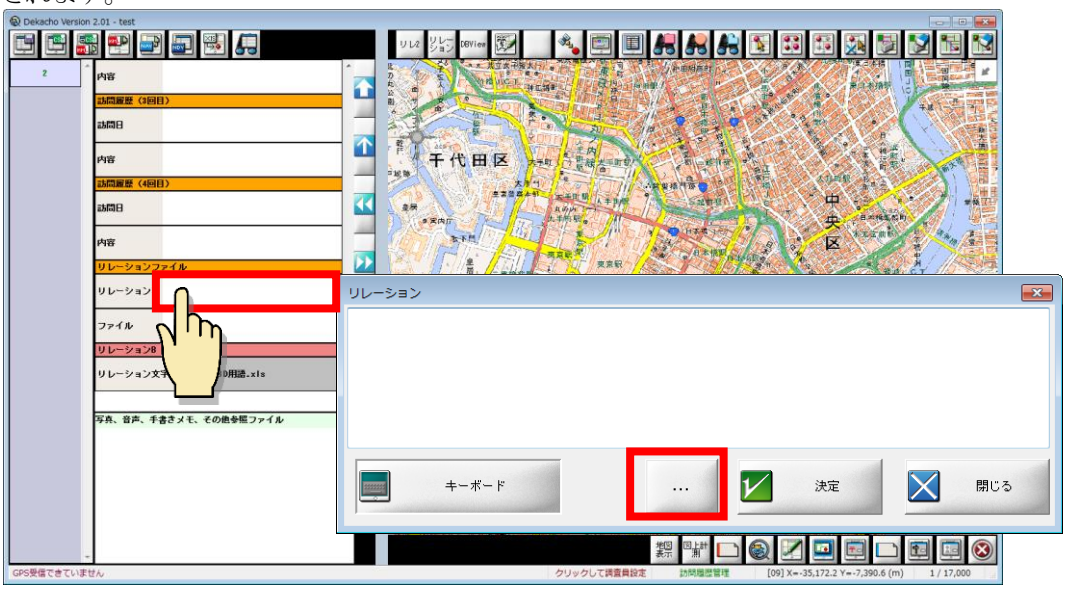
6.2.11. リレーション

6.2.11.1. リレーションファイルを登録・解除する

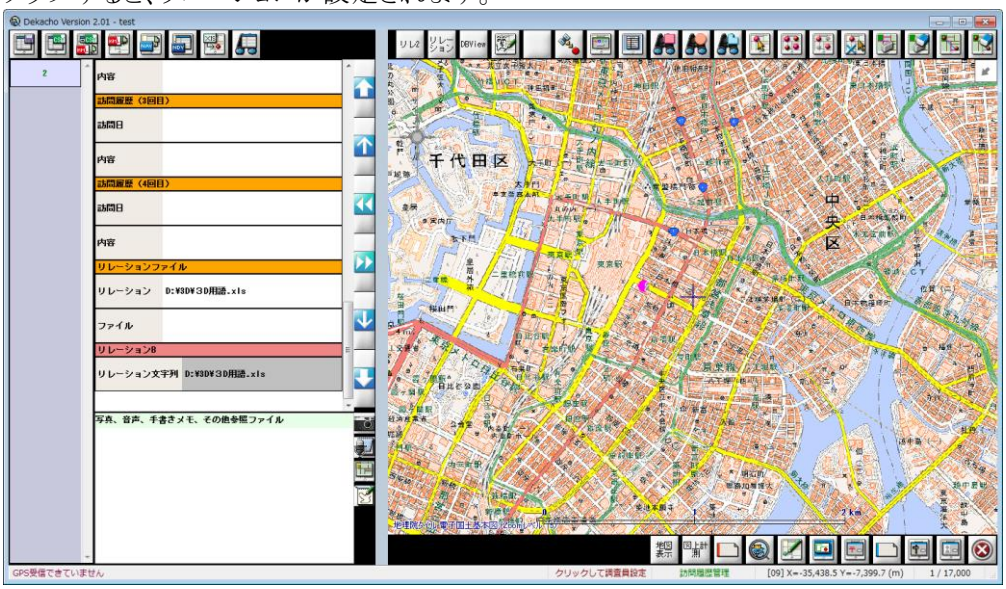
ツールバー	なし
コマンド	なし

リレーションが設定されているフィールドに対し、リレーションデータを記入します。

① リレーション設定されているフィールドをタップすると、[**リレーション**]ダイアログボックスが表示されます。



② 直接、ファイルパス名を入力するか、【**…**】ボタンをタップすると、表示される[**ファイルを開く**]ダイアログボックスで、リレーション起動するファイルを指定します。指定後、【**決定**】ボタンをタップすると、リレーションが設定されます。



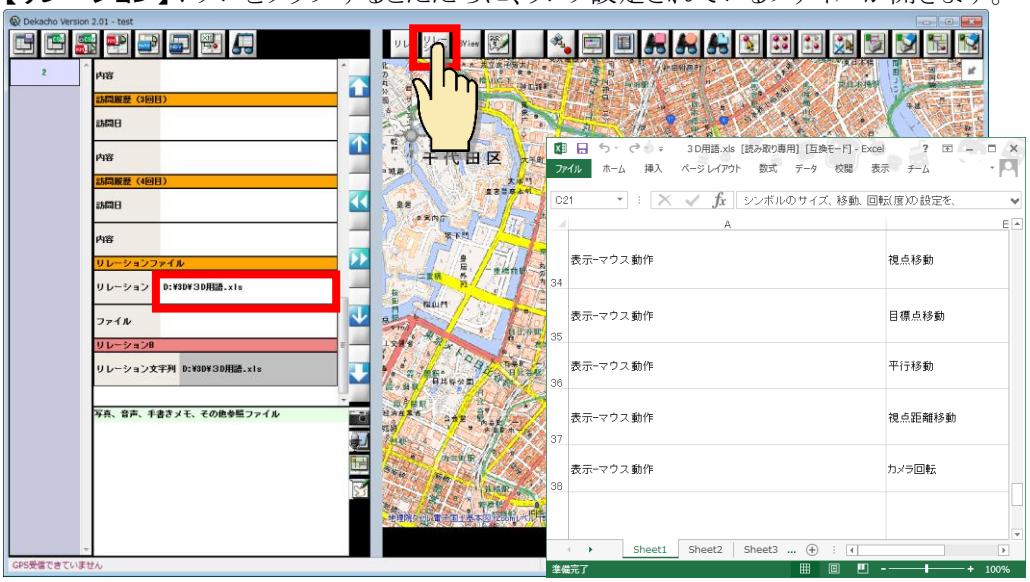
③ リレーションを解除する場合は、再度リレーションフィールドをタップして、ファイルパス名を削除後【**決定**】ボタンで、[**リレーション**]ダイアログボックスを閉じてください。

6.2.11.2. リレーションファイルを呼び出す

ツールバー	Relation 125
コマンド	DoRelation

リレーションが設定されているフィールドのデータを呼び出します。

① 【リレーション】ボタンをタップするとただちに、リンク設定されているファイルが開きます。



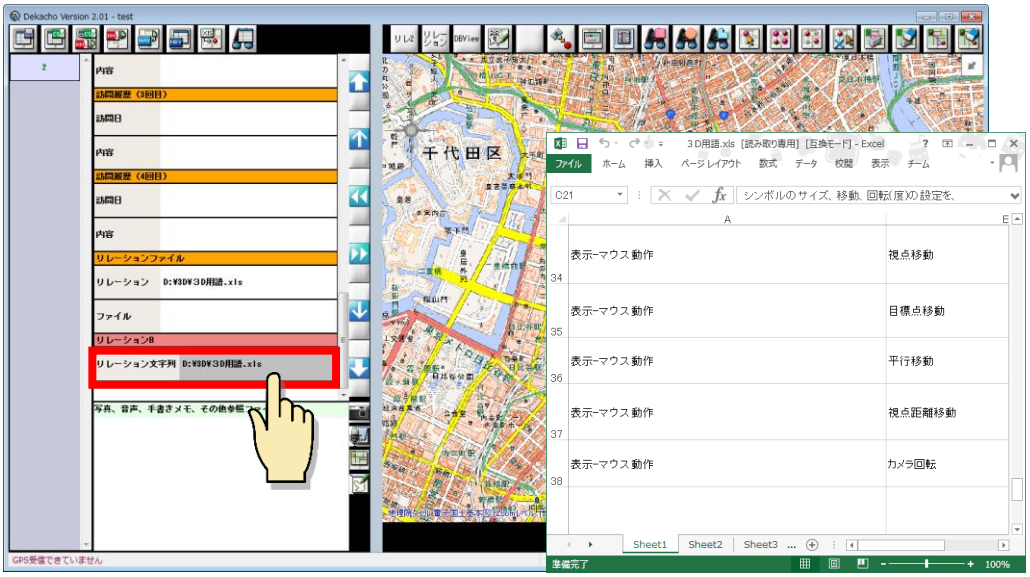
複数のリレーションフィールドがある場合はすべてのリレーションフィールドを開きます。
DoRelation コマンドのオプションにより、指定フィールドのみのリレーションを起動することも可能です。
オプションについては、『出簡調管理設定マニュアル』を参照してください。

6.2.11.3. リレーションファイル（固定）を呼び出す

ツールバー	なし
コマンド	なし

リレーションが設定されているフィールドのデータを呼び出します。

① **グレー（デフォルト）のフィールド**をタップするとただちに、リンク設定されているファイルが開きます。



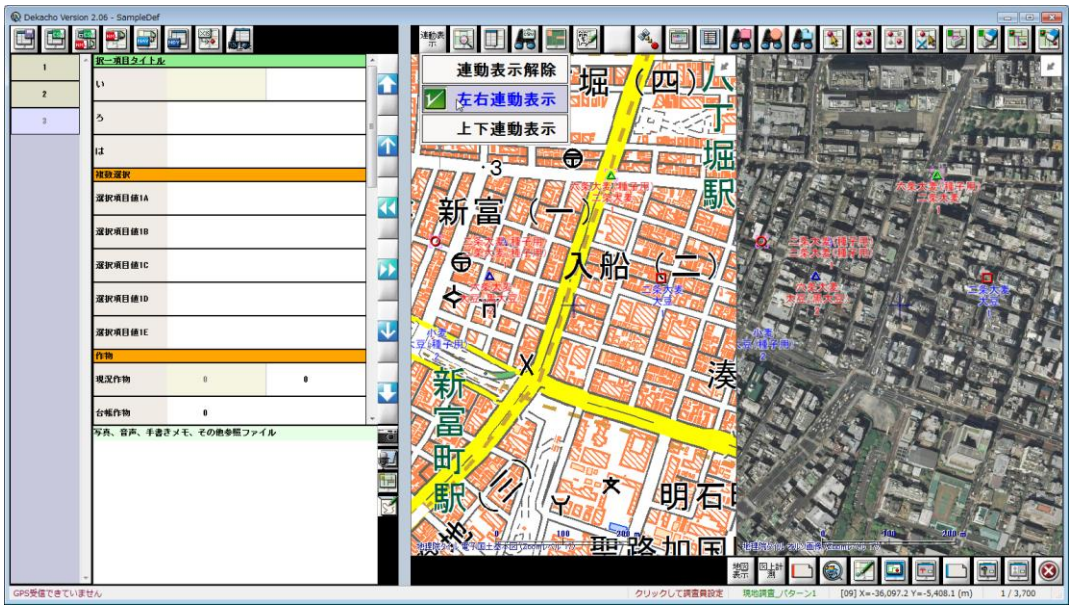
※このフィールドの編集を行うことはできません。

6.2.12. 2 つの地図を連動表示

6.2.12.1. 2 つの地図を左右に並べて連動表示する

ツールバー	
コマンド	SlaveView△1

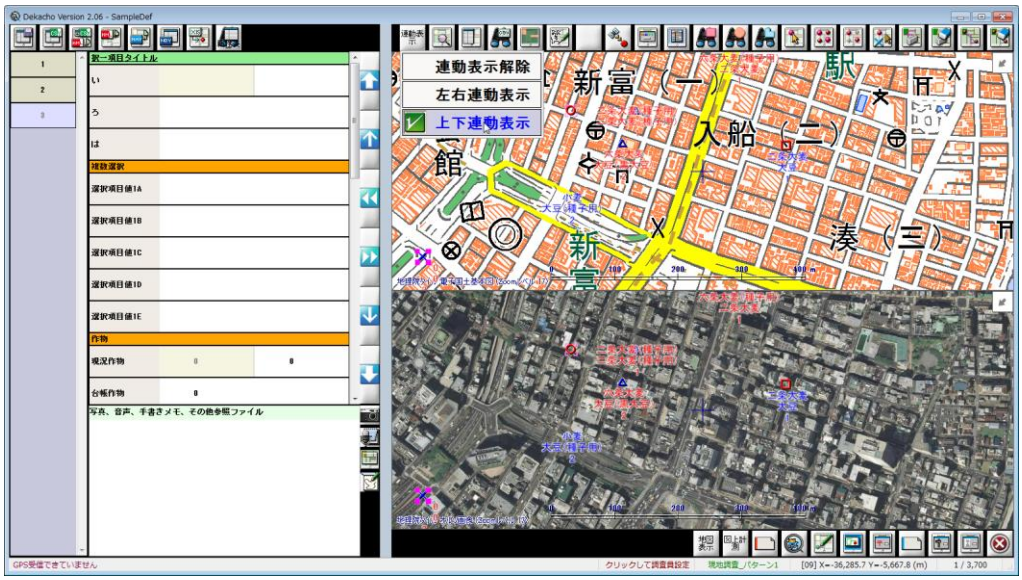
メニューを実行すると、元プロジェクトと連動するプロジェクト（元プロジェクト名_Slave.pcm）を左右に並べて表示します。



6.2.12.2. 2 つの地図を上下に並べて連動表示する

ツールバー	
コマンド	SlaveView△2

メニューを実行すると、元プロジェクトと連動するプロジェクト（元プロジェクト名_Slave.pcm）を上下に並べて表示します。



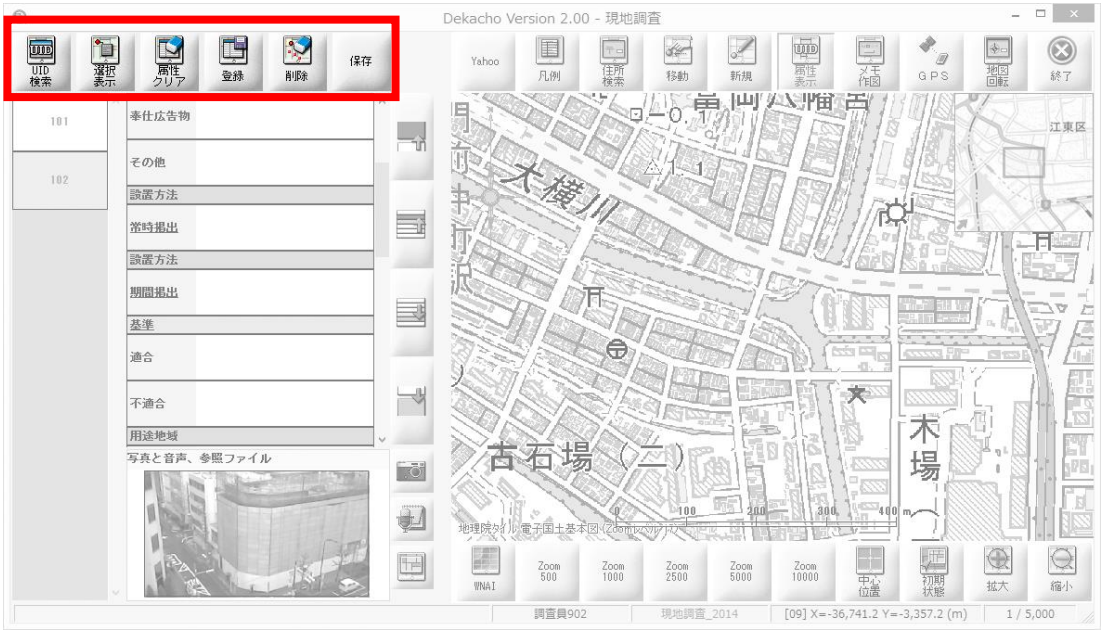
6.2.12.3. 2 つの地図の連動表示を解除する

ツールバー	
コマンド	SlaveView△0

メニューを実行すると、「6.2.12.1.2 つの地図を左右に並べて連動表示する」(p.156)、「6.2.12.2.2 つの地図を上下に並べて連動表示する」(p.156)で、2 つのプロジェクトが並んだ状態を解除します。

6.3. 属性画面メニュー

属性画面で利用するメニューは、下図のように、画面左側の上部に表示されます。



6.3.1. 属性メニュー

6.3.1.1. 登録

ツールバー	65
コマンド	AttachAttr

調査対象物に関する属性を編集後、登録作業を行います。
詳細は、『5.8.登録』(p.49)を参照してください。

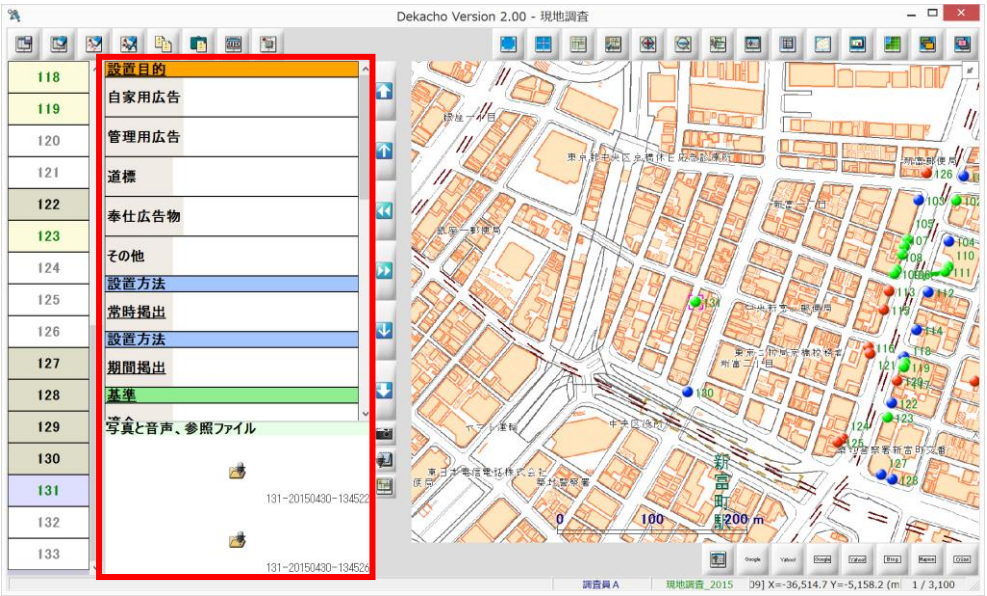
6.3.1.2. クリアー

ツールバー	66
コマンド	ClearRec

現在編集中の調査対象物に関する属性を消去します。

① 【クリアー】ボタンをタップすると、メッセージボックスが表示されます。
属性を消去しない場合は、【いいえ】ボタンをタップしてください。

② 【はい】ボタンをタップすると、入力した属性がクリアーされたことが確認できます。



写真と音声、地図、手書きメモ、参照ファイルに関しては、クリアーされませんので、削除する場合は、以下を参照してください。

- 写真:『5.3.2.2.撮影した写真を削除する』(p.32)
- 音声:『5.4.2.録音音声の確認』(p.39)
- 地図:『5.5.2.地図画面の確認』(p.41)
- 手書きメモ:『5.6.2.手書きメモの確認』(p.43)
- 参照ファイル:『5.7.3.外部ファイルを削除する』(p.46)

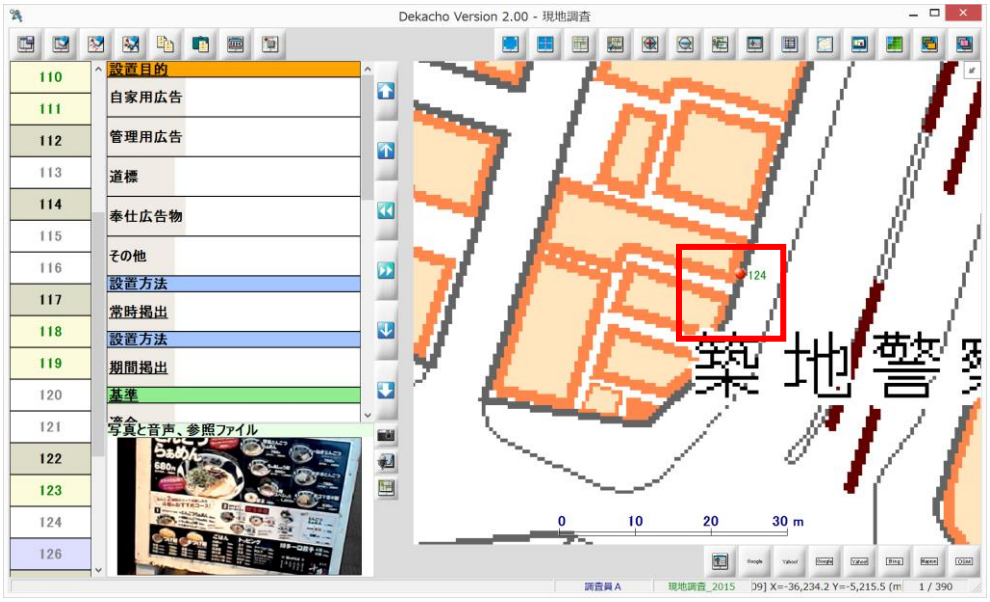
6.3.1.3. 調査対象物削除

ツールバー	67
コマンド	DelPnt

現在編集中の調査対象物を消去します。

① 【調査対象物削除】ボタンをタップすると、メッセージボックスが表示されます。
調査対象物を消去しない場合は、【いいえ】ボタンをタップしてください。

② 【はい】ボタンをタップすると、調査対象物が削除されたことが確認できます。

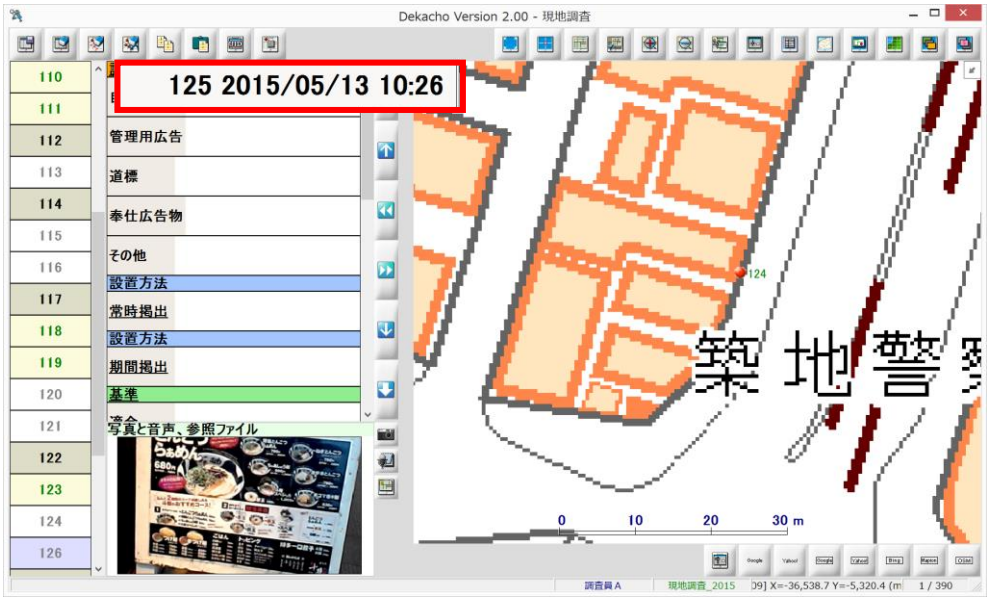


6.3.1.4. 調査対象物削除取消

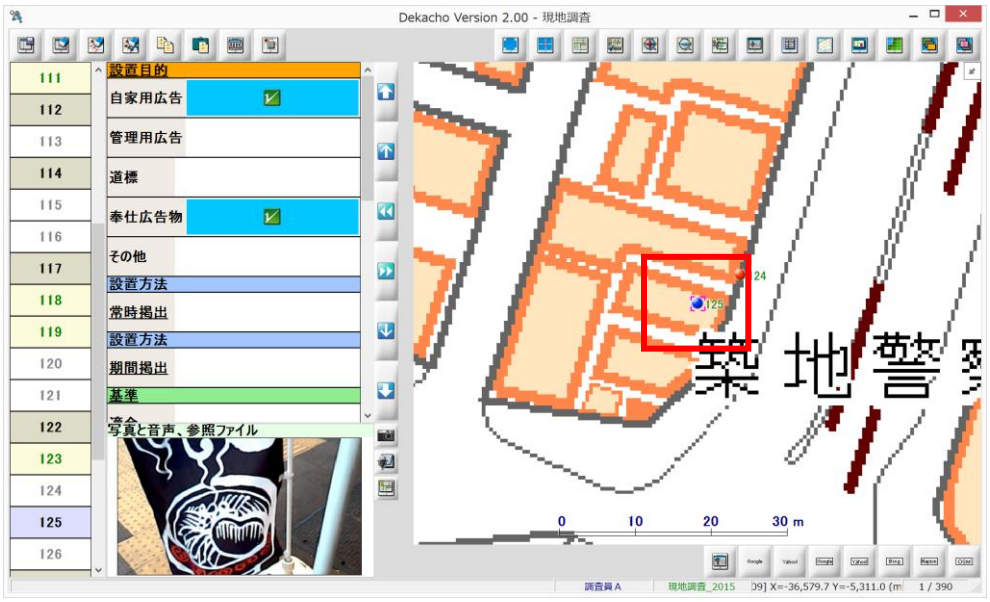
ツールバー	68
コマンド	DelUndo

『6.3.1.3.調査対象物削除』(p.160)で削除した調査対象物を元に戻します。

① 【調査対象物削除取消】ボタンをタップすると、削除した調査対象物の番号と、削除した日時のリストが表示されます。



② ①で元に戻す調査対象物リストをタップすると、削除した調査対象物が復活していることが確認できます。

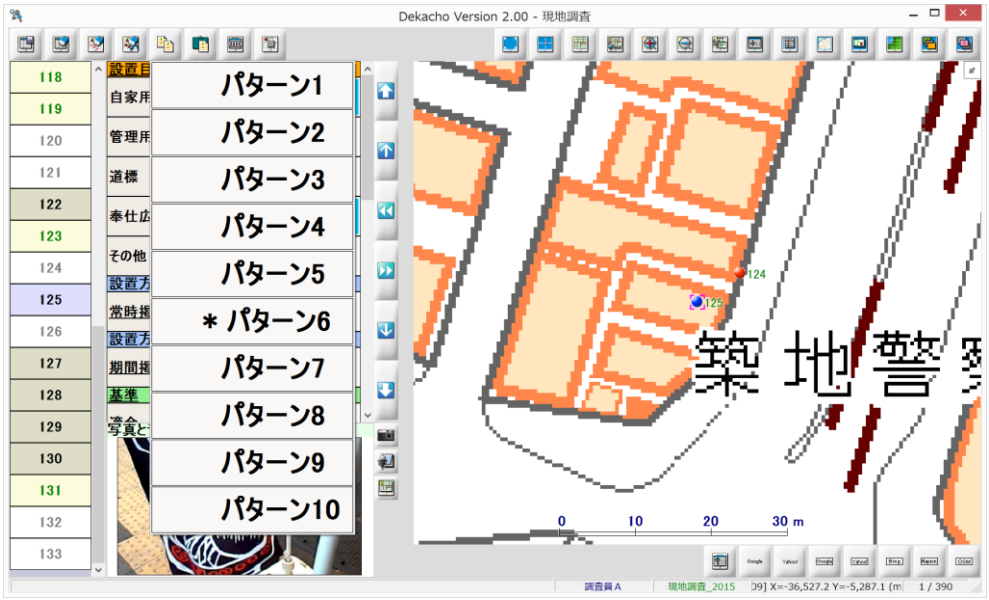


6.3.1.5. コピー

ツールバー	69
コマンド	ToPattern

現在の調査対象物に設定されている属性をコピーします。

① 【コピー】ボタンをタップすると、パターン 1~10 のプルダウンが表示されます。コピーした内容を格納するパターン番号をタップしてください。「＊」がついている箇所は既にコピーされているパターンです。既にコピーされている箇所をコピー先として利用することもできます。

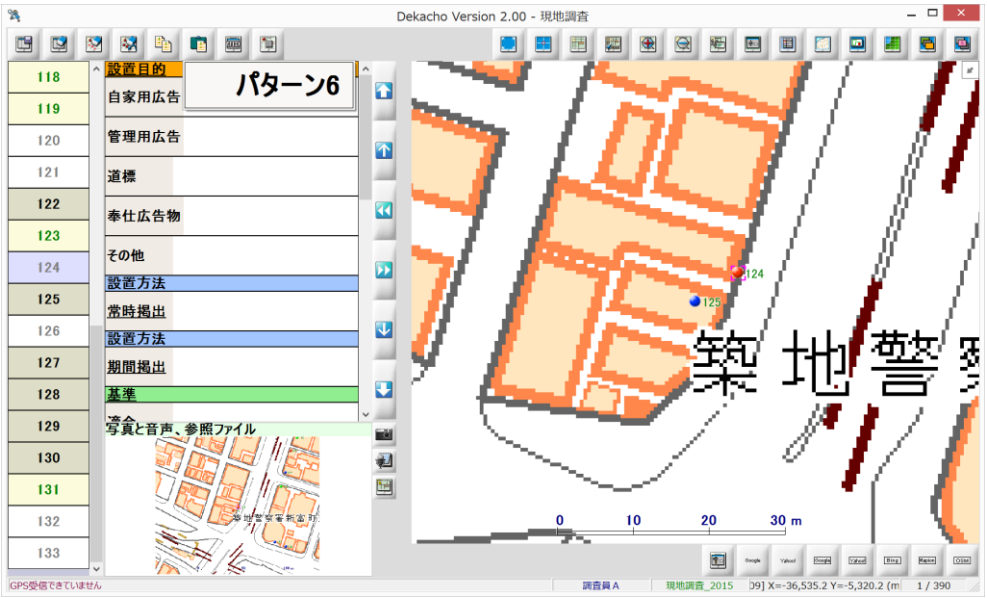


6.3.1.6. 貼り付け

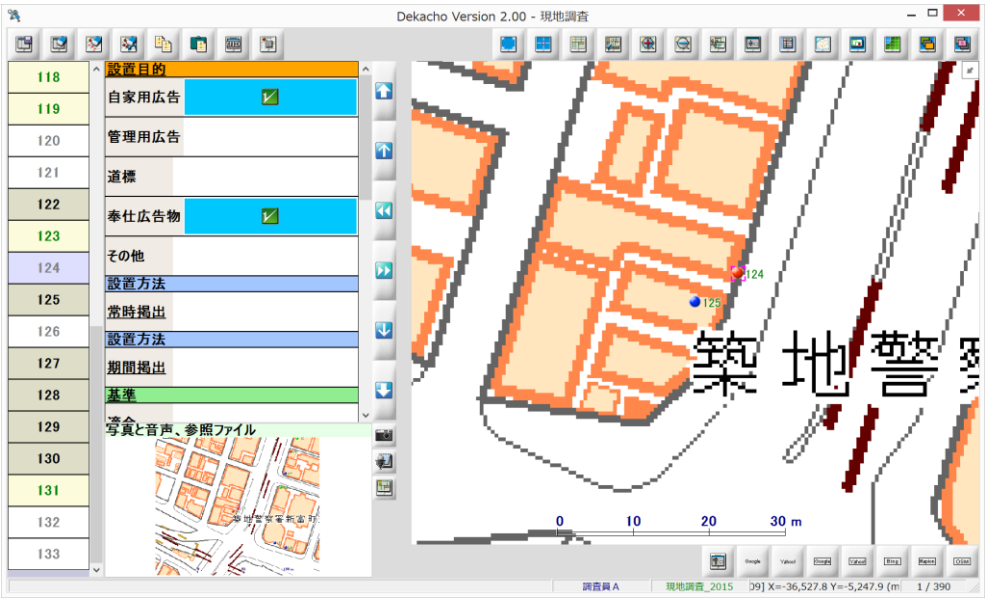
ツールバー	70
コマンド	FromPattern

『6.3.1.5.コピー』(p.162)で、コピーした属性を、別の調査対象物に貼り付けます。

① 属性を貼り付ける調査対象物を UID リストで選択し、**【貼り付け】**ボタンをタップすると、格納されているパターンのプルダウンが表示されます



② 貼り付けるパターンをタップすると、指定した属性パターンが貼り付けられます。



6.3.1.7. UID 検索

ツールバー	71
コマンド	UidFind

UID により調査対象物を検索します。

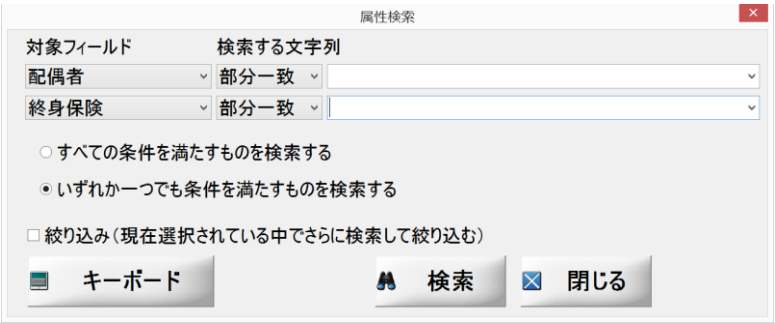
詳細は、『5.1.2.調査対象物の選択』-UID 検索（p.16）を参照してください。

6.3.1.8. 属性検索

ツールバー	89
コマンド	FindByAttr

調査対象物を属性により検索し、選択状態にします。

① 【属性検索】ボタンをタップすると、[属性検索]ダイアログボックスを表示します。
ここで表示される対象フィールド数はシステムにより異なります。

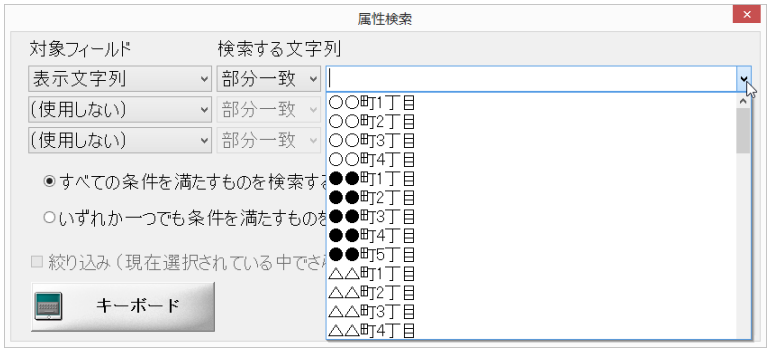


対象フィールド

プルダウンから属性を検索するフィールド名を選択してください。

検索する文字列

検索文字列を入力してください。
管理ツールで設定がある場合は、以下のようにプルダウンから選択することもできます。



検索条件として、「**部分一致**」、「**厳密一致**」、「**＞大きい**」、「**＜小さい**」を設定できます。
対象フィールドが辞書引き選択の調査項目の場合は、プルダウンから選択してください。
単一選択の調査項目を検索する場合は、ON の時は“1”を、OFF の時は“0”を入力してください。

「すべての条件を満たすものを検索する」ラジオボタン

検索フィールドが複数ある場合、表示されます。
すべての検索条件を満たしたものを検索します。

「いずれか一つでも条件を満たすものを検索する」ラジオボタン

検索フィールドが複数ある場合、表示されます。
入力された検索条件のいずれかを満たしたものを検索します。

「絞り込み」チェックボックス

すでに選択されている調査対象物がある場合、アクティブになります。
ON の時、すでに選択されている調査対象物に対してのみ検索を行います。

【キーボード】ボタン

入力用のスクリーンキーボードを表示します。

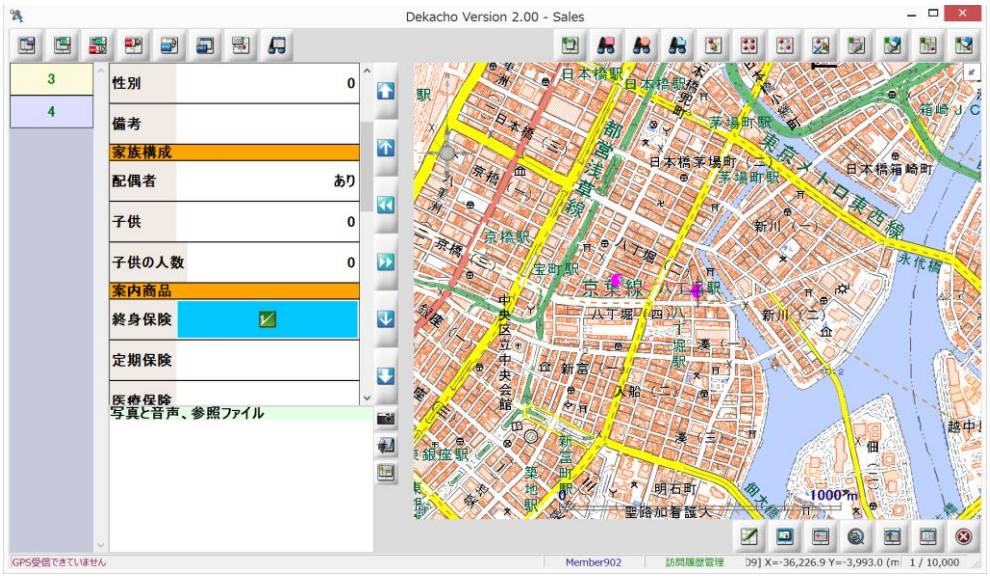
【検索】ボタン

設定した条件で検索を実行し、このダイアログボックスを閉じます。

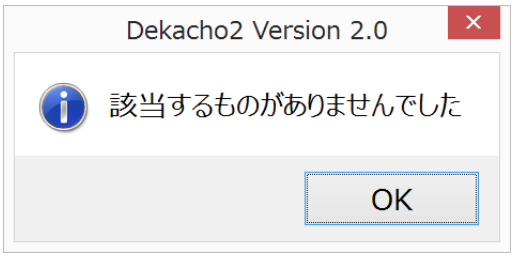
【閉じる】ボタン

検索を中断し、このダイアログボックスを閉じます。

② 各設定を行い、**【検索】**ボタンをタップすると処理を実行し、該当調査対象物を選択状態にし、該当するもののみが「**UID リスト**」に表示されます。



③ 該当調査対象地物が存在しない場合は、メッセージボックスを表示します。



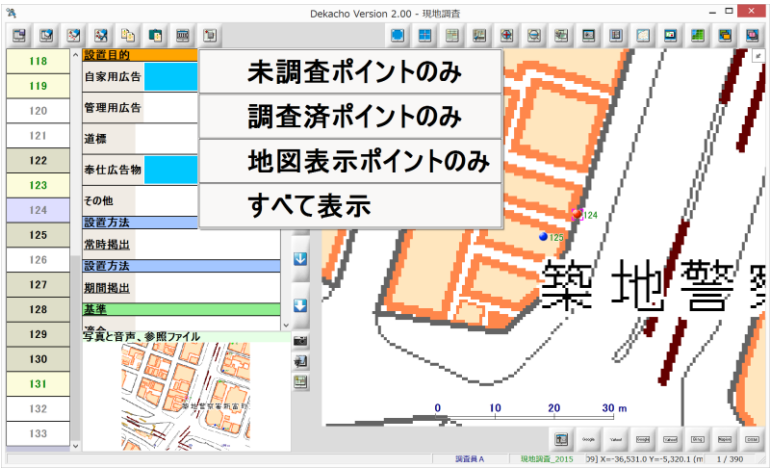
④ 選択状態を解除する場合は、『6.2.6.8.選択解除』(p.127)を利用してください。

6.3.1.9. ポイントメニュー

ツールバー	72
コマンド	SelDisp

調査対象物ポイントを、調査状況別に表示するメニューを表示します。

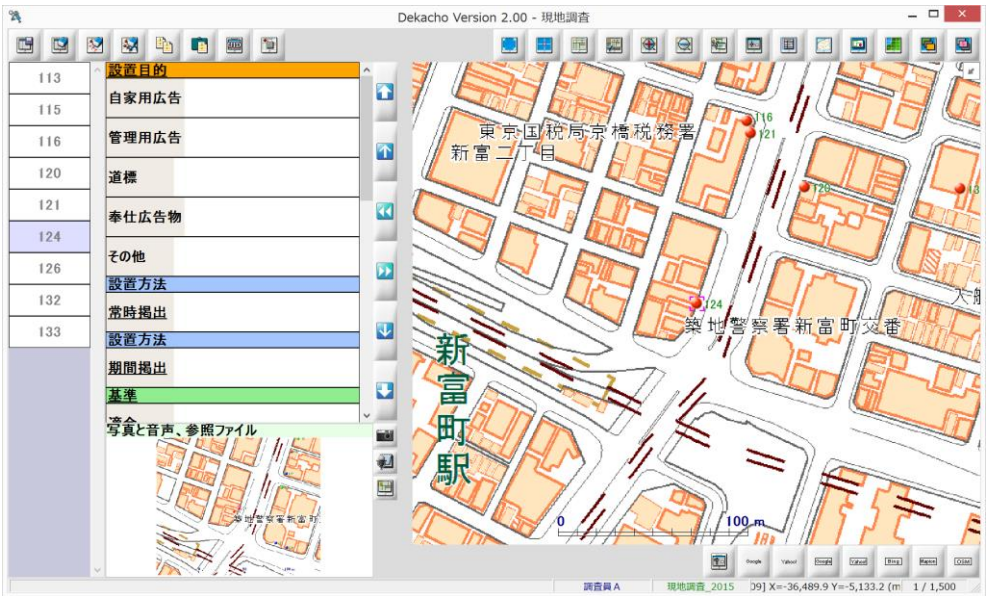
① 【ポイントメニュー】ボタンをタップすると、プルダウンメニューが表示されます。



② 選択したメニューにより、UID リストと、地図上に表示される調査対象物ポイントの表示状態が切り替わります。

<u>未調査ポイントのみ</u>

属性の編集が行われていない調査対象物（UID リストが白）のみ表示します。



<u>調査済ポイントのみ</u>

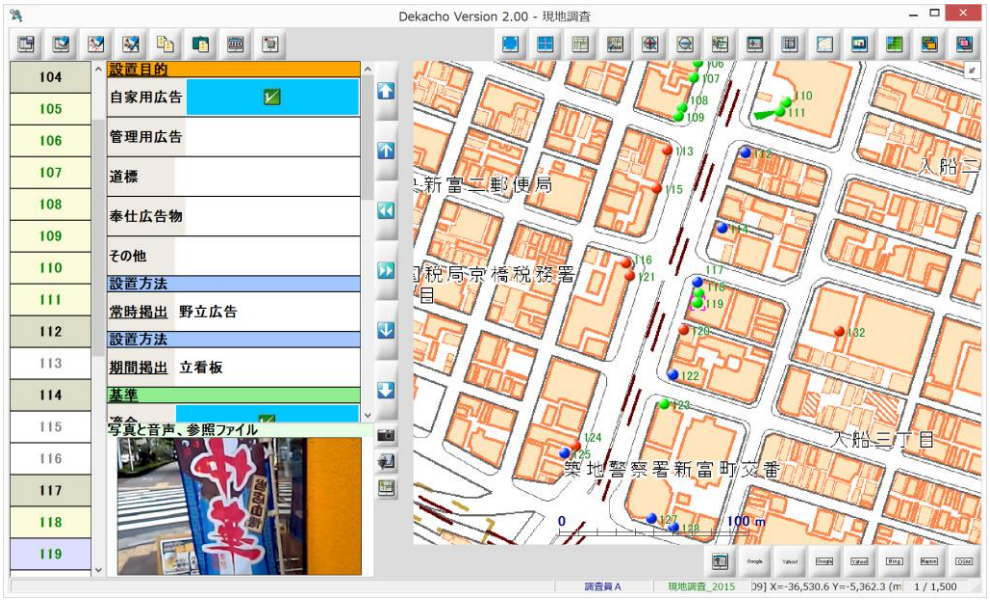
属性が登録済の調査対象物（UID リストが着色されているもの）のみ表示します。

地図表示ポイントのみ

現在の地図表示領域に表示されているポイントのみを表示します。UID リストに現在の表示領域に存在するポイント番号のみが表示されます。

すべて表示

すべてのポイントを表示します。

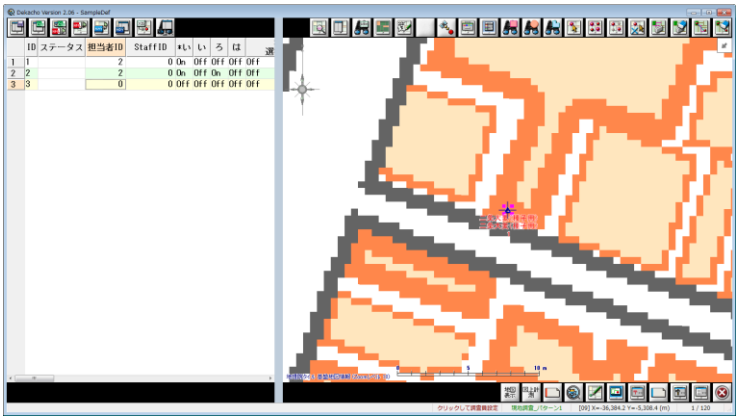


6.3.1.10. 属性の一覧表示

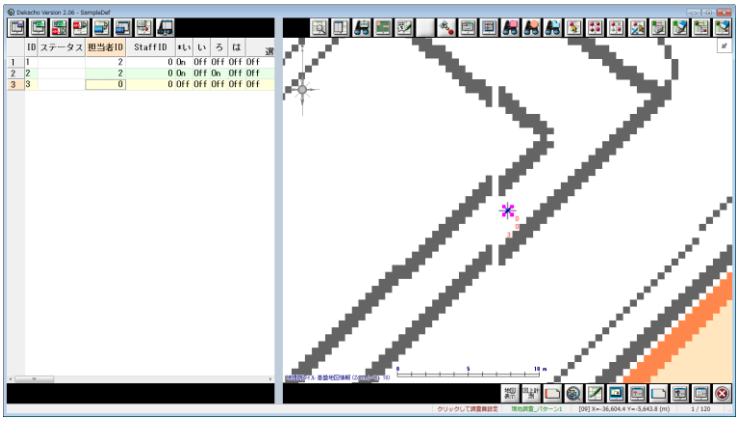
ツールバー	128
コマンド	DBView2

属性画面に属性一覧を表示します。レコードをタップすると、該当するポイントを検索して表示します。

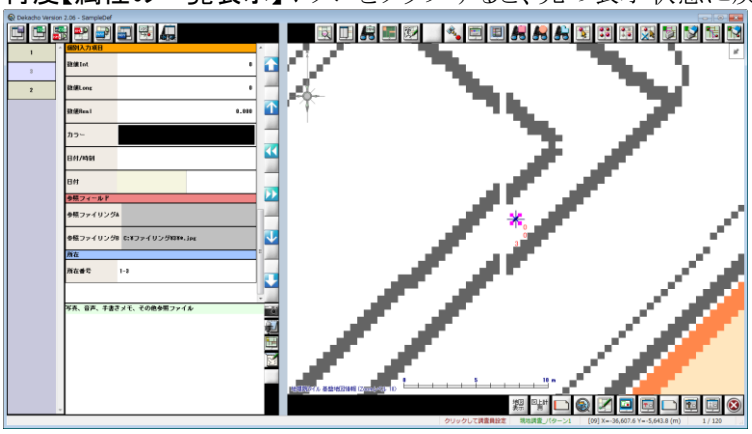
① 【属性の一覧表示】ボタンをタップすると、属性画面に属性一覧を表示します。
タップしたレコードのポイント位置を表示します。



② タップしたレコードのポイント位置を表示します。この時の表示領域は、初めの表示領域に連動します。



③ 再度【属性の一覧表示】ボタンをタップすると、元の表示状態に戻ります。

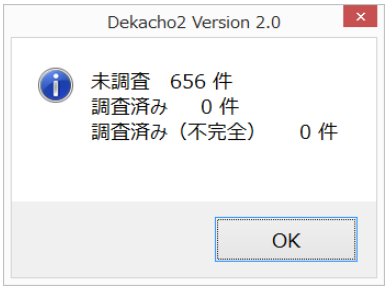


6.3.1.11. 作業進捗管理

ツールバー	129
コマンド	SumEndFlg

「出簡調」での進捗管理項目（未調査、調査済み、調査済み（不完全））において、それぞれのポイント数を集計します。集計結果はメッセージボックスで表示します。

① **【作業進捗管理】**ボタンをタップすると、進捗結果をメッセージボックスで表示します。



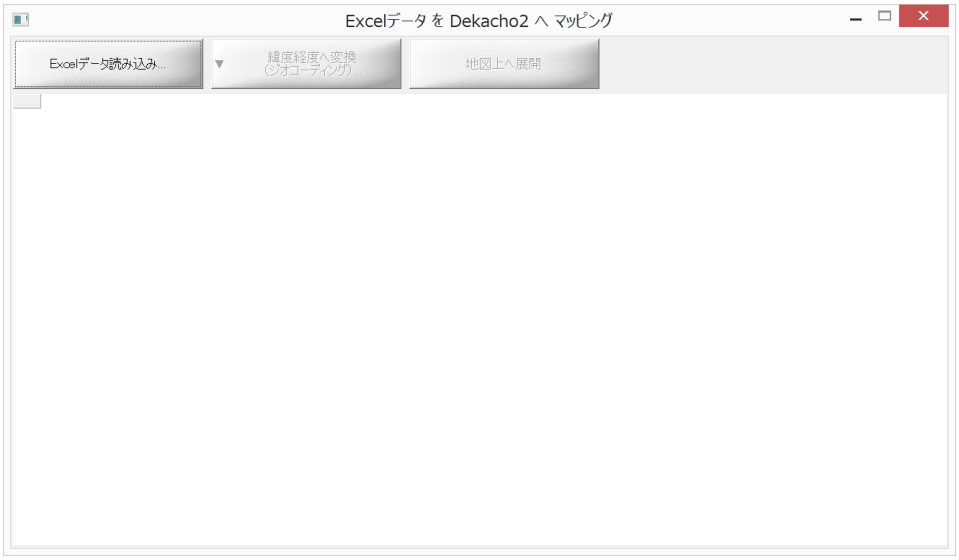
6.3.2. インポートメニュー

6.3.2.1. Excelインポート

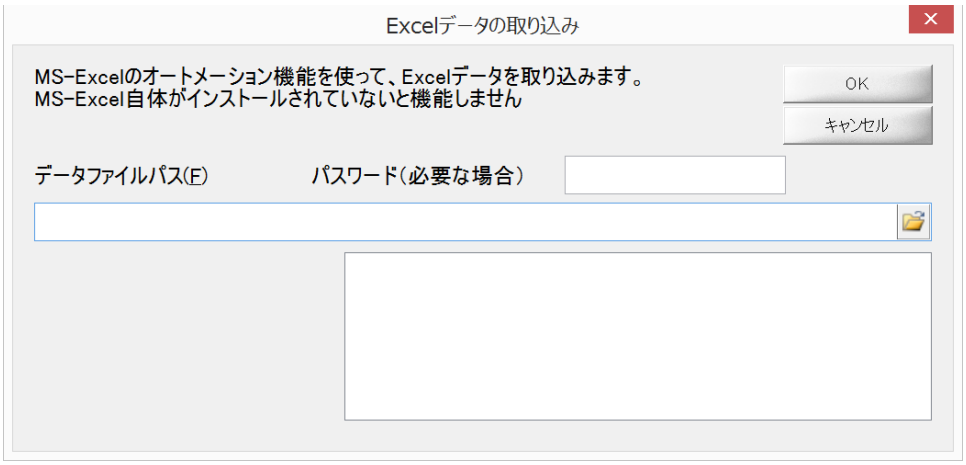
ツールバー	88
コマンド	LoadExcel

Excel形式の調査対象物を読み込みます。
※MS-Excelがインストールされていない端末では利用できません。

① 【Excel インポート】ボタンをタップすると、[Excel データを Dekacho2 へマッピング]ダイアログボックスが表示されます。



② 【Excel データ読み込み】ボタンをタップすると、[Excel データの取り込み]ダイアログボックスが表示されます。



「データファイルパス」

インポートする Excel ファイルのパス名を記入してください。

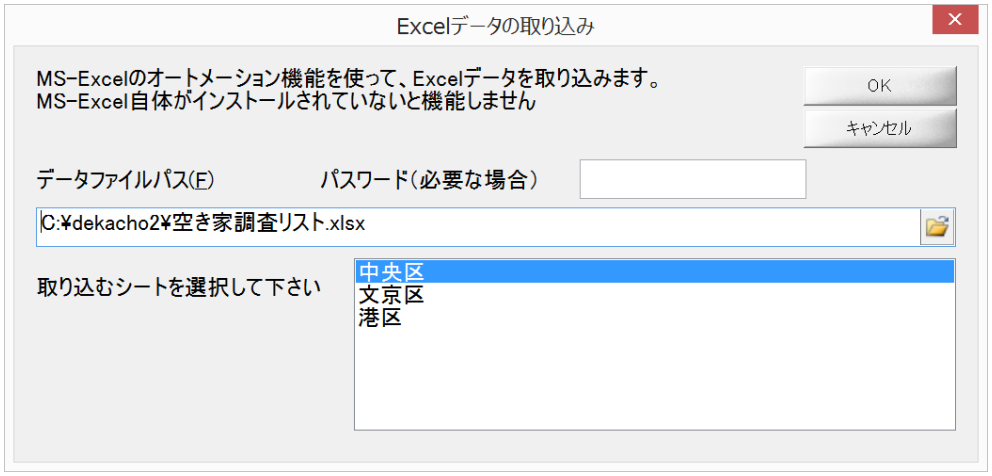
【参照】( )ボタンをタップすると[Excel ファイルの指定]ダイアログボックスが表示されます。ここで、ファイルを指定すると、「データファイルパス」に記入されます。

「パスワード」

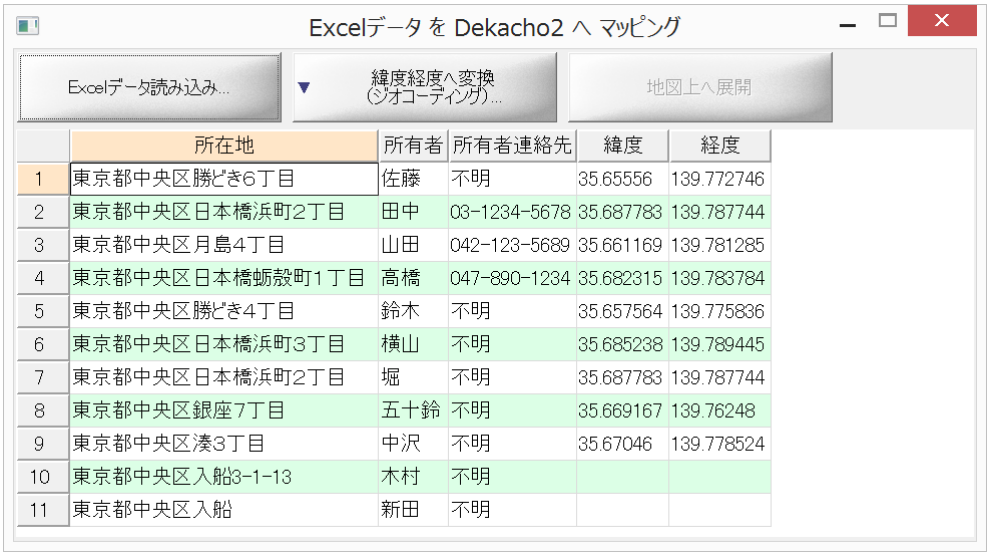
インポートする Excel ファイルにパスワードが設定されている場合、テキストボックスにパスワードを入力してください。

「取り込むシートを選択して下さい」

「**データファイルパス**」で Excel ファイルを指定すると、アクティブになります。
取り込むシートをタップして選択してください。



③ ②で設定を行い、[**Excelデータの取り込み**]ダイアログボックスの【**OK**】ボタンをタップすると、[**Excel データを Dekacho2 へマッピング**]ダイアログボックスが以下のように表示されます。
Excel ファイルが読み込まれると【**緯度経度へ変換**】ボタンがアクティブになります。



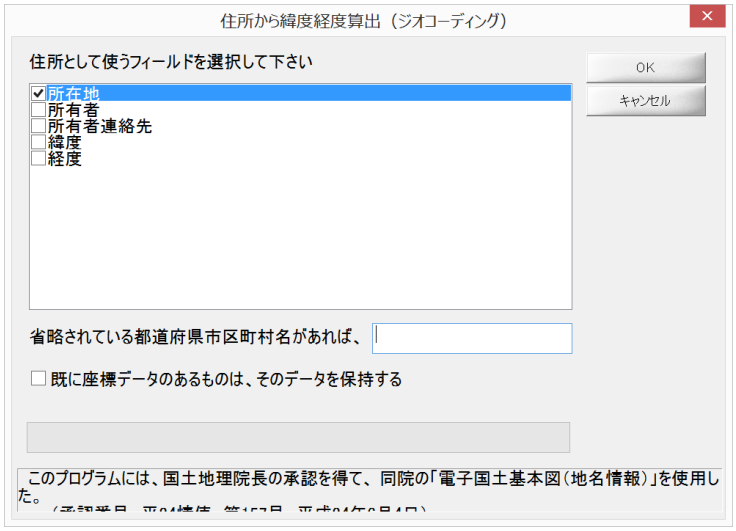
	所在地	所有者	所有者連絡先	緯度	経度
1	東京都中央区勝どき6丁目	佐藤	不明	35.65556	139.772746
2	東京都中央区日本橋浜町2丁目	田中	03-1234-5678	35.687783	139.787744
3	東京都中央区月島4丁目	山田	042-123-5689	35.661169	139.781285
4	東京都中央区日本橋蛎殻町1丁目	高橋	047-890-1234	35.682315	139.783784
5	東京都中央区勝どき4丁目	鈴木	不明	35.657564	139.775836
6	東京都中央区日本橋浜町3丁目	横山	不明	35.685238	139.789445
7	東京都中央区日本橋浜町2丁目	堀	不明	35.687783	139.787744
8	東京都中央区銀座7丁目	五十鈴	不明	35.669167	139.76248
9	東京都中央区湊3丁目	中沢	不明	35.67046	139.778524
10	東京都中央区入船3-1-13	木村	不明		
11	東京都中央区入船	新田	不明		

【緯度経度へ変換】ボタン

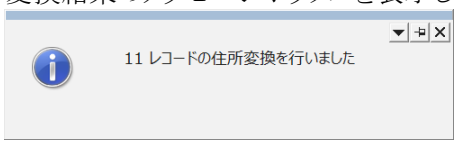
読み込んだ Excel ファイルのフィールドから、緯度経度、もしくは、住所を指定して変換用座標をフィールドを作成します。このボタンをタップするとプルダウンメニューが表示されます。

住所データがあります

[住所から緯度経度算出(ジオコーディング)]ダイアログボックスが表示されます。
住所として使うフィールドのチェックボックスを ON にしてください。その他詳細設定後【OK】ボタンをタップしてください。

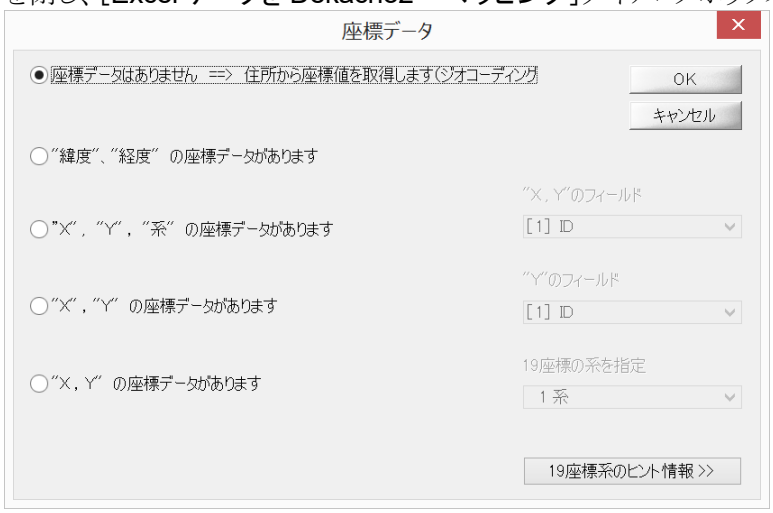


変換結果のメッセージボックスを表示します。



座標データがあります

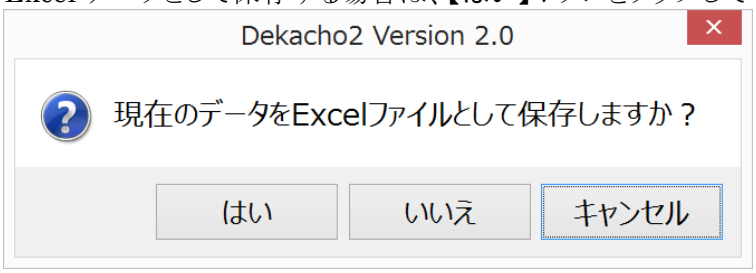
[座標データ]ダイアログボックスが表示されます。
ラジオボタンから該当する座標形態を選択し、該当する座標や系のフィールド名を右側のプルダウンから選択し、【OK】ボタンをタップしてください。
「座標データはありません」ラジオボタンを選択した場合は、[座標データ]ダイアログボックスを閉じ、[Excel データを Dekacho2 へマッピング]ダイアログボックスに戻ります。



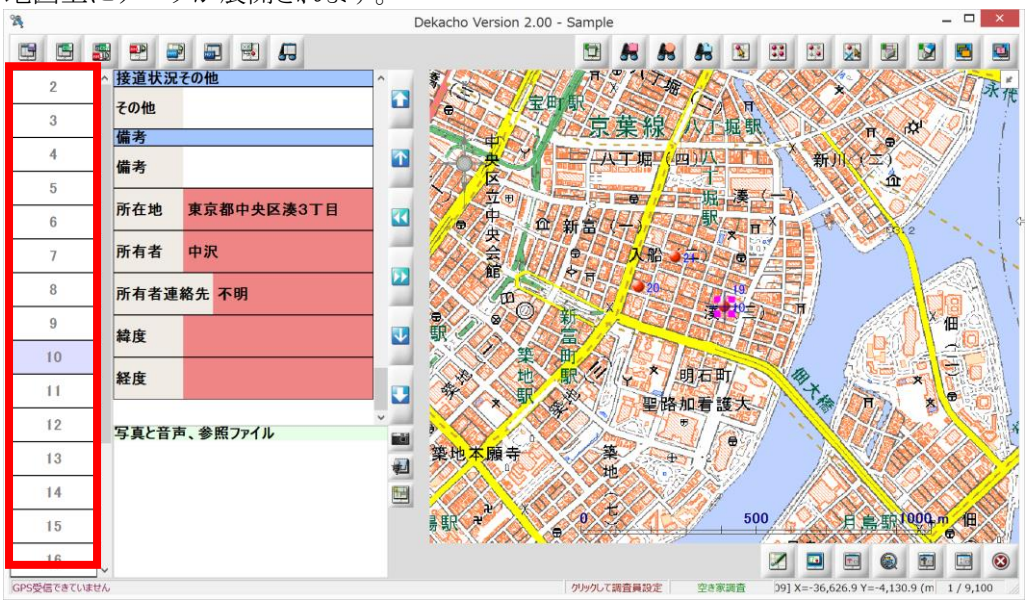
④ ③で設定後、以下のように[Excel データを Dekacho2 へマッピング]ダイアログボックスに「@緯度」、「@経度」フィールドが追加され、【地図上へ展開】ボタンがアクティブになります。
③で「住所データがあります」を実行した場合は、「@マッチングレベル」フィールドが追加されます。

	所在地	所有者	所有者連絡先	緯度	経度	@緯度	@経度	@マッチングレベル
1	東京都中央区勝どき6丁目	佐藤	不明	35.65556	139.77274	35.65556	139.772746	丁目まで
2	東京都中央区日本橋浜町2丁目	田中	03-1234-5678	35.687783	139.78774	35.687783	139.787744	丁目まで
3	東京都中央区月島4丁目	山田	042-123-5689	35.661169	139.78128	35.661169	139.781285	丁目まで
4	東京都中央区日本橋蛎殻町1丁目	高橋	047-890-1234	35.682315	139.78378	35.682315	139.783784	丁目まで
5	東京都中央区勝どき4丁目	鈴木	不明	35.657564	139.77583	35.657564	139.775836	丁目まで
6	東京都中央区日本橋浜町3丁目	横山	不明	35.685238	139.78944	35.685238	139.789445	丁目まで
7	東京都中央区日本橋浜町2丁目	堀	不明	35.687783	139.78774	35.687783	139.787744	丁目まで
8	東京都中央区銀座7丁目	五十鈴	不明	35.669167	139.76248	35.669167	139.76248	丁目まで
9	東京都中央区湊3丁目	中沢	不明	35.67046	139.77852	35.67046	139.778524	丁目まで
10	東京都中央区入船3-1-13	木村	不明			35.670971	139.775824	番地まで
11	東京都中央区入船	新田	不明			35.671731406	139.776986688	大字まで

⑤ [Excel データを Dekacho2 へマッピング]ダイアログボックスの【地図上へ展開】ボタンをタップすると、インポートを実行します。
[Excel データを Dekacho2 へマッピング]ダイアログボックスは開いたままになりますので、右上の【×】ボタンで閉じてください。この時、メッセージボックスが表示されますので Excel データとして保存する場合は、【はい】ボタンをタップしてください。



⑥ 地図上にデータが展開されます。



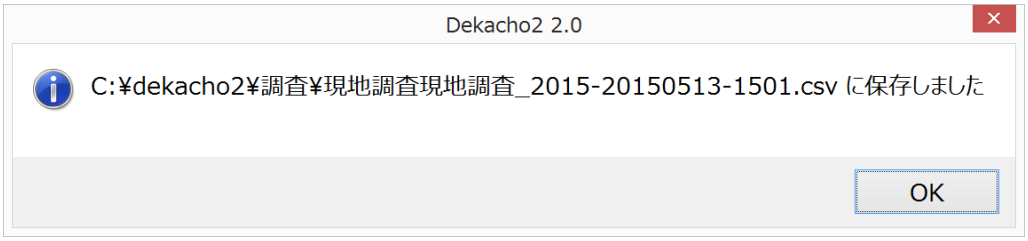
6.3.3. エクスポートメニュー

6.3.3.1. CSV 保存

ツールバー	73
コマンド	SaveCSV

調査対象物の属性をCSVファイルとして保存します。

⑦ 【CSV 保存】ボタンをタップすると、ただちに保存を実行し、保存パス名をメッセージボックスに表示します。



保存したファイルは、管理ツールの[管理 1]パネル-「次回起動時に開くプロジェクト」に設定しているプロジェクトファイル(*.pcm)と同じフォルダー内に保存されます。
保存ファイル名:“プロジェクト名” “レイヤー名”-“日付”-“時刻”.csv

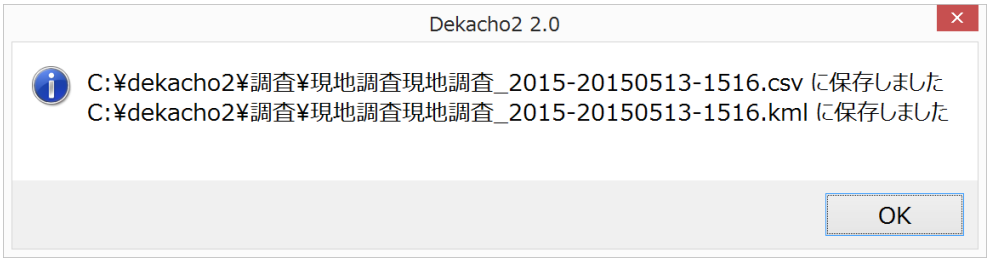
⑧ 保存されたCSVファイルは以下のように出力されます。

6.3.3.2. CSV/KML 保存

ツールバー	74
コマンド	SaveCsvKml

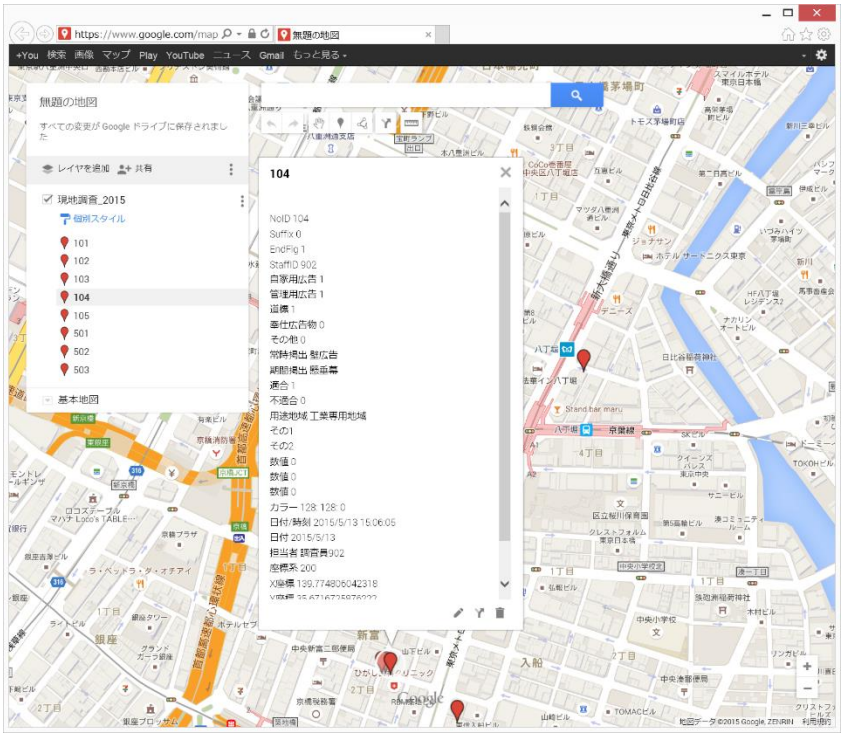
調査対象物の属性をCSVファイルに、ポイント形状と属性をKMLファイルとして保存します。

① 【CSV/KML 保存】ボタンをタップすると、ただちに保存を実行し、保存パス名をメッセージボックスに表示します。



保存したファイルは、管理ツールの[管理 1]パネル-「次回起動時に開くプロジェクト」に設定しているプロジェクトファイル(*.pcm)と同じフォルダー内に保存されます。
保存ファイル名:“プロジェクト名” “レイヤー名”-“日付”-“時刻”.csv(kml)

② 保存されたCSVファイルと、KMLファイルは以下のように出力されます。

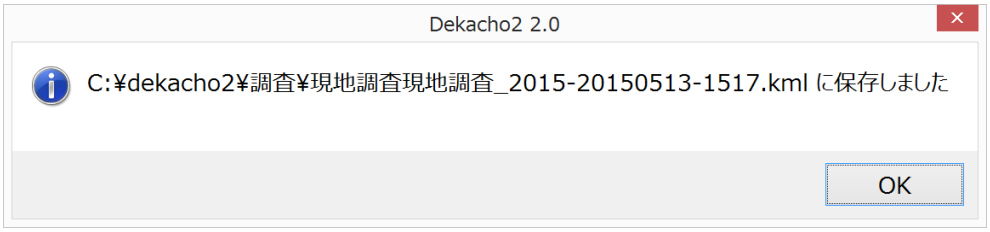


6.3.3.3. KML 保存

ツールバー	75
コマンド	SaveKml

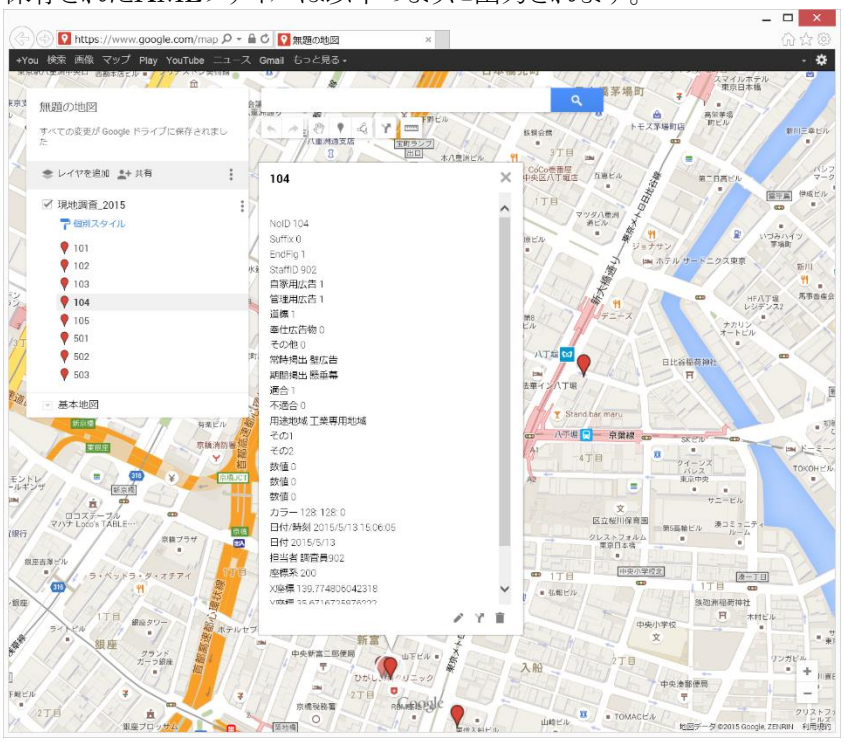
調査対象物のポイント形状と属性をKMLファイルとして保存します。

① 【KML保存】ボタンをタップすると、ただちに保存を実行し、保存パス名をメッセージボックスに表示します。



保存したファイルは、管理ツールの[管理 1]パネル-「次回起動時に開くプロジェクト」に設定しているプロジェクトファイル(*.pcm)と同じフォルダー内に保存されます。
保存ファイル名:“プロジェクト名” “レイヤー名”-“日付”-“時刻”.kml

② 保存されたKMLファイルは以下のように出力されます。

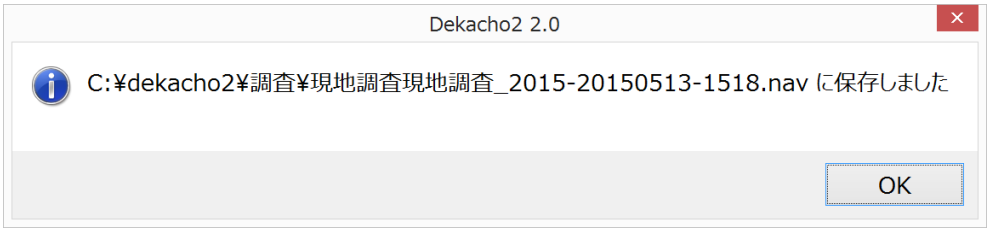


6.3.3.4. NAV 保存

ツールバー	76
コマンド	SaveNav

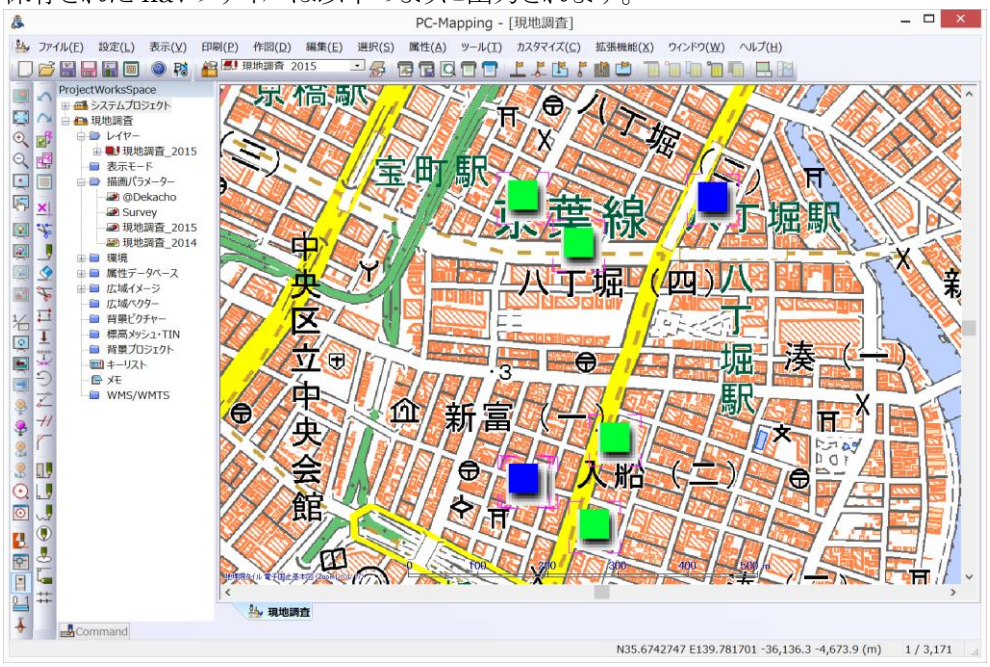
調査対象物をPC－MAPPING形式のNAVファイルとして保存します。

① 【NAV 保存】ボタンをタップすると、ただちに保存を実行し、保存パス名をメッセージボックスに表示します。



保存したファイルは、管理ツールの[管理 1]パネル-「次回起動時に開くプロジェクト」に設定しているプロジェクトファイル(*.pcm)と同じフォルダー内に保存されます。
保存ファイル名:“プロジェクト名” “レイヤー名”-“日付”-“時刻”.nav

② 保存された nav ファイルは以下のように出力されます。

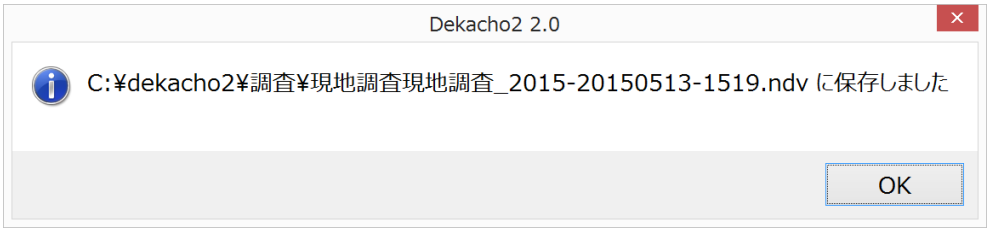


6.3.3.5. NDV 保存

ツールバー	77
コマンド	SaveNdv

調査対象物の属性をPC－MAPPING形式の NDV ファイルとして保存します。

① 【NDV 保存】ボタンをタップすると、ただちに保存を実行し、保存パス名をメッセージボックスに表示します。



保存したファイルは、管理ツールの[管理 1]パネル-「次回起動時に開くプロジェクト」に設定しているプロジェクトファイル(*.pcm)と同じフォルダー内に保存されます。
保存ファイル名:“プロジェクト名” “レイヤー名”-“日付”-“時刻”.ndv

② 保存されたNDVファイルは以下のように出力されます。

7. システム要件

本体（対応 OS） Windows8/Windows7 (x86 および x64)が搭載されたタブレット PC
メモリ 2GB 以上推奨
ハードディスク 500MB 以上
ディスプレイ 1280×800 以上の解像度
タッチ機能を使う場合は、タブレットまたは他マルチタッチに対応したモニター
その他 .NET Framework 3.5 以上
※ノートパソコン・デスクトップパソコンでもご利用になれます。

注意事項
＜システム使用上の注意事項＞
● パッケージには地図データは含まれておりません。
● 本商品は別途 GIS ソフト「PC-MAPPING HT」のライセンス費用が必要となる場合があります。

＜商標について＞
● Windows8/ Windows7 は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
● PC-MAPPING は株式会社マプコンの登録商標です。
● その他記載の名称等は各社の商標または登録商標です。

＜データ利用許諾＞
● 国土地理院背景地図等データ利用許諾番号 2102-006 号

改訂履歴

Ver.	発行日	改訂履歴
Ver.2	2015 年 6 月 1 日	初版発行
Ver.2.01	2015 年 6 月 15 日	Ver.2 の仕様一部変更に伴い改訂 • 『2.1.システム全体について』(p.5) ⑤ 【手書きメモ】ボタン追加、全体画面更新 • 『5.3.1.2. 指定のカメラアプリで撮影する』(p.29)に「カメラアプリは手動で起動し、指定秒以内に撮影された画像を登録する」チェックボックス ON の場合の操作を追補 • 『5.6.手書きメモ』(p.42)追加 • 『6.2.3.7.GPS 位置にポイント作成』(p.90)追加 • 『6.2.5.15.属性リスト表示』(p.114)追加 • 『6.2.10.フリー作図』(p.150)追加 ➢ 関連するページに追補
Ver.2.01.1	2015 年 8 月 5 日	Ver.2 の仕様一部変更に伴い改訂 • 『6.2.6.13.図上計測』(p.132)追加 • 『6.2.9.9.付箋巡回次』(p.148)追補 • 『6.2.9.10.付箋巡回前』(p.148)追補 • 『6.2.9.11.付箋強調解除』(p.148)追加 • 『6.2.11.リレーション』(p.153)機能追加
Ver.2.01.2	2015 年 9 月 14 日	Ver.2 の仕様一部変更に伴い改訂 『6.2.5.16.地磁気センサーによる地図の回転』(p.115)追加
Ver.2.06	2015 年 11 月 19 日	「6.2.2.5.地図表示切替」(p.86)機能追加 「6.2.10.2.アプリ起動」(p.152)追加 「6.2.12.2 つの地図を連動表示」(p.156)追加 「6.3.1.8.属性検索」(p.164)追補
Ver.2.06.1	2015 年 12 月 1 日	「5.8.情報シート」(p.47)追加

株式会社マプコン
URL http://www.mapcom.co.jp/
E-Mail info@mapcom.co.jp

モバイル調査システム『出簡調』 Ver.2.06.1
平成 27 年 12 月 1 日